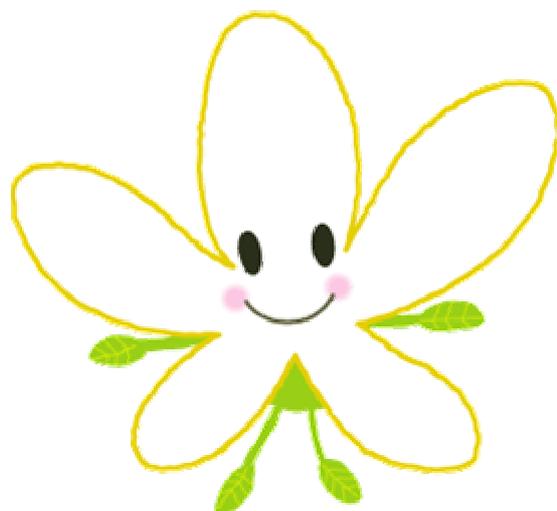


平成22年度 青葉区区民意識調査

調査結果報告書



平成22年9月

横浜市青葉区

平成22年度 青葉区区民意識調査

目 次

調査概要	2
I. 回答者の属性	3
II. 調査結果	22
1. 青葉区の生活環境について	22
2. 健康・子育てについて	34
3. 情報関係について	49
4. 大学連携事業について	68
5. 買い物について	72
6. 地域活動・地域社会について	79
7. 危機管理について	132
8. 区政・行政サービスについて	135
自由記述内容一覧	141
調査票	164

青葉区 区民意識調査

調査概要

調査目的

青葉区民の日常生活における行動や意識を調査し、今後の区政運営の参考とすることを目的とする。

調査対象

調査対象数（青葉区に居住する 16 歳以上の男女無作為抽出） 3,000 人

調査方法

郵送によるアンケート形式

調査期間

平成 22 年 6 月

有効回答数：1,467 件（48.9%）

集計結果の見方

図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次の通り。

MA : 複数回答（マルチアンサー）の設問

N : その設問に対する回答者数

回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると 100%を超える場合がある。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計が 100%にならない場合がある。

概要数値の見方

数値はそれぞれ割合（%）を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている（N=1,467）。

クロス集計表の見方

濃いグレーの塗りつぶし：選択肢の中で、第 1 位の項目については濃いグレーで塗りつぶしている。

薄いグレーの塗りつぶし：属性別にみて、区全体の数値と比べてかなり高い（概ね 10 ポイント以上）数値の項目、やや高い（概ね 8.5～10 ポイント）数値の項目については、薄いグレーで塗りつぶして特記している。

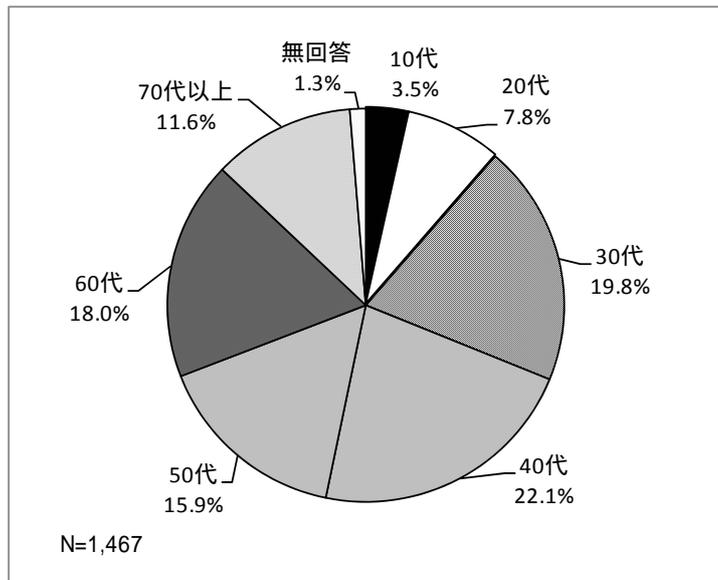
・回答者の属性

年齢（F1）

40代が最多、10代が最少。世代別でみると、中年層がやや多いもののほぼ均等に分布

- ・ 「10代」が3.5%で最も少なく、「40代」が22.1%で最も多い。「20代」が7.8%、「70代」が11.6%でやや少なくなっているが、30代から60代までについてはそれぞれ20%前後となっている。

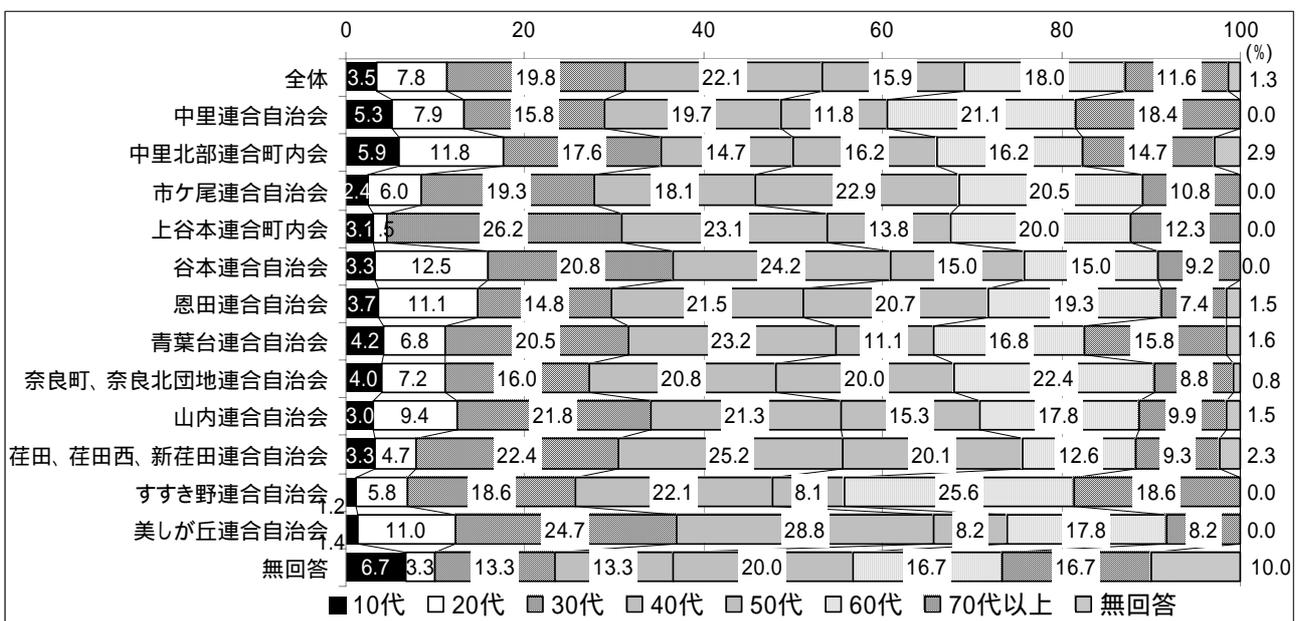
図 年齢



居住地域別 年齢（F1 × F12）

- ・ 中里北部連合町内会・上谷本連合町内会・山内連合自治会では「30代」、谷本連合自治会・恩田連合自治会・青葉台連合自治会・荏田、荏田西、新荏田連合自治会・美しが丘連合自治会では「40代」、市ヶ尾連合自治会では「50代」、中里連合自治会・奈良町、奈良北団地連合自治会・すすき野連合自治会では「60代」がそれぞれ最も多くなっている。

図 居住地域別 年齢

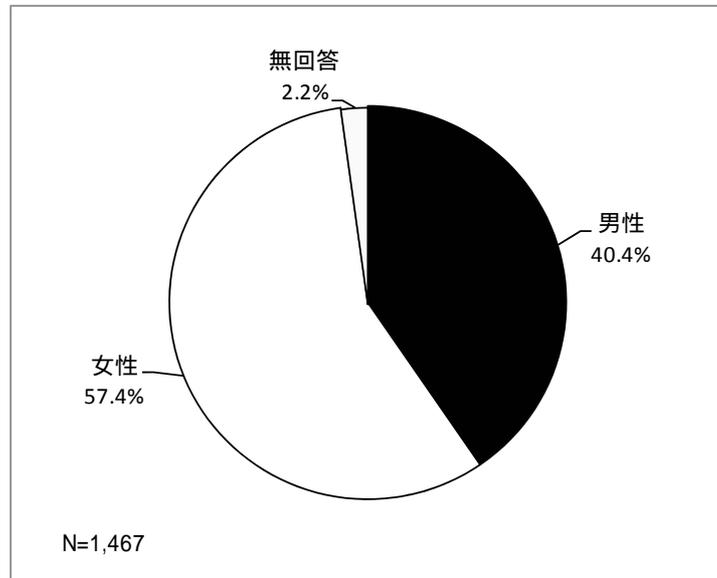


性別 (F 2)

女性が男性より 17 ポイント多い

- 女性が 57.4%、男性が 40.4% で、女性が男性より 17 ポイント多くなっている。

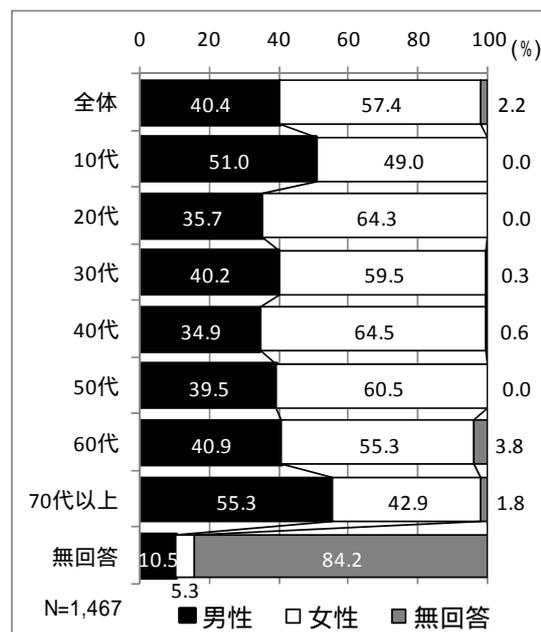
図 性別



年齢別 性別 (F 2 × F 1)

- 10代と70代以上では男性の方がやや多いが、それ以外では女性の方が多くっており、特に20代、40代で女性の比率が高い。

図 年齢別 性別

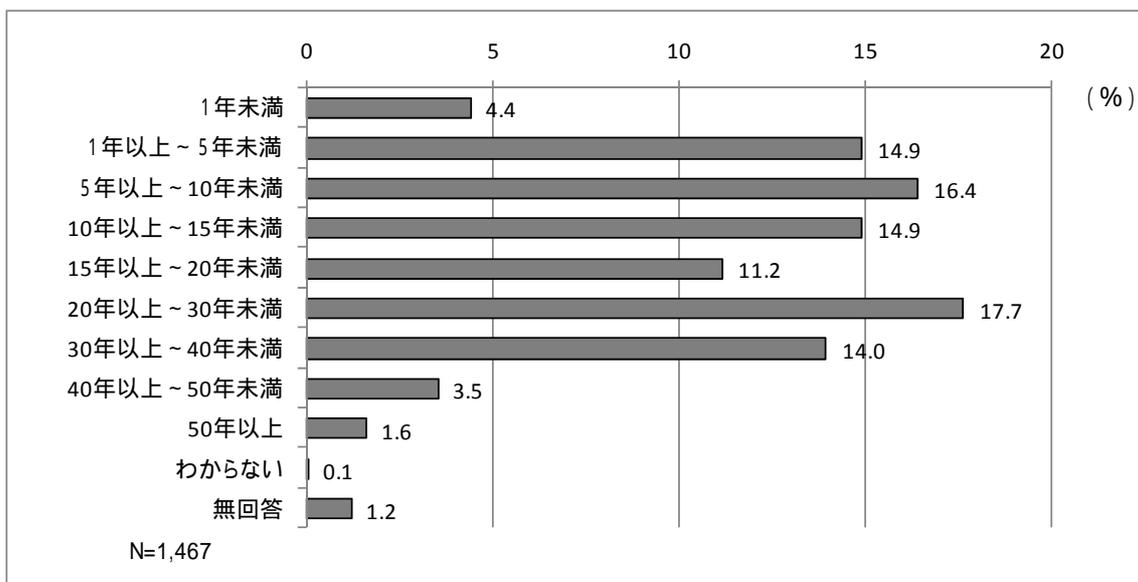


居住期間（F3）

「20年以上～30年未満」が最も多い

- ・ 「20年以上～30年未満」が17.7%で最も多い。続いて「5年以上～10年未満」(16.4%)、「1年以上～5年未満」「10年以上～15年未満」(共に14.9%)と続く。

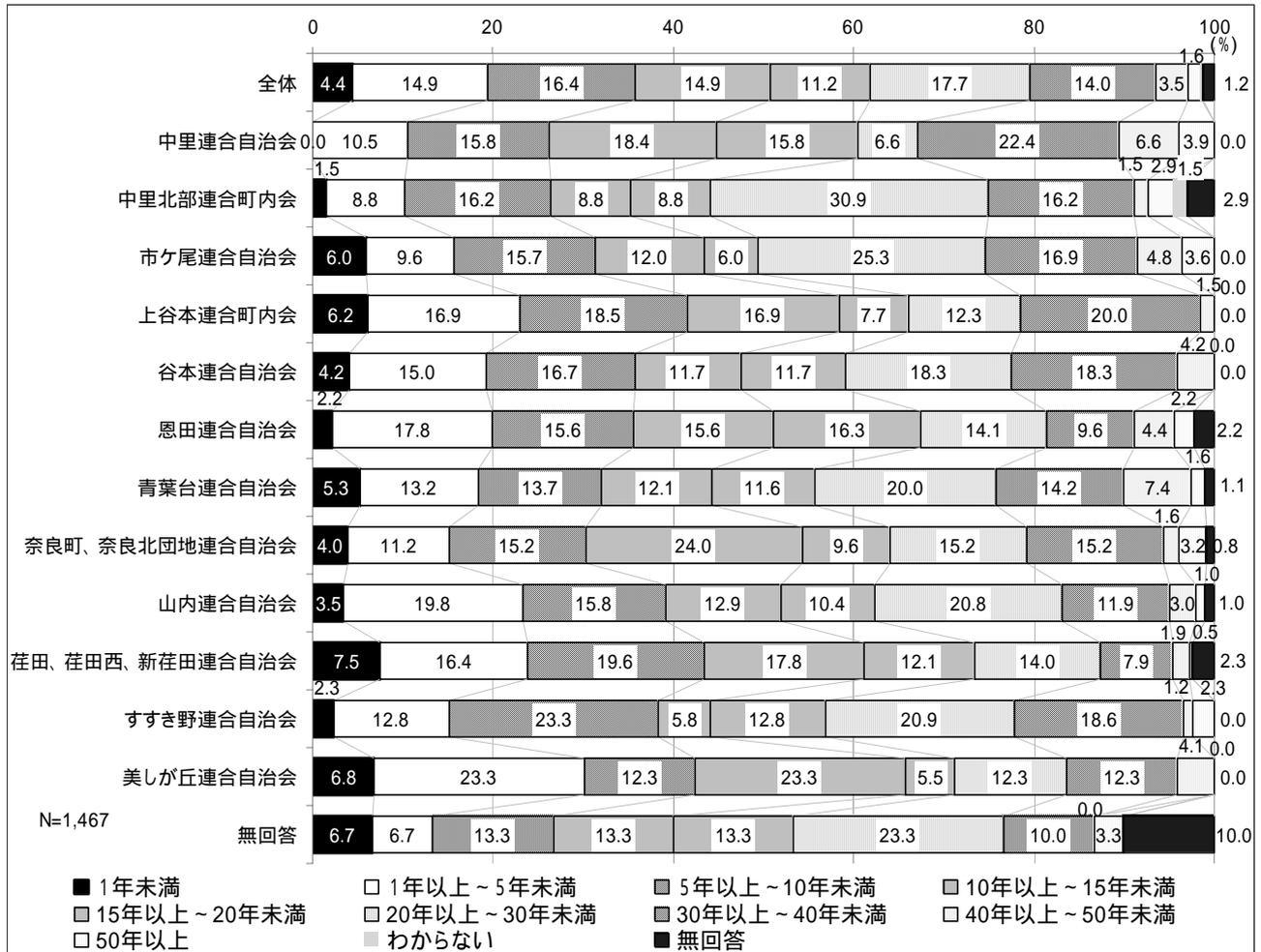
図 居住期間



居住地域別 居住期間 (F 3 × F 12)

- 中里連合自治会では、「30年以上～40年未満」「40年以上～50年未満」「50年以上」を合わせると、居住年数30年以上が3割を超えている。一方、美しが丘連合自治会では、「1年未満」「1年以上～5年未満」を合わせると、居住年数5年未満が約3割となっている。

図 居住地域別 居住期間



以前の居住地（F4）

「東京23区」が2割強で最も多い

- ・ 「その他」の28.9%が最も多くなっているが、それ以外では「東京23区」(22.2%)、「青葉区以外の横浜市」(16.6%)、「川崎市」(14.2%)、「生まれてからずっと青葉区」(6.7%)、「横浜市、川崎市以外の神奈川県内」(6.5%)、「町田市」(2.2%)の順となっている。
- ・ 「その他」のうち、最も多かったのは「関東」の72件であった。次いで、大阪府を除く「東海・近畿」が61件、「東京都下」と「海外」が同数の30件となっている。

図 以前の居住地

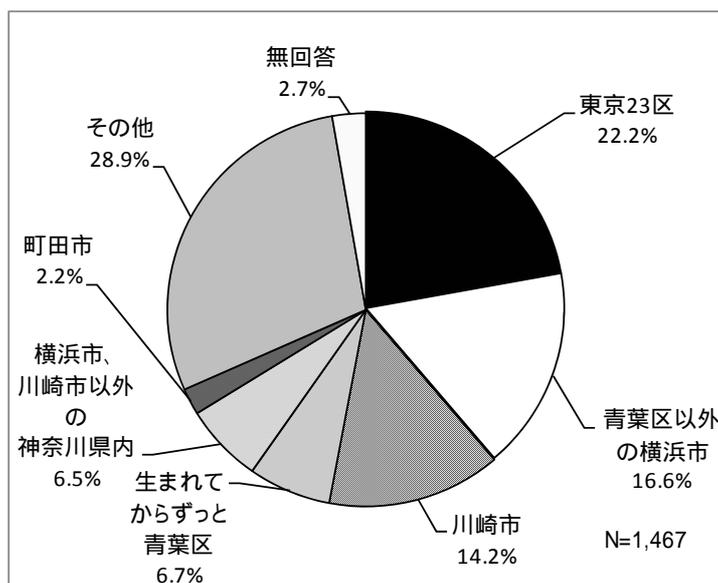


図 「その他」の内容

意見内容	件数
北海道	14
東北	17
関東	72
神奈川県	1
東京都（都下）	30
甲信越・北陸	10
東海・近畿	61
東海・近畿（大阪府）	22
中国・四国	12
九州・沖縄	24
県外	5
海外	30
総数	298

青葉区へ転入してきた最大の理由（F 4 - 1）

「家を購入したため」が全体の4割強に達している

- 青葉区へ転入してきた人に、転入してきた理由を尋ねると、最も多かったのは「家を購入したため」の43.1%で、全体の4割強に達している。次いで「青葉区内への転勤ではないが、転勤に伴って」が15.4%となっている。
- 「その他」のうち、最も多かったのは「結婚したから」の89件で圧倒的多数を占める。次いで「社宅が青葉区内にあるため」（18件）、「通勤の利便性がよい」（17件）などとなっており、転居の理由としては家族との関係や、通勤や仕事の利便性を挙げる記述が多くなっている。

図 青葉区へ転入してきた最大の理由

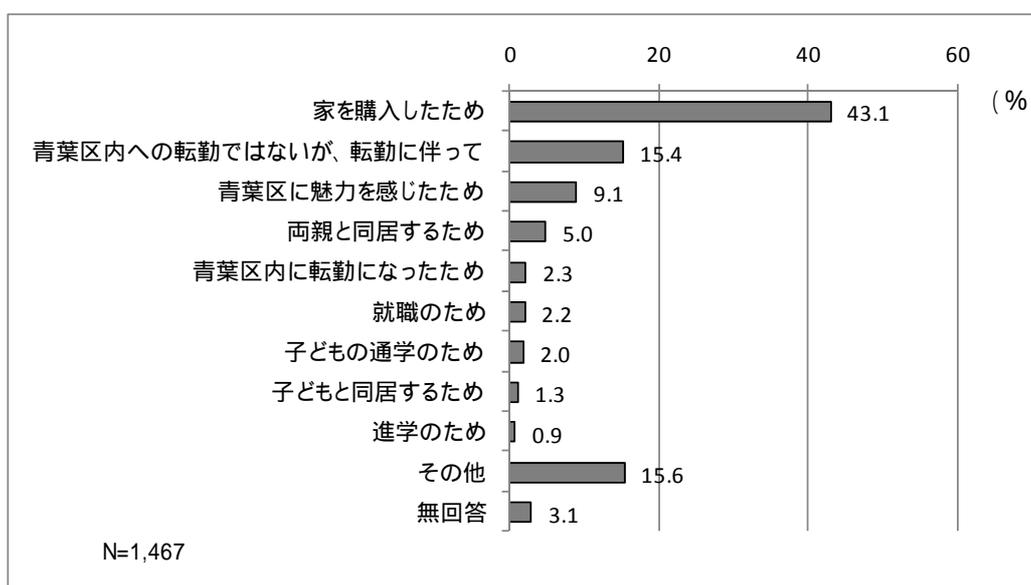


図 「その他」の内容

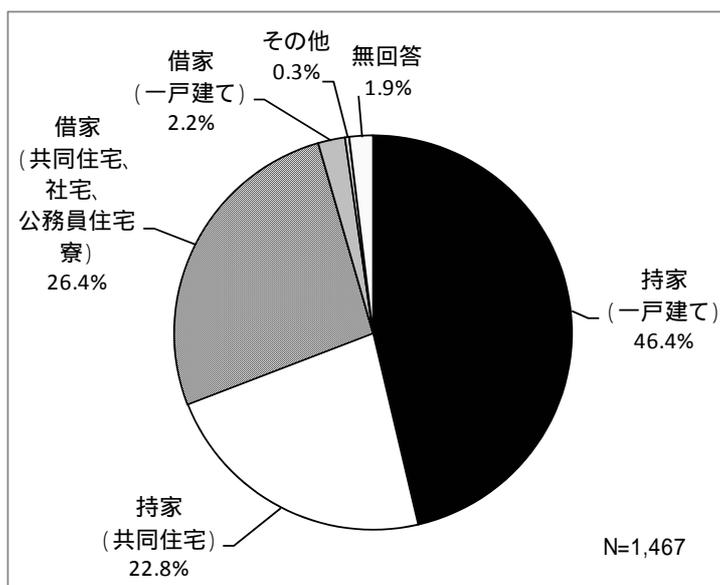
意見内容	件数
結婚したから	89
社宅が青葉区内にあるため	18
通勤の利便性がよい	17
公団・団地に当選したから、住宅が手に入ったから	7
親・家族と同居・近居するため	7
実家や土地があるため	6
家族の事情	6
仕事上の理由	6
子どもと同居・近居するため	5
以前住んでいたため	3
家賃が安い	3
子どものため（保育園がある、友人がいる）	2
ペットを飼うため	2
以前の居住地に近い	1
以前の住環境が悪くなったため	1
定年後を過ごすため	1
田園都市線沿線に住みたかったため	1
土地開発のため	1
ホームに入居するため	1
離婚したため	1
総数	178

住居形態（F5）

「持家（一戸建て）」が半数弱を占める。持家比率は7割近くに達する

- ・ 「持家（一戸建て）」が46.4%で最も多く、半数弱を占める。次いで「借家（マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」(26.4%)、「持家（マンション・共同住宅）」(22.8%)、「借家（一戸建て）」(2.2%)、「その他」(0.3%)の順となっている。
- ・ 「持家（一戸建て）」「持家（マンション・共同住宅）」を合わせると69.2%と、持家比率は7割近くに達している。

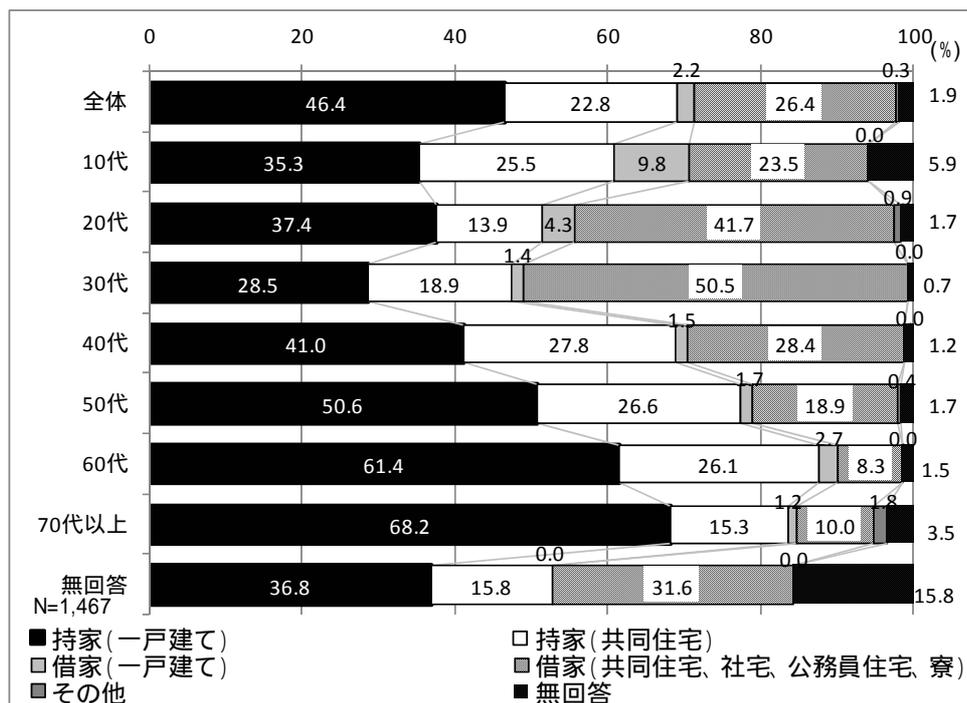
図 住居形態



年齢別 住居形態 (F 5 × F 1)

- 20代、30代では「借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」が、それ以外の世代では「持家(一戸建て)」が最も多い。
- 40代を境に年齢層が高いほど持家比率が上がり、60代以上では「持家(一戸建て)」が6割を超える。

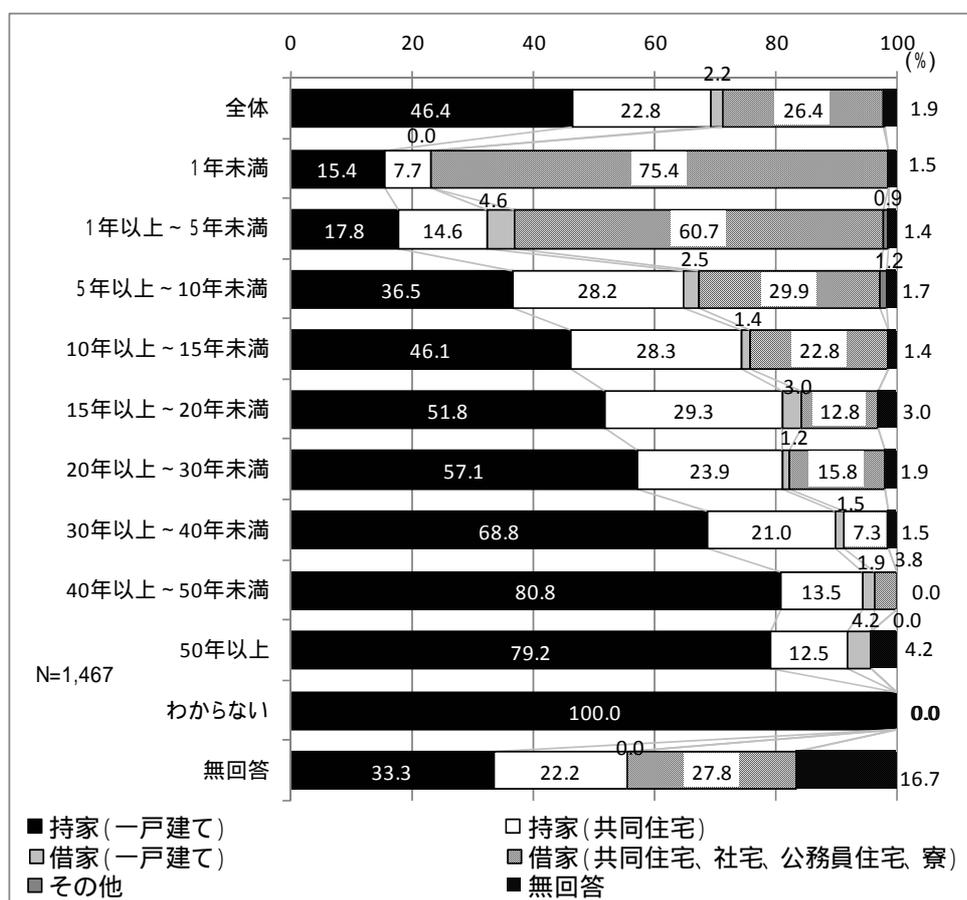
図 年齢別 住居形態



居住期間別 住居形態 (F 5 × F 3)

- 居住期間が長いほど「持家(一戸建て)」の比率が、居住期間が短いほど「借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」の比率が高い。

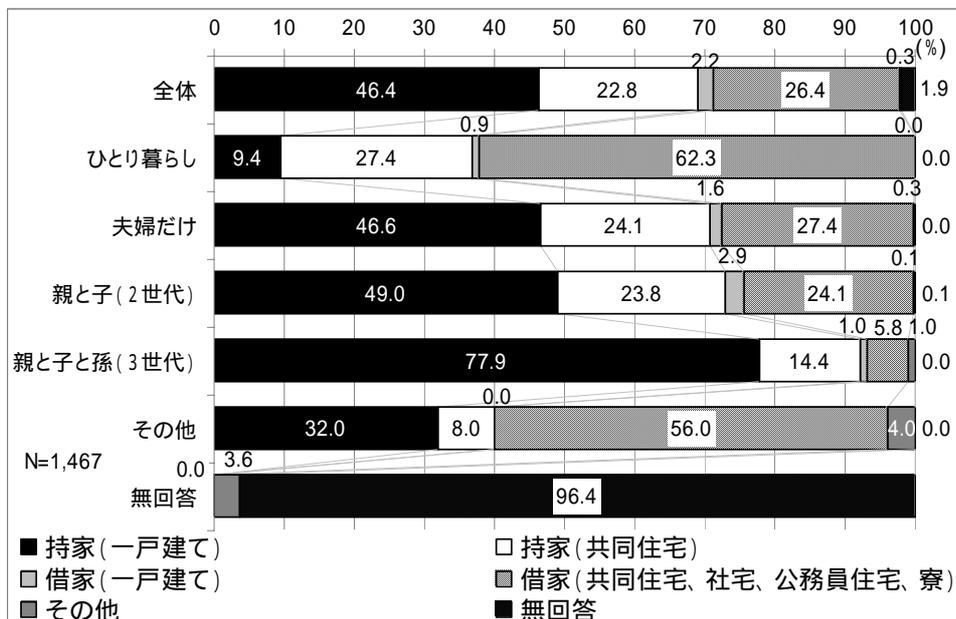
図 居住期間別 住居形態



家族形態別 住居形態 (F 5 × F 7)

- ひとり暮らしでは「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」が、それ以外では「持家（一戸建て）」が最も多く、特に「親と子と孫（3世代）」では「持家（一戸建て）」が8割に達している。

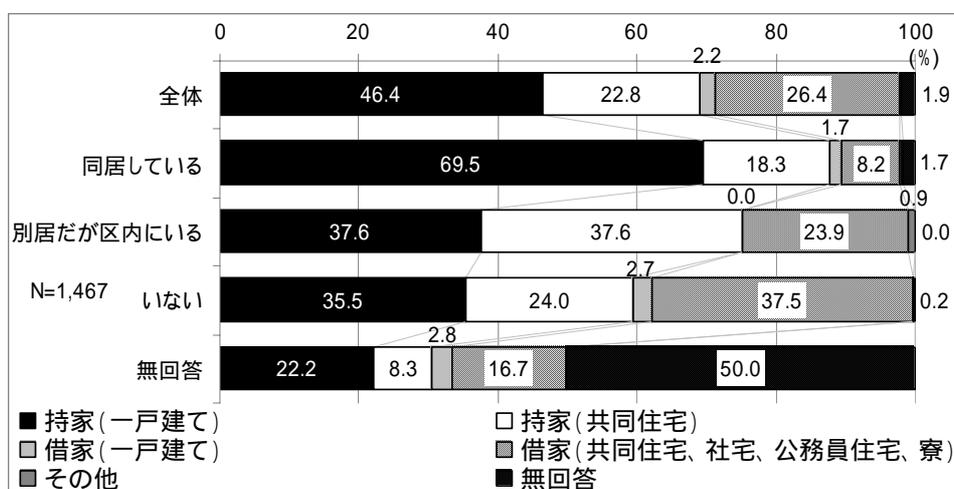
図 家族形態別 住居形態



65歳以上の家族の有無別 住居形態 (F 5 × F 11)

- 同居の65歳以上の家族がいるケースの7割が「持家（一戸建て）」である。同居の65歳以上の家族がいないケースでは「借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）」が最も多く、別居だが区内にいるケースでは「持家（一戸建て）」「持家（共同住宅）」が同率になっている。

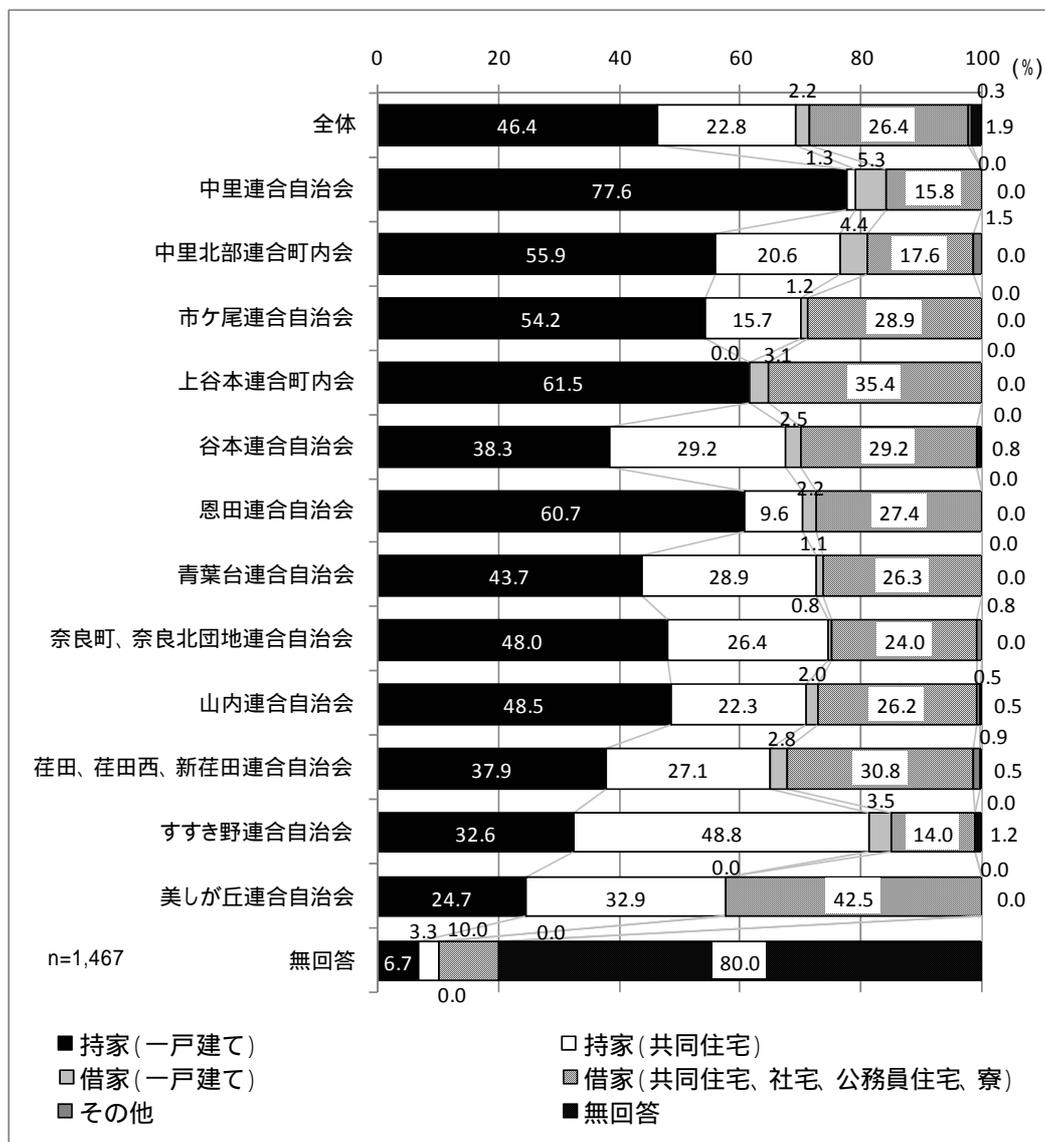
図 65歳以上の家族の有無別 住居形態



居住地域別 住居形態 (F 5 × F 12)

- ・ すずき野連合自治会では「持家(共同住宅)」、美しが丘連合自治会では「借家(マンション・共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」、それ以外の地域では「持家(一戸建て)」が最も多くなっている。特に、中里連合自治会では「持家(一戸建て)」の割合が8割近くに達している。

図 居住地域別 住居形態

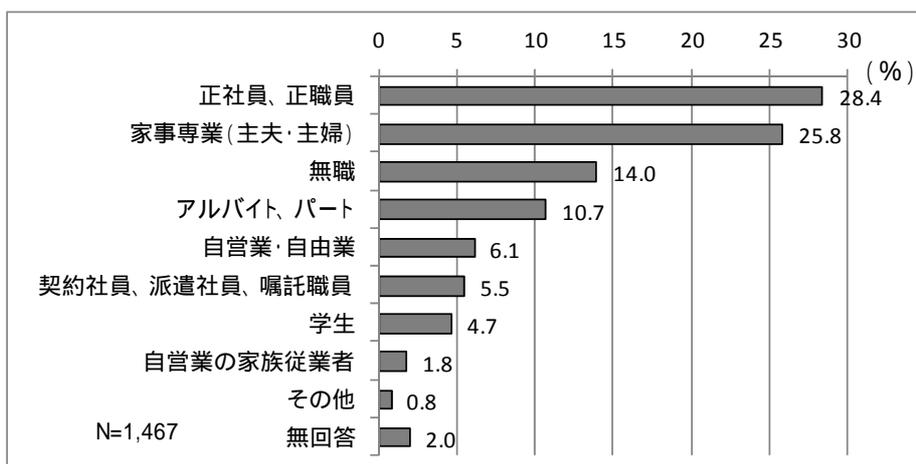


職業 (F 6)

「正社員、正職員」が3割弱、次いで「家事専業(主夫・主婦)」が全体の約4分の1

- ・ 「正社員、正職員」が28.4%で最も多く、全体の3割近くに達する。次いで「家事専業(主夫・主婦)」が25.8%と小差で続き、全体の約4分の1である。

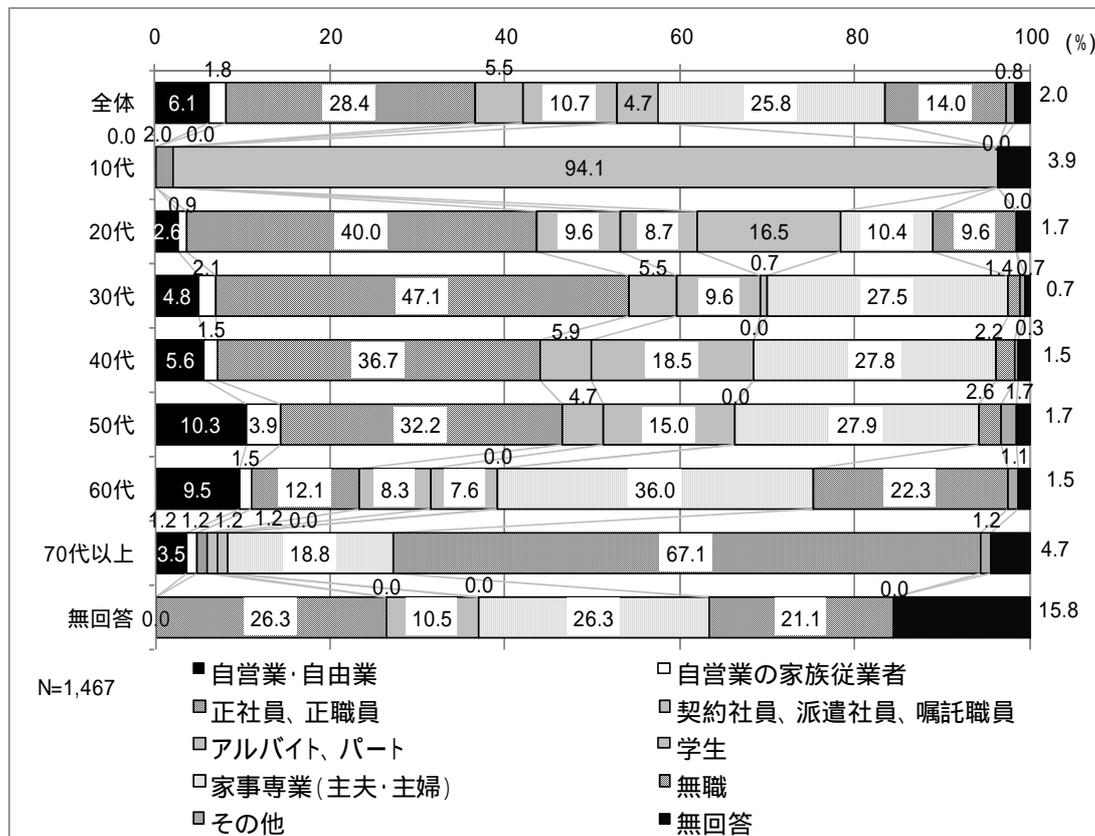
図 職業



年齢別 職業 (F 6 × F 1)

- 10代では「学生」が9割以上を占める。20代から50代までは「正社員、正職員」、60代は「家事専業(主夫・主婦)」が最も多く、70代以上では7割近くが「無職」である。

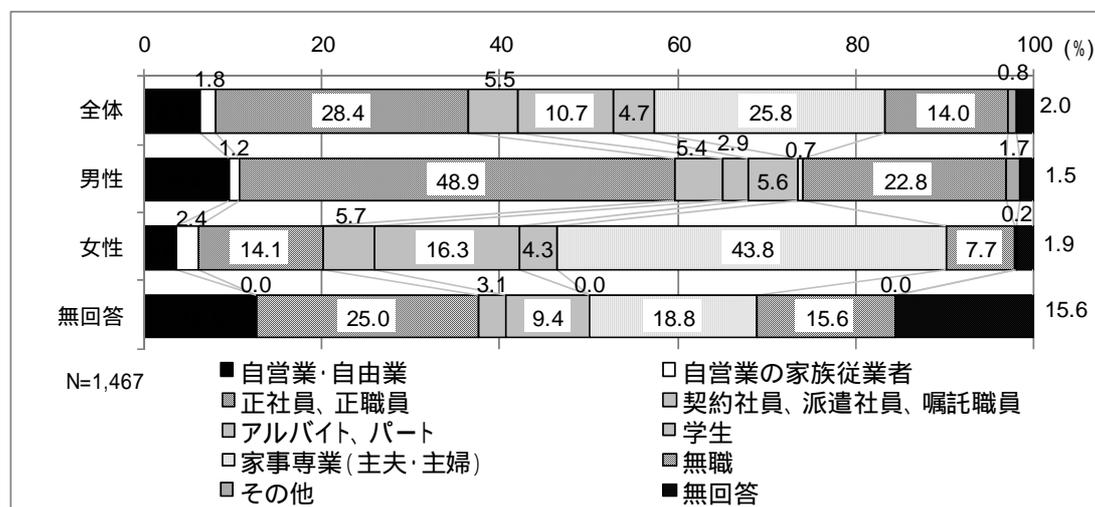
図 年齢別 職業



男女別 職業 (F 6 × F 2)

- 男性では「正社員、正職員」が半数近くに達し、女性は「家事専業(主夫・主婦)」が4割強を占め、それぞれ最も多くなっている。

図 男女別 職業

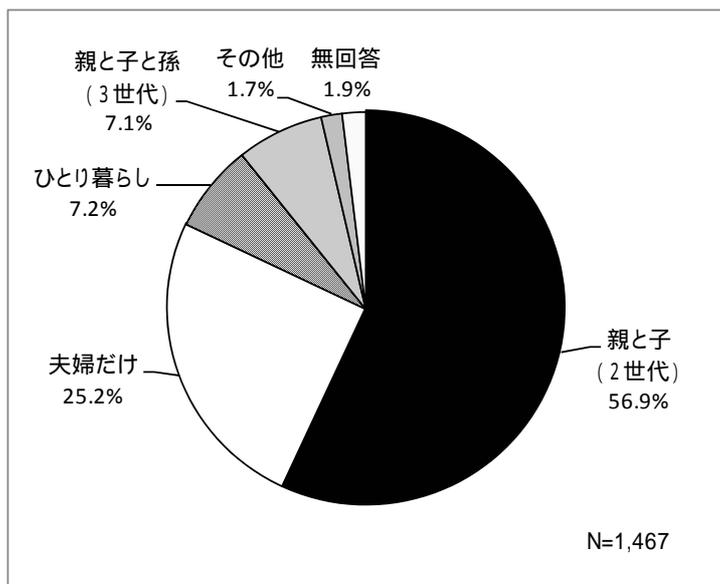


家族形態 (F7)

「親と子(2世代)」が過半数を占め、次いで「夫婦だけ」が全体の4分の1

- 「親と子(2世代)」が56.9%で最も多く、全体の過半数を占める。次いで「夫婦だけ」が25.2%で、全体の4分の1である。以下「ひとり暮らし」(7.2%)、「親と子と孫(3世代)」(7.1%)、「その他」(1.7%)の順となっている。

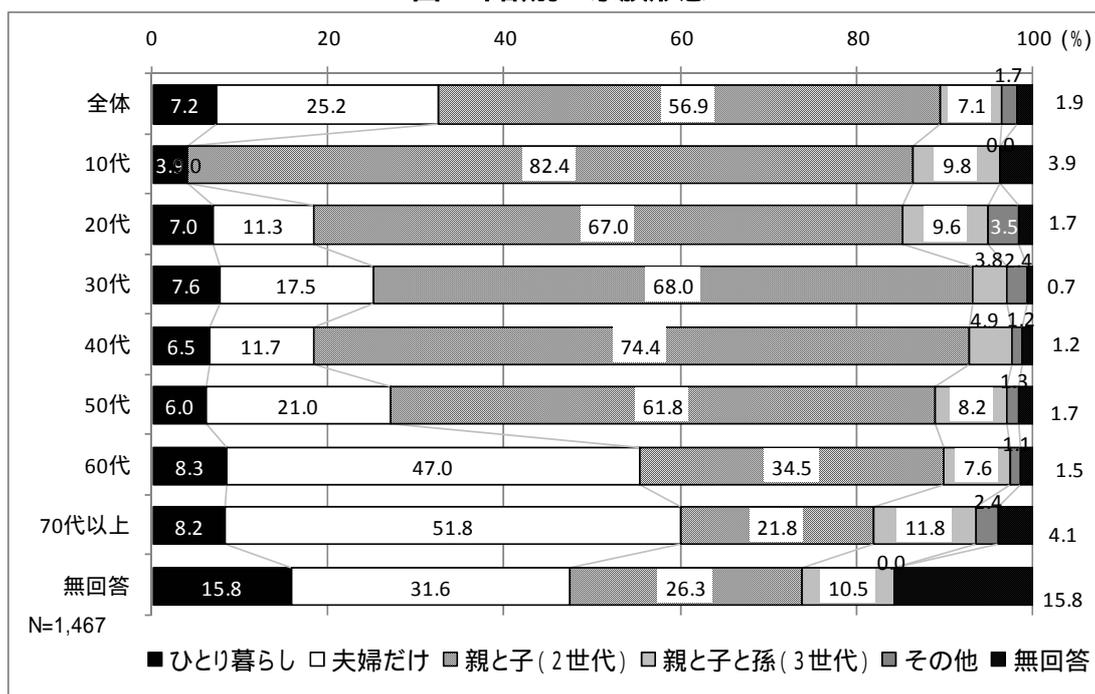
図 家族形態



年齢別 家族形態 (F7 × F1)

- 10代から50代では「親と子(2世代)」、60代より上の世代では「夫婦だけ」が最も多くなっている。

図 年齢別 家族形態

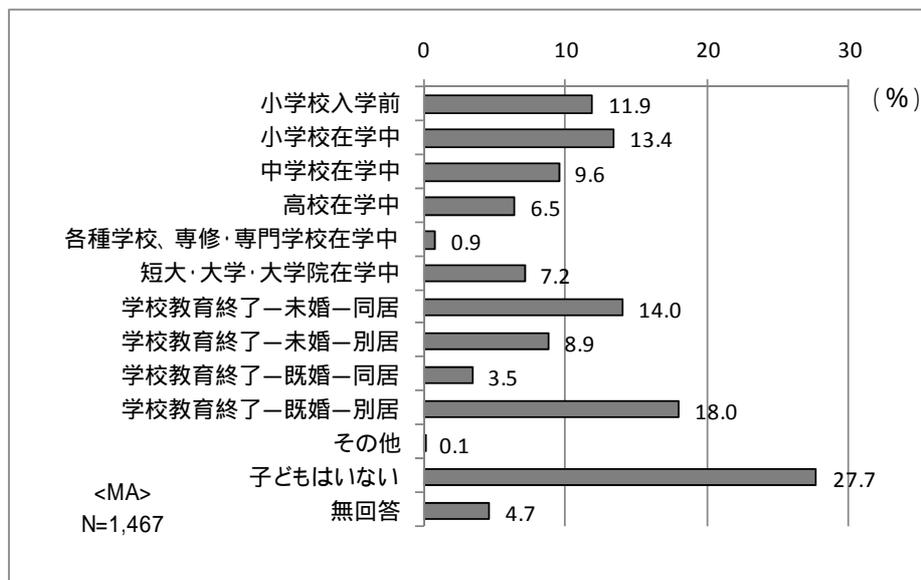


子どもの有無及び段階（F8）

「子どもはいない」が3割弱で最も多くなっている

- ・ 「子どもはいない」が27.7%で最も多くなっている。次いで「学校教育終了 既婚 別居」の18.0%である。以下、「学校教育終了 未婚 同居」(14.0%)、「小学校在学中」(13.4%)、「小学校入学前」(11.9%)、「中学校在学中」(9.6%)などの順となっている。

図 子どもの有無および段階(はいくつでも)

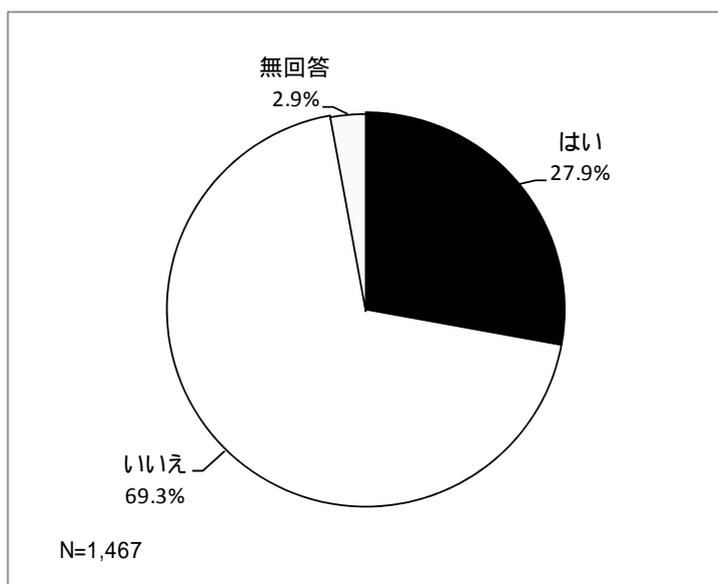


共働きか否か (F 9)

全体の7割を共働きでない家庭が占めている

- 「はい」が27.9%、「いいえ」が69.3%となっており、全体の7割を共働きでない家庭が占め、共働きは3割弱である。

図 共働きか否か



年齢別 共働きか否か (F 9 × F 1)

- 20代、30代での共働き比率が高く、7割近くに達する。

職業別 共働きか否か (F 9 × F 6)

- 共働きの比率が最も高いのは「自営業の家族従業者」、次いで「アルバイト・パート」である。

図 年齢別 共働きか否か

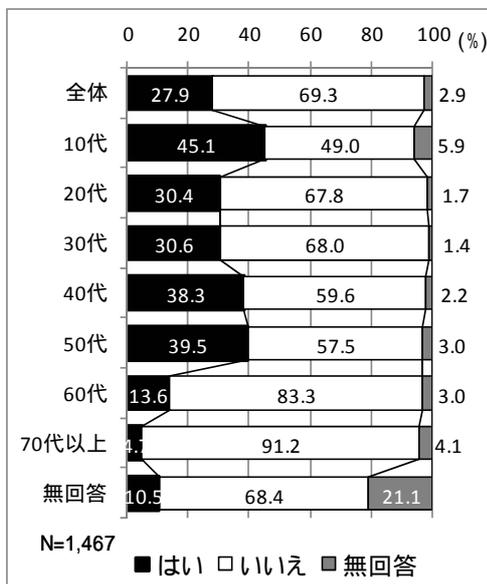
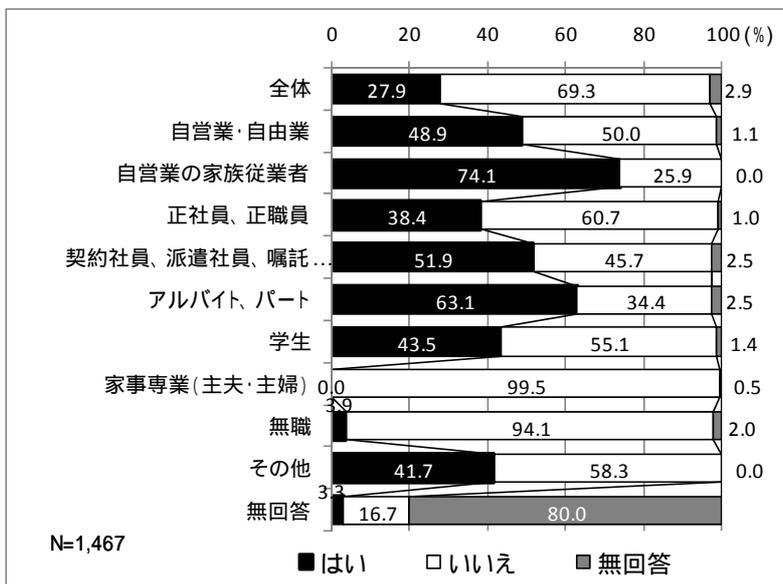


図 職業別 共働きか否か

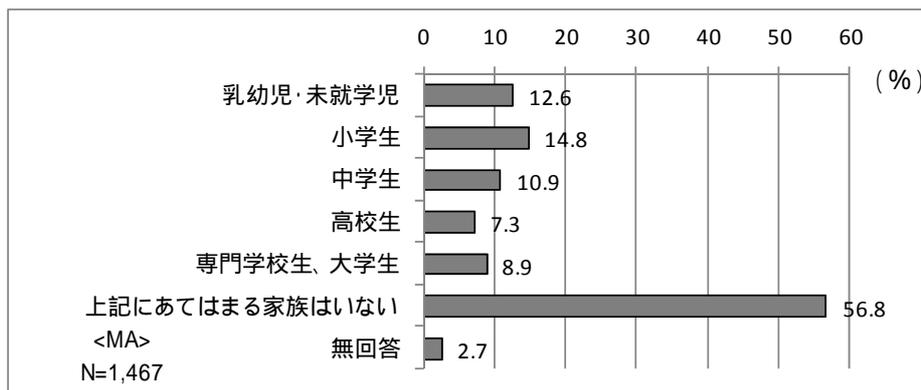


同居している子ども（F10）

乳幼児から大学生までの子どもがいない家庭が過半数を占める

- ・ 「上記にあてはまる家族はいない」が突出して多く 56.8%で、過半数の人が挙げている。次いで「小学生」が 14.8%である。以下「乳幼児・未就学児」は 12.6%、「中学生」は 10.9%、「高校生」は 7.3%、「専門学校生、大学生」は 8.9%となっている。

図 同居家族（はいくつでも）

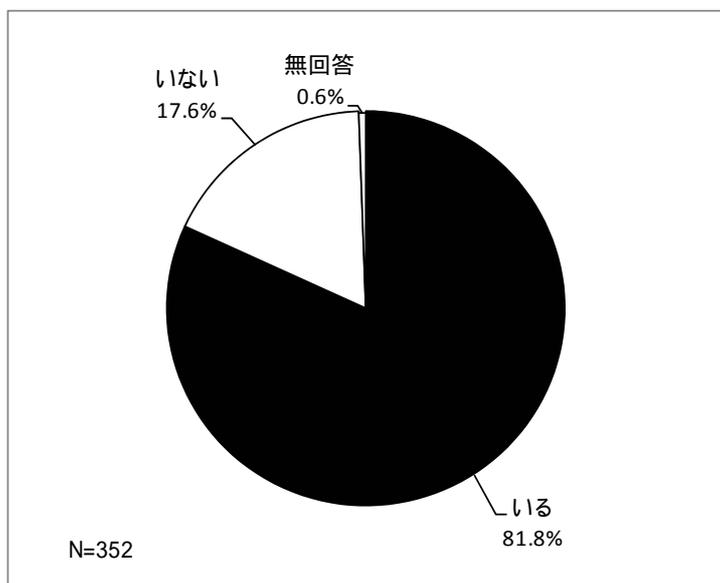


日中子どもの世話をする人の有無（F10 - 1）

小学生まで子どもがいる家庭では、8割以上が日中子どもの世話をする人がいる

- ・ 前問で「乳幼児・未就学児」または「小学生」と回答した人に、日中子どもの世話をする人がいるか否かを尋ねると、「いる」が 81.8%で圧倒的に多く、8割以上を占める。「いない」は 17.6%で2割に満たない。

図 日中子どもの世話をする人の有無

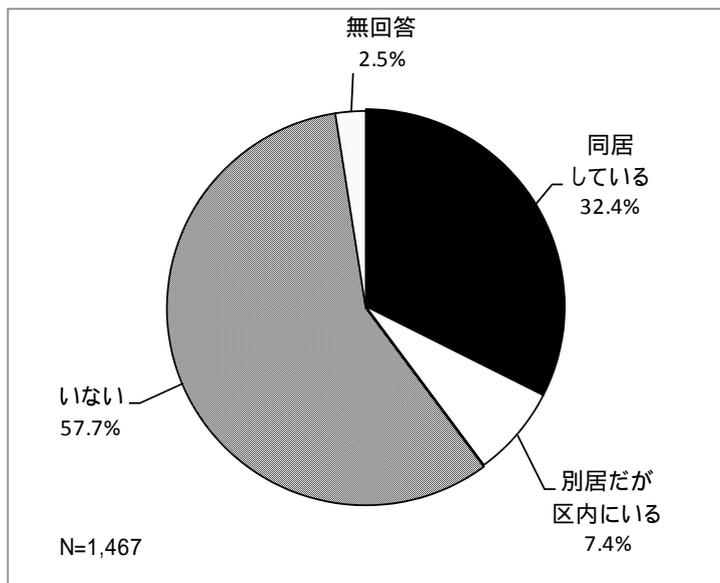


区内における 65 歳以上の家族の有無（自身も含む）(F11)

区内に 65 歳以上の家族がいない世帯が過半数だが、同居している世帯も全体の約 3 分の 1

- ・ 「いない」が 57.7%で過半数を占めるが、次に「同居している」が多く 32.4%となっており、同居の 65 歳以上の家族がいる世帯は全体の 3 分の 1 である。「別居だが区内にいる」は 7.4%となっている。

図 区内における 65 歳以上の家族の有無(自身も含む)

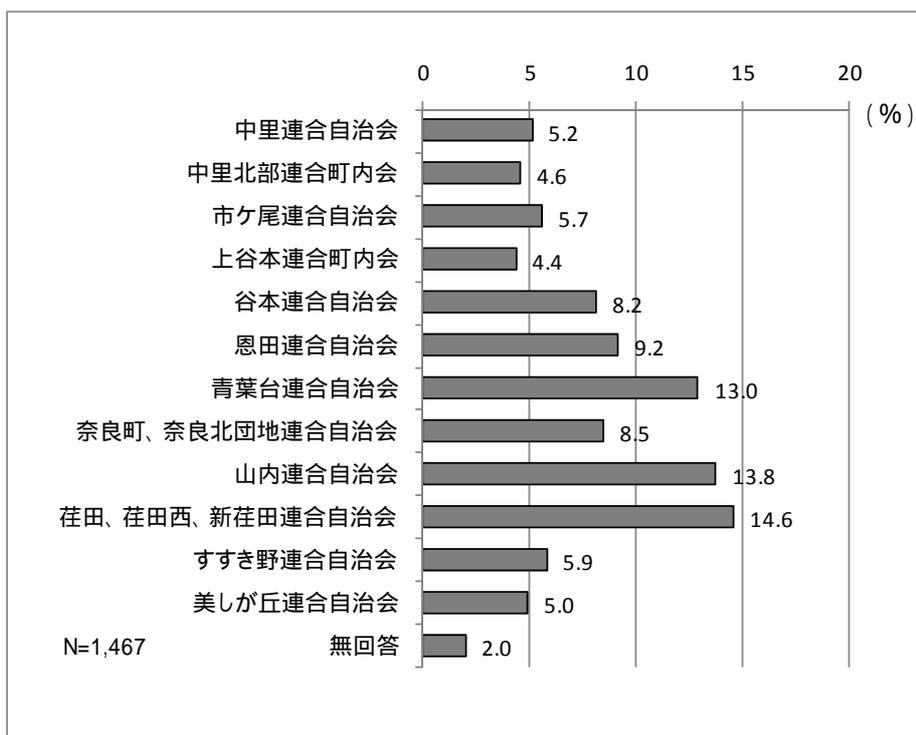


居住地域 (F 12)

「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」「山内連合自治会」「青葉台連合自治会」が多くなっている

- ・ 「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」が 14.6%、「山内連合自治会」が 13.8%、「青葉台連合自治会」が 13.0%となっている。

図 居住地域



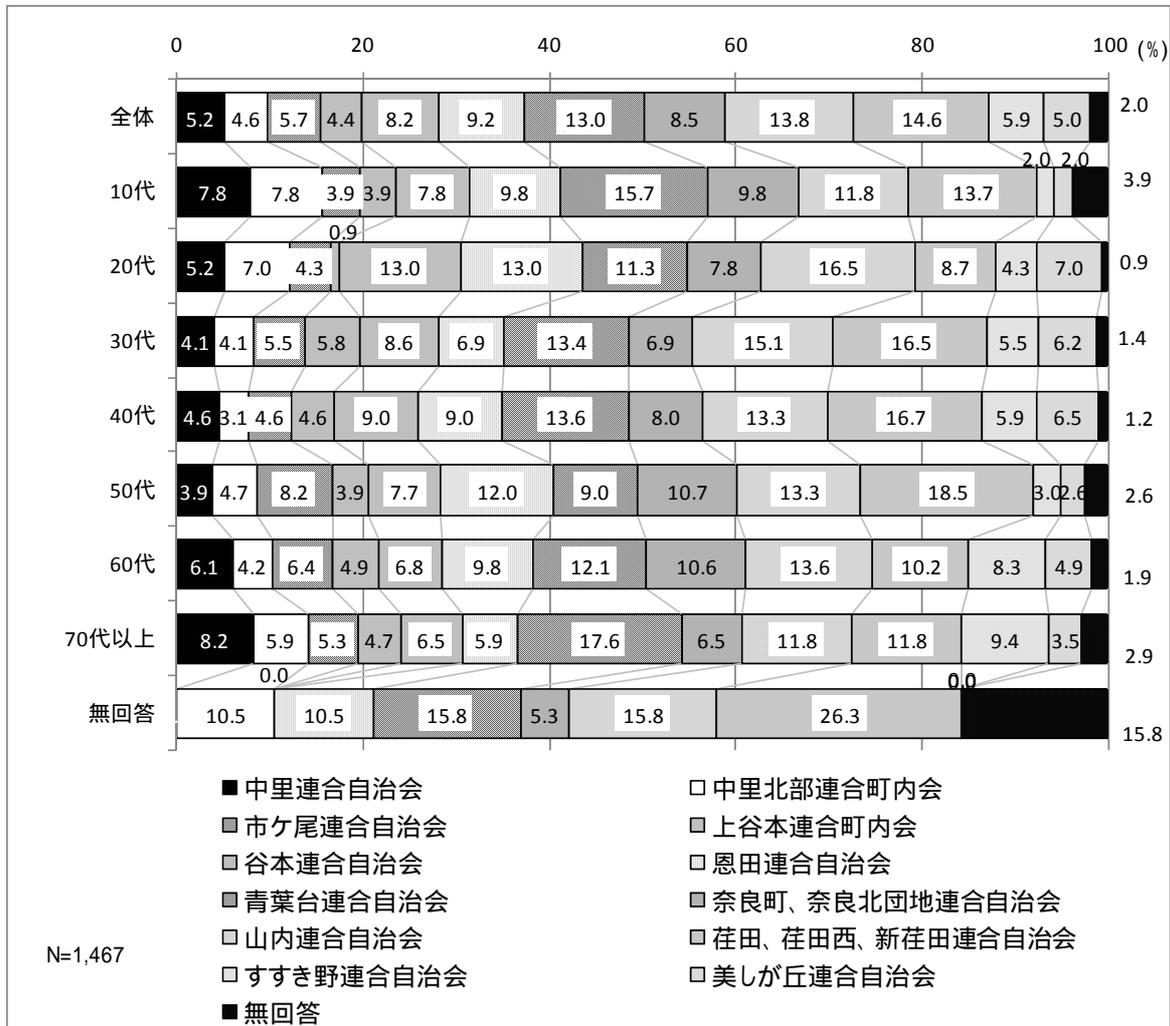
本文の居住地域は、下記の連合自治会・町内会を単位としています。

中里連合自治会	大場町、鉄町、黒須田、みすずが丘
中里北部連合町内会	鴨志田町、寺家町、たちばな台一丁目、二丁目、成合町
市ヶ尾連合自治会	市ヶ尾町
上谷本連合町内会	上谷本町、柿の木台、みたけ台、もえぎ野
谷本連合自治会	梅が丘、下谷本町、千草台、藤が丘一丁目、二丁目
恩田連合自治会	あかね台一丁目、二丁目、櫻が丘、恩田町、桂台一丁目、二丁目、田奈町、松風台
青葉台連合自治会	青葉台一丁目、二丁目、桜台、さつきが丘、しらとり台、つつじが丘、若草台
奈良町、奈良北団地連合自治会	すみよし台、奈良町、奈良一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、緑山
山内連合自治会	あざみ野一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、美しが丘四丁目、五丁目、美しが丘西一丁目、二丁目、 荏子田一丁目、二丁目、三丁目、元石川町、新石川一丁目、二丁目、三丁目、四丁目
荏田、荏田西、新荏田連合自治会	あざみ野南一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、荏田町、荏田北一丁目、二丁目、三丁目、 荏田西一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目
すすき野連合自治会	美しが丘西三丁目、すすき野一丁目、二丁目、三丁目、もみの木台
美しが丘連合自治会	美しが丘一丁目、二丁目、三丁目

年齢別 居住地域 (F 12 × F 1)

- 10代と70代以上で「青葉台連合自治会」、20代と60代で「山内連合自治会」、30代から50代の世代では「荏田、荏田西、新荏田連合自治会」が最も多くなっている。

図 年齢別 居住地域



調査結果

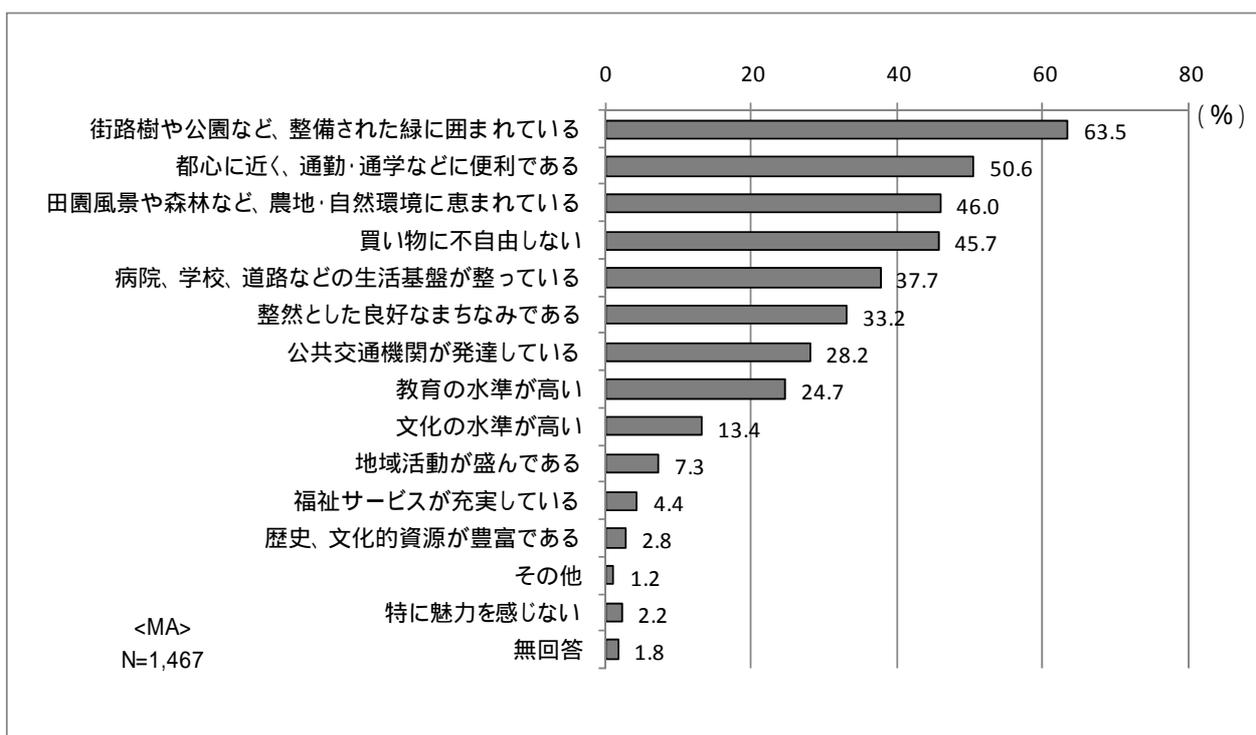
1. 青葉区の生活環境について

問1 あなたは青葉区のどのようなところに魅力を感じますか(はいくつでも)

洗練された街並みや利便性の良さと、緑の多い良好な住環境に恵まれている点が魅力と捉えられている

- 最も多いのは「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」(63.5%)で、6割強の人が挙げている。次いで「都心に近く、通勤・通学などに便利である」(50.6%)、「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」(46.0%)、「買い物に不自由しない」(45.7%)で、半数前後の人が挙げており、洗練された街並みや利便性の良さがありながら、緑の多い良好な住環境にも恵まれている点が魅力と捉えられている。

図 青葉区の魅力(はいくつでも)



年齢別 青葉区の魅力(問1×F1)

- ・ 10代のみ「都心に近く、通勤・通学などに便利である」、20代以上の世代では「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多くなっている。
- ・ また、40代では「教育の水準が高い」、70代以上では「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」の数値が他に比べて高く、60代では「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」の数値がやや高くなっている。

図 年齢別 青葉区の魅力

		全体	街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている	都心に近く、通勤・通学などに便利である	田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている	買い物に不自由しない	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	整然とした良好なまちなみである	公共交通機関が発達している	教育の水準が高い	文化の水準が高い	地域活動が盛んである	福祉サービスが充実している	歴史、文化的資源が豊富である	特に魅力を感じない	無回答	その他
全体		1,467	931	742	675	671	553	487	413	363	196	107	65	41	33	26	18
全体		-	63.5	50.6	46.0	45.7	37.7	33.2	28.2	24.7	13.4	7.3	4.4	2.8	2.2	1.8	1.2
F1 年齢	10代	51	31.4	49.0	33.3	39.2	21.6	29.4	31.4	13.7	3.9	2.0	5.9	0.0	2.0	0.0	0.0
	20代	115	55.7	51.3	41.7	36.5	34.8	35.7	21.7	12.2	8.7	6.1	1.7	1.7	3.5	0.9	1.7
	30代	291	64.6	44.0	39.2	48.5	30.6	34.7	26.8	21.0	6.2	5.8	4.1	2.1	2.4	1.4	1.0
	40代	324	65.7	51.5	45.1	45.4	37.0	34.9	23.1	34.6	11.4	6.5	2.2	2.2	1.9	1.5	2.5
	50代	233	63.1	56.2	51.1	45.1	34.3	37.3	31.3	24.9	19.3	3.4	4.7	1.7	2.1	1.3	0.9
	60代	264	67.8	50.4	54.9	48.1	44.3	26.5	31.1	26.5	21.2	11.4	6.8	3.4	1.5	1.1	0.4
	70代以上	170	64.7	51.8	47.1	48.2	52.9	31.2	34.7	21.2	15.9	12.9	7.1	7.1	3.5	5.3	1.2
	無回答	19	73.7	57.9	31.6	36.8	31.6	36.8	26.3	26.3	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0

居住地域別 青葉区の魅力(問1×F12)

- ・ 市ヶ尾連合自治会のみ「都心に近く、通勤・通学などに便利である」が最も多い。
- ・ 中里北部連合町内会・恩田連合自治会・奈良町、奈良北団地連合自治会の3自治会では「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」が最も多い。
- ・ それ以外の地域では「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」が最も多くなっており、特にすすき野連合自治会・美しが丘連合自治会では8割前後の人が挙げている。
- ・ また、「整然とした良好なまちなみである」が山内連合自治会で、「病院、学校、道路などの生活基盤が整っている」が上谷本連合町内会・すすき野連合自治会で、「教育の水準が高い」が青葉台連合自治会で、「買い物に不自由しない」が青葉台連合自治会・美しが丘連合自治会で、「公共交通機関が発達している」がすすき野連合自治会でそれぞれ他に比べて高くなっている。

図 居住地域別 青葉区の魅力

	全体	街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている	都心に近く、通勤・通学などに便利である	田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている	買い物に不自由しない	病院、学校、道路などの生活基盤が整っている	整然とした良好なまちなみである	公共交通機関が発達している	教育の水準が高い	文化の水準が高い	地域活動が盛んである	福祉サービスが充実している	歴史、文化的資源が豊富である	特に魅力を感じない	無回答	その他
全体	1,467	931	742	675	671	553	487	413	363	196	107	65	41	33	26	18
全体	-	63.5	50.6	46.0	45.7	37.7	33.2	28.2	24.7	13.4	7.3	4.4	2.8	2.2	1.8	1.2
F 12																
居住地	76	59.2	51.3	55.3	39.5	43.4	32.9	31.6	23.7	7.9	9.2	3.9	7.9	1.3	1.3	1.3
中里連合自治会	68	54.4	42.6	67.6	44.1	39.7	22.1	30.9	17.6	11.8	7.4	7.4	1.5	2.9	1.5	2.9
中里北部連合町内会	83	51.8	57.8	54.2	49.4	37.3	33.7	30.1	22.9	20.5	8.4	2.4	3.6	3.6	0.0	2.4
市ヶ尾連合自治会	65	75.4	50.8	56.9	40.0	52.3	27.7	32.3	21.5	16.9	9.2	7.7	3.1	0.0	1.5	3.1
上谷本連合町内会	120	59.2	50.0	47.5	40.0	44.2	28.3	20.0	20.8	11.7	4.2	3.3	0.8	2.5	0.8	3.3
谷本連合自治会	135	49.6	53.3	60.0	37.8	31.1	31.1	21.5	25.2	12.6	3.7	2.2	1.5	0.7	3.7	0.0
恩田連合自治会	190	60.5	46.3	40.5	54.2	42.6	27.4	35.3	36.3	15.3	4.2	3.7	1.6	2.6	3.7	1.1
青葉台連合自治会	125	63.2	31.2	64.0	34.4	26.4	31.2	19.2	23.2	12.0	4.8	4.8	4.8	4.0	1.6	1.6
奈良町、奈良北団地連合自治会	202	68.3	56.4	33.7	46.5	29.7	42.6	30.7	24.8	16.8	11.9	5.9	4.0	1.5	0.5	1.0
山内連合自治会	214	66.4	54.7	33.6	46.7	34.1	38.3	27.1	22.0	11.2	7.5	2.3	2.8	3.3	2.8	0.5
荏田、荏田西、新荏田連合自治会	86	76.7	55.8	39.5	53.5	61.6	33.7	38.4	23.3	12.8	14.0	9.3	1.2	3.5	0.0	0.0
すすき野連合自治会	73	84.9	52.1	31.5	60.3	31.5	39.7	21.9	32.9	12.3	6.8	5.5	1.4	0.0	0.0	0.0
美しが丘連合自治会	30	56.7	56.7	43.3	50.0	33.3	26.7	30.0	6.7	3.3	3.3	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0
無回答																

<参考> 平成 21 年度調査結果との比較

- 平成 21 年度調査までは自然環境への評価を「豊かな緑、丘陵、田園風景などの自然環境に恵まれている」に一本化していたが、今年度は整備された都市的な緑と、農地や自然などの自然環境に分け「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」の 2 本の選択肢を設定した。このため単純な比較はできないが、緑地や優れた環境への評価が最上位にきており、次いで利便性の高さが評価されているという点では変わっていない。
- なお、今年度の調査では「街路樹や公園など、整備された緑に囲まれている」を選択した人の約半数と「田園風景や森林など、農地・自然環境に恵まれている」を選択した人の 3 分の 2 が、両方の選択肢を選択している。
- また、今年度は「教育水準」「文化水準」への評価に関する選択肢も二本化したため、次の「公共交通機関が発達している」と順位が逆転しているが、それ以外の項目については昨年度と順位の移動はない。

図 <参考> 平成 21 年度調査結果

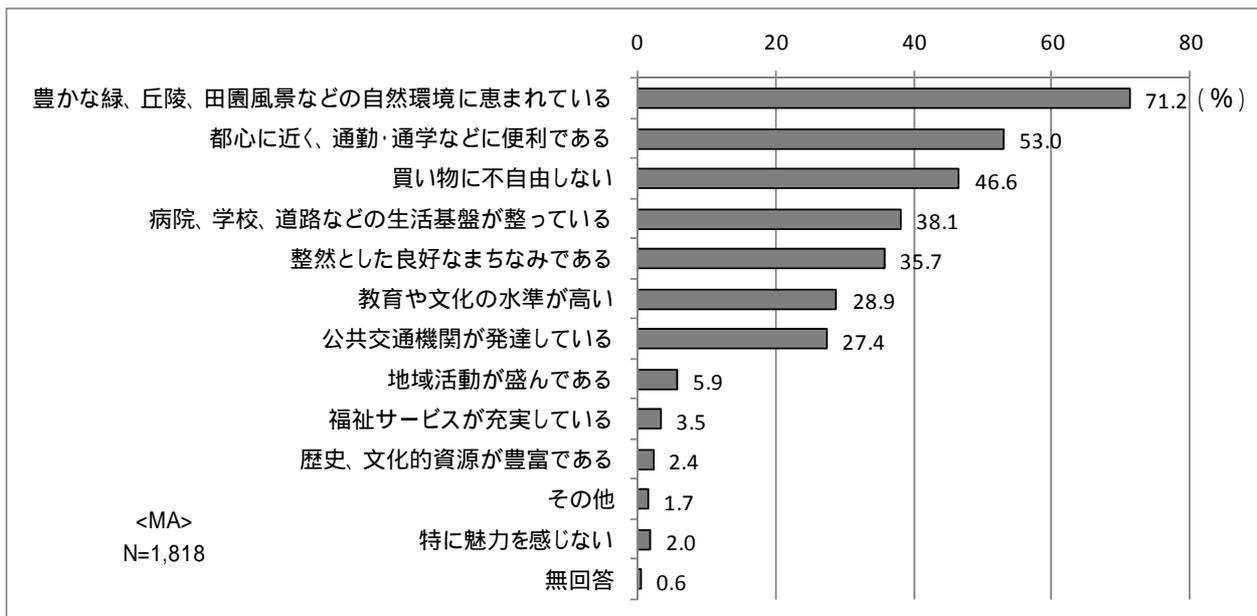
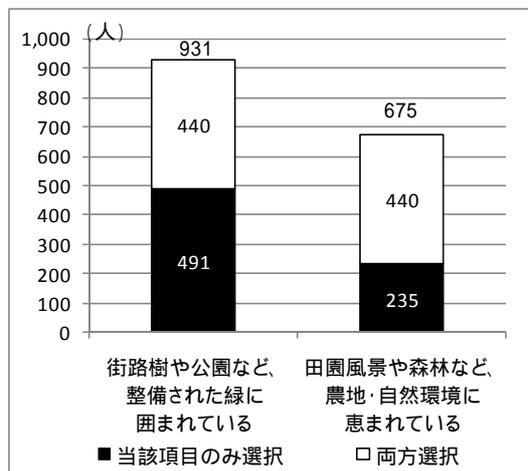


図 自然環境関連選択肢の内訳(今年度調査)

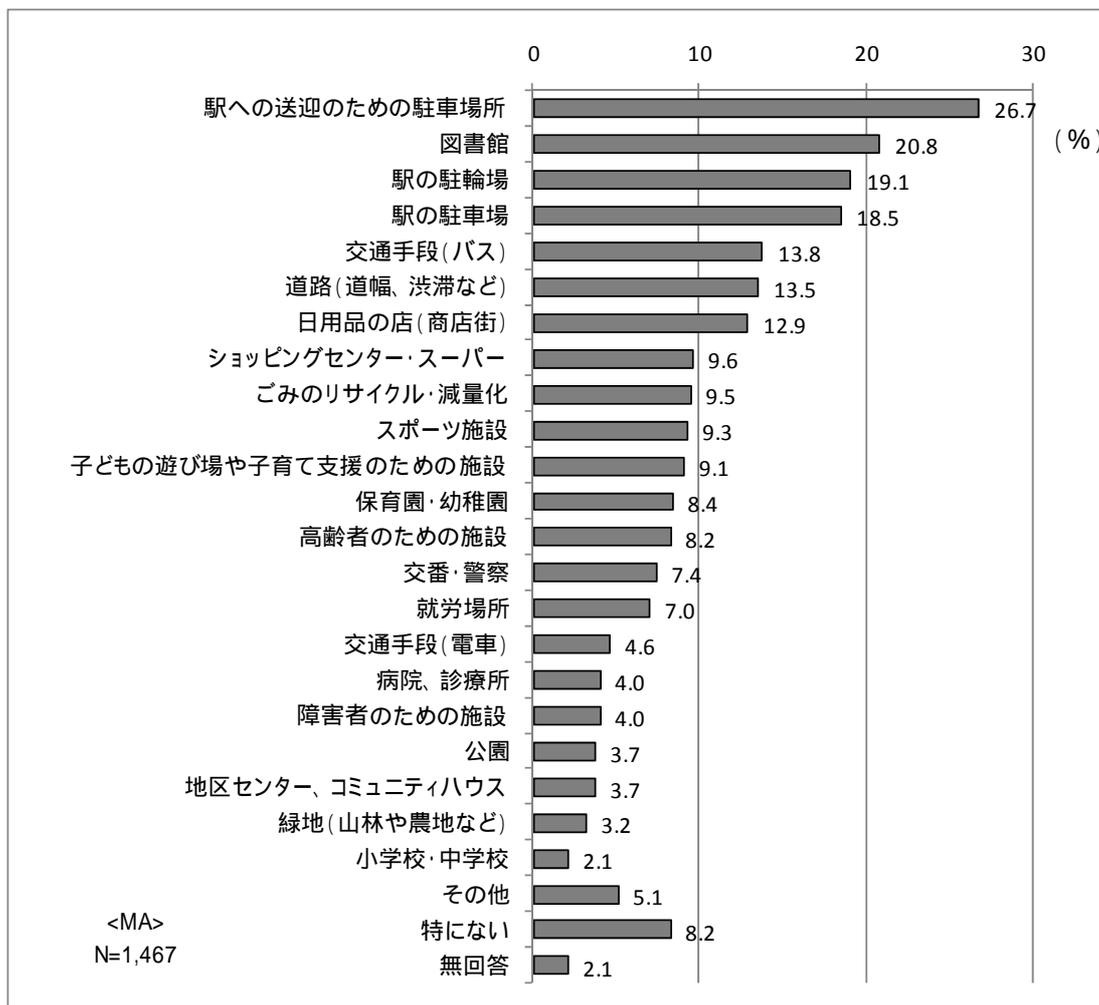


問2 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うことは何ですか（ は3つまで）

交通問題、特に駐車・駐輪場所の不足を挙げる声が目立って多くなっている

- 「駅への送迎のための駐車場所」が 26.7%で最も多くなっている。次に多いのは「図書館」の 20.8%であるが、次いで「駅の駐輪場」(19.1%) 「駅の駐車場」(18.5%) 「交通手段(バス)」(13.8%) 「道路(道幅、渋滞など)」(13.5%) と続き、交通問題、特に駐車・駐輪場所の不足を挙げる声が目立って多くなっている。
- なお「特にない」(8.2%) を 1 割近くの人が挙げている。

図 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと(は3つまで)



年齢別 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと(問2×F1)

- ・ 10代では「駅の駐輪場」、20代では「図書館」、30代から60代までの世代では「駅への送迎のための駐車場所」、70代以上では「高齢者のための施設」が最も多くなっており、世代間で回答が分かれた。
- ・ また、10代では「スポーツ施設」の数値が他世代に比べて高くなっているほか、子育て世代である30代では「保育園・幼稚園」の数値が他世代に比べてやや高くなっている。

図 年齢別 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1,467 -	51	115	291	324	233	264	170	19
駅への送迎のための駐車場所	392 26.7	11.8	13.0	26.5	32.1	29.6	31.8	19.4	21.1
図書館	305 20.8	19.6	30.4	20.6	25.0	18.9	19.3	12.4	15.8
駅の駐輪場	280 19.1	23.5	25.2	23.0	24.7	17.6	11.0	12.4	5.3
駅の駐車場	271 18.5	3.9	15.7	16.2	18.5	24.0	20.5	17.1	26.3
交通手段(バス)	202 13.8	13.7	14.8	11.3	16.4	11.6	14.4	14.1	15.8
道路(道幅、渋滞など)	198 13.5	11.8	10.4	17.2	16.0	11.6	11.7	10.0	15.8
日用品の店(商店街)	189 12.9	13.7	14.8	10.7	11.1	14.6	11.7	17.6	15.8
ショッピングセンター・スーパー	141 9.6	13.7	15.7	10.7	9.0	9.4	8.0	7.6	0.0
ごみのリサイクル・減量化	139 9.5	5.9	7.8	9.6	10.2	8.6	9.8	10.6	10.5
スポーツ施設	136 9.3	21.6	13.0	10.7	11.7	8.6	6.4	1.8	5.3
子どもの遊び場や子育て支援のための施設	133 9.1	7.8	8.7	16.5	9.3	4.3	8.0	5.9	0.0
保育園・幼稚園	123 8.4	2.0	11.3	17.5	6.5	7.7	4.5	3.5	5.3
高齢者のための施設	121 8.2	0.0	0.9	1.4	3.1	8.2	17.8	21.2	21.1
交番・警察	109 7.4	2.0	7.8	5.8	6.5	8.6	8.0	10.6	10.5
就労場所	103 7.0	3.9	10.4	7.6	6.8	5.6	9.8	2.4	10.5
交通手段(電車)	68 4.6	7.8	8.7	6.9	5.2	3.0	1.9	1.8	10.5
病院、診療所	59 4.0	2.0	3.5	4.8	3.7	2.6	5.3	4.7	0.0
障害者のための施設	59 4.0	3.9	1.7	3.1	3.1	3.0	6.4	6.5	5.3
公園	55 3.7	2.0	1.7	4.8	6.5	2.1	2.3	3.5	0.0
地区センター、コミュニティハウス	55 3.7	0.0	3.5	2.7	4.6	4.7	4.9	2.4	0.0
緑地(山林や農地など)	47 3.2	5.9	3.5	4.1	2.8	2.1	3.0	3.5	0.0
小学校・中学校	31 2.1	2.0	1.7	2.1	4.9	0.9	0.4	1.8	0.0
その他	75 5.1	3.9	3.5	5.8	7.4	3.0	3.8	5.9	5.3
特になし	121 8.2	11.8	5.2	5.5	4.9	12.4	9.5	12.9	5.3
無回答	31 2.1	2.0	2.6	1.0	1.2	1.3	1.5	6.5	10.5

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと(問2×F12)

- ・ 青葉台連合自治会では「道路（道幅、渋滞など）」が最も多い。
- ・ 中里連合自治会では「駅の駐輪場」が最も多い。
- ・ 市ヶ尾連合自治会・谷本連合自治会・美しが丘連合自治会では「図書館」が最も多い。
- ・ 奈良町、奈良北団地連合自治会では「交通手段（バス）」と「図書館」が同率となっている。
- ・ 上記以外の地域では「駅への送迎のための駐車場所」が最も多くなっている。
- ・ また、上谷本連合町内会では「駅の駐輪場」、奈良町、奈良北団地連合自治会では「交通手段（電車）」と「交番・警察」の数値が他に比べて高くなっている。

図 居住地域別 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと

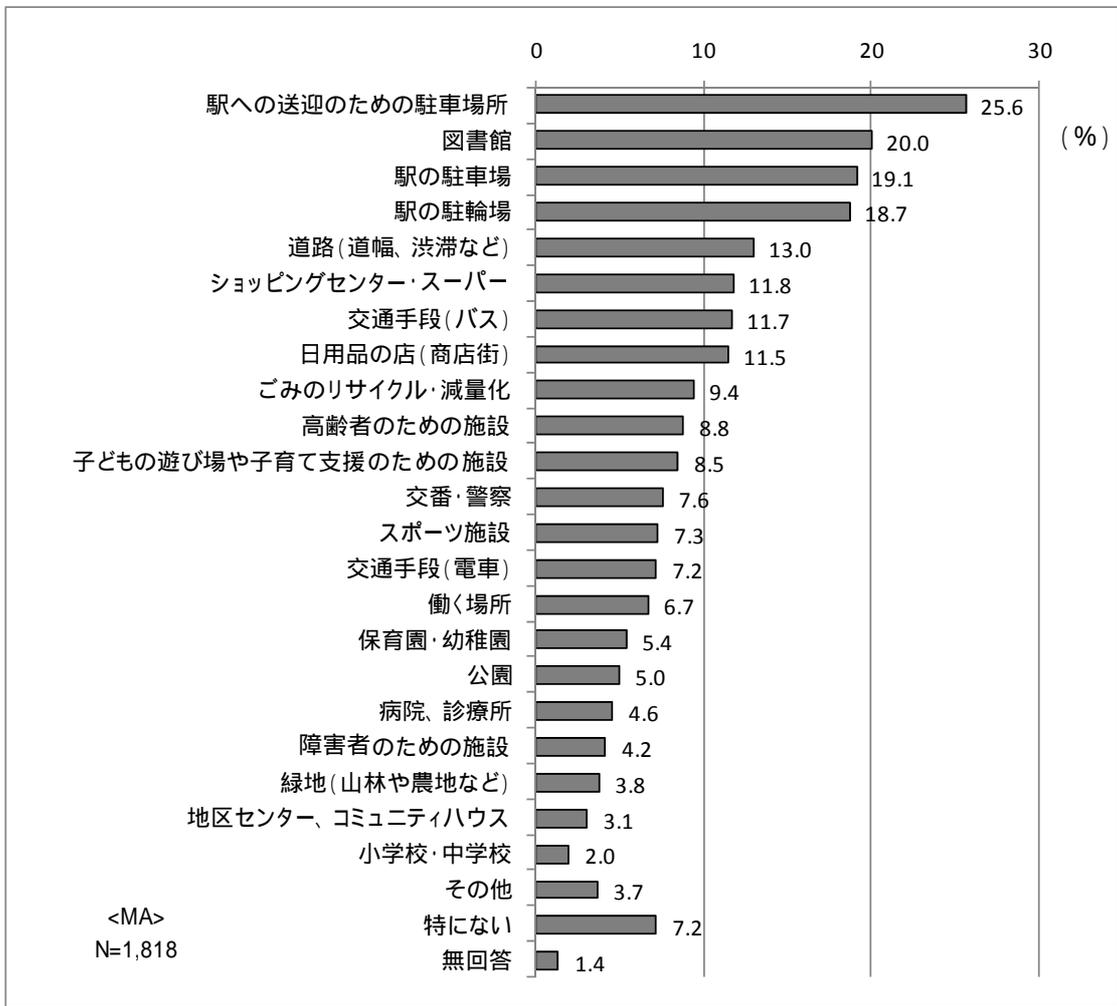
	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答
全体	1,467 -	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
駅への送迎のための駐車場所	392 26.7	25.0	33.8	26.5	30.8	17.5	38.5	23.2	26.4	33.7	20.6	30.2	19.2	20.0
図書館	305 20.8	7.9	26.5	28.9	24.6	25.0	29.6	24.2	34.4	10.9	10.3	10.5	30.1	23.3
駅の駐輪場	280 19.1	32.9	26.5	19.3	16.9	18.3	15.6	19.5	11.2	23.3	15.4	23.3	17.8	10.0
駅の駐車場	271 18.5	19.7	26.5	19.3	27.7	21.7	22.2	18.4	19.2	19.3	11.2	17.4	11.0	10.0
交通手段（バス）	202 13.8	17.1	16.2	10.8	13.8	15.0	15.6	2.6	34.4	11.9	15.0	10.5	8.2	6.7
道路（道幅、渋滞など）	198 13.5	11.8	16.2	8.4	10.8	10.8	16.3	28.4	12.0	9.4	13.6	4.7	9.6	3.3
日用品の店（商店街）	189 12.9	17.1	10.3	13.3	18.5	15.0	11.9	11.1	13.6	9.9	13.1	9.3	19.2	13.3
ショッピングセンター・スーパー	141 9.6	11.8	11.8	10.8	10.8	10.8	12.6	8.4	6.4	9.4	11.2	7.0	4.1	6.7
ごみのリサイクル・減量化	139 9.5	2.6	13.2	4.8	10.8	5.8	13.3	11.1	6.4	9.9	11.2	10.5	8.2	13.3
スポーツ施設	136 9.3	1.3	8.8	8.4	9.2	7.5	8.1	13.7	10.4	7.9	10.3	7.0	13.7	10.0
子どもの遊び場や子育て支援のための施設	133 9.1	5.3	5.9	9.6	16.9	10.8	8.9	12.1	4.8	6.9	10.3	7.0	11.0	6.7
保育園・幼稚園	123 8.4	9.2	4.4	12.0	15.4	9.2	7.4	4.2	10.4	9.9	9.8	5.8	5.5	3.3
高齢者のための施設	121 8.2	11.8	8.8	9.6	6.2	5.0	6.7	5.8	6.4	10.4	5.6	16.3	13.7	10.0
交番・警察	109 7.4	5.3	1.5	7.2	4.6	3.3	12.6	6.3	16.8	7.9	4.2	11.6	5.5	6.7
就労場所	103 7.0	9.2	10.3	1.2	6.2	10.0	3.7	8.4	8.8	6.4	5.6	9.3	4.1	13.3
交通手段（電車）	68 4.6	3.9	2.9	2.4	0.0	2.5	3.7	3.7	17.6	2.5	4.2	4.7	6.8	3.3
病院、診療所	59 4.0	5.3	4.4	4.8	3.1	2.5	2.2	0.5	4.8	6.4	5.6	3.5	6.8	0.0
障害者のための施設	59 4.0	6.6	7.4	4.8	1.5	4.2	3.0	4.2	4.0	5.0	2.3	5.8	2.7	0.0
公園	55 3.7	2.6	2.9	3.6	3.1	0.0	4.4	4.7	0.8	4.5	6.5	3.5	4.1	3.3
地区センター、コミュニティハウス	55 3.7	1.3	2.9	3.6	1.5	2.5	6.7	3.7	3.2	3.0	3.3	2.3	8.2	13.3
緑地（山林や農地など）	47 3.2	2.6	1.5	4.8	0.0	6.7	3.0	2.6	2.4	4.0	2.8	1.2	5.5	3.3
小学校・中学校	31 2.1	2.6	1.5	1.2	0.0	0.0	2.2	1.6	3.2	2.5	2.3	7.0	1.4	0.0
その他	75 5.1	1.3	1.5	6.0	0.0	4.2	3.0	6.3	8.8	3.5	10.3	2.3	4.1	6.7
特にない	121 8.2	5.3	1.5	9.6	1.5	9.2	5.2	8.9	5.6	10.9	11.2	12.8	6.8	10.0
無回答	31 2.1	1.3	2.9	3.6	0.0	2.5	1.5	3.2	0.8	2.5	2.3	0.0	2.7	3.3

（注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している）

<参考> 平成 21 年度調査結果との比較

- ・ 平成 20 年度調査でも今年度と同様「駅への送迎のための駐車場所」が最も多く、図書館と交通問題が上位項目を占めた。

図 <参考> 平成 21 年度調査結果

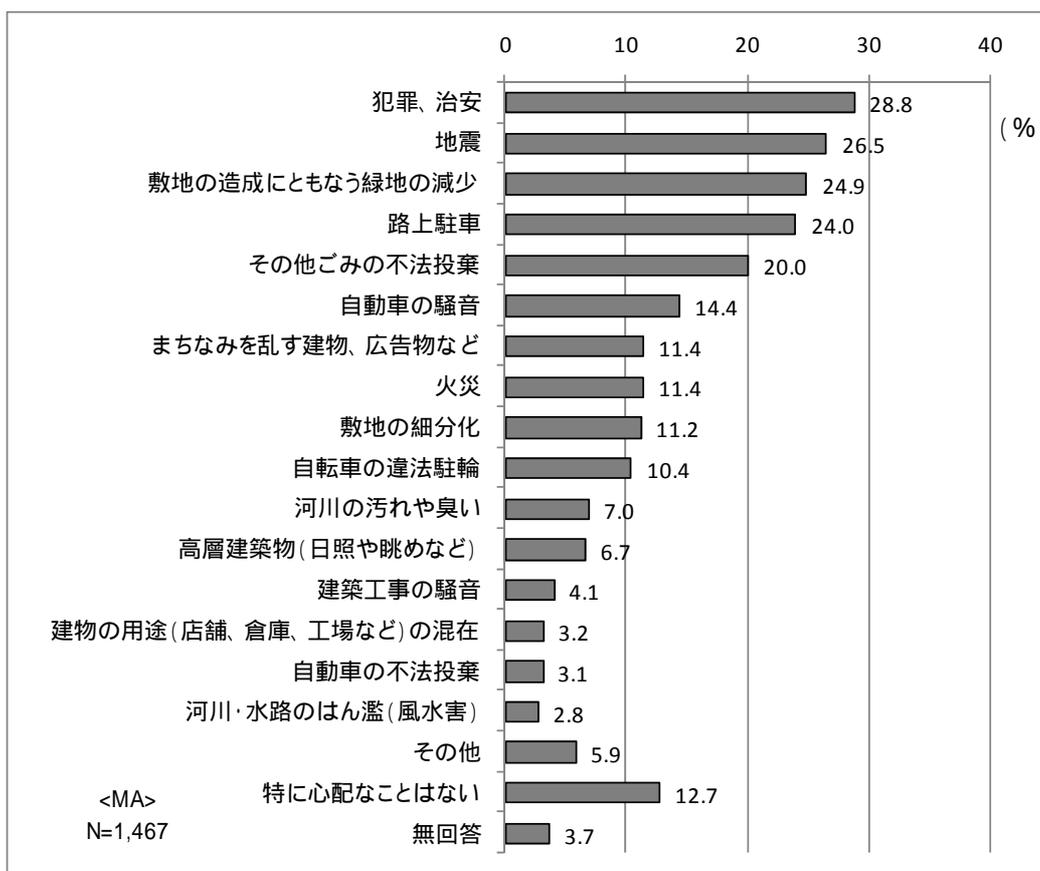


問3 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか(はいくつでも)

「犯罪、治安」が最も多い。以下「地震」「敷地の造成にともなう緑地の減少」「路上駐車」

- ・ 「犯罪、治安」が最も多く 28.8%で、3割近くの人が挙げている。次いで「地震」(26.5%)、「敷地の造成にともなう緑地の減少」(24.9%)、「路上駐車」(24.0%)を全体の4分の1程度の人が、「その他ごみの不法投棄」(20.0%)を2割前後の人が挙げている。
- ・ 一方、「特に心配なことはない」が12.7%と、1割以上の人が挙げている。

図 身近な住環境について心配なこと(はいくつでも)



年齢別 身近な住環境について心配なこと(問3×F1)

- ・ 10代では「特に心配なことはない」、20代から50代までの世代では「犯罪、治安」、60代では「敷地の造成にともなう緑地の減少」、70代以上では「地震」が、それぞれ最も多くなっており、世代によって回答の傾向が分かれた。
- ・ また、60代と70代以上では「敷地の細分化」の数値が他世代に比べてやや高くなっている。

図 年齢別 身近な住環境について心配なこと

		全体	犯罪、治安	地震	敷地の造成にともなう緑地の減少	路上駐車	その他ごみの不法投棄	自動車の騒音	まちなみを乱す建物、広告物など	火災	敷地の細分化	自転車の違法駐輪	河川の汚れや臭い	高層建築物（日照や眺めなど）	建築工事の騒音	建物の用途（店舗、倉庫、工場など）の混在	自動車の不法投棄	河川・水路のはん濫（風水害）	その他	特に心配なことはない	無回答
全体		1,467	422	389	365	352	294	211	167	167	164	153	102	98	60	47	46	41	86	187	54
全体		-	28.8	26.5	24.9	24.0	20.0	14.4	11.4	11.4	11.2	10.4	7.0	6.7	4.1	3.2	3.1	2.8	5.9	12.7	3.7
F1 年齢	10代	51	21.6	23.5	15.7	13.7	11.8	11.8	9.8	13.7	9.8	7.8	9.8	3.9	7.8	9.8	3.9	3.9	0.0	31.4	0.0
	20代	115	40.0	26.1	17.4	20.0	14.8	13.0	14.8	10.4	1.7	11.3	11.3	9.6	6.1	4.3	2.6	1.7	3.5	18.3	3.5
	30代	291	29.6	28.2	21.6	25.1	18.6	18.2	11.0	13.7	5.5	7.9	7.6	5.5	4.1	2.1	2.7	4.1	7.9	13.1	2.1
	40代	324	30.9	26.2	25.0	24.4	18.8	14.8	13.0	11.1	6.8	10.2	6.5	5.6	4.0	3.7	2.5	4.0	8.3	9.6	3.1
	50代	233	31.3	28.3	28.8	27.0	25.3	16.3	13.7	9.4	12.4	12.4	5.2	9.4	5.2	3.0	3.4	2.6	5.2	7.3	4.7
	60代	264	23.9	25.0	32.6	25.0	21.2	11.0	9.5	11.0	20.1	11.4	7.6	6.4	2.7	2.3	3.4	0.8	4.2	12.5	2.3
	70代以上	170	22.4	27.1	21.2	20.6	20.6	11.2	7.1	11.8	20.0	11.2	4.1	5.9	2.9	3.5	3.5	1.8	4.7	16.5	8.2
	無回答	19	26.3	10.5	21.1	31.6	31.6	15.8	10.5	5.3	15.8	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3	15.8	15.8

居住地域別 身近な住環境について心配なこと(問3×F12)

- ・ 一戸建て比率の高い中里連合自治会では「敷地の造成にともなう緑地の減少」が最も多くなっている。
- ・ 中里北部連合町内会・上谷本連合町内会・恩田連合自治会・青葉台連合自治会・奈良町、奈良北団地連合自治会では「犯罪、治安」が最も多い。
- ・ 市ヶ尾連合自治会・谷本連合自治会・荏田、荏田西、新荏田連合自治会・すすき野連合自治会・美しが丘連合自治会では「地震」が最も多い。
- ・ 山内連合自治会では「路上駐車」が最も高くなっており、地域ごとの特色がみられた。
- ・ また、恩田連合自治会では「敷地の細分化」の数値が他地域に比べてやや高くなっている。

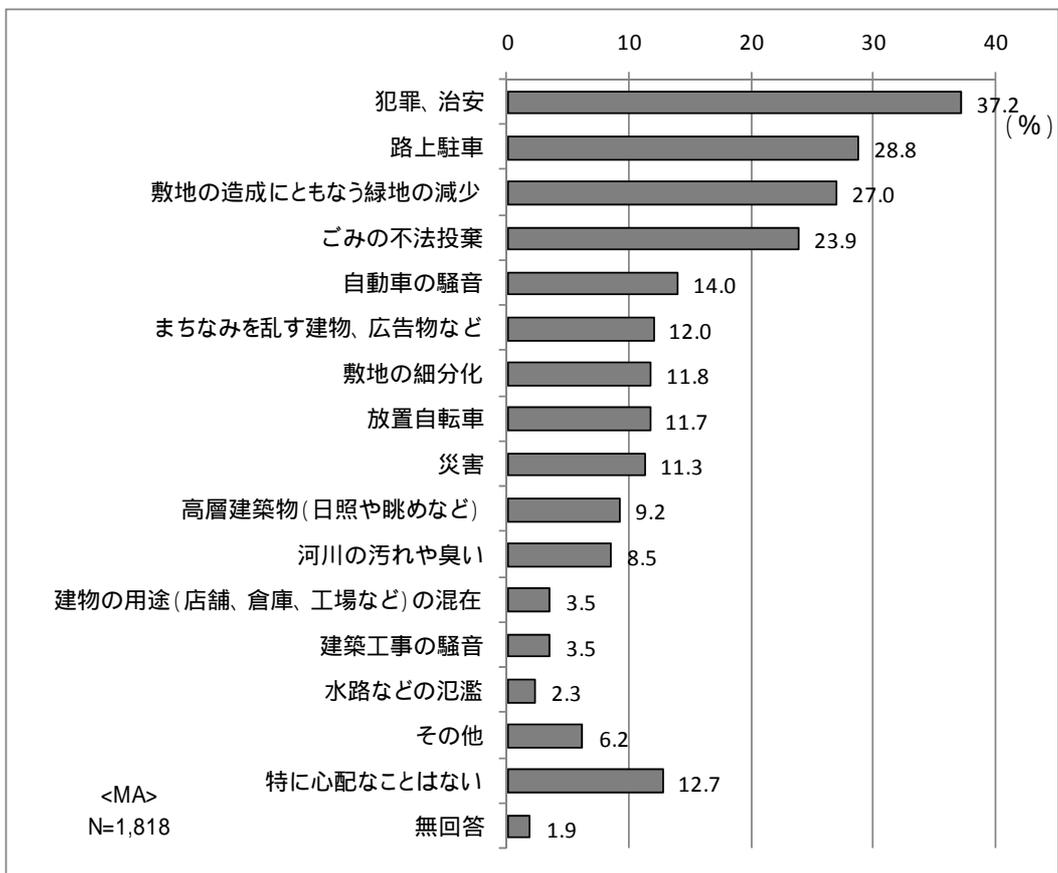
図 居住地域別 身近な住環境について心配なこと

	全体	犯罪、治安	地震	敷地の造成にともなう緑地の減少	路上駐車	その他ごみの不法投棄	自動車の騒音	まちなみを乱す建物、広告物など	火災	敷地の細分化	自転車の違法駐輪	河川の汚れや臭い	高層建築物(日照や眺めなど)	建築工事の騒音	建物の用途(店舗、倉庫、工場など)の混在	自動車の不法投棄	河川・水路のはん濫(風水害)	その他	特に心配なことはない	無回答
全体	1,467	422	389	365	352	294	211	167	167	164	153	102	98	60	47	46	41	86	187	54
全体	-	28.8	26.5	24.9	24.0	20.0	14.4	11.4	11.4	11.2	10.4	7.0	6.7	4.1	3.2	3.1	2.8	5.9	12.7	3.7
F12居住地																				
中里連合自治会	76	26.3	21.1	31.6	11.8	17.1	11.8	13.2	9.2	14.5	3.9	9.2	2.6	5.3	9.2	5.3	2.6	1.3	14.5	3.9
中里北部連合町内会	68	35.3	19.1	22.1	22.1	27.9	5.9	5.9	8.8	8.8	13.2	10.3	1.5	2.9	1.5	2.9	2.9	5.9	14.7	4.4
市ヶ尾連合自治会	83	28.9	31.3	24.1	25.3	25.3	18.1	7.2	15.7	12.0	13.3	10.8	10.8	4.8	1.2	7.2	6.0	3.6	9.6	3.6
上谷本連合町内会	65	35.4	30.8	26.2	32.3	27.7	12.3	7.7	18.5	9.2	6.2	10.8	6.2	4.6	4.6	6.2	4.6	3.1	15.4	0.0
谷本連合自治会	120	30.8	34.2	25.0	26.7	22.5	15.8	9.2	15.8	13.3	11.7	5.0	9.2	5.0	5.8	2.5	5.8	6.7	10.8	3.3
恩田連合自治会	135	36.3	20.7	26.7	27.4	20.0	7.4	14.8	4.4	20.7	8.9	7.4	3.0	6.7	3.0	4.4	1.5	4.4	13.3	3.7
青葉台連合自治会	190	32.1	27.9	24.2	26.3	17.9	17.4	13.2	11.1	10.0	13.7	3.7	10.0	7.4	3.7	3.2	2.6	4.7	8.9	5.3
奈良町、奈良北団地連合自治会	125	33.6	21.6	26.4	14.4	24.8	13.6	7.2	6.4	9.6	10.4	8.8	5.6	2.4	3.2	2.4	1.6	9.6	15.2	2.4
山内連合自治会	202	22.8	22.8	24.8	27.2	18.8	13.9	17.8	15.3	11.4	12.9	3.5	5.9	2.0	3.5	3.0	2.0	4.0	14.4	4.0
荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	23.4	26.2	20.6	22.0	19.2	21.5	10.7	12.1	7.5	9.3	7.9	9.8	2.8	1.9	1.4	3.3	8.4	14.0	2.3
すすき野連合自治会	86	17.4	32.6	31.4	26.7	11.6	10.5	9.3	10.5	12.8	8.1	11.6	2.3	2.3	2.3	1.2	1.2	4.7	12.8	5.8
美しが丘連合自治会	73	34.2	38.4	23.3	27.4	13.7	8.2	8.2	9.6	4.1	6.8	2.7	5.5	4.1	0.0	1.4	1.4	11.0	8.2	4.1
無回答	30	20.0	23.3	20.0	13.3	16.7	23.3	13.3	6.7	10.0	10.0	6.7	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0	10.0	16.7	6.7

<参考> 平成 21 年度調査結果との比較

- ・ 平成 21 年度調査でも今年度と同様「犯罪、治安」が最も多かった。
- ・ なお、今年度は「災害」から「地震」を独立した選択項目として扱ったところ、「犯罪、治安」に次いで第二位に上がっている。

図 <参考> 平成 21 年度調査結果



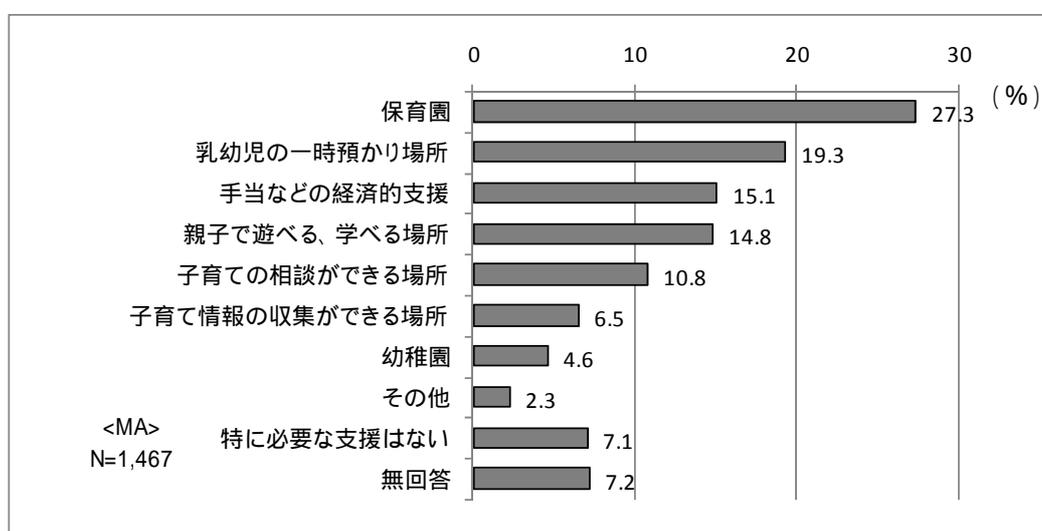
2. 健康・子育てについて

問4 子育て中の家庭を支援するためには、どのようなことを充実する必要があると考えますか
(はいくつでも*)

「保育園」が最も多く、3割近くが挙げている

- ・ 「保育園」が最も多く27.3%である。次いで「乳幼児の一時預かり場所」(19.3%)、「手当などの経済的支援」(15.1%)、「親子で遊べる、学べる場所」(14.8%)などの順となっており、「特に必要な支援はない」は7.1%であった。

図 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(はいくつでも*)



* 本来単一回答の設問であるが、複数選択した回答者が多かったため複数回答扱いとして集計した。

年齢別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F1)

- ・ 10代のみ「親子で遊べる、学べる場所」、それ以外の世代では「保育園」が最も多くなっている。
- ・ また、子育ての中心世代である20代、30代で「手当などの経済的支援」の数値が他に比べて高い。

図 年齢別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全 体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F 1 年齢	10代	51	19.6	15.7	19.6	35.3	13.7	5.9	3.9	3.9	3.9	0.0
	20代	115	28.7	20.9	25.2	16.5	8.7	10.4	10.4	1.7	8.7	2.6
	30代	291	27.5	17.5	26.1	16.5	5.2	4.1	5.2	4.5	2.7	2.7
	40代	324	25.0	23.1	20.1	16.4	8.6	8.0	4.6	3.4	4.9	3.1
	50代	233	34.3	20.2	7.7	10.3	15.9	8.6	3.9	2.1	8.6	6.9
	60代	264	31.1	19.7	5.3	12.5	13.6	5.7	2.3	0.4	9.5	8.7
	70代以上	170	18.8	13.5	4.7	12.4	12.9	4.7	4.7	0.0	12.9	23.5
	無回答	19	15.8	15.8	5.3	5.3	15.8	0.0	5.3	0.0	5.3	31.6

子どもの有無及び段階別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F8)

- ・ 子どもが中学生までの家庭では「手当などの経済的支援」、それ以外では「保育園」が最も多くなっている。
- ・ また、各種学校、専修・専門学校在学中では「子育ての相談ができる場所」「乳幼児の一時預かり場所」の数値が他に比べて高くなっている。

図 子どもの有無及び段階別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F 8 子どもの有無及び段階	小学校入学前	175	26.9	20.0	28.6	20.6	3.4	5.7	7.4	4.0	1.7	0.6
	小学校在学中	197	14.7	13.2	35.5	21.3	5.6	8.6	4.1	7.1	2.0	2.0
	中学校在学中	141	20.6	19.1	29.1	14.9	10.6	7.8	5.0	5.0	3.5	2.1
	高校在学中	95	32.6	16.8	13.7	16.8	7.4	9.5	3.2	3.2	8.4	3.2
	各種学校、専修・専門学校在学中	13	46.2	30.8	7.7	7.7	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0
	短大・大学・大学院在学中	105	32.4	21.0	9.5	15.2	15.2	6.7	2.9	2.9	4.8	4.8
	学校教育終了 未婚 同居	206	33.0	20.4	4.4	10.7	18.0	8.7	2.9	0.5	11.2	9.2
	学校教育終了 未婚 別居	130	33.1	18.5	7.7	16.2	12.3	3.8	3.1	0.8	6.9	6.9
	学校教育終了 既婚 同居	51	29.4	21.6	3.9	7.8	13.7	7.8	3.9	0.0	17.6	5.9
	学校教育終了 既婚 別居	264	28.8	18.2	6.4	12.1	11.4	6.1	3.4	0.0	7.6	12.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	子どもはいない	407	28.5	19.9	14.3	15.2	10.6	5.9	5.4	2.2	8.4	6.1
	無回答	69	24.6	17.4	13.0	8.7	13.0	5.8	5.8	0.0	8.7	23.2

共働きか否か別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F9)

- ・ いずれも「保育園」が最も多いが、共働きの家庭ではそうでない家庭を 10.6 ポイント上回っている。

図 共働きか否か別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F9 共働き	はい	409	35.2	20.8	17.6	11.0	12.0	7.6	3.9	3.4	6.6	3.2
	いいえ	1,016	24.6	18.3	14.5	16.3	10.4	6.1	4.9	2.0	7.3	8.5
	無回答	42	16.7	28.6	4.8	14.3	7.1	7.1	4.8	0.0	7.1	16.7

同居している子ども別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F10)

- ・ 子どもが中学生までの家庭では「手当などの経済的支援」、それ以外では「保育園」が最も多くなっている。

図 同居している子ども別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F10 同居している子ども	乳幼児・未就学児	185	25.4	19.5	29.2	20.0	3.8	5.4	7.0	3.8	2.2	0.5
	小学生	217	15.2	13.8	34.6	21.2	6.0	8.3	5.1	6.5	2.3	2.3
	中学生	160	21.9	19.4	27.5	17.5	11.3	7.5	4.4	3.8	3.8	3.1
	高校生	107	30.8	16.8	12.1	17.8	8.4	8.4	2.8	2.8	9.3	4.7
	専門学校生、大学生	131	32.1	22.1	10.7	15.3	14.5	6.1	3.8	3.1	6.1	4.6
	上記にあてはまる家族はいない	833	28.9	19.7	9.2	12.4	13.1	6.0	4.3	1.1	8.9	9.8
	無回答	39	15.4	25.6	7.7	10.3	7.7	7.7	5.1	0.0	10.3	23.1

子どもの世話をする人の有無別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F10-1)

- 小学生以下の子どもがいる家庭で、子どもの世話をする人がいるケースでは「手当などの経済的支援」、いないケースでは「保育園」が最も多くなっている。

図 子どもの世話をする人の有無別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F10-1 子どもの世話をする人	いる	288	19.1	16.0	31.3	21.2	5.6	8.0	6.9	4.5	2.4	1.0
	いない	62	32.3	14.5	29.0	14.5	4.8	4.8	3.2	11.3	0.0	3.2
	無回答	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

居住地域別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと(問4×F12)

- 美しが丘連合自治会のみ「乳幼児の一時預かり場所」が、それ以外の地域では「保育園」が最も多くなっている。

図 居住地域別 子育て中の家庭を支援するために充実すべきこと

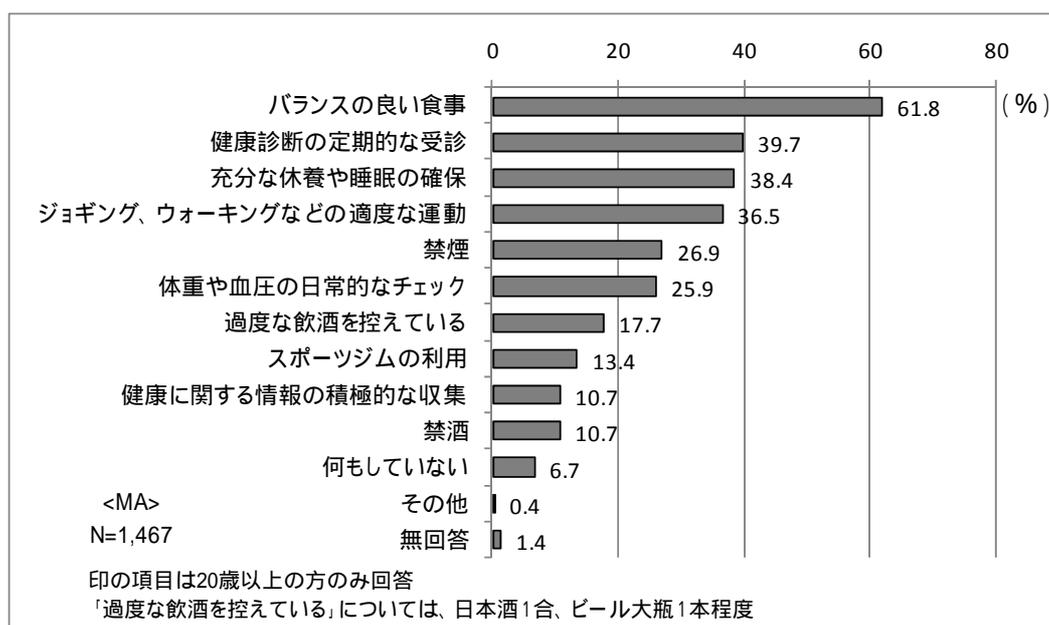
		全体	保育園	乳幼児の一時預かり場所	手当などの経済的支援	親子で遊べる、学べる場所	子育ての相談ができる場所	子育て情報の収集ができる場所	幼稚園	その他	特に必要な支援はない	無回答
全体		1,467	401	283	221	217	158	96	68	34	104	106
全体		-	27.3	19.3	15.1	14.8	10.8	6.5	4.6	2.3	7.1	7.2
F12 居住地	中里連合自治会	76	30.3	19.7	19.7	9.2	14.5	11.8	3.9	0.0	5.3	6.6
	中里北部連合町内会	68	26.5	10.3	20.6	10.3	7.4	7.4	0.0	1.5	14.7	4.4
	市ヶ尾連合自治会	83	30.1	19.3	19.3	15.7	13.3	4.8	6.0	0.0	8.4	7.2
	上谷本連合町内会	65	32.3	23.1	6.2	16.9	9.2	4.6	4.6	1.5	6.2	7.7
	谷本連合自治会	120	31.7	18.3	15.8	15.0	6.7	5.8	5.0	1.7	10.0	5.8
	恩田連合自治会	135	31.1	20.0	10.4	17.8	8.9	5.2	2.2	3.7	4.4	8.9
	青葉台連合自治会	190	22.1	20.0	17.4	16.8	10.5	7.9	4.7	3.7	5.3	7.4
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	32.8	16.0	8.8	13.6	15.2	8.8	2.4	2.4	9.6	6.4
	山内連合自治会	202	23.8	21.3	18.8	15.3	10.9	6.4	4.0	1.5	9.4	6.9
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	28.0	18.7	14.0	14.5	9.8	5.6	7.9	2.3	5.1	8.9
	すすき野連合自治会	86	25.6	15.1	17.4	9.3	12.8	7.0	5.8	4.7	5.8	7.0
	美しが丘連合自治会	73	20.5	26.0	16.4	19.2	12.3	2.7	5.5	4.1	1.4	4.1
	無回答	30	20.0	26.7	0.0	13.3	10.0	6.7	6.7	0.0	10.0	13.3

問5 あなたは、健康づくりのために取り組んでいることはありますか(はい/いつでも)
(印の項目は20歳以上のみ)

「バランスの良い食事」を挙げる人が圧倒的に多くなっている

- ・ 「バランスの良い食事」が圧倒的に多く 61.8%と、6割強の人が挙げている。次いで「健康診断の定期的な受診」(39.7%)、「十分な休養や睡眠の確保」(38.4%)、「ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動」(36.5%)が4割弱で続く。

図 健康づくりのために取り組んでいること(はい/いつでも)



年齢別 健康づくりのために取り組んでいること(問5×F1)

- ・ 20代で「十分な休養や睡眠の確保」、他世代では「バランスの良い食事」が最も多い。
- ・ 10代では「何もしていない」の数値が他に比べて高くなっている。また、50代以上の世代で「健康診断の定期的な受診」、60代以上の世代で「体重や血圧の日常的なチェック」が他に比べて高くなっているほか、60代では「ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動」、70代以上では「健康に関する情報の積極的な収集」「禁煙」「禁酒」「過度な飲酒を控えている」も他に比べて高く、高齢者層ほど健康づくりに熱心に取り組んでいることが表れている。

図 年齢別 健康づくりのために取り組んでいること

	全体	バランスの良い食事	健康診断の定期的な受診	十分な休養や睡眠の確保	ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動	禁煙	体重や血圧の日常的なチェック	過度な飲酒を控えている	スポーツジムの利用	健康に関する情報の積極的な収集	禁酒	何もしていない	その他	無回答
全体	1,467	906	582	564	535	395	380	259	197	157	157	99	6	21
	-	61.8	39.7	38.4	36.5	26.9	25.9	17.7	13.4	10.7	10.7	6.7	0.4	1.4
F1 年齢	51	45.1	5.9	29.4	33.3	0.0	2.0	0.0	5.9	2.0	0.0	21.6	0.0	9.8
10代	115	47.8	14.8	48.7	25.2	22.6	8.7	17.4	14.8	7.8	10.4	12.2	0.9	0.0
20代	291	56.7	22.3	40.2	26.5	24.1	11.0	14.4	8.2	4.8	6.9	12.4	0.7	1.0
30代	324	64.8	42.3	38.3	27.8	20.7	21.3	17.9	16.4	9.9	9.3	6.5	0.0	0.6
40代	233	65.7	51.1	35.2	42.5	26.6	27.9	16.3	15.0	10.3	8.2	3.4	0.9	0.9
50代	264	66.3	52.7	36.7	52.7	34.5	37.9	18.6	15.2	15.2	14.8	2.3	0.4	0.8
60代	170	66.5	55.3	38.8	43.5	43.5	57.1	27.6	14.1	20.6	21.8	1.2	0.0	2.9
70代以上	19	63.2	42.1	36.8	52.6	26.3	31.6	26.3	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	10.5
無回答														

男女別 健康づくりのために取り組んでいること(問5×F2)

- ・ 男女とも「バランスの良い食事」が最も多いが、女性は男性を16.1ポイント上回っている。

図 男女別 健康づくりのために取り組んでいること

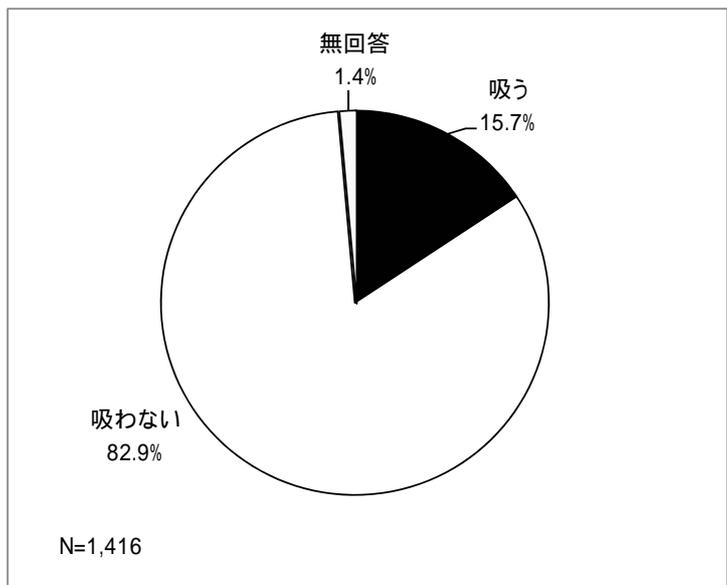
	全体	バランスの良い食事	健康診断の定期的な受診	十分な休養や睡眠の確保	ジョギング、ウォーキングなどの適度な運動	禁煙	体重や血圧の日常的なチェック	過度な飲酒を控えている	スポーツジムの利用	健康に関する情報の積極的な収集	禁酒	何もしていない	その他	無回答
全体	1,467	906	582	564	535	395	380	259	197	157	157	99	6	21
	-	61.8	39.7	38.4	36.5	26.9	25.9	17.7	13.4	10.7	10.7	6.7	0.4	1.4
F2 性別	593	52.4	38.3	31.2	41.1	31.4	26.3	22.8	13.7	6.4	10.8	6.9	0.3	1.9
男性	842	68.5	40.6	43.6	33.0	23.8	25.4	14.3	13.7	13.7	10.9	6.7	0.5	1.0
女性	32	56.3	40.6	37.5	40.6	28.1	31.3	12.5	3.1	12.5	3.1	6.3	0.0	6.3
無回答														

問6 あなたはたばこを吸いますか？（20歳以上のみ）

たばこを吸わない人が全体の8割以上を占める

- ・ 「吸う」が15.7%、「吸わない」が82.9%と8割以上を占め、圧倒的多数がたばこを吸わないとしている。

図 喫煙の有無



年齢別 喫煙の有無(問6 × F1)

- ・ 最も喫煙率が高いのは40代、低いのは70代以上となっている。

男女別 喫煙の有無(問6 × F2)

- ・ 男女とも「吸わない」が圧倒的に多いが、男性の方が女性より喫煙者が13.6ポイント多い。

図 年齢別 喫煙の有無

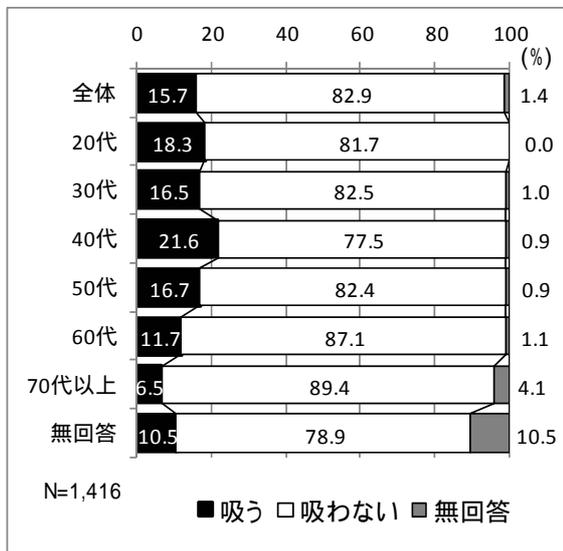
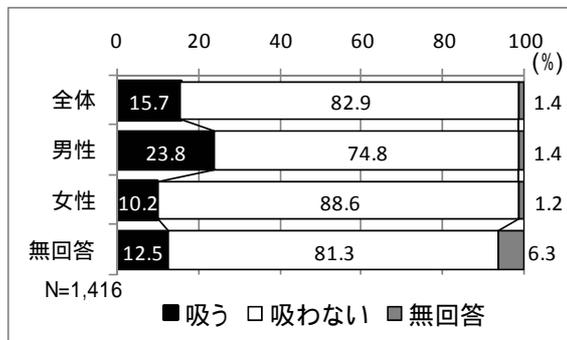


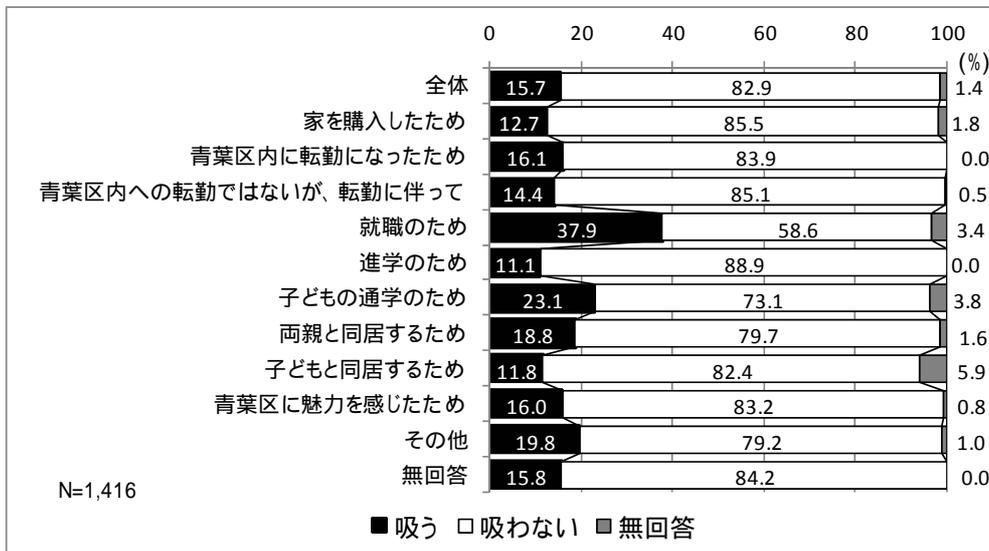
図 男女別 喫煙の有無



転入理由別 喫煙の有無(問6×F4 - 1)

- ・ 転入理由が「就職のため」のケースでは、喫煙率が突出しており4割近くになっている。

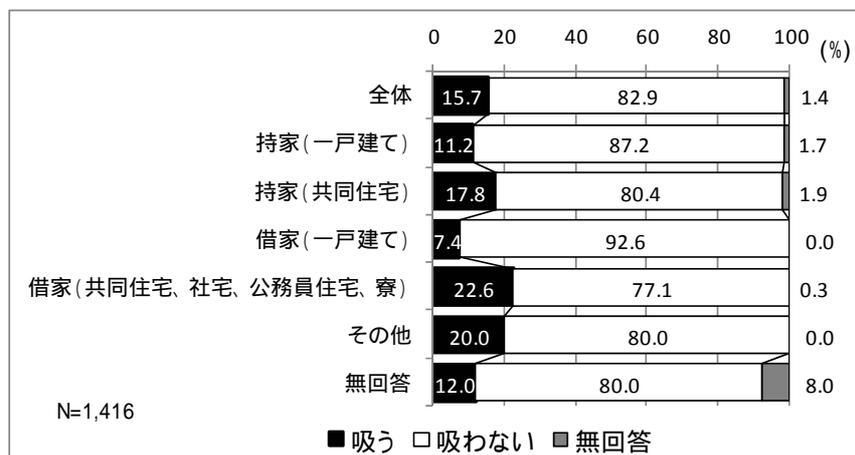
図 転入理由別 喫煙の有無



住居形態別 喫煙の有無(問6×F5)

- ・ 最も喫煙率が高いのは「借家(共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)」となっている。また、一戸建ての喫煙率が低くなっている。

図 住居形態別 喫煙の有無

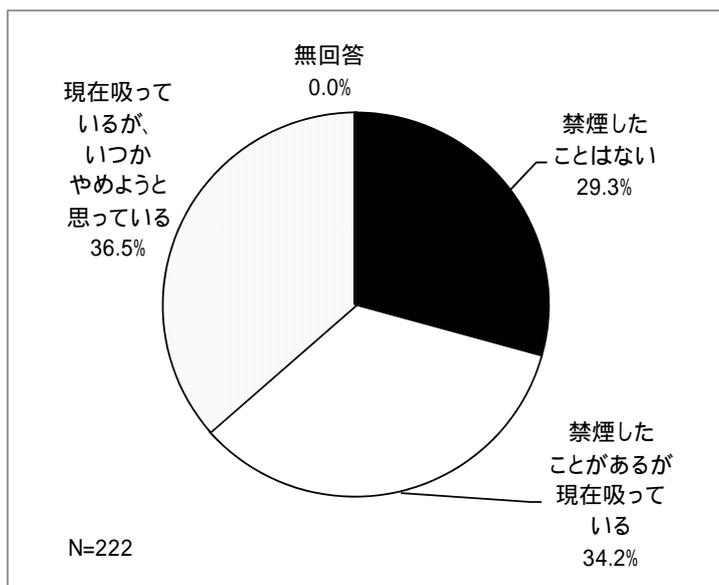


問6 - 1 あなたは禁煙に取り組んだことはありますか

禁煙したことがある、あるいはしようと思っている人は、喫煙者の7割

- 喫煙者に禁煙の経験を聞いたところ、「現在吸っているが、いつかやめようと思っている」が36.5%で最も多く、次いで「禁煙したことがあるが現在吸っている」が34.2%と小差で続く。これらを合わせると、禁煙したことがある、あるいはしようと思っている人は喫煙者の7割に達している。「禁煙したことはない」は29.3%である。

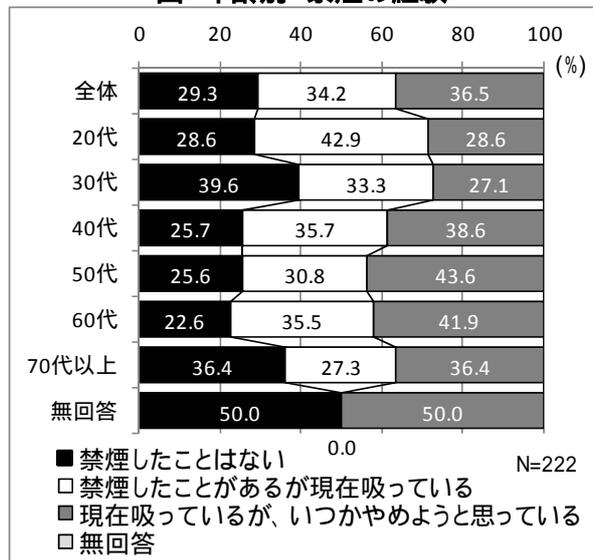
図 禁煙の経験



年齢別 禁煙の経験(問6 - 1 × F1)

- 30代で「禁煙したことはない」、20代では「禁煙したことがあるが現在吸っている」、40代から60代は「現在吸っているが、いつかやめようと思っている」が最も多く、70代以上で「禁煙したことはない」「現在吸っているが、いつかやめようと思っている」が同率となっている。

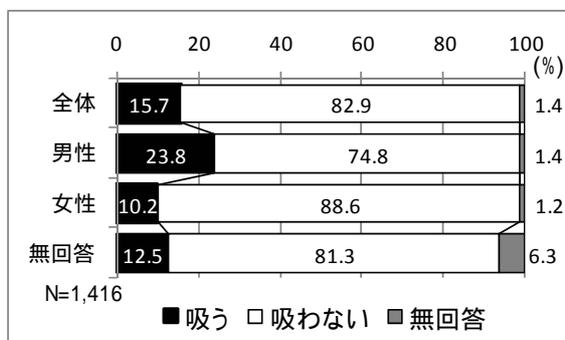
図 年齢別 禁煙の経験



男女別 禁煙の経験(問6 - 1 × F2)

- ・ 男性は「禁煙したことがあるが現在吸っている」、女性は「現在吸っているが、いつかやめようと思っている」が最も多くなっている。また、男性は女性より「禁煙したことはない」の数値が10ポイント近く高い。

図 男女別 禁煙の経験

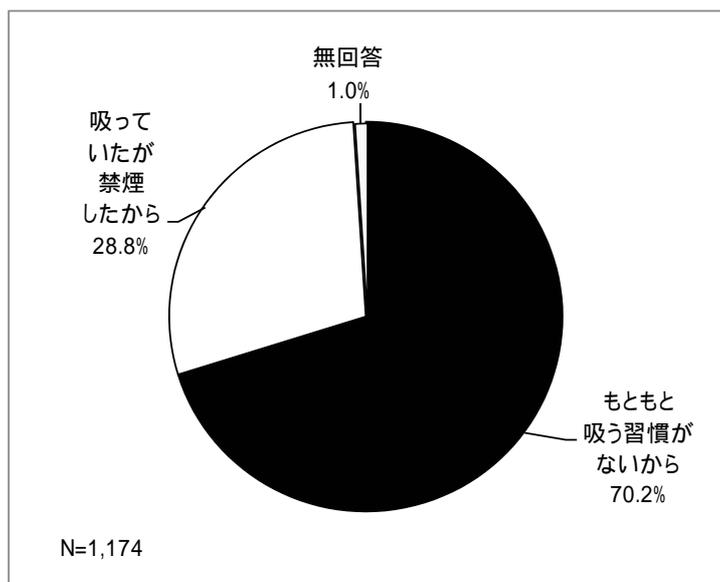


問6 - 2 あなたがたばこを吸わない理由は何ですか

非喫煙者が喫煙しない理由は「もともと喫煙の習慣がないため」が多いが、禁煙した人も3割弱

- ・ 非喫煙者に吸わない理由を聞いたところ「もともと吸う習慣がないから」が70.2%で7割を占めるが、「吸っていたが禁煙した」も28.8%と、3割弱に達している。

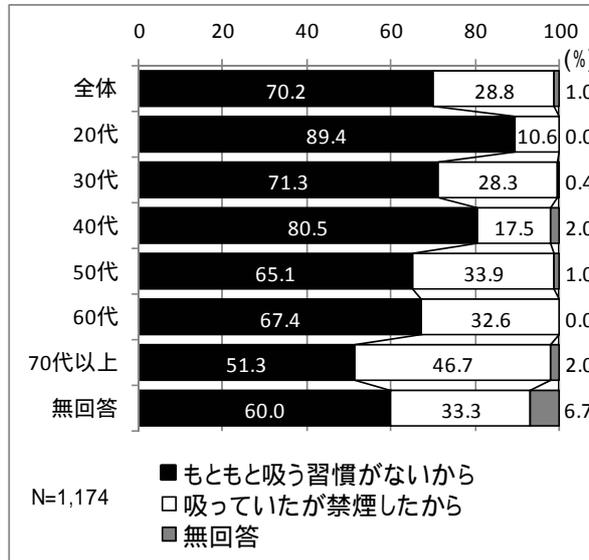
図 喫煙しない理由



年齢別 喫煙しない理由(問6 - 2 × F1)

- ・ いずれの世代も「もともと吸う習慣がないから」が多く、特に20代では9割近くにのぼる。一方70代以上では5割程度に留まり、「吸っていたが禁煙したから」との差はわずかとなっている。

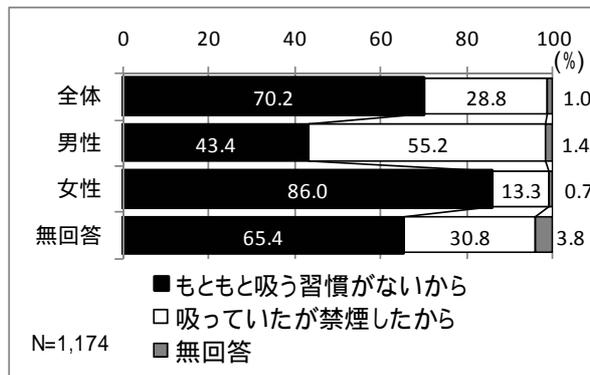
図 年齢別 喫煙しない理由



男女別 喫煙しない理由(問6 - 2 × F2)

- ・ 男性は「吸っていたが禁煙したから」の方が多く、過半数を超えている。女性は「もともと吸う習慣がないから」が9割近くに達しており、男女で傾向がはっきりと分かれた。

図 男女別 喫煙しない理由

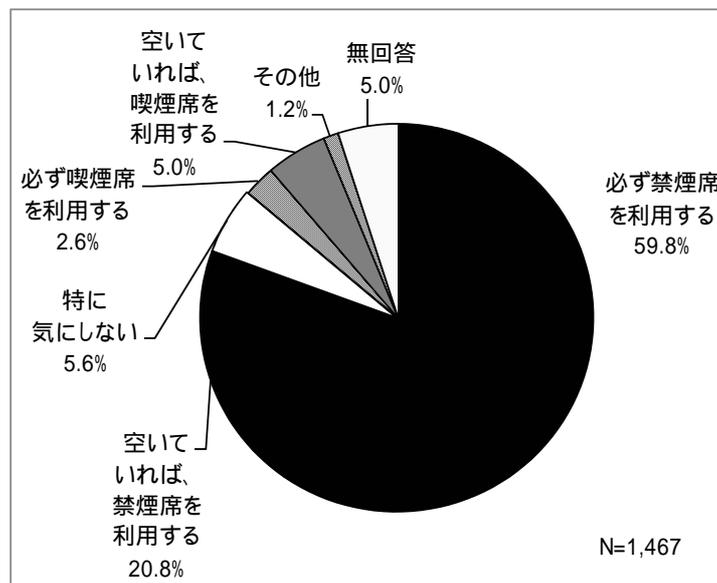


問7 飲食店では禁煙席・喫煙席のどちらを選択しますか？

8割の人が禁煙席の利用を希望している

- ・ 「必ず禁煙席を利用する」が 59.8%と過半数を占め、最も多くなっている。次に「空いていれば、禁煙席を利用する」が 20.8%で、この2つを合わせると8割の人が禁煙席の利用を希望している。次いで「特に気にしない」(5.6%)、「空いていれば、喫煙席を利用する」(5.0%)、「必ず喫煙席を利用する」(2.6%)、「その他」(1.2%)となっており、「必ず喫煙席を利用する」「空いていれば、喫煙席を利用する」を合わせても喫煙席の希望者は全体の1割に達していない。

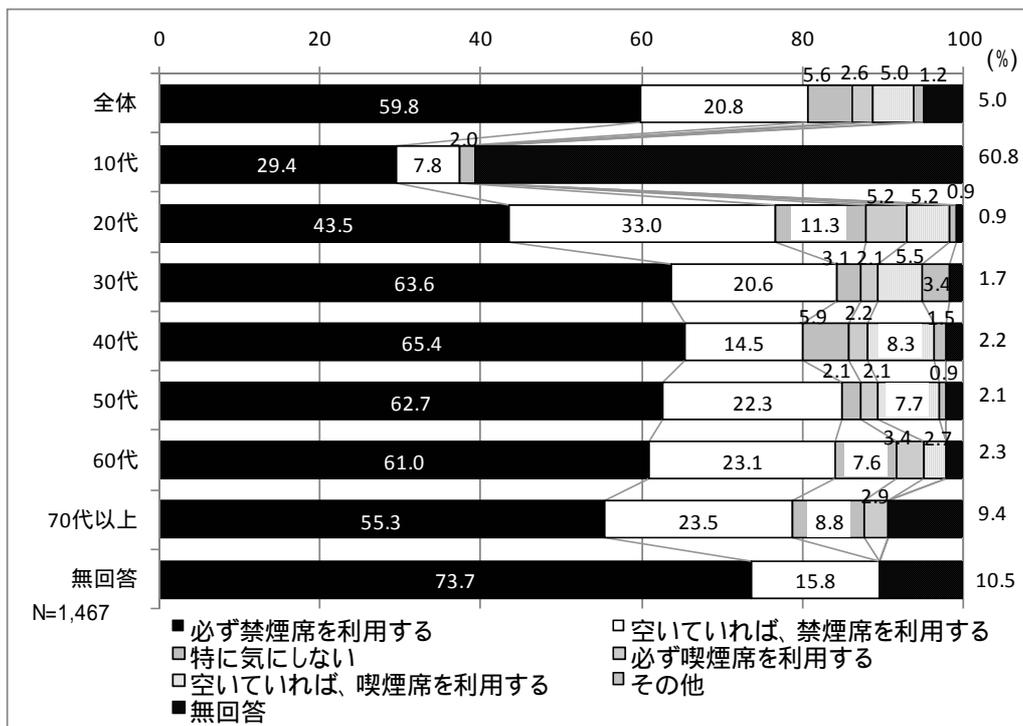
図 禁煙席・喫煙席の希望



年齢別 禁煙席・喫煙席の希望(問7×F1)

- いずれの世代も「必ず禁煙席を利用する」が多く、特に30代から60代では6割を超える。20代では「空いていれば禁煙席を利用する」の数値が高い。なお10代は無回答が6割に達しているが、問6で10代は回答の対象外だったため、こちらも対象外と考えた人が多かったものと考えられる。

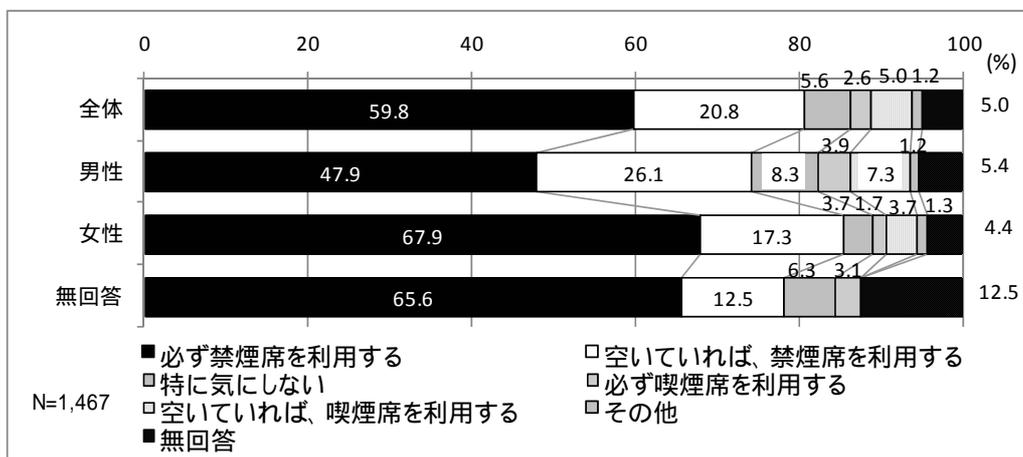
図 年齢別 禁煙席・喫煙席の希望



男女別 禁煙席・喫煙席の希望(問7×F2)

- 男女とも「必ず禁煙席を利用する」が最も多いが、特に女性では7割近くに達しており、男性を20ポイント上回っている。女性は「必ず禁煙席を利用する」「空いていれば、禁煙席を利用する」を合わせると9割近く、圧倒的に禁煙席の希望が多くなっている。

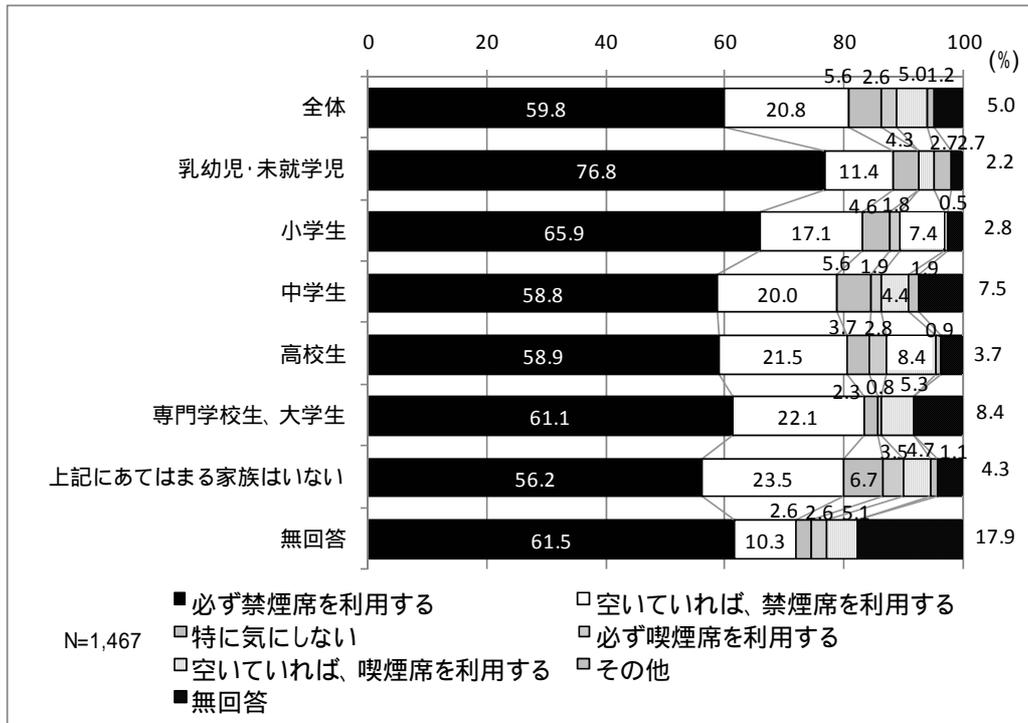
図 男女別 禁煙席・喫煙席の希望



同居している子ども別 禁煙席・喫煙席の希望(問7×F10)

- ・ いずれも「必ず禁煙席を利用する」が最も多いが、特に子どもが乳幼児・未就学児のケースでは8割近くに達している。

図 同居している子ども別 禁煙席・喫煙席の希望



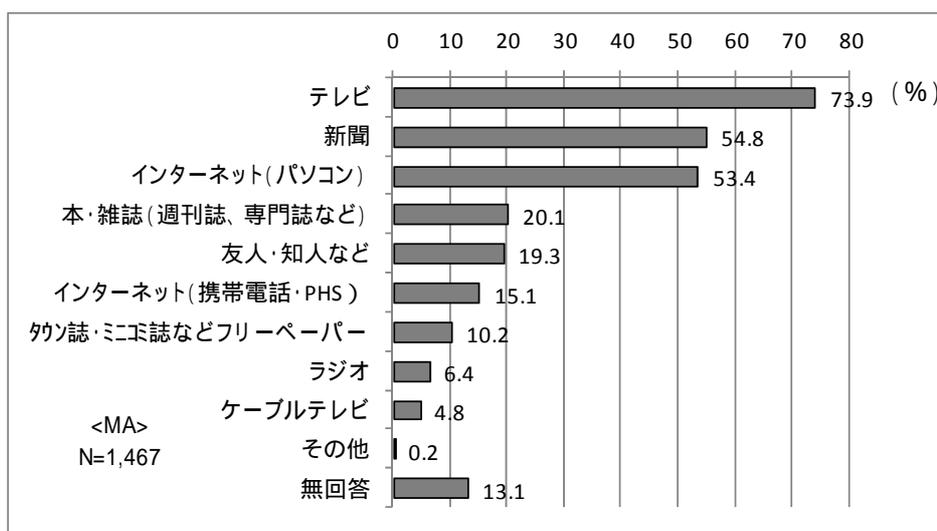
3. 情報関係について

問8 あなたが、普段、よく利用している情報源は何ですか(よく利用する順に3つまで)

7割が「テレビ」、半数強が「新聞」「インターネット」を挙げている

- 「テレビ」が最も多く73.9%と、7割以上の方が挙げている。次いで「新聞」が54.8%、「インターネット(パソコン)」が53.4%である。

図 普段よく利用している情報源(よく利用する順に3つまで)



割合(除無回答)					
1位 N=1,275		2位 N=1,268		3位 N=1,245	
テレビ	48.9	新聞	31.0	インターネット(パソコン)	18.8
インターネット(パソコン)	23.3	テレビ	23.4	友人・知人など	17.0
新聞	18.7	インターネット(パソコン)	19.9	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	16.6
インターネット(携帯電話・PHS)	4.0	インターネット(携帯電話・PHS)	8.0	新聞	13.9
ケーブルテレビ	1.3	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	5.9	テレビ	13.1
友人・知人など	1.2	友人・知人など	4.4	月刊誌・ミコミ誌などフリーペーパー	8.4
本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	1.0	月刊誌・ミコミ誌などフリーペーパー	3.2	インターネット(携帯電話・PHS)	5.6
ラジオ	1.0	ケーブルテレビ	2.3	ラジオ	4.5
月刊誌・ミコミ誌などフリーペーパー	0.5	ラジオ	2.0	ケーブルテレビ	1.9
その他	0.1	その他	0.0	その他	0.2
無回答	-	無回答	-	無回答	-

年齢別 普段よく利用している情報源(問8×F1)

- 10代から50代までは「テレビ」、60代より上の世代では「新聞」が最も多くなっており、60代を境に回答が分かれた。
- また、インターネット関連では若い世代ほど数値が高くなっている。10代から40代までの世代で「インターネット(パソコン)」が7割を超え、10代から30代までの世代で「インターネット(携帯電話・PHS)」の数値が他に比べて高い。
- 他にも10代では「友人・知人など」、70代以上では「ラジオ」の数値が高くなっている。
- 年齢別に、それぞれ1位、2位、3位にどの項目が多く挙げられていたかをみると、1位はいずれの世代も「テレビ」であるが、2位では、10代で「インターネット(携帯電話・PHS)」、20代、30代では「テレビ」、中高年齢層では「新聞」が最も多かった。3位では、10代、50代、70代以上で「友人・知人など」、20代、40代、60代で「インターネット(パソコン)」、30代で「本・雑誌(週刊誌、専門誌など)」となっている。

図 年齢別 普段よく利用している情報源

	全体	テレビ	新聞	インターネット(パソコン)	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	友人・知人など	インターネット(携帯電話・PHS)	フリーペーパー(タウン誌・ミニコミ誌など)	ラジオ	ケーブルテレビ	その他	無回答
全体	1,467	1,084	804	783	295	283	222	150	94	70	3	192
	-	73.9	54.8	53.4	20.1	19.3	15.1	10.2	6.4	4.8	0.2	13.1
F1 年齢												
10代	51	84.3	25.5	76.5	5.9	41.2	58.8	0.0	3.9	2.0	0.0	0.0
20代	115	80.0	27.0	73.0	20.9	17.4	41.7	10.4	6.1	5.2	0.0	5.2
30代	291	80.1	40.9	70.4	24.7	23.0	26.1	13.4	3.4	1.7	0.0	4.8
40代	324	77.2	60.2	70.1	20.4	16.0	13.6	9.9	3.1	5.9	0.0	7.1
50代	233	77.7	65.2	49.8	17.2	19.7	6.9	12.4	6.0	4.7	0.0	12.9
60代	264	65.5	68.9	32.6	21.6	17.8	2.3	8.7	9.1	5.7	0.4	21.6
70代以上	170	57.6	61.2	9.4	16.5	15.9	0.0	7.1	15.9	7.6	1.2	34.1
無回答	19	73.7	42.1	52.6	26.3	15.8	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	21.1

		1位	2位	3位
全体		テレビ	42.5 新聞	26.8 インターネット(パソコン)
F1 年齢	10代	テレビ	39.2 インターネット(携帯電話・PHS)	27.5 友人・知人など
	20代	テレビ	40.9 テレビ	28.7 インターネット(パソコン)
	30代	テレビ	41.9 テレビ	22.3 本・雑誌(週刊誌、専門誌など)
	40代	テレビ	48.5 新聞	28.7 インターネット(パソコン)
	50代	テレビ	45.1 新聞	32.2 友人・知人など
	60代	テレビ	40.9 新聞	36.0 インターネット(パソコン)
	70代以上	テレビ	33.5 新聞	28.8 友人・知人など
	無回答	テレビ	42.1 テレビ新聞	26.3 本・雑誌(週刊誌、専門誌など)

同居している子ども別 普段よく利用している情報源(問8×F10)

- ・ いずれも「テレビ」が最も多く、7割台となっている。
- ・ 高校生までの子どもがいる世帯では「インターネット(パソコン)」の割合が高い。また、乳幼児のいる世帯で「友人・知人など」、高校生のいる世帯では「新聞」の数値が、他に比べて高くなっている。
- ・ それぞれ1位、2位、3位にどの項目が多く挙げられていたかをみると、1位ではいずれの世帯も「テレビ」、2位では乳幼児のいる世帯で「テレビ」が最も多いのを除き、「新聞」となっている。3位は分散し、乳幼児のいる世帯では「友人・知人など」、小学生から高校生までの子どもがいる世帯では「インターネット(携帯電話・PHS)」、子どもが専門学校生・大学生の世帯では「テレビ」、これらにあてはまらない世帯では「本・雑誌(週刊誌、専門誌など)」となっている。

図 同居している子ども別 普段よく利用している情報源

		全体	テレビ	新聞	インターネット(パソコン)	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	友人・知人など	インターネット(携帯電話・PHS)	タウン誌・ミニコミ誌など フリーペーパー	ラジオ	ケーブルテレビ	その他	無回答
全体		1,467	1,084	804	783	295	283	222	150	94	70	3	192
全体		-	73.9	54.8	53.4	20.1	19.3	15.1	10.2	6.4	4.8	0.2	13.1
F10 同居して いる子ども	乳幼児・未就学児	185	71.4	48.1	65.4	21.1	28.1	21.1	17.8	6.5	3.2	0.0	4.9
	小学生	217	77.0	55.8	65.0	17.5	23.5	16.6	12.4	2.3	3.2	0.0	7.8
	中学生	160	75.6	60.6	63.1	17.5	18.8	13.8	10.0	3.1	4.4	0.0	10.6
	高校生	107	75.7	66.4	67.3	17.8	11.2	13.1	11.2	2.8	5.6	0.0	9.3
	専門学校生、大学生	131	76.3	61.1	61.1	13.7	19.8	14.5	10.7	4.6	3.8	0.0	11.5
	上記にあてはまる家族はいない	833	73.3	55.0	45.7	22.3	17.5	14.0	9.1	8.4	5.6	0.4	15.2
	無回答	39	59.0	35.9	35.9	12.8	20.5	12.8	2.6	5.1	7.7	0.0	33.3

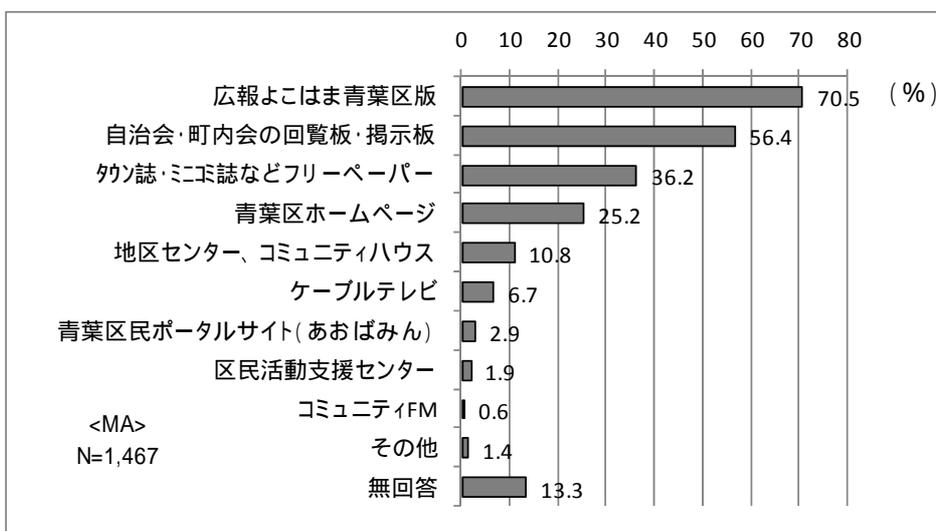
		1位		2位		3位	
全体		テレビ	42.5	新聞	26.8	インターネット(パソコン)	16.0
F10 同居して いる子ども	乳幼児・未就学児	テレビ	38.4	テレビ	21.1	友人・知人など	16.8
	小学生	テレビ	50.7	新聞	27.2	インターネット(パソコン)	21.2
	中学生	テレビ	46.3	新聞	28.8	インターネット(パソコン)	21.9
	高校生	テレビ	38.3	新聞	32.7	インターネット(パソコン)	21.5
	専門学校生、大学生	テレビ	39.7	新聞	28.2	テレビ	19.1
	上記にあてはまる家族はいない	テレビ	42.1	新聞	27.7	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	16.0
	無回答	テレビ	33.3	新聞	20.5	友人・知人など	17.9

**問9 あなたは、青葉区役所からの行政情報について、主にどのような手段で入手していますか
(よく利用する順に3つまで)**

「広報よこはま青葉区版」が最も多く、次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」

- 「広報よこはま青葉区版」が70.5%で最も多く、約7割の人が挙げている。次いで「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が56.4%である。以下「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」(36.2%)、「青葉区ホームページ」(25.2%)、「地区センター、コミュニティハウス」(10.8%)などの順となっている。

図 青葉区役所からの行政情報の入手手段(よく利用する順に3つまで)



割合(除無回答)					
1位 N=1,271		2位 N=1,042		3位 N=808	
広報よこはま青葉区版	61.4	自治会・町内会の回覧板・掲示板	46.2	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	33.5
自治会・町内会の回覧板・掲示板	19.0	広報よこはま青葉区版	18.3	青葉区ホームページ	18.4
青葉区ホームページ	9.9	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	17.3	地区センター、コミュニティハウス	14.1
タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	6.3	青葉区ホームページ	9.1	自治会・町内会の回覧板・掲示板	13.1
ケーブルテレビ	1.8	地区センター、コミュニティハウス	3.6	広報よこはま青葉区版	7.8
地区センター、コミュニティハウス	0.6	ケーブルテレビ	2.5	ケーブルテレビ	6.1
区民活動支援センター	0.2	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	1.3	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	3.3
青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	0.2	区民活動支援センター	1.0	区民活動支援センター	1.9
コミュニティFM	0.1	コミュニティFM	0.4	コミュニティFM	0.5
その他	0.6	その他	0.4	その他	1.2
無回答	-	無回答	-	無回答	-

年齢別 青葉区役所からの行政情報の入手手段(問9×F1)

- ・ 10代は「自治会・町内会の回覧板・掲示板」、20代より上の世代では「広報よこはま青葉区版」が最も多くなっている。
- ・ また、10代では「ケーブルテレビ」、20代と30代では「青葉区ホームページ」の数値が他世代に比べて高くなっている。
- ・ 年齢別に、それぞれ1位、2位、3位にどの項目が多く挙げられていたかをみると、1位はいずれの世代も「広報よこはま青葉区版」、2位では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が最も多かった。3位では、10代は「ケーブルテレビ」「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」「青葉区ホームページ」「地区センター、コミュニティハウス」がそれぞれ同率、20代は「自治会・町内会の回覧板・掲示板」、30代以上の世代では「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」が最も多くなっている。なお、2位、3位では、10代を中心に無回答が多くなっている。

図 年齢別 青葉区役所からの行政情報の入手手段

		全体	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	青葉区ホームページ	地区センター、コミュニティハウス	ケーブルテレビ	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	区民活動支援センター	コミュニティFM	その他	無回答
全体		1,467	1,034	828	531	370	159	98	43	28	9	21	195
全体		-	70.5	56.4	36.2	25.2	10.8	6.7	2.9	1.9	0.6	1.4	13.3
F1 年齢	10代	51	35.3	39.2	27.5	17.6	15.7	23.5	5.9	5.9	3.9	2.0	21.6
	20代	115	47.0	44.3	36.5	38.3	9.6	9.6	3.5	4.3	0.9	2.6	15.7
	30代	291	70.1	45.4	38.1	41.9	11.7	4.8	4.1	2.4	0.0	1.4	7.9
	40代	324	80.2	58.3	44.1	26.9	8.0	6.5	2.5	0.6	0.6	0.9	7.1
	50代	233	77.7	65.2	36.5	26.6	9.4	5.6	2.1	1.3	0.9	1.7	9.0
	60代	264	73.1	63.6	34.8	10.6	12.9	3.4	3.0	1.1	0.4	1.1	20.5
	70代以上	170	66.5	62.9	23.5	6.5	12.9	10.0	1.2	2.4	0.6	1.8	23.5
	無回答	19	57.9	47.4	21.1	36.8	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	26.3

		1位		2位		3位	
全体		広報よこはま青葉区版	53.2	自治会・町内会の回覧板・掲示板	32.8	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	18.5
F1 年齢	10代	広報よこはま青葉区版	27.5	自治会・町内会の回覧板・掲示板	17.6	ケーブルテレビ タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー 青葉区ホームページ 地区センター、コミュニティハウス	7.8
	20代	広報よこはま青葉区版	31.3	自治会・町内会の回覧板・掲示板	20.0	自治会・町内会の回覧板・掲示板	13.0
	30代	広報よこはま青葉区版	47.8	自治会・町内会の回覧板・掲示板	24.4	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	17.5
	40代	広報よこはま青葉区版	60.2	自治会・町内会の回覧板・掲示板	33.3	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	17.9
	50代	広報よこはま青葉区版	60.9	自治会・町内会の回覧板・掲示板	39.1	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	21.5
	60代	広報よこはま青葉区版	59.5	自治会・町内会の回覧板・掲示板	40.5	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	25.4
	70代以上	広報よこはま青葉区版	54.7	自治会・町内会の回覧板・掲示板	41.2	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	17.6
	無回答	広報よこはま青葉区版	21.1	自治会・町内会の回覧板・掲示板	10.5	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	21.1

同居している子ども別 青葉区役所からの行政情報の入手手段(問9×F10)

- ・ いずれも「広報よこはま青葉区版」が最も多く、特に乳幼児・未就学児がいる世帯では高い数値となっている。
- ・ また、乳幼児・未就学児がいる世帯では「青葉区ホームページ」の数値が他に比べて高くなっている。高校生のいる世帯では「自治会・町内会の回覧板・掲示板」が他に比べて高いほか、「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」の数値もやや高い。
- ・ それぞれ1位、2位、3位にどの項目が多く挙げられていたかをみると、1位はいずれも「広報よこはま青葉区版」、2位は「自治会・町内会の回覧板・掲示板」、3位は「タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー」が最も多くなっており、傾向に大きな差異は見られない。なお、2位、3位では、無回答が多くなっている。

図 同居している子ども別 青葉区役所からの行政情報の入手手段

	全体	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	青葉区ホームページ	地区センター、コミュニティハウス	ケーブルテレビ	（あおばみん）青葉区民ポータルサイト	区民活動支援センター	コミュニティFM	その他	無回答
全体	1,467	1,034	828	531	370	159	98	43	28	9	21	195
全体	-	70.5	56.4	36.2	25.2	10.8	6.7	2.9	1.9	0.6	1.4	13.3
F10同居している子ども	185	82.2	49.7	33.5	41.6	15.7	4.3	4.9	3.2	0.5	2.2	2.7
乳幼児・未就学児	217	79.3	59.0	31.8	25.3	14.3	6.5	3.2	0.9	0.9	0.9	9.7
小学生	160	78.8	58.1	38.8	23.8	12.5	8.8	3.1	0.6	1.3	1.9	8.8
中学生	107	81.3	65.4	44.9	25.2	11.2	7.5	0.9	0.9	0.0	0.9	8.4
高校生	131	69.5	58.0	38.9	23.7	6.1	8.4	1.5	0.8	0.8	0.8	13.7
専門学校生、大学生	833	66.3	57.7	36.4	22.0	10.4	6.5	2.9	2.3	0.6	1.4	15.5
上記にあてはまる家族はいない	39	51.3	46.2	28.2	23.1	5.1	7.7	2.6	0.0	0.0	2.6	33.3
無回答												

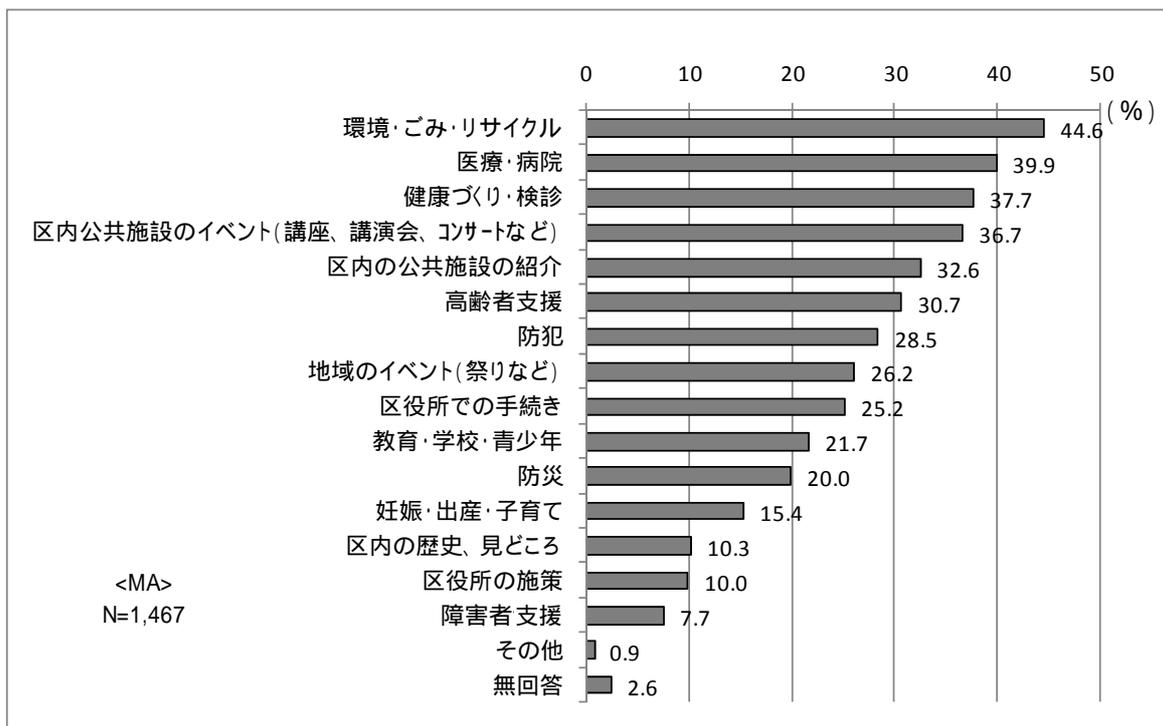
	1位	2位	3位
全体	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー
F10同居している子ども	53.2	32.8	18.5
乳幼児・未就学児	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー
小学生	58.9	29.2	17.3
中学生	広報よこはま青葉区版	自治会・町内会の回覧板・掲示板	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー
高校生	60.4	33.2	13.4
専門学校生、大学生	60.0	34.4	16.9
上記にあてはまる家族はいない	62.6	38.3	19.6
無回答	55.7	35.1	21.4
	50.3	33.4	19.7
	43.6	30.8	15.4

問 10 青葉区役所からの行政情報として、何に関することが知りたいですか(はいくつでも)

「環境・ごみ・リサイクル」が最も多く、健康に関する情報も求められている

- ・ 「環境・ごみ・リサイクル」が44.6%で最も多くなっている。次いで「医療・病院」が39.9%、「健康づくり・検診」が37.7%で、健康に関する情報が続く。以下「区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)」が36.7%、「区内の公共施設の紹介」が32.6%、「高齢者支援」が30.7%と、ここまでは3割以上の人が挙げている。回答は比較的分散した。

図 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(はいくつでも)



年齢別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(問 10×F1)

- ・ 10代では「地域のイベント(祭りなど)」、20代では「医療・病院」、30代では「妊娠・出産・子育て」、40代、50代では「環境・ごみ・リサイクル」、60代、70代以上では「高齢者支援」がそれぞれ最も多くなっており、世代によつての傾向が顕著に表れている。
- ・ また、子育て世代の30代、40代では「教育・学校・青少年」、60代では「区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)」、70代以上では「防犯」「防災」が、それぞれ他の世代より高い数値となっており、世代による特色がみられた。

図 年齢別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと

		全体	環境・ごみ・リサイクル	医療・病院	健康づくり・検診	区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)	区内の公共施設の紹介	高齢者支援	防犯	地域のイベント(祭りなど)	区役所での手続き	教育・学校・青少年	防災	妊娠・出産・子育て	区内の歴史、見どころ	区役所の施策	障害者支援	その他	無回答
全体		1,467	654	586	553	538	478	451	418	384	370	319	293	226	151	147	113	13	38
全体		-	44.6	39.9	37.7	36.7	32.6	30.7	28.5	26.2	25.2	21.7	20.0	15.4	10.3	10.0	7.7	0.9	2.6
F1 年齢	10代	51	21.6	15.7	3.9	17.6	19.6	0.0	17.6	27.5	5.9	21.6	15.7	3.9	5.9	5.9	3.9	0.0	9.8
	20代	115	33.9	36.5	29.6	23.5	25.2	7.8	22.6	32.2	27.8	27.0	9.6	34.8	12.2	7.8	8.7	0.9	4.3
	30代	291	44.0	40.5	39.9	33.7	36.1	7.2	24.7	37.1	26.1	43.0	16.2	47.8	6.9	8.9	5.5	1.4	1.7
	40代	324	51.9	41.4	39.8	40.1	38.0	13.9	28.1	30.9	30.2	34.6	19.8	9.9	7.4	9.3	6.8	0.9	0.6
	50代	233	53.2	39.9	32.2	39.1	31.8	34.8	29.6	22.3	32.2	7.3	21.5	1.3	7.7	9.0	6.9	1.7	1.7
	60代	264	40.9	39.0	42.4	48.5	34.1	58.3	29.9	17.8	18.6	4.9	22.0	2.7	16.3	12.5	10.2	0.4	3.4
	70代以上	170	41.2	47.6	45.9	29.4	24.7	78.2	38.2	13.5	18.2	4.1	30.0	0.6	15.3	12.4	11.2	0.0	4.1
	無回答	19	31.6	36.8	36.8	26.3	26.3	42.1	36.8	15.8	31.6	15.8	21.1	10.5	15.8	21.1	5.3	0.0	5.3

よく利用する情報源別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(問10×問8)

- ・ ラジオでは「高齢者支援」、それ以外ではいずれも「環境・ごみ・リサイクル」が最も多くなっている。
- ・ また、ケーブルテレビでは「区役所の施策」、タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパーでは「地域のイベント(祭りなど)」、ラジオでは「防犯」、インターネット(携帯電話・PHS)では「教育・学校・青少年」「地域のイベント(祭りなど)」が、それぞれ他の媒体より高い数値となっている。

図 よく利用する情報源別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと

		全体	環境・ごみ・リサイクル	医療・病院	健康づくり・検診	区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)	区内の公共施設の紹介	高齢者支援	防犯	地域のイベント(祭りなど)	区役所での手続き	教育・学校・青少年	防災	妊娠・出産・子育て	区内の歴史、見どころ	区役所の施策	障害者支援	その他	無回答
全 体		1,467	654	586	553	538	478	451	418	384	370	319	293	226	151	147	113	13	38
		-	44.6	39.9	37.7	36.7	32.6	30.7	28.5	26.2	25.2	21.7	20.0	15.4	10.3	10.0	7.7	0.9	2.6
問8 情報源 (複数回答)	テレビ	1,084	45.8	41.0	38.9	36.1	33.6	28.3	28.8	27.4	27.6	24.1	20.0	16.7	10.3	9.2	7.5	0.9	1.6
	ケーブルテレビ	70	51.4	45.7	41.4	42.9	40.0	42.9	28.6	25.7	31.4	12.9	24.3	8.6	14.3	20.0	8.6	0.0	2.9
	新聞	804	48.5	43.9	39.9	40.0	33.8	35.8	32.0	24.0	24.6	20.0	22.3	12.2	11.1	10.7	8.5	0.9	1.0
	本・雑誌(週刊誌、専門誌など)	295	48.1	43.7	38.6	38.3	34.9	30.5	30.5	28.5	26.1	23.7	22.0	15.3	12.5	8.5	7.5	0.7	1.0
	タウン誌・ミニコミ誌などフリーペーパー	150	46.7	43.3	43.3	43.3	29.3	24.7	22.0	36.7	26.0	27.3	16.0	23.3	8.7	12.0	8.7	0.7	0.0
	ラジオ	94	47.9	40.4	34.0	37.2	36.2	48.9	40.4	23.4	21.3	10.6	27.7	13.8	14.9	17.0	10.6	1.1	2.1
	インターネット(パソコン)	783	46.1	39.8	37.9	36.8	34.7	19.8	27.7	29.1	28.0	26.9	18.9	20.2	8.6	8.3	6.0	1.3	1.5
	インターネット(携帯電話・PHS)	222	45.0	38.7	30.2	30.2	32.0	13.1	27.9	34.7	28.4	33.8	16.2	27.0	11.7	8.6	6.3	1.4	3.6
	友人・知人など	283	43.8	39.9	41.0	37.8	32.9	30.4	25.4	27.9	26.1	22.6	18.4	17.7	10.6	7.4	8.5	0.7	1.8
	その他	3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
無回答	192	31.8	30.7	32.8	32.3	25.0	47.9	26.0	16.1	16.7	8.3	19.8	5.2	8.9	12.5	8.9	0.5	8.9	

行政情報の入手手段別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと(問10×問9)

- ・ 地区センター、コミュニティハウスでは「区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)」、それ以外はいずれも「環境・ごみ・リサイクル」が最も多く、区民活動支援センターではこれらが同率となっている。また、サンプル数が少ないがコミュニティFMでは「環境・ごみ・リサイクル」と「健康づくり・検診」が同率である。
- ・ また、このほか、青葉区ホームページでは「妊娠・出産・子育て」「教育・学校・青少年」、区民活動支援センターでは「妊娠・出産・子育て」「地域のイベント(祭りなど)」、青葉区民ポータルサイト(あおばみん)では「地域のイベント(祭りなど)」、地区センター、コミュニティハウスでは「教育・学校・青少年」「区内の公共施設の紹介」「地域のイベント(祭りなど)」、コミュニティFMでは「区役所の施策」が、それぞれ他の媒体より高い数値となっている。

図 行政情報の入手手段別 青葉区役所からの行政情報として知りたいこと

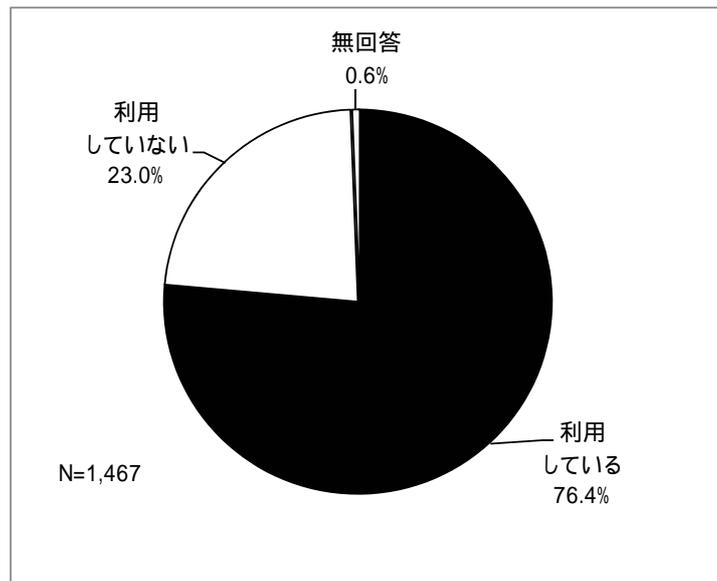
		全体	環境・ごみ・リサイクル	医療・病院	健康づくり・検診	区内公共施設のイベント(講座、講演会、コンサートなど)	区内の公共施設の紹介	高齢者支援	防犯	地域のイベント(祭りなど)	区役所での手続き	教育・学校・青少年	防災	妊娠・出産・子育て	区内の歴史、見どころ	区役所の施策	障害者支援	その他	無回答
全 体		1,467	654	586	553	538	478	451	418	384	370	319	293	226	151	147	113	13	38
		-	44.6	39.9	37.7	36.7	32.6	30.7	28.5	26.2	25.2	21.7	20.0	15.4	10.3	10.0	7.7	0.9	2.6
問9	ケーブルテレビ	98	50.0	48.0	38.8	34.7	33.7	30.6	36.7	19.4	19.4	22.4	24.5	10.2	9.2	14.3	10.2	0.0	0.0
行政情報	広報よこはま青葉区版	1,034	48.3	43.9	41.9	40.9	36.8	32.7	29.9	28.5	27.3	24.1	21.9	16.6	11.5	10.7	8.1	0.8	0.3
入手手段	自治会・町内会の回覧板・掲示板	828	49.8	43.8	40.1	40.7	33.2	35.0	32.5	26.2	27.3	19.6	23.3	12.4	11.2	10.4	7.7	0.6	0.6
(複数回答)	雑誌・ミニ誌などフリーペーパー	531	47.6	43.5	42.9	41.1	35.8	30.3	27.3	31.5	27.9	23.4	18.6	14.9	10.2	8.1	7.2	0.4	0.4
	コミュニティFM	9	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0
	青葉区ホームページ	370	48.1	38.1	36.8	31.9	33.5	17.3	27.3	26.5	30.0	31.9	16.5	27.0	7.6	8.1	5.4	1.1	0.3
	区民活動支援センター	28	39.3	32.1	35.7	39.3	28.6	28.6	28.6	35.7	25.0	17.9	10.7	28.6	10.7	28.6	7.1	0.0	0.0
	青葉区民ポータルサイト(あおばみん)	43	48.8	25.6	32.6	32.6	25.6	14.0	25.6	34.9	18.6	23.3	18.6	23.3	14.0	7.0	11.6	2.3	0.0
	地区センター、コミュニティハウス	159	47.2	44.0	47.8	58.5	44.0	39.0	28.3	46.5	22.6	32.7	18.9	17.6	15.7	12.6	9.4	0.6	0.0
	その他	21	38.1	23.8	14.3	28.6	14.3	28.6	33.3	23.8	33.3	33.3	23.8	9.5	14.3	14.3	9.5	4.8	0.0
	無回答	195	26.7	26.7	28.2	25.1	23.6	39.5	26.7	15.4	15.4	9.7	16.4	7.7	9.7	8.7	6.7	1.5	15.4

問 11 あなたは、現在、電子メールのやりとりやホームページの閲覧などインターネット（携帯電話・PHSによるEメールやホームページ閲覧を含む）を利用していますか

「利用している」が全体の4分の3強を占め、「利用していない」を大きく上回る

- ・ 「利用している」が76.4%で全体の4分の3強を占め、「利用していない」の23.0%を大きく上回っている。

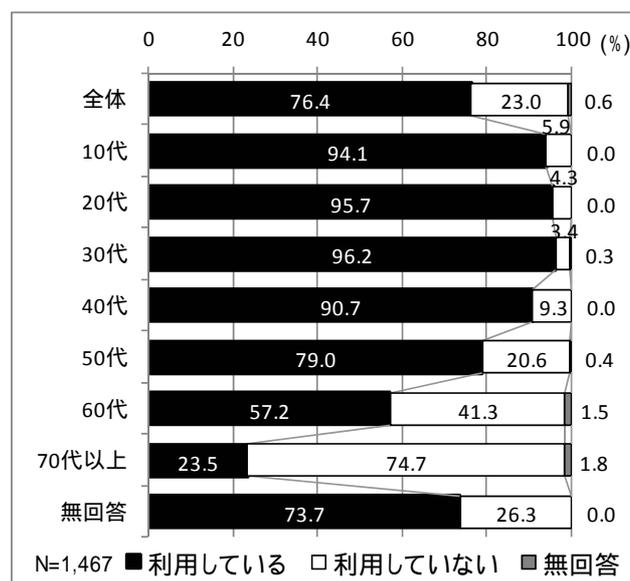
図 インターネット利用の有無



年齢別 インターネット利用の有無(問 11×F1)

- ・ 10代から60代までの世代では「利用している」、70代以上でのみ「利用していない」の方が多くなっており、60代を境に変化している。利用率は30代を中心に若年層で高い。

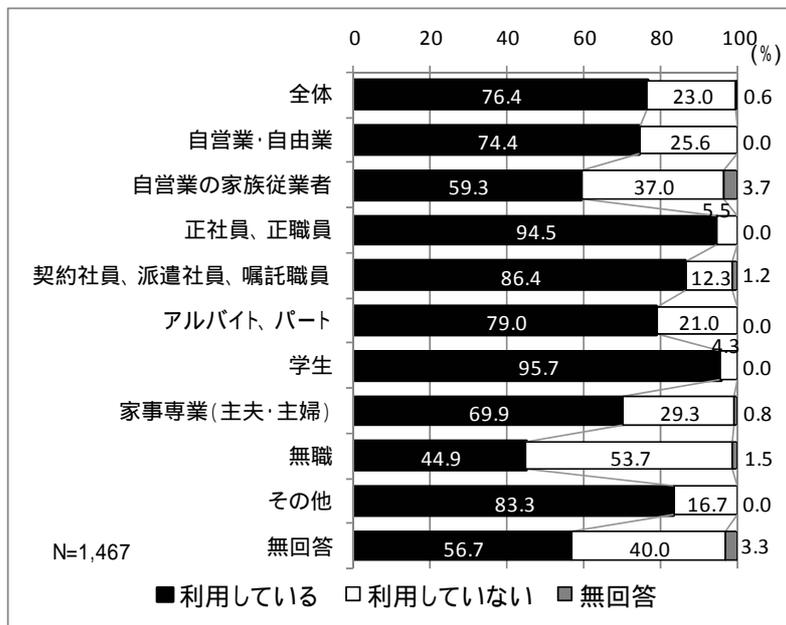
図 年齢別 インターネット利用の有無



職業別 インターネット利用の有無(問 11×F6)

- ・ 無職のみ「利用していない」、それ以外はいずれも「利用している」の方が多くなっており、特に正社員、正職員と学生で9割を超える高い数値となっている。

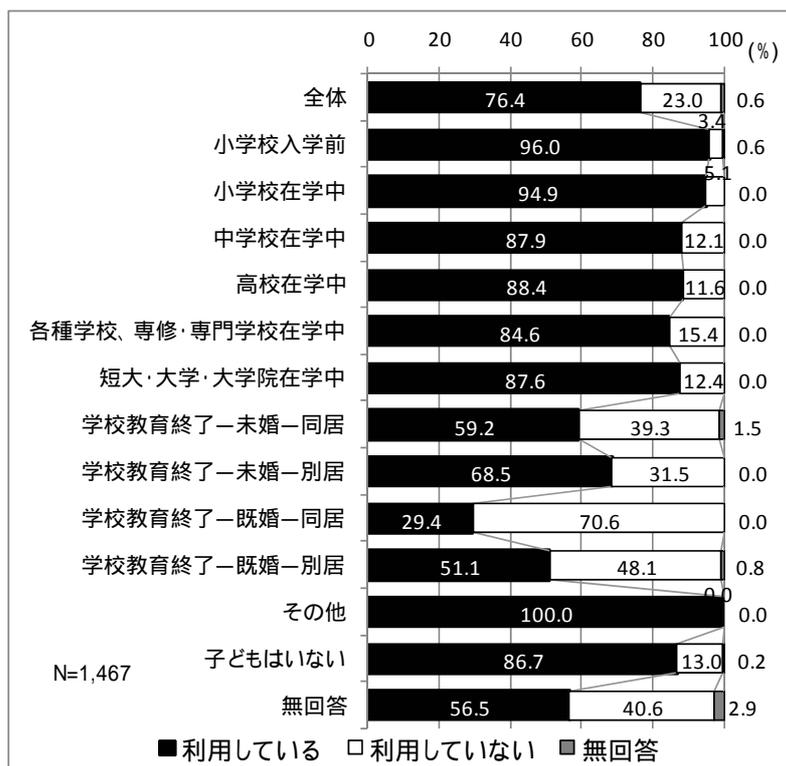
図 職業別 インターネット利用の有無



子どもの有無及び段階別 インターネット利用の有無(問 11×F8)

- ・ 学校教育終了 - 既婚 - 同居のみ「利用していない」、それ以外では「利用している」の方が多くなっており、特に子どもが小学生以下である場合に利用率が高い。

図 子どもの有無及び段階別 インターネット利用の有無



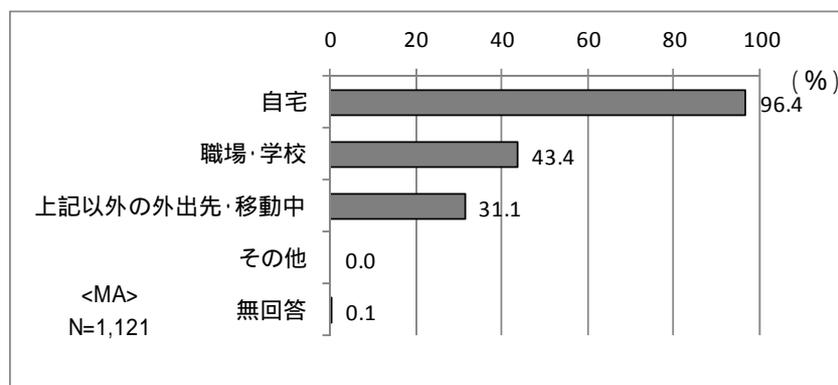
問 11 - 1 あなたは、インターネットをどこで利用し、どのような機器を使用していますか。また、インターネットを利用する目的は何ですか（ はいくつでも）

利用場所は「自宅」が、利用機器は「パソコン」が圧倒的に多い
 利用サービスは「ホームページの閲覧」と「電子メール」が飛びぬけて多くなっている

【利用場所】

- ・ 「自宅」が 96.4%で圧倒的多数を占める。以下「職場・学校」(43.4%)「上記以外の外出先・移動中」(31.1%)となっている。「その他」の選択はなかった。

図 インターネットの利用場所
 (はいくつでも、問 11 で「利用している」と回答した人のみ)



年齢別 インターネットの利用場所(問 11 - 1【利用場所】× F1)

- ・ いずれの世代も「自宅」が9割を超えているが、20代までの若い世代では自宅以外の数値が他に比べて高くなっている。

図 年齢別 インターネットの利用場所

		全体	自宅	職場・学校	上記以外の 外出先・移 動中	その他	無回答
全 体		1,121	1,081	487	349	0	1
		-	96.4	43.4	31.1	0.0	0.1
F 1 年齢	10代	48	97.9	58.3	52.1	0.0	0.0
	20代	110	96.4	57.3	49.1	0.0	0.0
	30代	280	97.9	45.4	37.5	0.0	0.0
	40代	294	97.6	44.2	33.0	0.0	0.0
	50代	184	94.6	46.2	21.2	0.0	0.0
	60代	151	92.7	29.8	14.6	0.0	0.7
	70代以上	40	100.0	5.0	10.0	0.0	0.0
	無回答	14	92.9	50.0	21.4	0.0	0.0

職業別 インターネットの利用場所(問 11 - 1【利用場所】×F6)

- ・ いずれも「自宅」が最も多くなっている。また、正社員、正職員、学生、その他で「職場・学校」が、学生ではさらに「上記以外の外出先・移動中」でも他に比べて数値が高くなっている。

図 職業別 インターネットの利用場所

		全体	自宅	職場・学校	上記以外の 外出先・移 動中	その他	無回答
全 体		1,121	1,081	487	349	0	1
		-	96.4	43.4	31.1	0.0	0.1
F 6 職業	自営業・自由業	67	92.5	40.3	35.8	0.0	0.0
	自営業の家族従業者	16	87.5	50.0	25.0	0.0	0.0
	正社員、正職員	394	95.2	79.4	37.1	0.0	0.0
	契約社員、派遣社員、嘱託職員	70	95.7	52.9	38.6	0.0	0.0
	アルバイト、パート	124	96.0	27.4	31.5	0.0	0.8
	学生	66	98.5	68.2	48.5	0.0	0.0
	家事専業(主夫・主婦)	265	98.9	1.5	19.6	0.0	0.0
	無職	92	100.0	5.4	18.5	0.0	0.0
	その他	10	90.0	100.0	30.0	0.0	0.0
	無回答	17	94.1	23.5	29.4	0.0	0.0

子どもの有無及び段階別 インターネットの利用場所(問 11 - 1【利用場所】×F8)

- ・ いずれも「自宅」が最も多くなっていることに変わりはないが、子どもがいない世帯で「職場・学校」「上記以外の外出先・移動中」の数値が高くなっている。

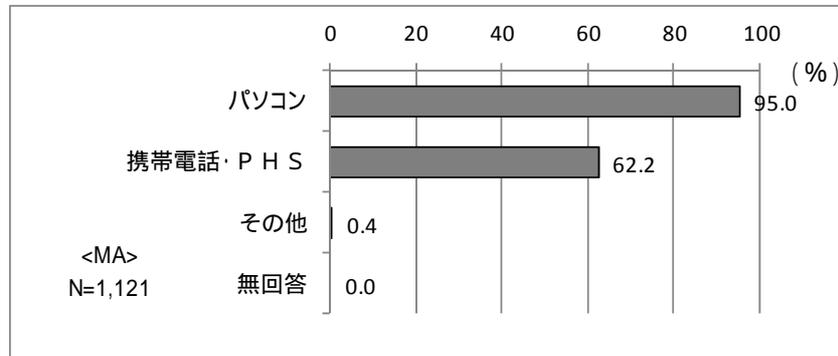
図 子どもの有無及び段階別 インターネットの利用場所

		全体	自宅	職場・学校	上記以外の 外出先・移 動中	その他	無回答
全 体		1,121	1,081	487	349	0	1
		-	96.4	43.4	31.1	0.0	0.1
F 8 子どもの 有無及び 段階	小学校入学前	168	98.2	40.5	34.5	0.0	0.0
	小学校在学中	187	97.9	36.9	29.4	0.0	0.0
	中学校在学中	124	99.2	39.5	26.6	0.0	0.0
	高校在学中	84	96.4	42.9	27.4	0.0	0.0
	各種学校、専修・専門学校在学中	11	100.0	36.4	18.2	0.0	0.0
	短大・大学・大学院在学中	92	94.6	42.4	19.6	0.0	0.0
	学校教育終了 未婚 同居	122	97.5	36.9	13.9	0.0	0.0
	学校教育終了 未婚 別居	89	96.6	34.8	12.4	0.0	0.0
	学校教育終了 既婚 同居	15	80.0	20.0	13.3	0.0	0.0
	学校教育終了 既婚 別居	135	94.8	20.7	14.1	0.0	0.0
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	子どもはいない	353	96.0	59.8	47.6	0.0	0.0
	無回答	39	89.7	35.9	28.2	0.0	2.6

【利用機器】

- ・ 「パソコン」が95.0%で圧倒的多数を占める。「携帯電話・PHS」も62.2%と、6割強の人があげている。「その他」は0.4%だった。

図 インターネット利用機器
(はいくつでも、問11で「利用している」と回答した人のみ)



年齢別 インターネット利用機器(問11-1【利用機器】×F1)

- ・ いずれの世代も「パソコン」が9割を超えている。また、20代までの若い世代では「携帯電話・PHS」の数値が他に比べて高く8割前後に達している。

図 年齢別 インターネット利用機器

		全体	パソコン	携帯電話・PHS	その他	無回答
全 体		1,121	1,065	697	4	0
		-	95.0	62.2	0.4	0.0
F 1 年齢	10代	48	91.7	79.2	0.0	0.0
	20代	110	95.5	83.6	0.9	0.0
	30代	280	95.4	71.4	0.4	0.0
	40代	294	96.3	67.3	0.7	0.0
	50代	184	94.0	54.3	0.0	0.0
	60代	151	95.4	35.1	0.0	0.0
	70代以上	40	90.0	22.5	0.0	0.0
	無回答	14	92.9	50.0	0.0	0.0

職業別 インターネット利用機器(問 11 - 1【利用機器】×F6)

- ・ いずれも「パソコン」が最も多くなっているが、自営業の家族従事者でやや数値が低い。学生では「携帯電話・PHS」の数値が8割を超えている。

図 職業別 インターネット利用機器

		全体	パソコン	携帯電話・PHS	その他	無回答
全 体		1,121	1,065	697	4	0
		-	95.0	62.2	0.4	0.0
F 6 職業	自営業・自由業	67	94.0	53.7	0.0	0.0
	自営業の家族従業者	16	81.3	56.3	0.0	0.0
	正社員、正職員	394	97.7	69.3	0.5	0.0
	契約社員、派遣社員、嘱託職員	70	92.9	65.7	0.0	0.0
	アルバイト、パート	124	90.3	66.9	0.0	0.0
	学生	66	95.5	84.8	1.5	0.0
	家事専業（主夫・主婦）	265	94.7	54.7	0.0	0.0
	無職	92	94.6	34.8	0.0	0.0
	その他	10	100.0	80.0	10.0	0.0
	無回答	17	94.1	52.9	0.0	0.0

子どもの有無及び段階別 インターネット利用機器(問 11 - 1【利用機器】×F8)

- ・ いずれも「パソコン」が最も多い。子どもが各種学校、専修・専門学校在学中の世帯と子どもがいない世帯で「携帯電話・PHS」の数値が高くなっている。

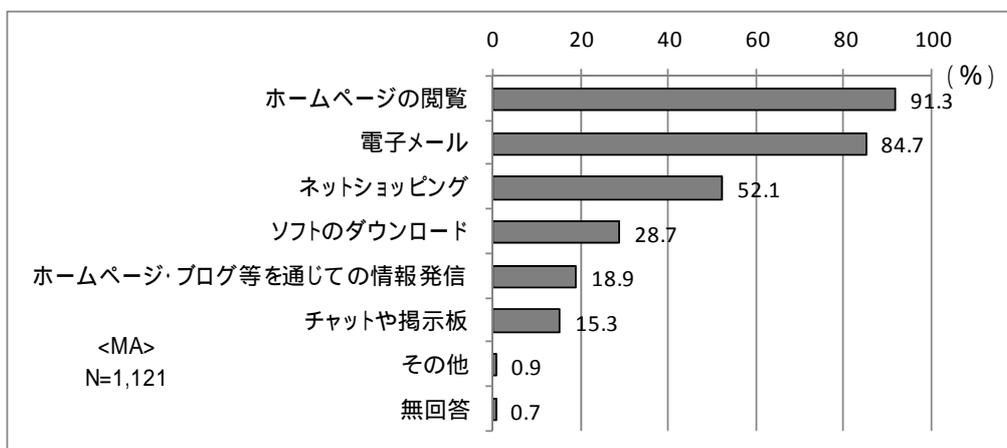
図 子どもの有無及び段階別 インターネット利用機器

		全体	パソコン	携帯電話・PHS	その他	無回答
全 体		1,121	1,065	697	4	0
		-	95.0	62.2	0.4	0.0
F 8 子どもの 有無及び 段階	小学校入学前	168	95.2	67.9	0.0	0.0
	小学校在学中	187	97.3	69.5	0.5	0.0
	中学校在学中	124	95.2	71.0	1.6	0.0
	高校在学中	84	97.6	60.7	1.2	0.0
	各種学校、専修・専門学校在学中	11	100.0	72.7	0.0	0.0
	短大・大学・大学院在学中	92	97.8	56.5	0.0	0.0
	学校教育終了 未婚 同居	122	99.2	46.7	0.0	0.0
	学校教育終了 未婚 別居	89	94.4	38.2	0.0	0.0
	学校教育終了 既婚 同居	15	80.0	20.0	0.0	0.0
	学校教育終了 既婚 別居	135	94.8	28.9	0.0	0.0
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0
	子どもはいない	353	93.2	75.4	0.6	0.0
	無回答	39	92.3	61.5	0.0	0.0

【利用サービス】

- ・ 「ホームページの閲覧」が91.3%、「電子メール」が84.7%と、この2つが飛びぬけて多い。以下「ネットショッピング」(52.1%)、「ソフトのダウンロード」(28.7%)が続いている。

図 インターネット利用サービス
(はいくつでも、問11で「利用している」と回答した人のみ)



年齢別 インターネット利用サービス(問11-1【利用サービス】×F1)

- ・ 70代以上のみ「電子メール」、それ以外の世代では「ホームページの閲覧」が最も多くなっている。また、10代、20代では「チャットや掲示板」「ホームページ・ブログ等を通じての情報発信」の数値が高く、若い世代ほどネットを利用した情報発信に熱心な傾向にある。10代ではこれらに加えて「ソフトのダウンロード」、また、30代では「ネットショッピング」の数値が他世代に比べて高い。

図 年齢別 インターネット利用サービス

		全体	ホームページの閲覧	電子メール	ネットショッピング	ソフトのダウンロード	ホームページ・ブログ等を通じての情報発信	チャットや掲示板	その他	無回答
全体		1,121	1,024	949	584	322	212	171	10	8
		-	91.3	84.7	52.1	28.7	18.9	15.3	0.9	0.7
F1 年齢	10代	48	95.8	91.7	37.5	41.7	41.7	39.6	0.0	0.0
	20代	110	95.5	82.7	53.6	30.0	37.3	28.2	0.9	0.0
	30代	280	95.4	86.8	66.8	30.4	18.6	17.5	0.0	0.7
	40代	294	94.2	87.4	59.5	30.6	17.0	14.6	1.4	0.0
	50代	184	87.5	82.1	42.4	24.5	12.5	10.9	0.5	0.5
	60代	151	83.4	77.5	33.8	21.2	12.6	4.6	1.3	2.6
	70代以上	40	75.0	87.5	22.5	32.5	7.5	2.5	5.0	0.0
	無回答	14	85.7	78.6	50.0	28.6	28.6	7.1	0.0	7.1

子どもの有無及び段階別 インターネット利用サービス(問 11 - 1【利用サービス】×F8)

- いずれも「ホームページの閲覧」が最も多くなっている。なお、子どもが各種学校、専修・専門学校在学中の世帯と学校教育終了 - 既婚 - 同居の世帯では「電子メールの閲覧」も同率となっている。また、子どもが小さく外出が困難と思われる小学校入学前の世帯、及び子どもが各種学校、専修・専門学校在学中の世帯で「ネットショッピング」の数値が、子どもがいない世帯では「チャットや掲示板」「ホームページ・ブログ等を通じての情報発信」の数値がそれぞれ他に比べて高くなっている。

図 子どもの有無及び段階別 インターネット利用サービス

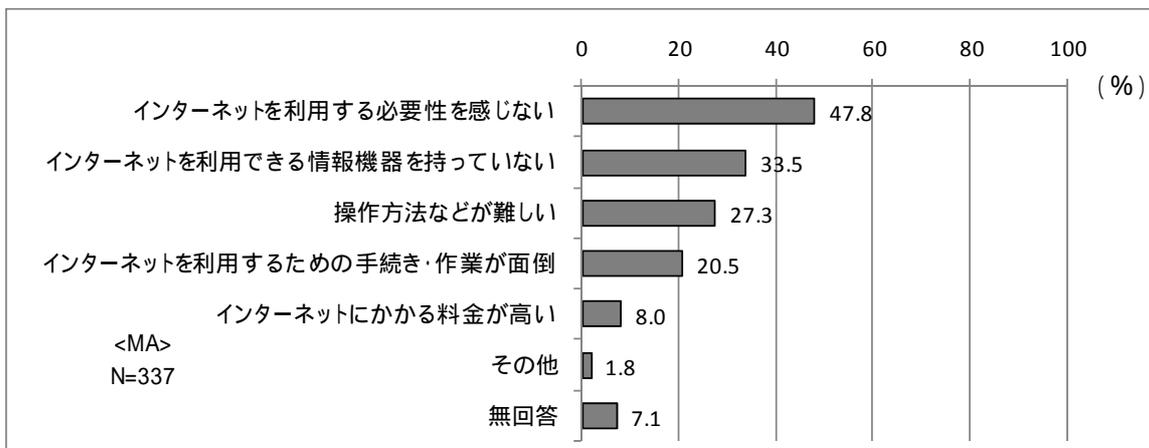
		全体	ホームページの閲覧	電子メール	ネットショッピング	ソフトのダウンロード	ホームページ・ブログ等を通じての情報発信	チャットや掲示板	その他	無回答
全 体		1,121	1,024	949	584	322	212	171	10	8
		-	91.3	84.7	52.1	28.7	18.9	15.3	0.9	0.7
F 8 子どもの 有無及び 段階	小学校入学前	168	96.4	86.3	70.8	29.8	17.3	11.9	0.0	0.0
	小学校在学中	187	96.3	87.7	57.8	26.7	13.9	10.2	0.5	0.0
	中学校在学中	124	96.0	83.1	55.6	30.6	14.5	12.1	0.8	0.8
	高校在学中	84	94.0	82.1	59.5	29.8	16.7	9.5	1.2	0.0
	各種学校、専修・専門学校在学中	11	90.9	90.9	72.7	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0
	短大・大学・大学院在学中	92	92.4	84.8	51.1	21.7	12.0	10.9	1.1	1.1
	学校教育終了 未婚 同居	122	85.2	76.2	41.0	16.4	13.1	7.4	0.8	1.6
	学校教育終了 未婚 別居	89	83.1	82.0	37.1	21.3	10.1	5.6	2.2	0.0
	学校教育終了 既婚 同居	15	60.0	60.0	26.7	26.7	20.0	6.7	0.0	13.3
	学校教育終了 既婚 別居	135	81.5	79.3	31.9	21.5	11.1	5.9	1.5	1.5
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	子どもはいない	353	92.6	87.3	54.1	36.3	28.9	28.6	1.1	0.6
無回答	39	92.3	82.1	46.2	30.8	15.4	2.6	2.6	2.6	

問 11 - 2 インターネットを利用していない理由は何ですか(は2つまで)

インターネットを利用しないのは「利用する必要性を感じない」から

- ・ 「インターネットを利用する必要性を感じない」が 47.8%と、半数近くの人が挙げている。次いで「インターネットを利用できる情報機器を持っていない」が 33.5%である。以下「操作方法などが難しい」(27.3%)、「インターネットを利用するための手続き・作業が面倒」(20.5%)については2割を超えている。

図 インターネットを利用していない理由
(は2つまで、問 11 で「利用していない」と回答した人のみ)



年齢別 インターネットを利用しない理由(問 11 - 2 × F1)

- ・ 10代では「インターネットを利用するための手続き・作業が面倒」、20代では「インターネットにかかる料金が低い」、30代から60代までの世代では「インターネットを利用する必要性を感じない」、70代以上では「インターネットを利用できる情報機器を持っていない」が最も多く、世代によって回答が分かれた。なお、10代から30代まではサンプル数が極端に少ないため、あくまで参考とする。

図 年齢別 インターネットを利用しない理由

		全体	インターネットを利用する必要性を感じない	インターネットを利用できる情報機器を持っていない	操作方法などが難しい	インターネットを利用するための手続き・作業が面倒	インターネットにかかる料金が低い	その他	無回答
全 体		337	161	113	92	69	27	6	24
		-	47.8	33.5	27.3	20.5	8.0	1.8	7.1
F 1 年齢	10代	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	20代	5	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	30代	10	40.0	30.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0
	40代	30	50.0	13.3	26.7	20.0	16.7	0.0	10.0
	50代	48	52.1	20.8	29.2	20.8	4.2	0.0	6.3
	60代	109	55.0	27.5	26.6	22.0	7.3	1.8	5.5
	70代以上	127	43.3	48.0	29.1	18.9	5.5	2.4	8.7
	無回答	5	20.0	80.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0

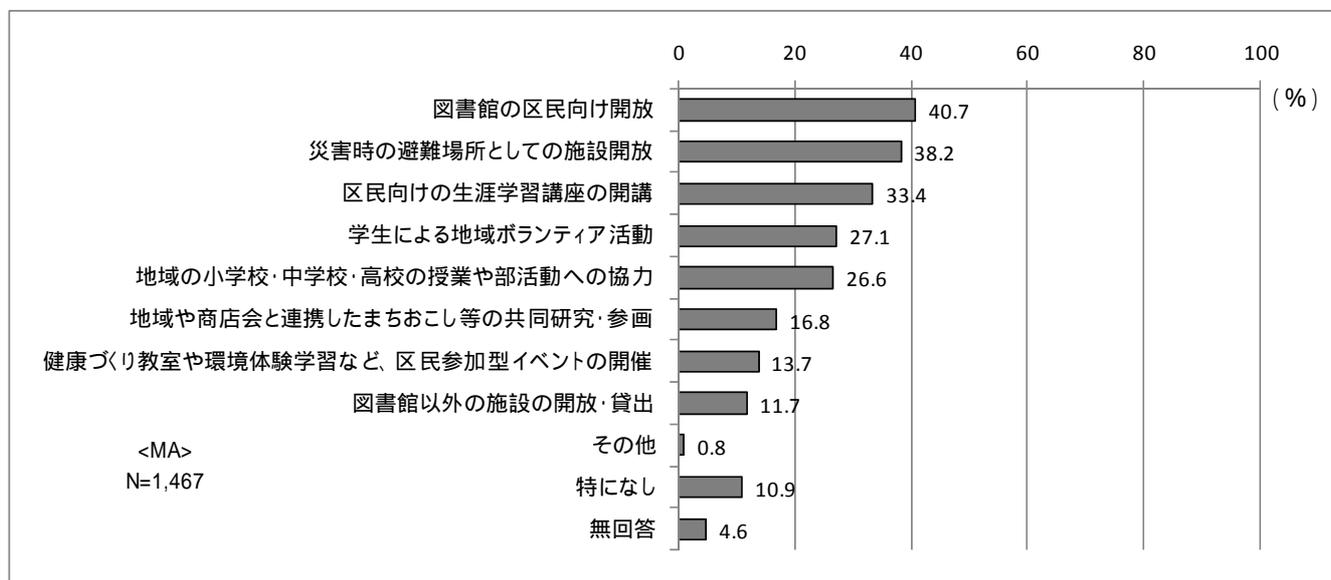
4. 大学連携事業について

問 12 青葉区では、平成 22 年 1 月に、区内にキャンパスを有する 6 つの大学*と連携・協力に関する協定を締結し、大学と地域とのつながりを深め、双方の発展に結びつくような連携や取組を進めています。あなたは大学に対して、どのようなことを期待しますか(はいくつでも)

最も期待されているのは、日ごろ不便に思っている「図書館の区民向け開放」

- ・ 「図書館の区民向け開放」が 40.7%で最も多い。なお、図書館については、問 2「日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うこと」において第 2 位に挙げられている問題である。次いで「災害時の避難場所としての施設開放」が 38.2%となっている。「特になし」は 10.9%であった。

図 区内の大学について期待すること(はいくつでも)



年齢別 区内の大学について期待すること(問 12×F1)

- 10代から40代までの世代では「図書館の区民向け開放」、50代、60代では「区民向けの生涯学習講座の開講」、70代以上では「災害時の避難場所としての施設開放」が最も多く、世代によって回答が分かれた。
- また、学齢期の子育て世代と考えられる40代では「地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力」の数値が他世代に比べて高い。70代以上では「特になし」の数値が高くなっている。

図 年齢別 区内の大学について期待すること

		全体	図書館の区民向け開放	災害時の避難場所としての施設開放	区民向けの生涯学習講座の開講	学生による地域ボランティア活動	地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力	まちおこし等の共同研究・参画	健康づくり教室や環境体験学習など、区民参加型イベントの開催	図書館以外の施設の開放・貸出	その他	特になし	無回答
全体		1,467	597	560	490	398	390	247	201	172	12	160	67
		-	40.7	38.2	33.4	27.1	26.6	16.8	13.7	11.7	0.8	10.9	4.6
F 1 年齢	10代	51	45.1	31.4	3.9	25.5	31.4	7.8	3.9	9.8	0.0	13.7	2.0
	20代	115	53.0	37.4	23.5	22.6	21.7	23.5	9.6	16.5	1.7	13.9	1.7
	30代	291	47.1	41.2	34.4	21.0	30.9	15.5	12.7	14.4	0.3	7.9	2.4
	40代	324	52.8	46.3	36.7	26.9	40.7	16.0	13.3	13.9	1.2	6.2	1.9
	50代	233	35.6	38.6	41.2	29.6	21.9	16.7	16.3	11.2	0.4	9.4	3.0
	60代	264	28.0	33.0	39.8	33.7	20.5	20.5	18.2	9.8	1.1	12.1	5.7
	70代以上	170	23.5	28.8	21.8	27.6	10.6	13.5	12.4	5.3	0.6	22.4	15.3
	無回答	19	42.1	26.3	21.1	31.6	21.1	15.8	5.3	0.0	0.0	10.5	15.8

子どもの有無及び段階別 区内の大学について期待すること(問 12×F8)

- ・ 子どもが小学校入学前、高校在学中の世帯と子どもがいない世帯では「図書館の区民向け開放」が最も多い。
- ・ 子どもが小学校在学中の世帯では「地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力」が最も多い。
- ・ 子どもが中学校在学中の世帯ではこれら「図書館の区民向け開放」「地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力」が同率でとなっている。
- ・ 各種学校、専修・専門学校在学中の世帯では「学生による地域ボランティア活動」と「災害時の避難場所としての施設開放」が同率となっている。
- ・ 短大・大学・大学院在学中、学校教育終了 未婚 同居、学校教育終了 未婚 別居、学校教育終了 既婚 別居では「区民向けの生涯学習講座の開講」が最も多い。
- ・ 学校教育終了 既婚 同居では「災害時の避難場所としての施設開放」が最も多くなっている。
- ・ また、高校在学中では「地域や商店会と連携したまちおこし等の共同研究・参画」の数値が他に比べて高い。
- ・ 傾向としては、就学前と中高生のいる世帯を中心に図書館機能、学齢期の子どもを中心に学校活動への協力、子どもが成長したあとの世帯では生涯学習講座の開講や避難所としての役割を求めるケースが多く見られる。

図 子どもの有無及び段階別 区内の大学について期待すること

		全体	図書館の区民向け開放	災害時の避難場所としての施設開放	区民向けの生涯学習講座の開講	学生によるボランティア活動	地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力	まちおこし等と連携した共同研究・参画	地域や商店会と連携したまちおこし等の共同研究・参画	健康づくり教室や環境体験学習など、区民参加型イベントの開催	図書館以外の施設の開放・貸出	その他	特になし	無回答
全 体		1,467	597	560	490	398	390	247	201	172	12	160	67	
		-	40.7	38.2	33.4	27.1	26.6	16.8	13.7	11.7	0.8	10.9	4.6	
F 8 子どもの有無及び段階	小学校入学前	175	46.3	38.3	32.0	21.7	34.9	14.3	12.0	13.1	0.6	9.1	1.1	
	小学校在学中	197	48.7	43.1	27.9	25.9	58.4	13.2	16.2	15.2	0.0	5.1	1.5	
	中学校在学中	141	52.5	47.5	32.6	27.0	52.5	16.3	17.0	14.9	0.0	4.3	2.8	
	高校在学中	95	61.1	50.5	41.1	34.7	46.3	27.4	16.8	16.8	1.1	3.2	1.1	
	各種学校、専修・専門学校在学中	13	7.7	38.5	30.8	38.5	30.8	23.1	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	
	短大・大学・大学院在学中	105	40.0	45.7	46.7	35.2	29.5	19.0	17.1	9.5	1.0	6.7	4.8	
	学校教育終了 未婚 同居	206	30.1	34.0	36.9	30.1	20.4	17.0	14.1	8.3	0.5	15.5	5.3	
	学校教育終了 未婚 別居	130	29.2	33.8	50.0	31.5	13.8	14.6	19.2	13.1	0.8	10.8	0.8	
	学校教育終了 既婚 同居	51	15.7	33.3	23.5	23.5	27.5	13.7	19.6	7.8	0.0	15.7	9.8	
	学校教育終了 既婚 別居	264	30.3	33.0	38.3	34.1	17.0	17.4	15.5	8.7	0.8	12.1	6.4	
	その他	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	子どもはいない	407	47.2	36.4	30.7	22.4	17.0	18.2	11.1	13.8	1.2	12.8	3.7	
	無回答	69	34.8	30.4	27.5	20.3	20.3	14.5	13.0	7.2	1.4	11.6	18.8	

居住地域別 区内の大学について期待すること(問 12×F12)

- ・ 中里連合自治会、中里北部連合町内会、上谷本連合町内会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「災害時の避難場所としての施設開放」が最も多い。
- ・ 市ヶ尾連合自治会では「区民向けの生涯学習講座の開講」と「図書館の区民向け開放」が同率となっている。
- ・ 上記以外の地域については「図書館の区民向け開放」がそれぞれ最も多くなっている。
- ・ なお上谷本連合町内会では「特になし」の数値が他に比べてやや高い。

図 居住地域別 区内の大学について期待すること

		全体	図書館の区民向け開放	災害時の避難場所としての施設開放	区民向けの生涯学習講座の開講	学生による地域ボランティア活動	地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力	地域や商店会と連携したまちおこし等の共同研究・企画	健康づくり教室や環境体験学習など、区民参加型イベントの開催	図書館以外の施設の開放・貸出	その他	特になし	無回答
全 体		1,467	597	560	490	398	390	247	201	172	12	160	67
		-	40.7	38.2	33.4	27.1	26.6	16.8	13.7	11.7	0.8	10.9	4.6
F 12 居住地	中里連合自治会	76	30.3	42.1	30.3	27.6	22.4	18.4	14.5	6.6	0.0	14.5	3.9
	中里北部連合町内会	68	36.8	39.7	32.4	35.3	23.5	20.6	19.1	13.2	4.4	4.4	4.4
	市ヶ尾連合自治会	83	39.8	32.5	39.8	22.9	28.9	18.1	13.3	16.9	0.0	10.8	10.8
	上谷本連合町内会	65	30.8	36.9	26.2	24.6	26.2	15.4	13.8	7.7	0.0	20.0	7.7
	谷本連合自治会	120	47.5	43.3	40.0	30.8	28.3	13.3	11.7	9.2	1.7	9.2	3.3
	恩田連合自治会	135	44.4	37.8	29.6	21.5	25.2	13.3	9.6	14.1	1.5	11.9	3.7
	青葉台連合自治会	190	45.3	35.3	25.8	24.7	32.6	16.3	10.5	12.1	0.5	11.1	5.8
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	46.4	41.6	40.0	28.0	32.0	12.0	12.8	11.2	0.0	11.2	0.8
	山内連合自治会	202	41.6	39.1	35.1	33.2	24.3	20.3	14.4	15.3	0.5	9.4	2.5
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	34.1	40.2	34.6	23.4	21.5	17.8	17.3	9.3	0.9	13.1	3.3
	すすき野連合自治会	86	37.2	27.9	34.9	32.6	31.4	17.4	17.4	10.5	0.0	10.5	7.0
	美しが丘連合自治会	73	45.2	37.0	34.2	27.4	24.7	19.2	13.7	11.0	0.0	5.5	4.1
	無回答	30	43.3	40.0	26.7	16.7	20.0	20.0	10.0	13.3	3.3	6.7	16.7

5. 買い物について

問 13 普段の日用品・食料品の買い物や、たまに行く洋服・家電製品などの買い物先は、主にどちらですか。また、その頻度や、出かける際の主な交通手段は何ですか

13 - 1 買い物をする所

日用品・食料品は近くの店で、洋服・家電などは遠方まで足を延ばす
横浜市内よりも東京志向が強い

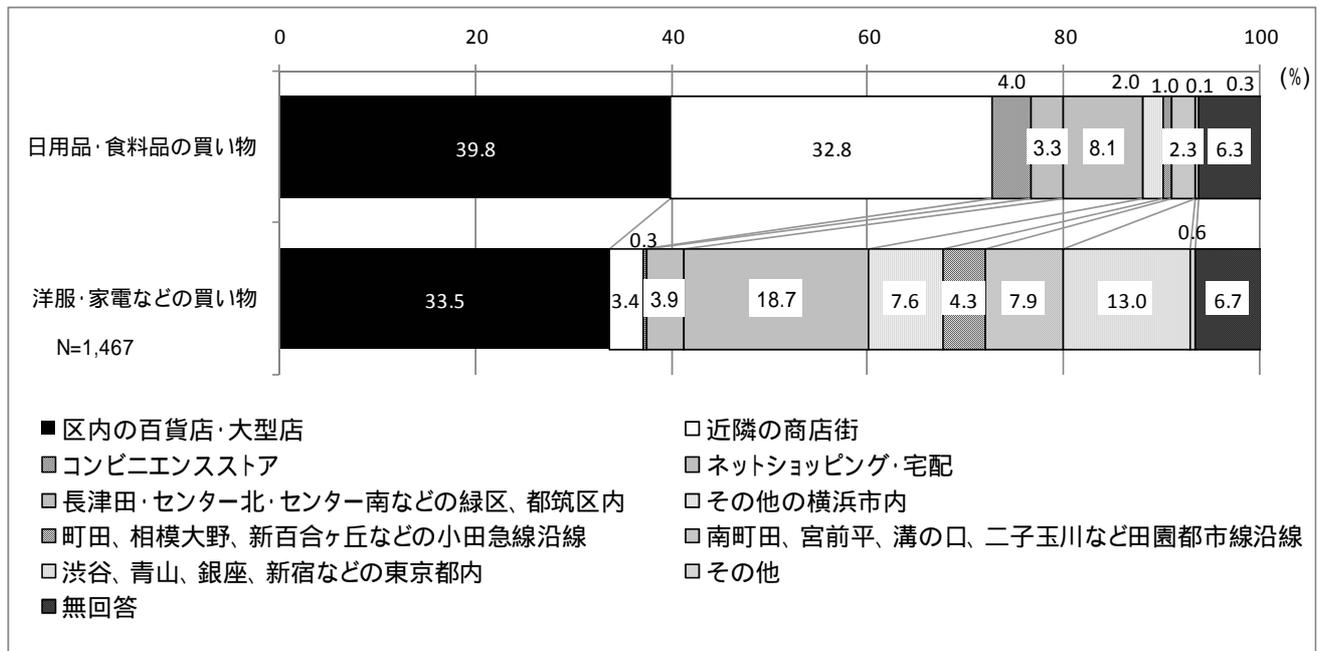
(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ 「区内の百貨店・大型店」が 39.8%で全体の約 4 割、「近隣の商店街」が 32.8%で約 3 割を占め、日用品・食料品については近くの店で済ませるケースが 7 割となっている。次いで「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」が 8.1%である。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 「区内の百貨店・大型店」が 33.5%で最も多く、全体の 3 分の 1 を占める。次いで「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」が 18.7%、「渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内」が 13.0%となっている。日用品に比べて、時間や交通費をかけてでも遠方まで足を延ばす傾向があり、更に、横浜市内よりも都内への志向が見られる。

図 買い物をする所



年齢別・居住地域別 買い物をする所(問 13 - 1 × F1, F12)

(7) 日用品・食料品の買い物

- ・ 10代は「コンビニエンスストア」、20代以上の世代では「区内の百貨店・大型店」が最も多く、20代を境に購買場所の傾向が分かれた。
- ・ 居住地域によって回答が二分した。中里連合自治会、中里北部連合町内会、市ヶ尾連合自治会、上谷本連合町内会、青葉台連合自治会、すすき野連合自治会では「近隣の商店街」が最も多い。
- ・ 谷本連合自治会、恩田連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、山内連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会、美しが丘連合自治会では「区内の百貨店・大型店」が最も多く、特に美しが丘連合自治会で高い数値となっている。

図 年齢別・居住地域別 買い物をする所
(7) 日用品・食料品の買い物

		全体	区内の百貨店・大型店	近隣の商店街	コンビニエンスストア	ネットショッピング・宅配	長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内	その他の横浜市内	町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内	その他	無回答
全体		1,467	584	481	59	48	119	29	14	34	2	5	92
全体		100.0	39.8	32.8	4.0	3.3	8.1	2.0	1.0	2.3	0.1	0.3	6.3
F 1 年齢	10代	51	27.5	21.6	31.4	0.0	7.8	2.0	0.0	3.9	0.0	0.0	5.9
	20代	115	43.5	35.7	5.2	0.9	7.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.0	4.3
	30代	291	38.1	33.3	3.8	3.8	13.4	2.7	1.0	1.0	0.0	0.3	2.4
	40代	324	41.4	33.3	0.9	4.9	9.9	1.5	0.6	2.8	0.0	0.3	4.3
	50代	233	41.2	33.5	0.9	3.4	6.9	1.7	1.3	4.3	0.0	0.0	6.9
	60代	264	39.4	36.4	3.0	3.4	4.9	1.5	1.9	1.1	0.0	0.8	7.6
	70代以上	170	41.8	25.9	6.5	1.8	4.1	1.8	0.0	2.4	0.6	0.6	14.7
	無回答	19	21.1	31.6	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0	10.5
F 12 居住地	中里連合自治会	76	31.6	34.2	5.3	5.3	9.2	3.9	0.0	2.6	0.0	0.0	7.9
	中里北部連合町内会	68	33.8	38.2	8.8	1.5	5.9	1.5	1.5	2.9	0.0	0.0	5.9
	市ヶ尾連合自治会	83	28.9	34.9	2.4	3.6	18.1	0.0	1.2	2.4	0.0	1.2	7.2
	上谷本連合町内会	65	32.3	43.1	4.6	6.2	9.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	谷本連合自治会	120	39.2	26.7	6.7	3.3	10.8	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	6.7
	恩田連合自治会	135	41.5	31.1	5.2	3.0	9.6	0.7	1.5	1.5	0.0	0.7	5.2
	青葉台連合自治会	190	35.3	46.8	3.7	2.1	5.3	2.1	0.0	1.6	0.0	0.0	3.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	43.2	26.4	1.6	4.0	3.2	2.4	7.2	0.8	0.0	0.8	10.4
	山内連合自治会	202	45.5	32.7	3.0	2.5	5.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	5.4
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	39.7	26.6	3.7	3.3	14.0	2.3	0.0	4.2	0.0	0.5	5.6
	すすき野連合自治会	86	31.4	39.5	3.5	3.5	5.8	0.0	1.2	1.2	1.2	1.2	11.6
	美しが丘連合自治会	73	74.0	9.6	2.7	5.5	1.4	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7
	無回答	30	33.3	40.0	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	16.7

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 10代、20代は「渋谷、青山、銀座、新宿などの東京都内」、30代は「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」、40代以上の世代では「区内の百貨店・大型店」が最も多くなっている。
- ・ 市ヶ尾連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会は「長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内」、奈良町、奈良北団地連合自治会は「町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線」、それ以外の地域では「区内の百貨店・大型店」が最も多くなっている。

図 年齢別・居住地別 買い物をする所

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

		全体	区内の百貨店・大型店	近隣の商店街	コンビニエンスストア	ネットショッピング・宅配	長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内	その他の横浜市内	町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	東京都内 渋谷、青山、銀座、新宿などの	その他	無回答
全体		1,467	492	50	5	57	275	112	63	116	190	9	98
全体		100.0	33.5	3.4	0.3	3.9	18.7	7.6	4.3	7.9	13.0	0.6	6.7
F 1 年齢	10代	51	19.6	3.9	0.0	3.9	17.6	7.8	7.8	3.9	29.4	0.0	5.9
	20代	115	19.1	2.6	0.0	6.1	12.2	7.0	9.6	6.1	33.9	0.9	2.6
	30代	291	21.6	4.1	0.7	5.8	32.3	8.9	2.7	6.5	13.4	1.0	2.7
	40代	324	37.0	1.9	0.0	4.9	23.1	5.9	2.2	10.5	9.6	0.3	4.6
	50代	233	34.8	3.0	0.9	2.6	14.6	9.4	4.3	9.4	12.4	0.0	8.6
	60代	264	51.5	3.0	0.0	2.3	11.0	6.8	4.5	6.4	6.8	0.8	6.8
	70代以上	170	32.4	7.1	0.6	1.8	10.6	8.2	5.3	8.2	8.2	0.6	17.1
	無回答	19	26.3	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3	10.5	5.3	26.3	5.3	10.5
F 12 居住地	中里連合自治会	76	35.5	6.6	0.0	3.9	18.4	10.5	0.0	7.9	7.9	0.0	9.2
	中里北部連合町内会	68	33.8	5.9	0.0	8.8	13.2	5.9	4.4	14.7	7.4	1.5	4.4
	市ヶ尾連合自治会	83	20.5	3.6	1.2	2.4	34.9	13.3	0.0	3.6	12.0	0.0	8.4
	上谷本連合町内会	65	40.0	4.6	0.0	1.5	10.8	9.2	4.6	13.8	10.8	0.0	4.6
	谷本連合自治会	120	40.8	3.3	0.0	4.2	11.7	5.0	1.7	10.8	15.0	0.0	7.5
	恩田連合自治会	135	41.5	3.7	0.0	0.7	13.3	5.9	8.9	9.6	9.6	1.5	5.2
	青葉台連合自治会	190	38.9	7.4	0.5	3.2	10.5	6.8	1.6	8.9	17.9	0.5	3.7
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	22.4	0.8	0.0	4.8	12.8	8.0	26.4	5.6	9.6	1.6	8.0
	山内連合自治会	202	31.2	1.0	1.0	4.5	23.3	11.4	1.5	5.0	14.9	0.5	5.9
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	28.5	0.9	0.0	5.1	31.8	7.0	0.9	7.0	10.7	0.5	7.5
	すすき野連合自治会	86	36.0	4.7	0.0	2.3	25.6	4.7	1.2	1.2	14.0	1.2	9.3
	美しが丘連合自治会	73	38.4	2.7	1.4	5.5	12.3	4.1	1.4	11.0	20.5	0.0	2.7
	無回答	30	30.0	3.3	0.0	3.3	6.7	3.3	0.0	13.3	16.7	0.0	23.3

13 - 2 買い物をする頻度

日用品・食料品は、9割近くが週3日以上の頻度で買い物をしている
 洋服・家電などは「月に2、3回」「月に1回」「年に数回」がほぼ並ぶ

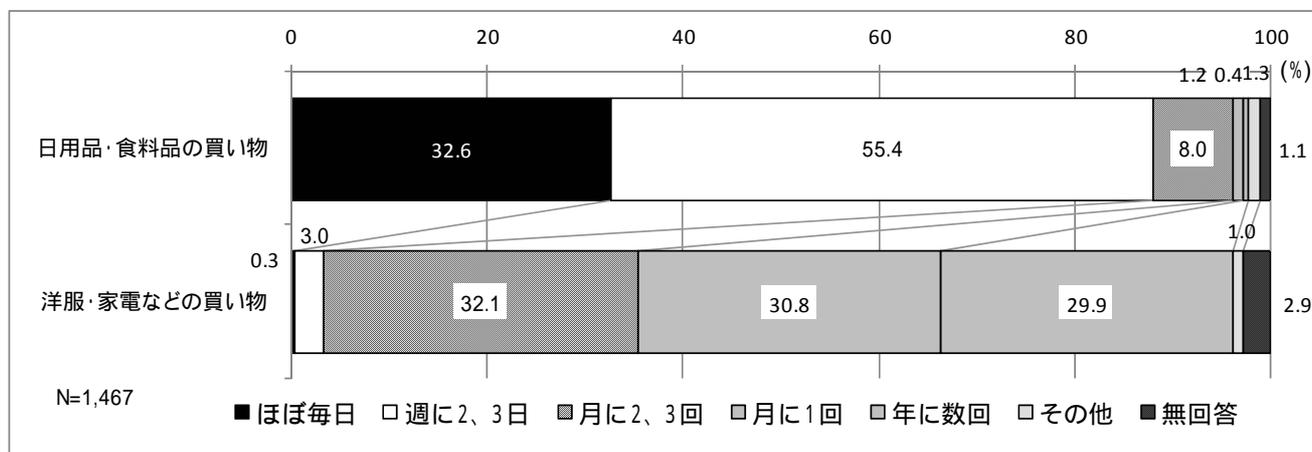
(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ 「週に2、3日」が55.4%となっており、過半数を占める。次いで「ほぼ毎日」が32.6%で、これらを合わせると9割近くが週3日以上の頻度で日用品の買い物をしている。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 「月に2、3回」が32.1%、「月に1回」が30.8%、「年に数回」が29.9%でほぼ並ぶ。

図 買い物をする頻度



年齢別・居住地域別 買い物をする頻度(問 13 - 2×F1, F12)

(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ いずれの年齢層も「週に2、3日」が最も多くなっている。10代で「月に1回」の数値が他世代に比べてやや高い。
- ・ 居住地域別にはさほど大きな差異は見られず、いずれも「週に2、3日」が最も多くなっている。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 最も頻度が高いのは20代から40代までの世代で「月に2、3回」、10代と50代で「月に1回」、60代以上の世代では「年に数回」が最も多くなっている。
- ・ 中里連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会、美しが丘連合自治会では「月に2、3回」が最も多い。
- ・ 上谷本連合町内会では「月に2、3回」「月に1回」が同率となっている。
- ・ 谷本連合自治会では「月に2、3回」「月に1回」「年に数回」が同率となっている。
- ・ 市ヶ尾連合自治会、恩田連合自治会、すすき野連合自治会では「月に1回」が最も多い。
- ・ 中里北部連合町内会、青葉台連合自治会、山内連合自治会では「年に数回」が最も多くなっている。

図 年齢別・居住地域別 買い物をする頻度

(ア) 日用品・食料品の買い物

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

		全体	ほぼ毎日	週に2、3日	月に2、3回	月に1回	年に数回	その他	無回答	全体	ほぼ毎日	週に2、3日	月に2、3回	月に1回	年に数回	その他	無回答
全体		1,467	478	813	118	17	6	19	16	1,467	4	44	471	452	438	15	43
全体		100.0	32.6	55.4	8.0	1.2	0.4	1.3	1.1	100.0	0.3	3.0	32.1	30.8	29.9	1.0	2.9
F 1 年齢	10代	51	25.5	49.0	15.7	9.8	0.0	0.0	0.0	51	0.0	0.0	27.5	43.1	27.5	0.0	2.0
	20代	115	18.3	62.6	13.9	2.6	0.0	0.9	1.7	115	0.0	5.2	39.1	33.0	20.9	0.0	1.7
	30代	291	30.2	57.4	8.2	0.7	0.3	2.4	0.7	291	0.7	3.1	47.1	34.0	14.4	0.0	0.7
	40代	324	37.0	54.3	6.2	0.3	0.0	2.2	0.0	324	0.0	4.9	39.2	31.2	23.1	0.9	0.6
	50代	233	32.6	55.4	10.3	0.4	0.0	0.4	0.9	233	0.0	2.6	28.3	37.3	28.3	0.9	2.6
	60代	264	37.1	53.4	6.4	0.8	0.4	1.1	0.8	264	0.4	0.8	21.6	26.1	47.0	1.1	3.0
	70代以上	170	31.2	55.3	5.3	1.8	2.4	0.0	4.1	170	0.6	1.2	12.9	18.2	51.2	4.1	11.8
	無回答	19	47.4	47.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	19	0.0	15.8	15.8	26.3	31.6	0.0	10.5
F 12 居住地	中里連合自治会	76	25.0	60.5	7.9	2.6	1.3	1.3	1.3	76	0.0	0.0	38.2	26.3	30.3	1.3	3.9
	中里北部連合町内会	68	26.5	57.4	10.3	2.9	0.0	0.0	2.9	68	0.0	2.9	23.5	32.4	35.3	0.0	5.9
	市ヶ尾連合自治会	83	32.5	61.4	4.8	0.0	1.2	0.0	0.0	83	1.2	1.2	31.3	37.3	26.5	0.0	2.4
	上谷本連合町内会	65	35.4	52.3	10.8	0.0	0.0	0.0	1.5	65	0.0	4.6	30.8	30.8	29.2	0.0	4.6
	谷本連合自治会	120	30.8	60.0	6.7	0.8	0.0	0.0	1.7	120	0.0	4.2	30.0	30.0	30.0	2.5	3.3
	恩田連合自治会	135	28.9	60.7	8.1	1.5	0.0	0.7	0.0	135	0.0	4.4	29.6	35.6	26.7	0.7	3.0
	青葉台連合自治会	190	37.4	52.1	6.8	0.5	0.5	1.6	1.1	190	0.5	2.1	30.0	28.4	31.6	3.2	4.2
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	33.6	54.4	8.0	0.8	0.0	1.6	1.6	125	0.0	5.6	33.6	28.8	29.6	0.8	1.6
	山内連合自治会	202	26.7	59.9	8.4	1.5	0.5	2.0	1.0	202	0.5	3.0	31.2	30.2	33.7	0.5	1.0
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	39.7	46.3	9.8	1.4	0.0	2.3	0.5	214	0.0	2.3	40.2	27.6	26.6	0.5	2.8
	すすき野連合自治会	86	31.4	48.8	10.5	2.3	2.3	1.2	3.5	86	0.0	2.3	30.2	37.2	26.7	0.0	3.5
	美しが丘連合自治会	73	39.7	56.2	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	73	1.4	1.4	34.2	32.9	28.8	1.4	0.0
	無回答	30	23.3	63.3	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	30	0.0	6.7	16.7	30.0	40.0	0.0	6.7

13 - 3 主な交通手段

日用品・食料品は、「徒歩」または「自家用車」
洋服・家電などは「自家用車」が最も多く、次いで「電車」

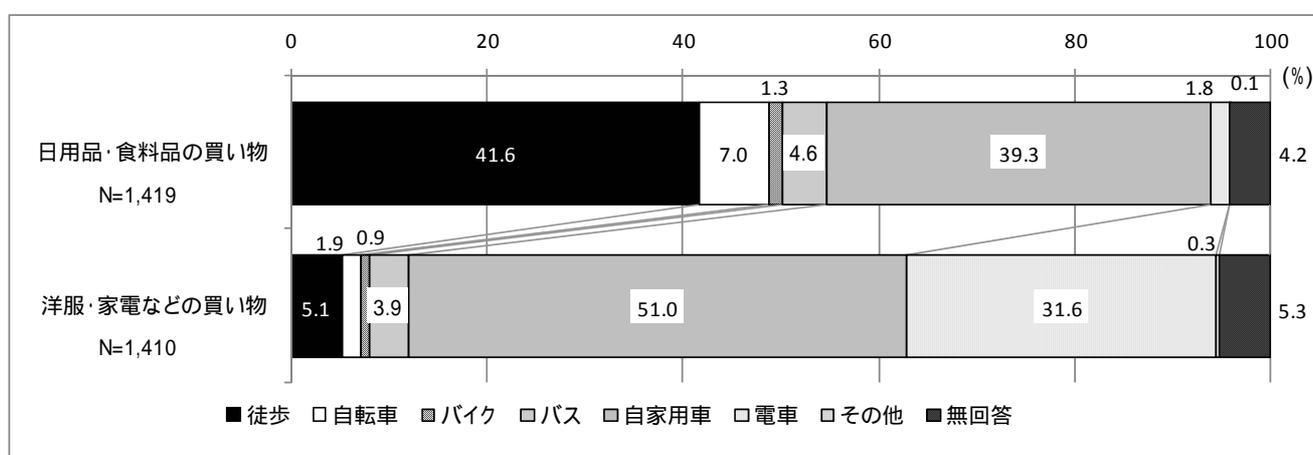
(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ 「徒歩」が41.6%、「自家用車」が39.3%でほぼ並ぶ。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 「自家用車」が51.0%で最も多く、半数を超える。次いで「電車」が31.6%で約3割である。

図 主な交通手段



(問 13 - 1 で「ネットショッピング・宅配」と回答した人を除く)

年齢別・居住地域別 主な交通手段(問 13 - 3 × F1, F12)

(ア) 日用品・食料品の買い物

- ・ 10代から30代までの世代と70代以上で「徒歩」、40代から60代までの世代では「自家用車」が最も多くなっている。また、10代で「自転車」、70代以上で「バス」の数値が他世代に比べて高くなっている。
- ・ 市ヶ尾連合自治会、谷本連合自治会、青葉台連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では「徒歩」、それ以外の地域では「自家用車」が最も多くなっている。

(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物

- ・ 10代、20代、70代以上で「電車」、30代から60代までの世代では「自家用車」が最も多い。また、10代で「自転車」、70代以上で「バス」の数値が他世代に比べて高くなっている。
- ・ 居住地域別では、美しが丘連合自治会のみ「電車」、それ以外はいずれの地域も「自家用車」が最も多い。
- ・ また、すすき野連合自治会で「バス」、美しが丘連合自治会では「徒歩」の数値が、他の地域に比べて高くなっている。

図 年齢別・居住地域別 主な交通手段

		(ア) 日用品・食料品の買い物								(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物									
		全体	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他	無回答	全体	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他	無回答
全体		1,419	591	100	19	65	557	26	1	60	1,410	72	27	13	55	719	445	4	75
全体		100.0	41.6	7.0	1.3	4.6	39.3	1.8	0.1	4.2	100.0	5.1	1.9	0.9	3.9	51.0	31.6	0.3	5.3
F 1 年齢	10代	51	60.8	21.6	2.0	7.8	5.9	0.0	0.0	2.0	49	4.1	14.3	2.0	4.1	10.2	61.2	0.0	4.1
	20代	114	61.4	7.0	1.8	5.3	17.5	4.4	0.0	2.6	108	8.3	1.9	4.6	0.9	25.9	54.6	0.0	3.7
	30代	280	45.4	6.1	1.4	2.5	40.4	2.5	0.0	1.8	274	3.6	0.7	1.1	2.2	60.2	29.6	0.4	2.2
	40代	308	37.7	12.3	1.3	0.6	46.1	0.6	0.0	1.3	308	4.5	2.3	0.6	1.0	64.3	25.6	0.0	1.6
	50代	225	37.8	5.8	0.4	1.8	48.4	2.7	0.0	3.1	227	6.6	1.8	0.4	1.8	55.5	30.0	0.4	3.5
	60代	255	37.6	2.7	1.6	4.3	44.7	1.2	0.0	7.8	258	5.0	1.6	0.4	6.2	55.8	24.8	0.4	5.8
	70代以上	167	35.3	2.4	1.8	18.6	29.3	1.2	0.6	10.8	167	4.8	0.6	0.0	13.8	28.1	32.9	0.6	19.2
	無回答	19	36.8	10.5	0.0	0.0	36.8	5.3	0.0	10.5	19	5.3	0.0	0.0	0.0	31.6	47.4	0.0	15.8
F 12 居住地	中里連合自治会	72	15.3	5.6	2.8	6.9	63.9	1.4	0.0	4.2	73	1.4	1.4	1.4	4.1	56.2	24.7	0.0	11.0
	中里北部連合町内会	67	28.4	9.0	3.0	7.5	44.8	0.0	0.0	7.5	62	4.8	4.8	3.2	6.5	48.4	24.2	0.0	8.1
	市ヶ尾連合自治会	80	50.0	3.8	1.3	2.5	37.5	3.8	0.0	1.3	81	2.5	0.0	0.0	3.7	53.1	38.3	0.0	2.5
	上谷本連合町内会	61	29.5	4.9	1.6	3.3	55.7	3.3	0.0	1.6	64	3.1	0.0	0.0	1.6	64.1	29.7	0.0	1.6
	谷本連合自治会	116	49.1	2.6	1.7	4.3	38.8	0.9	0.0	2.6	115	7.0	1.7	0.9	3.5	53.0	30.4	0.0	3.5
	恩田連合自治会	131	32.1	6.1	1.5	1.5	50.4	3.1	0.0	5.3	134	3.7	2.2	1.5	2.2	52.2	33.6	0.0	4.5
	青葉台連合自治会	186	49.5	9.7	0.5	3.8	33.3	1.1	0.5	1.6	184	10.3	0.5	0.0	4.3	47.3	33.2	0.0	4.3
	奈良町、奈良北団地連合自治会	120	40.8	9.2	1.7	3.3	34.2	3.3	0.0	7.5	119	2.5	1.7	2.5	2.5	52.1	30.3	0.8	7.6
	山内連合自治会	197	41.1	5.6	0.5	5.6	42.6	1.0	0.0	3.6	193	3.1	2.6	1.0	3.1	51.8	34.7	0.5	3.1
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	207	45.9	8.2	0.5	3.9	36.2	1.4	0.0	3.9	203	2.5	3.4	0.5	2.5	50.7	34.0	0.5	5.9
	すすき野連合自治会	83	38.6	9.6	2.4	9.6	30.1	1.2	0.0	8.4	84	1.2	1.2	0.0	15.5	56.0	14.3	1.2	10.7
	美しが丘連合自治会	69	62.3	7.2	2.9	2.9	20.3	1.4	0.0	2.9	69	23.2	1.4	1.4	1.4	33.3	36.2	0.0	2.9
	無回答	30	40.0	10.0	0.0	13.3	16.7	6.7	0.0	13.3	29	3.4	3.4	0.0	3.4	37.9	41.4	0.0	10.3

6. 地域活動・地域社会について

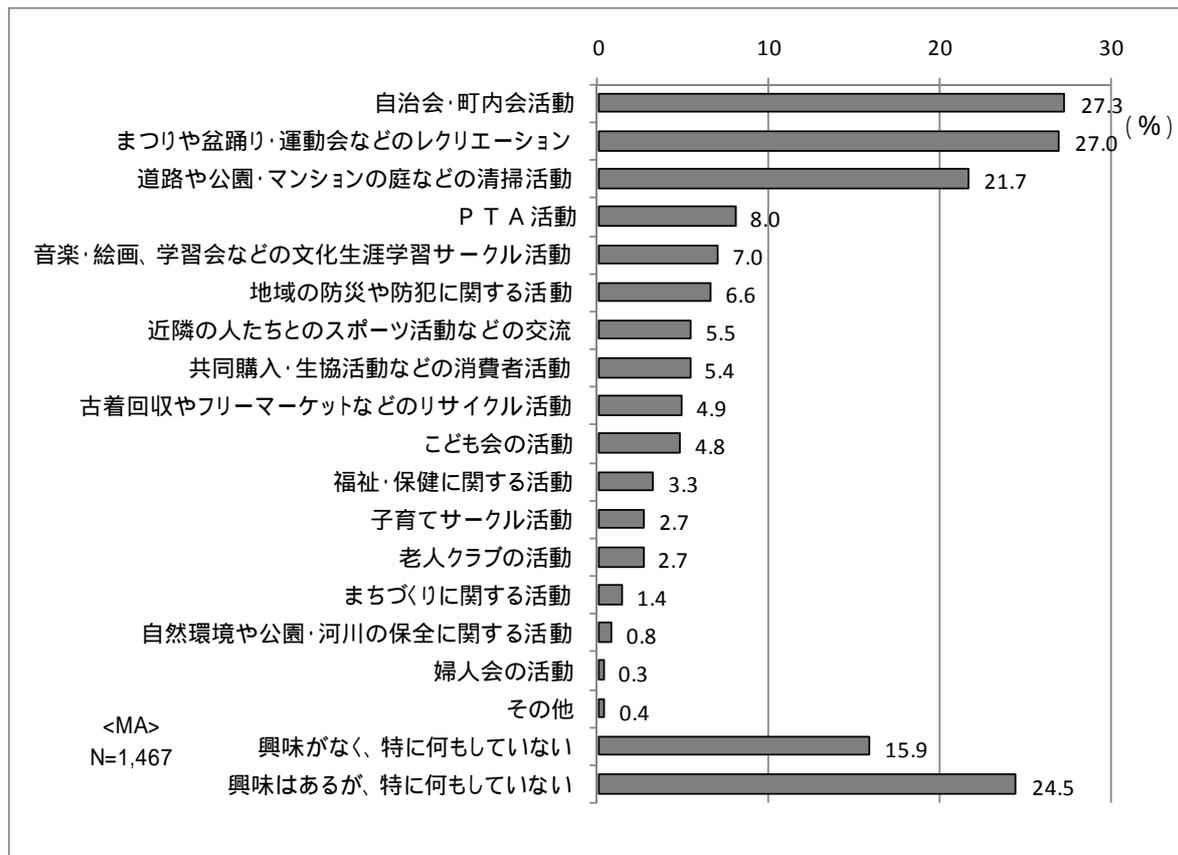
問 14 今お住まいの地域（青葉区内）で、この1～2年の間に、次にあげるような地域の活動に参加したことはありますか（はい/いつでも）

「自治会・町内会活動」「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」の3点に回答が集中

「興味はあるが、特に何もしていない」は24.5%に達しており、潜在的な地域活動の担い手の存在が伺われる

- ・ 「自治会・町内会活動」が27.3%、「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」が27.0%でほぼ並ぶ。次いで「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」が21.7%で、この3点に回答が集中した。
- ・ なお、「興味がなく、特に何もしていない」は15.9%となっている。
- ・ また、「興味はあるが、特に何もしていない」は24.5%に達しており、潜在的な地域活動の担い手がある程度存在していることが伺われる。

図 地域活動への参加（はい/いつでも）



年齢別 地域活動への参加(問 14×F1)

- ・ 10代、30代、40代では「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」、60代、70代以上では「自治会・町内会活動」が最も多い。また20代では「興味がなく、特に何もしていない」、50代では「興味はあるが、特に何もしていない」が最も多く、20代での参加意向の低さが際立っている。
- ・ また、学齢期の子どもがいる世帯が多い40代では「PTA活動」の数値が他世代に比べて高い。
- ・ 70代以上では「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」「老人クラブの活動」の数値も高くなっている。

図 年齢別 地域活動への参加

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
自治会・町内会活動	401	27.3	9.8	1.7	19.9	30.6	29.6	39.4	34.7	26.3
まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション	396	27.0	31.4	14.8	32.6	39.5	16.7	23.1	22.4	10.5
道路や公園・マンションの庭などの清掃活動	318	21.7	3.9	5.2	12.0	25.3	26.6	28.0	31.8	15.8
PTA活動	118	8.0	2.0	0.0	8.2	25.0	3.0	1.5	0.6	0.0
音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動	103	7.0	0.0	1.7	2.7	4.0	7.7	13.3	15.3	5.3
地域の防災や防犯に関する活動	97	6.6	0.0	0.0	3.1	8.6	5.2	9.5	13.5	0.0
近隣の人たちとのスポーツ活動などの交流	80	5.5	2.0	0.9	2.7	5.9	7.3	8.3	5.9	10.5
共同購入・生協活動などの消費者活動	79	5.4	0.0	0.0	5.2	8.3	4.7	6.8	4.7	0.0
古着回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動	72	4.9	7.8	2.6	3.8	7.1	6.9	4.5	1.8	0.0
こども会の活動	71	4.8	2.0	0.9	7.6	12.3	1.3	1.1	0.6	0.0
福祉・保健に関する活動	48	3.3	0.0	0.9	1.7	1.9	3.4	6.1	6.5	5.3
子育てサークル活動	40	2.7	0.0	3.5	5.8	3.7	0.9	1.1	1.2	0.0
老人クラブの活動	39	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.3	18.2	5.3
まちづくりに関する活動	21	1.4	0.0	0.0	1.0	1.2	2.6	1.1	2.9	0.0
自然環境や公園・河川の保全に関する活動	12	0.8	0.0	0.0	0.3	0.9	0.4	1.5	1.8	0.0
婦人会の活動	5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.4	0.0
その他	6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.6	0.4	1.1	0.0	0.0
興味がなく、特に何もしていない	233	15.9	27.5	38.3	20.6	11.7	12.0	8.7	13.5	15.8
興味はあるが、特に何もしていない	359	24.5	29.4	33.9	26.1	19.8	32.2	20.1	20.0	15.8
無回答	41	2.8	3.9	4.3	0.7	1.5	2.1	4.2	3.5	26.3

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

子どもの有無及び段階別 地域活動への参加(問 14×F8)

- ・ 高校在学中までの子どもがいる世帯では「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」、それ以上の子どもがいる世帯では、学校教育終了 未婚 別居のケースを除き「自治会・町内会活動」が最も多くなっている。学校教育終了 未婚 別居のケースは「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」が最も多い。子どもがいない世帯では「興味はあるが、特に何もしていない」が最も多くなっている。
- ・ また、子どもが小学校入学前で「子育てサークル活動」、小学校・中学校に在学中で「こども会の活動」、小学校・中学校・高校在学中で「PTA活動」、学校教育終了 既婚 同居のケースでは「老人クラブの活動」「地域の防災や防犯に関する活動」、子どもがいないケースでは「興味がなく、特に何もしていない」の数値が、それぞれ他に比べて高くなっている。子どもが地域活動参加へのきっかけとなっている様子が色濃く表れている。

図 子どもの有無及び段階別 地域活動への参加

	全体	小学校入学前	小学校在学中	中学校在学中	高校在学中	各種学校、専修・専門学校在学中	短大・大学・大学院在学中	学校教育終了 未婚 同居	学校教育終了 未婚 別居	学校教育終了 既婚 同居	学校教育終了 既婚 別居	その他	子どもはいない	無回答
全体	1,467 -	175	197	141	95	13	105	206	130	51	264	1	407	69
自治会・町内会活動	401 27.3	24.6	39.1	42.6	41.1	38.5	34.3	32.0	31.5	41.2	38.3	100.0	11.8	17.4
まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション	396 27.0	45.7	57.9	49.6	45.3	30.8	24.8	17.5	14.6	31.4	22.3	0.0	15.5	20.3
道路や公園・マンションの庭などの清掃活動	318 21.7	19.4	27.4	29.8	29.5	23.1	28.6	23.8	32.3	19.6	35.2	0.0	9.3	15.9
PTA活動	118 8.0	9.7	38.1	39.7	25.3	7.7	12.4	2.4	0.0	2.0	0.8	0.0	0.5	2.9
音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動	103 7.0	2.9	2.5	7.1	8.4	7.7	7.6	9.2	13.1	11.8	13.6	0.0	4.4	8.7
地域の防災や防犯に関する活動	97 6.6	4.0	11.2	14.2	11.6	0.0	5.7	6.3	5.4	15.7	11.0	0.0	1.7	5.8
近隣の人たちとのスポーツ活動などの交流	80 5.5	2.3	8.6	8.5	10.5	7.7	6.7	7.3	9.2	7.8	8.0	0.0	2.5	4.3
共同購入・生協活動などの消費者活動	79 5.4	10.9	9.1	8.5	11.6	0.0	7.6	3.9	8.5	2.0	6.1	0.0	2.2	2.9
古着回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動	72 4.9	3.4	7.6	7.8	7.4	0.0	8.6	6.3	3.1	0.0	3.4	0.0	4.9	2.9
こども会の活動	71 4.8	10.3	25.4	19.1	8.4	7.7	3.8	0.5	0.8	0.0	1.1	0.0	0.7	0.0
福祉・保健に関する活動	48 3.3	1.1	1.5	0.7	4.2	0.0	5.7	2.4	3.1	9.8	6.4	0.0	1.5	5.8
子育てサークル活動	40 2.7	16.6	4.1	3.5	1.1	0.0	1.9	1.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.2	0.0
老人クラブの活動	39 2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	3.1	19.6	7.2	0.0	1.0	8.7
まちづくりに関する活動	21 1.4	2.3	1.5	0.0	3.2	0.0	4.8	2.4	0.8	2.0	1.9	0.0	0.5	1.4
自然環境や公園・河川の保全に関する活動	12 0.8	0.6	0.5	0.0	1.1	0.0	1.9	1.0	0.8	0.0	1.9	0.0	0.7	0.0
婦人会の活動	5 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	2.0	0.8	0.0	0.2	0.0
その他	6 0.4	0.0	1.0	1.4	1.1	0.0	0.0	1.0	1.5	2.0	0.8	0.0	0.0	0.0
興味がなく、特に何もしていない	233 15.9	6.9	5.1	7.8	4.2	0.0	8.6	10.7	7.7	11.8	11.4	0.0	31.4	14.5
興味はあるが、特に何もしていない	359 24.5	23.4	10.7	12.8	22.1	30.8	27.6	30.6	23.1	13.7	17.8	0.0	32.2	33.3
無回答	41 2.8	1.7	2.0	2.1	2.1	0.0	1.9	1.9	2.3	3.9	4.9	0.0	2.0	4.3

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域活動への参加(問 14×F12)

- ・ 中里北部連合町内会、山内連合自治会では「自治会・町内会活動」、中里連合自治会、青葉台連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会、美しが丘連合自治会では「まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション」が最も多く、市ヶ尾連合自治会ではこの2つが同率となっている。
- ・ 恩田連合自治会、すすき野連合自治会では「道路や公園・マンションの庭などの清掃活動」が最も多い
- ・ 上谷本連合町内会、谷本連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「興味はあるが、特に何もしていない」が最も多く、地域によって特色がみられた。
- ・ また、すすき野連合自治会では「音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動」「近隣の人たちとのスポーツ活動などの交流」の数値が他地域に比べて高い。

図 居住地域別 地域活動への参加

	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答	
全体	1,467	-	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
自治会・町内会活動	401	27.3	28.9	35.3	27.7	20.0	25.0	27.4	26.3	32.8	27.7	20.1	43.0	30.1	10.0
まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション	396	27.0	31.6	29.4	27.7	27.7	24.2	18.5	29.5	40.0	23.8	17.3	34.9	39.7	23.3
道路や公園・マンションの庭などの清掃活動	318	21.7	11.8	25.0	12.0	15.4	20.8	28.1	18.9	29.6	23.3	12.6	44.2	27.4	13.3
P T A活動	118	8.0	6.6	10.3	9.6	9.2	8.3	8.9	7.9	5.6	7.9	9.3	7.0	6.8	3.3
音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動	103	7.0	6.6	7.4	3.6	3.1	3.3	5.9	9.5	10.4	5.4	6.1	17.4	5.5	6.7
地域の防災や防犯に関する活動	97	6.6	9.2	10.3	2.4	4.6	2.5	6.7	13.2	7.2	5.0	4.2	10.5	5.5	0.0
近隣の人たちとのスポーツ活動などの交流	80	5.5	6.6	11.8	3.6	1.5	3.3	7.4	6.8	3.2	5.0	3.3	14.0	2.7	3.3
共同購入・生協活動などの消費者活動	79	5.4	6.6	0.0	8.4	7.7	4.2	5.9	3.7	10.4	5.4	4.7	2.3	8.2	0.0
古着回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動	72	4.9	2.6	7.4	4.8	7.7	4.2	5.9	6.3	3.2	3.5	4.7	7.0	4.1	3.3
こども会の活動	71	4.8	3.9	5.9	6.0	7.7	9.2	8.9	4.2	5.6	1.5	3.7	5.8	0.0	0.0
福祉・保健に関する活動	48	3.3	2.6	1.5	1.2	3.1	3.3	5.2	4.2	4.8	2.0	1.4	8.1	1.4	6.7
子育てサークル活動	40	2.7	2.6	1.5	1.2	1.5	2.5	2.2	2.6	4.0	2.0	4.7	4.7	1.4	0.0
老人クラブの活動	39	2.7	5.3	2.9	0.0	1.5	0.8	3.0	3.7	2.4	2.5	0.9	7.0	5.5	0.0
まちづくりに関する活動	21	1.4	1.3	1.5	0.0	3.1	0.8	5.9	1.6	0.8	0.5	0.0	3.5	0.0	0.0
自然環境や公園・河川の保全に関する活動	12	0.8	0.0	4.4	1.2	1.5	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0
婦人会の活動	5	0.3	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	0.4	0.0	1.5	1.2	0.0	0.0	1.5	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
興味がなく、特に何もしていない	233	15.9	15.8	17.6	19.3	15.4	15.8	20.0	18.9	14.4	14.9	17.3	8.1	5.5	16.7
興味はあるが、特に何もしていない	359	24.5	21.1	17.6	20.5	35.4	31.7	21.5	20.5	21.6	26.2	30.8	17.4	19.2	33.3
無回答	41	2.8	2.6	4.4	4.8	0.0	2.5	4.4	4.7	2.4	3.5	1.4	1.2	0.0	0.0

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

問 14 - 1 特に何もしていない理由は何ですか(は2つまで)

興味はあるが、特に何もしていない理由は「仕事などが忙しくて参加する暇がない」が最多

- ・ 「興味はあるが、特に何もしていない」と答えた人にその理由を尋ねると、「仕事などが忙しくて参加する暇がない」が最も多く 50.7%で、半数の人が挙げている。次いで「きっかけ・呼びかけがない」が34.3%、「参加の仕方がわからない」が25.6%である。
- ・ 「その他」のうち、最も多かったのは「引っ越してきて間がないから」の9件だった。

図 特に何もしていない理由(は2つまで)

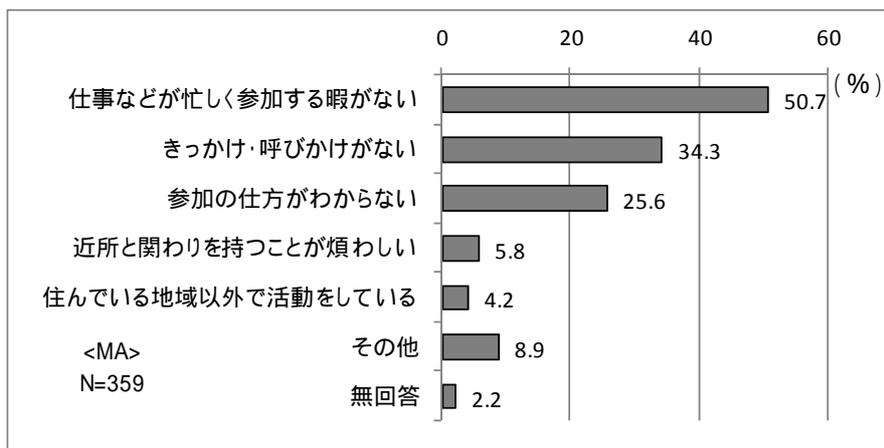


図 「その他」の内容

意見内容	件数
引っ越してきて間がない	9
健康上の問題	7
育児が忙しいため	2
親の介護があるため	2
学校が忙しいため	2
活動内容に不満がある	2
活動を知らなかった	1
趣味が忙しいため	1
知らない人の間に入りづらい	1
単身赴任中のため	1
マンションが自治会に入っていない	1
やる気にならない	1
総数	30

年齢別 特に何もしていない理由(問 14 - 1×F1)

- ・ 10代と40代から60代までの世代では「仕事などが忙しく参加する暇がない」、20代は「参加の仕方がわからない」、30代、70代以上では「きっかけ・呼びかけがない」が最も多くなっている。

図 年齢別 特に何もしていない理由

		全体	仕事などが忙しく参加する暇がない	きっかけ・呼びかけがない	参加の仕方がわからない	近所と関わりを持つことが煩わしい	住んでいる地域以外で活動をしている	その他	無回答
全 体		359	182	123	92	21	15	32	8
		-	50.7	34.3	25.6	5.8	4.2	8.9	2.2
F 1 年齢	10代	15	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	13.3	0.0
	20代	39	38.5	41.0	46.2	2.6	2.6	10.3	5.1
	30代	76	44.7	47.4	27.6	5.3	1.3	10.5	2.6
	40代	64	64.1	34.4	23.4	1.6	4.7	9.4	0.0
	50代	75	68.0	18.7	18.7	9.3	4.0	4.0	4.0
	60代	53	43.4	37.7	22.6	7.5	5.7	5.7	0.0
	70代以上	34	20.6	32.4	26.5	8.8	11.8	17.6	2.9
	無回答	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

居住地別 特に何もしていない理由(問 14 - 1×F12)

- ・ 中里北部連合町内会、すすき野連合自治会、美しが丘連合自治会では「きっかけ・呼びかけがない」、中里連合自治会はこれと「仕事などが忙しく参加する暇がない」が同率、それ以外の地域では「仕事などが忙しく参加する暇がない」が最も多くなっている。
- ・ また、中里連合自治会と中里北部連合町内会では「近所と関わりを持つことが煩わしい」、恩田連合自治会では「住んでいる地域以外で活動をしている」、青葉台連合自治会、奈良町、奈良北団地連合自治会では「その他」の数値がそれぞれ他地域に比べて高くなっている。

図 居住地別 特に何もしていない理由

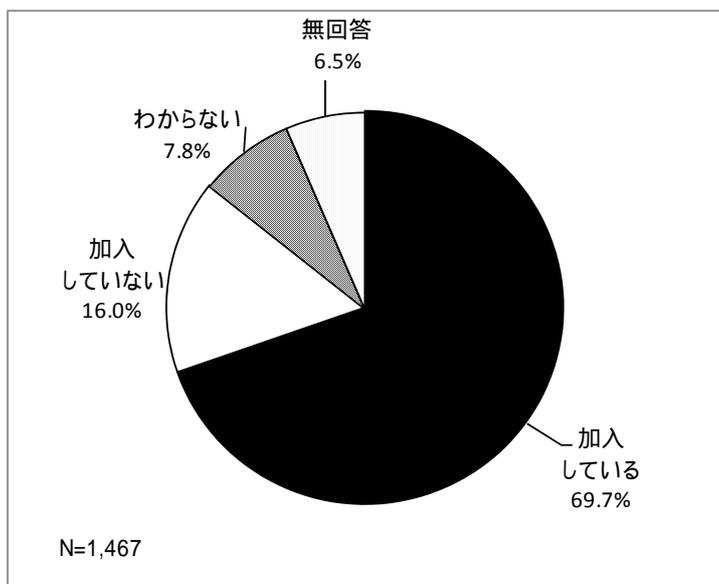
		全体	仕事などが忙しく参加する暇がない	きっかけ・呼びかけがない	参加の仕方がわからない	近所と関わりを持つことが煩わしい	住んでいる地域以外で活動をしている	その他	無回答
全 体		359	182	123	92	21	15	32	8
		-	50.7	34.3	25.6	5.8	4.2	8.9	2.2
F 12 居住地	中里連合自治会	16	37.5	37.5	25.0	18.8	6.3	12.5	0.0
	中里北部連合町内会	12	8.3	50.0	33.3	16.7	8.3	8.3	0.0
	市ヶ尾連合自治会	17	58.8	35.3	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0
	上谷本連合町内会	23	65.2	21.7	21.7	4.3	0.0	0.0	8.7
	谷本連合自治会	38	55.3	23.7	31.6	2.6	7.9	7.9	7.9
	恩田連合自治会	29	58.6	20.7	17.2	0.0	13.8	0.0	6.9
	青葉台連合自治会	39	53.8	23.1	23.1	2.6	2.6	17.9	0.0
	奈良町、奈良北団地連合自治会	27	55.6	18.5	25.9	3.7	3.7	22.2	0.0
	山内連合自治会	53	43.4	37.7	28.3	13.2	3.8	7.5	1.9
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	66	54.5	45.5	28.8	3.0	0.0	12.1	0.0
	すすき野連合自治会	15	26.7	66.7	33.3	6.7	6.7	6.7	0.0
	美しが丘連合自治会	14	42.9	57.1	28.6	7.1	0.0	0.0	0.0
	無回答	10	70.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0

問 15 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会へ加入していますか

「加入している」が「加入していない」を 50 ポイント以上上回る

- ・ 「加入している」が 69.7%で、「加入していない」の 16.0%を 50 ポイント以上上回っている。「わからない」は 7.8%である。

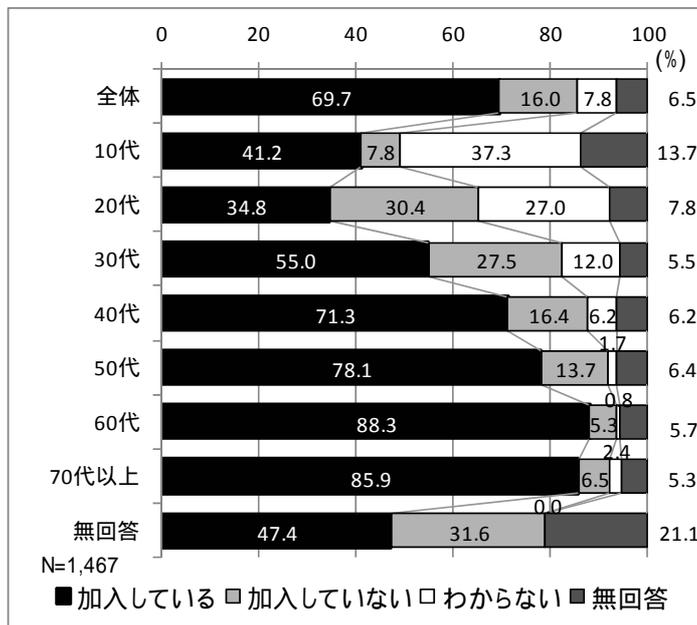
図 自治会・町内会加入の有無



年齢別 自治会・町内会加入の有無(問 15×F1)

- ・ いずれも「加入している」が最も多く、年齢が高いほど数値も高くなっている。
- ・ 10代、20代では「わからない」、20代、30代では「加入していない」の数値が高く、若年層での加入率の低さが目立つ。

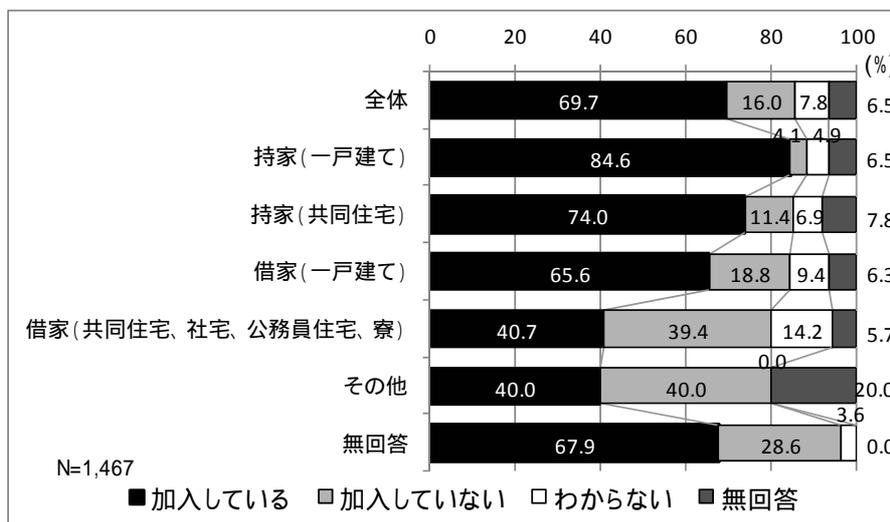
図 年齢別 自治会・町内会加入の有無



住居形態別 自治会・町内会加入の有無(問 15×F5)

- ・ いずれも「加入している」が最も多く、特に持家(一戸建て)では8割を超える高い数値となっているほか、サンプル数は少ないが「その他」では「加入していない」が同率となっている。
- ・ 借家(共同住宅、社宅、公務員住宅、寮)でも、「加入していない」の数値が他に比べて特に高くなっている。

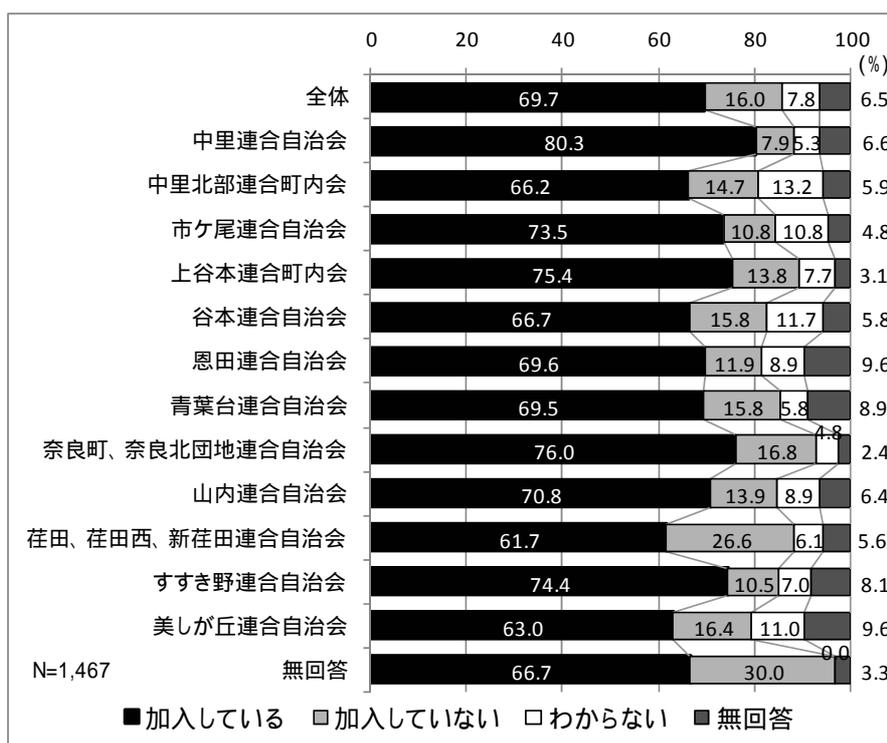
図 住居形態別 自治会・町内会加入の有無



居住地域別 自治会・町内会加入の有無(問 15×F12)

- ・ いずれの地域も「加入している」が最も多い。特に中里連合自治会では8割近くに達している。
- ・ 一方、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「加入していない」の数値が他に比べて高い。

図 居住地域別 自治会・町内会加入の有無



問 15 - 1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか(は2つまで)

自治会・町内会に加入しない主な理由は「加入を勧誘されなかった」から

- ・ 自治会・町内会に加入していない人に理由を尋ねると「加入を勧誘されなかった」が 40.9%で4割の人が挙げており、最も多くなっている。
- ・ 「その他」35件のうち29件に具体的な記述があり、最も多かったのは「住んでいるマンションの方針」の9件であった。

図 自治会・町内会へ加入していない理由(は2つまで)

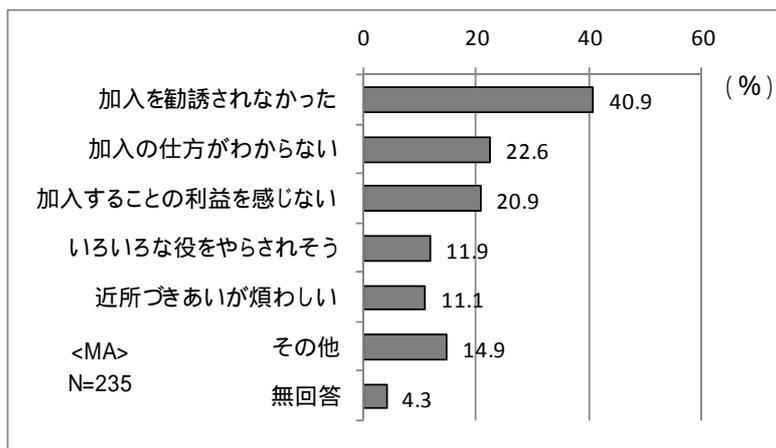


図 「その他」の内容

意見内容	件数
住んでいるマンションの方針	9
時間がない	6
仮住まいだから、転勤族だから	5
引っ越してきたばかりだから	4
子どもが小さいから	1
自治会・町内会がない	1
存在、役割を理解していないから	1
生活への負担が大きいから	1
役員の対応に失望した	1
総数	29

年齢別 自治会・町内会へ加入していない理由(問 15 - 1 × F 1)

- ・ サンプル数が少ないが、10代では「加入することの利益を感じない」、20代が「加入の仕方がわからない」、30代から60代では「加入を勧誘されなかった」、70代以上では「その他」が最も多くなっている。
- ・ また60代で「近所づきあいが煩わしい」の数値が高い。

図 年齢別 自治会・町内会へ加入していない理由

		全体	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	その他	無回答
全 体		235	96	53	49	28	26	35	10
		-	40.9	22.6	20.9	11.9	11.1	14.9	4.3
F 1 年齢	10代	4	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	20代	35	37.1	40.0	28.6	11.4	2.9	2.9	2.9
	30代	80	52.5	21.3	20.0	12.5	15.0	10.0	1.3
	40代	53	32.1	15.1	24.5	13.2	7.5	20.8	7.5
	50代	32	34.4	21.9	21.9	15.6	12.5	21.9	0.0
	60代	14	50.0	28.6	7.1	7.1	21.4	21.4	0.0
	70代以上	11	27.3	18.2	0.0	0.0	0.0	36.4	27.3
	無回答	6	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7

住居形態別 自治会・町内会へ加入していない理由(問 15 - 1 × F 5)

- ・ 持家（共同住宅）では「加入することの利益を感じない」、それ以外では「加入を勧誘されなかった」が最も多くなっている。
- ・ また、サンプル数は少ないが、借家（一戸建て）で「いろいろな役をやらされそう」の数値が高い。

図 住居形態別 自治会・町内会へ加入していない理由

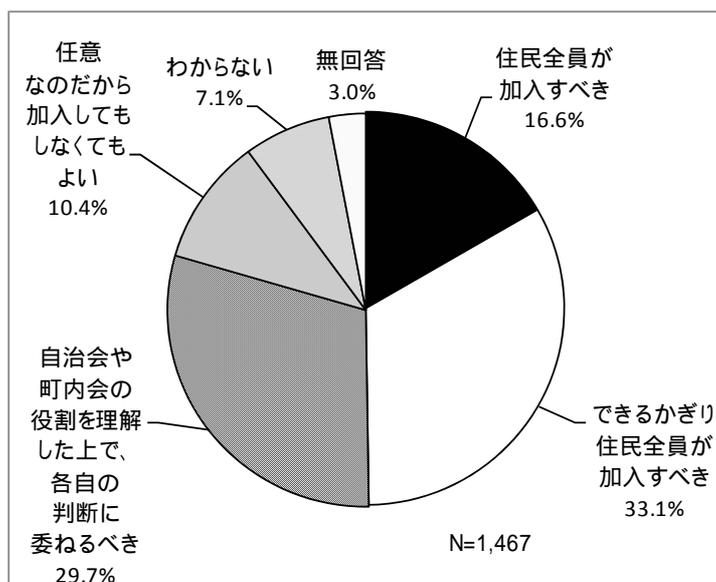
		全体	加入を勧誘されなかった	加入の仕方がわからない	加入することの利益を感じない	いろいろな役をやらされそう	近所づきあいが煩わしい	その他	無回答
全 体		235	96	53	49	28	26	35	10
		-	40.9	22.6	20.9	11.9	11.1	14.9	4.3
F 5 住まい	持家（一戸建て）	28	46.4	17.9	25.0	3.6	7.1	10.7	10.7
	持家（共同住宅）	38	23.7	13.2	34.2	18.4	7.9	21.1	0.0
	借家（一戸建て）	6	83.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）	153	41.8	26.1	18.3	10.5	12.4	14.4	4.6
	その他	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	無回答	8	50.0	37.5	0.0	25.0	25.0	12.5	0.0

問 16 あなたは、自治会・町内会の加入について、どう思いますか

「できるかぎり住民全員が加入すべき」、次いで「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」が多くなっている

- ・ 「できるかぎり住民全員が加入すべき」が 33.1%で最多、次いで「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」が 29.7%となっており、この2つが多くなっている。

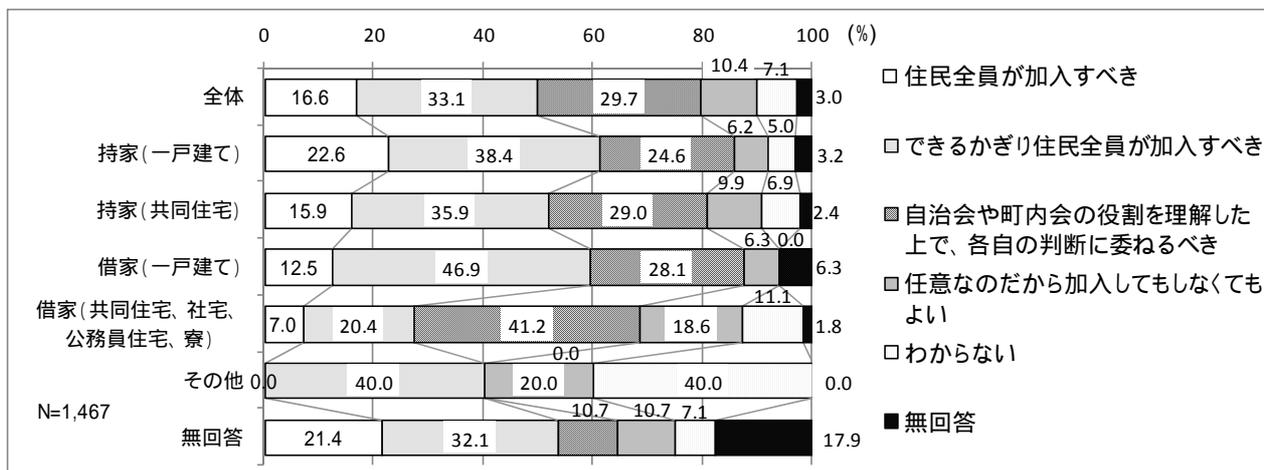
図 自治会・町内会の加入についてどう思うか



年齢別 自治会・町内会の加入についてどう思うか(問 16×F1)

- ・ 10代と40代から60代までの世代では「できるかぎり住民全員が加入すべき」、20代、30代で「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」、70代以上では「住民全員が加入すべき」が最も多くなっている。また10代で「任意なのだから加入してもしなくてもよい」、10代と20代で「わからない」の数値が高い。

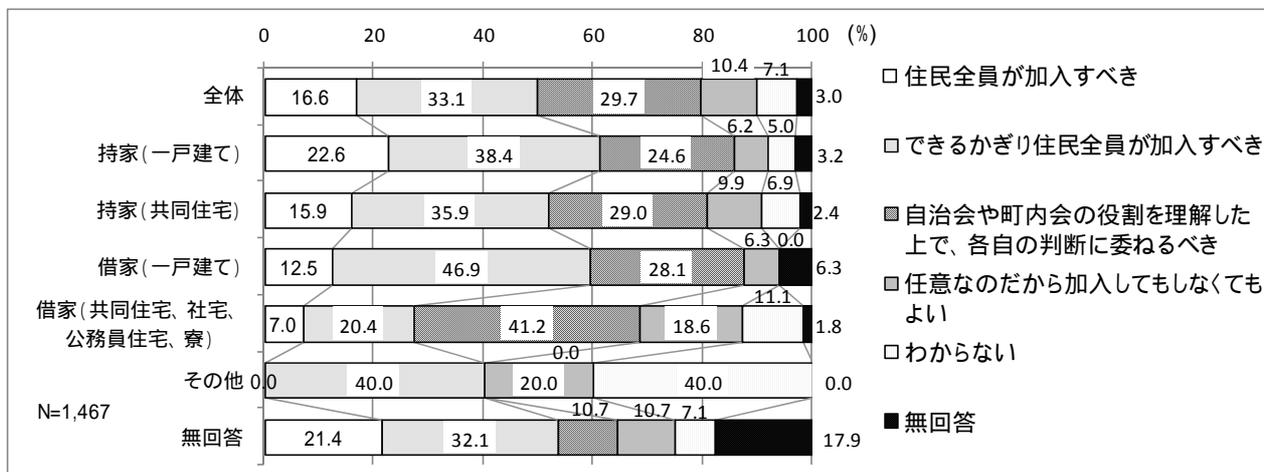
図 年齢別 自治会・町内会の加入についてどう思うか



住居形態別 自治会・町内会の加入についてどう思うか(問 16×F5)

- 借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮）では「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」、それ以外では「できるかぎり住民全員が加入すべき」が最も多く、その他では「わからない」が同率になっている。

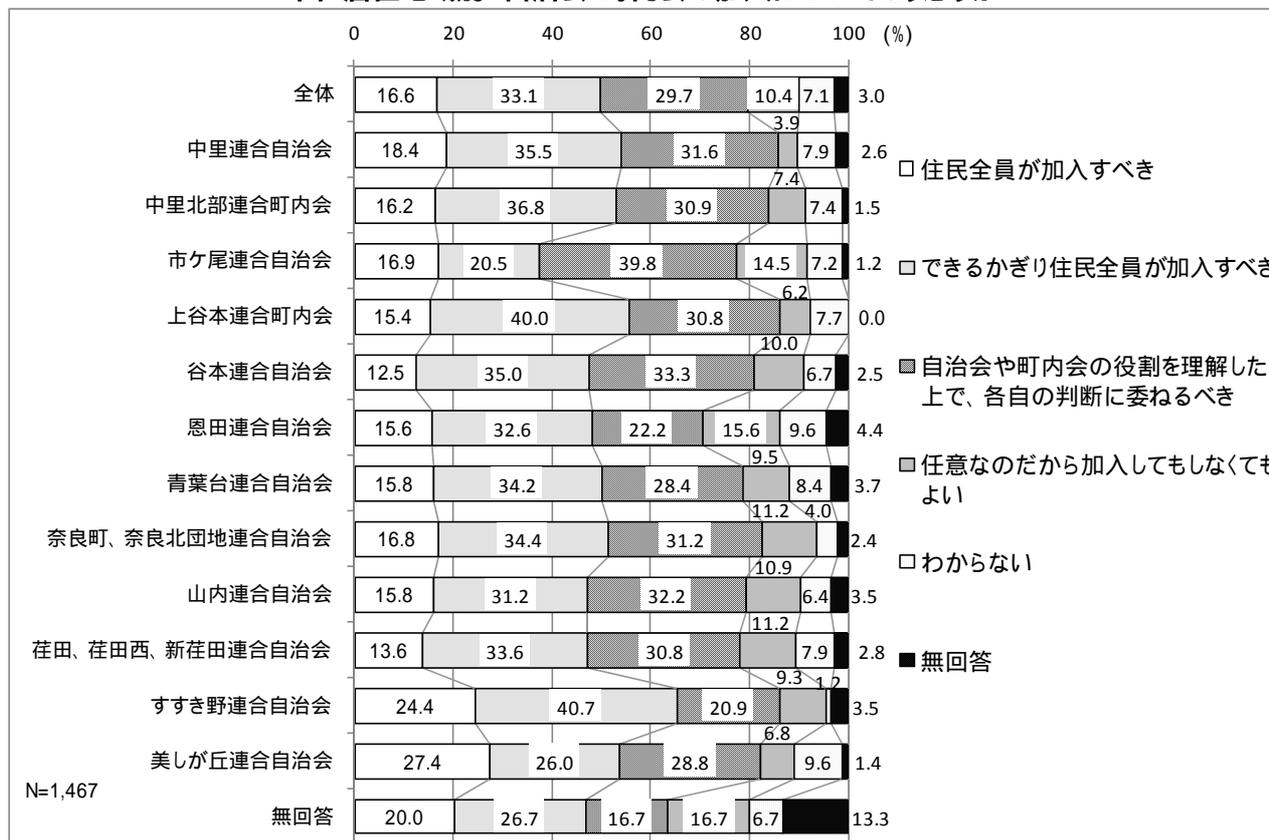
図 住居形態別 自治会・町内会の加入についてどう思うか



居住地域別 自治会・町内会の加入についてどう思うか(問 16×F12)

- 市ヶ尾連合自治会、山内連合自治会、美しが丘連合自治会で「自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき」、それ以外の地域では「できるかぎり住民全員が加入すべき」が最も多くなっている。
- また、美しが丘連合自治会で「住民全員が加入すべき」の数値が他に比べて高くなっている

図 居住地域別 自治会・町内会の加入についてどう思うか

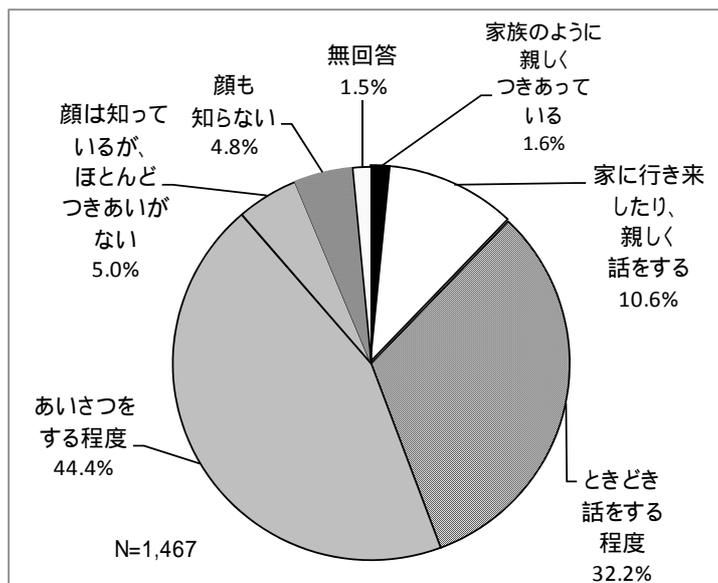


問 17 あなたは、普段、近所づきあいをどの程度していますか

家を行き来するほど親しくはないが、会えばあいさつをする程度の近所付き合いが中心である

- 「あいさつをする程度」が 44.4%と全体の半分弱を占める。次いで「ときどき話をする程度」が 32.2%で、この2つに回答が集中しており、家を行き来するほど親しくはないが、会えばあいさつをする程度の近所付き合いが中心になっていることが伺われる。

図 近所づきあいについて



年齢別 近所づきあいについて(問 17×F1)

- 10代から50代までの世代では「あいさつをする程度」、60代と70代以上では「ときどき話をする程度」が最も多く、高齢者層の方が近所づきあいが深い。

図 年齢別 近所づきあいについて

		全体	家族の ように 親しくつき あっている	家に行き来 したり、 親しく話を する	ときどき 話をする 程度	あいさつを する程度	顔は知って いるが、 ほとんど つきあいが ない	顔も 知らない	無回答
全 体		1,467	23	155	472	651	74	70	22
		100.0	1.6	10.6	32.2	44.4	5.0	4.8	1.5
F 1 年齢	10代	51	3.9	2.0	21.6	56.9	9.8	2.0	3.9
	20代	115	1.7	2.6	13.9	58.3	11.3	12.2	0.0
	30代	291	0.3	9.6	23.7	49.5	5.2	11.0	0.7
	40代	324	0.6	11.7	37.3	42.6	4.3	3.1	0.3
	50代	233	0.4	9.9	32.2	48.9	4.7	2.1	1.7
	60代	264	1.5	14.0	43.2	34.5	3.8	0.8	2.3
	70代以上	170	6.5	14.7	37.1	34.1	2.9	2.4	2.4
	無回答	19	0.0	0.0	15.8	52.6	5.3	10.5	15.8

同居している子ども別 近所づきあいについて(問 17×F10)

- いずれも「あいさつをする程度」が最も多くなっているが、小学生の子どもがいる世帯で「家に行き来したり、親しく話をする」、子どもが専門学校生、大学生の世帯で「ときどき話をする程度」の数値がそれぞれ高くなっている。

図 同居している子ども別 近所づきあいについて

		全体	家族の ように 親しくつき あっている	家に行き来 したり、 親しく話を する	ときどき 話をする 程度	あいさつを する程度	顔は知って いるが、 ほとんど つきあいが ない	顔も 知らない	無回答
全 体		1,467 100.0	23 1.6	155 10.6	472 32.2	651 44.4	74 5.0	70 4.8	22 1.5
F 10 同居して いる子ども	乳幼児・未就学児	185	1.6	15.1	33.0	41.1	3.8	4.3	1.1
	小学生	217	0.9	19.4	36.4	38.7	0.9	1.8	1.8
	中学生	160	0.6	12.5	40.0	41.9	1.9	1.3	1.9
	高校生	107	0.0	15.0	37.4	45.8	0.0	0.0	1.9
	専門学校生、大学生	131	0.8	7.6	42.0	42.7	3.8	3.1	0.0
	上記にあてはまる家族はいない	833	2.0	8.2	30.0	45.4	6.7	6.1	1.6
	無回答	39	2.6	7.7	25.6	46.2	10.3	5.1	2.6

居住地域別 近所づきあいについて(問 17×F12)

- 中里連合自治会で「ときどき話をする程度」、それ以外の地域では「あいさつをする程度」が最も多くなっている。

図 居住地域別 近所づきあいについて

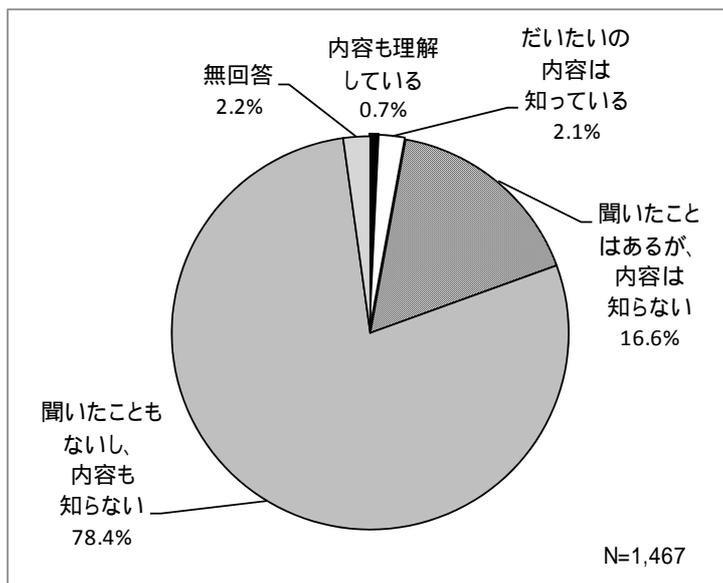
		全体	家族の ように 親しくつき あっている	家に行き来 したり、 親しく話を する	ときどき 話をする 程度	あいさつを する程度	顔は知って いるが、 ほとんど つきあいが ない	顔も 知らない	無回答
全 体		1,467 100.0	23 1.6	155 10.6	472 32.2	651 44.4	74 5.0	70 4.8	22 1.5
F 12 居住地	中里連合自治会	76	3.9	13.2	40.8	36.8	1.3	2.6	1.3
	中里北部連合町内会	68	2.9	10.3	36.8	42.6	2.9	2.9	1.5
	市ヶ尾連合自治会	83	2.4	10.8	27.7	45.8	9.6	3.6	0.0
	上谷本連合町内会	65	0.0	9.2	41.5	43.1	3.1	3.1	0.0
	谷本連合自治会	120	0.8	7.5	28.3	48.3	6.7	7.5	0.8
	恩田連合自治会	135	0.7	9.6	34.1	47.4	1.5	2.2	4.4
	青葉台連合自治会	190	1.6	11.6	27.9	43.2	5.3	7.9	2.6
	奈良町、奈良北団地連合自治会	125	1.6	11.2	33.6	44.8	3.2	5.6	0.0
	山内連合自治会	202	1.5	9.4	35.6	41.6	5.0	5.4	1.5
	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	214	0.9	9.3	30.8	47.2	7.9	2.3	1.4
	すすき野連合自治会	86	3.5	16.3	32.6	39.5	3.5	2.3	2.3
	美しが丘連合自治会	73	1.4	12.3	26.0	46.6	5.5	8.2	0.0
	無回答	30	0.0	10.0	20.0	50.0	10.0	10.0	0.0

問 18 「青葉かがやく生き生きプラン ～第2期青葉区地域福祉保健計画～」について知っていますか

「聞いたこともないし、内容も知らない」が8割近くを占め、認知度は低い

- ・ 「聞いたこともないし、内容も知らない」が78.4%と、全体の8割近くを占める。次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が16.6%である。「だいたいの内容は知っている」が2.1%、「内容も理解している」は0.7%に留まり、この2つを合わせても多少なりとも内容を知っている人は3%に満たず、認知度は低い。

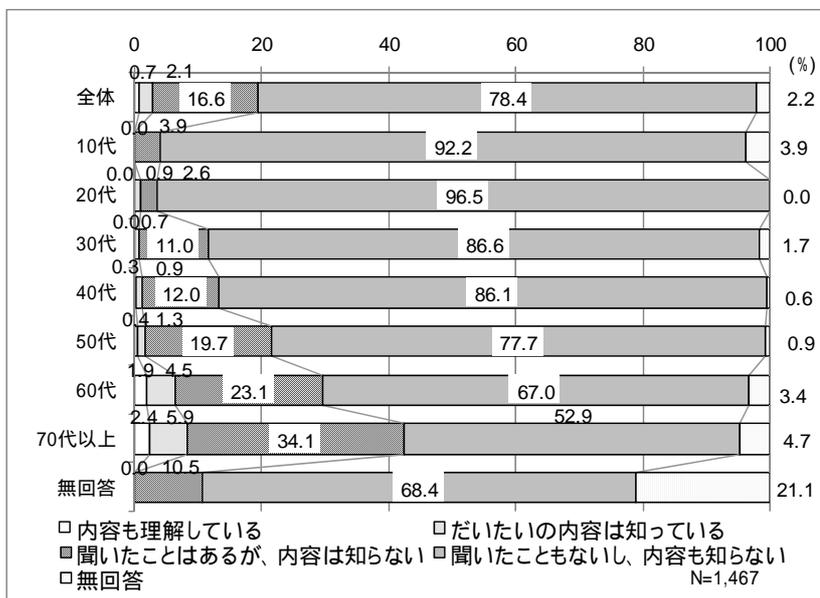
図 「青葉かがやく生き生きプラン ～第2期青葉区地域福祉保健計画～」の認知度



年齢別 「青葉かがやく生き生きプラン ～第2期青葉区地域福祉保健計画～」の認知度(問 18×F1)

- ・ いずれも「聞いたこともないし、内容も知らない」が最も多く、特に10、20代の若年層で9割を超える。60代以上では「聞いたことはあるが、内容は知らない」が他に比べて高く、高齢者層ではやや認知度が高くなっている。

図 年齢別 「青葉かがやく生き生きプラン ～第2期青葉区地域福祉保健計画～」の認知度

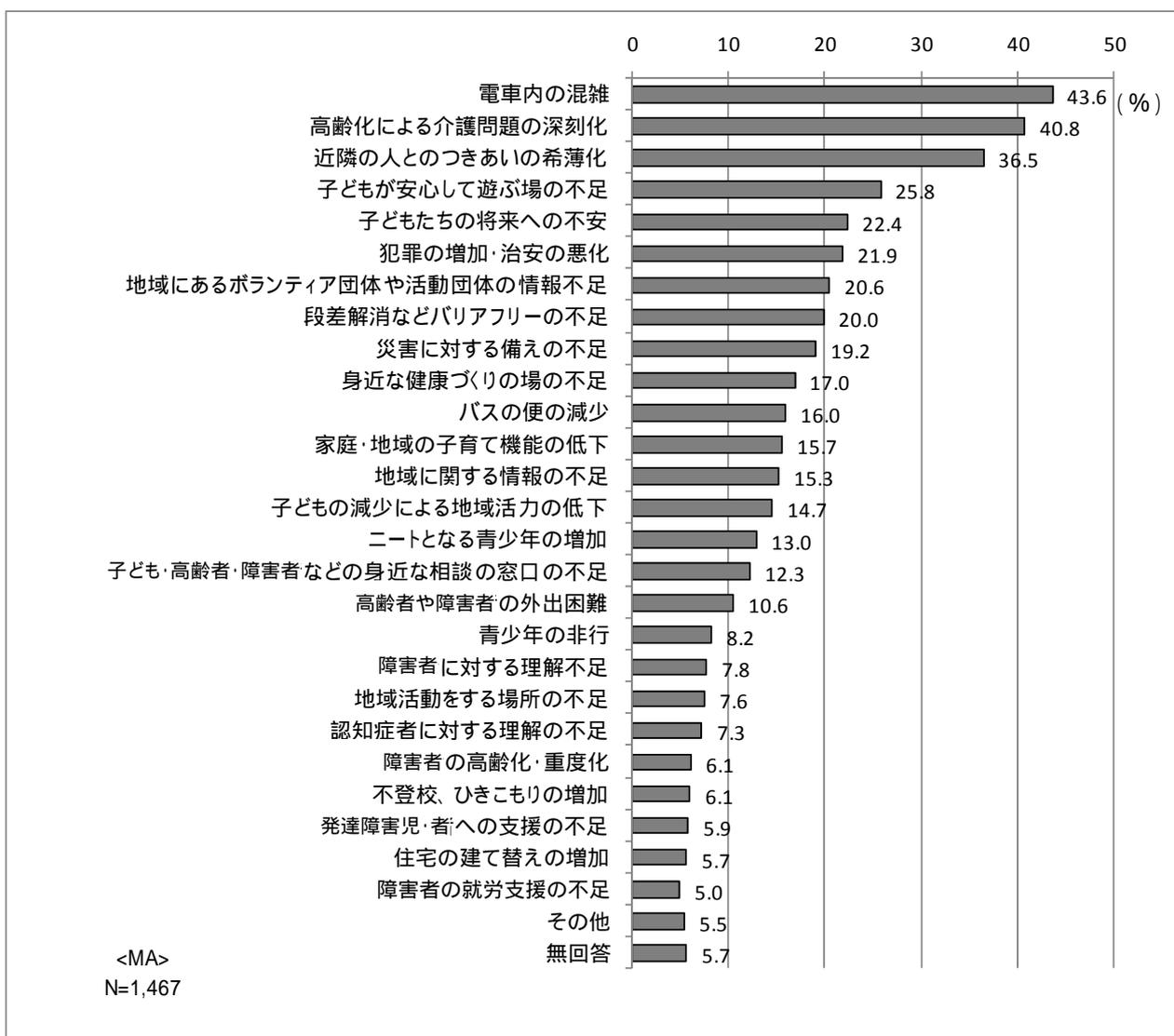


問 19 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると感じますか(はいくつでも)

「電車内の混雑」が最多。それ以外にも、介護問題の深刻化、近所づきあいの希薄化、子どもに関する問題が上がっている

- 「電車内の混雑」が43.6%で最も多い。次に「高齢化による介護問題の深刻化」が40.8%、「近隣の人とのつきあいの希薄化」が36.5%で、ここまでは4割前後の人が挙げている。次いで「子どもが安心して遊ぶ場の不足」(25.8%)、「子どもたちの将来への不安」(22.4%)と、子どもに関する問題が続く。以下「犯罪の増加・治安の悪化」(21.9%)、「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」(20.6%)について2割強の人が挙げている。

図 地域における問題や課題(はいくつでも)



年齢別 地域における問題や課題(問 19×F1)

- 10代から40代までの世代では「電車内の混雑」、50代を超えると「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、世代間で回答が分かれた。
- また、10代で「住宅の建て替えの増加」「バスの便の減少」、30代、40代で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、60代では「地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足」が、それぞれ他の世代より高い数値となっている。

図 年齢別 地域における問題や課題

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
電車内の混雑	640	43.6	52.9	60.0	51.2	51.2	45.5	31.1	19.4	42.1
高齢化による介護問題の深刻化	599	40.8	13.7	27.0	23.4	34.3	49.8	58.7	61.2	36.8
近隣の人とのつきあいの希薄化	536	36.5	33.3	33.0	30.6	38.0	40.3	37.5	40.0	42.1
子どもが安心して遊ぶ場の不足	379	25.8	27.5	28.7	35.7	34.9	18.5	16.7	14.1	21.1
子どもたちの将来への不安	329	22.4	17.6	21.7	28.5	29.0	24.0	14.8	12.4	10.5
犯罪の増加・治安の悪化	322	21.9	15.7	20.0	22.0	22.2	25.3	21.2	20.0	31.6
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	302	20.6	5.9	22.6	10.3	15.7	24.5	32.6	26.5	21.1
段差解消などバリアフリーの不足	293	20.0	9.8	16.5	22.7	17.3	26.6	19.7	19.4	0.0
災害に対する備えの不足	281	19.2	15.7	15.7	15.5	20.4	20.2	20.1	24.7	10.5
身近な健康づくりの場の不足	249	17.0	9.8	14.8	11.7	15.7	18.5	24.2	18.8	15.8
バスの便の減少	235	16.0	25.5	20.9	15.8	15.1	15.5	14.4	14.7	21.1
家庭・地域の子育て機能の低下	230	15.7	13.7	15.7	21.3	18.2	16.7	10.2	8.2	21.1
地域に関する情報の不足	225	15.3	15.7	20.0	15.1	10.8	16.7	18.6	14.7	10.5
子どもの減少による地域活力の低下	215	14.7	5.9	12.2	16.8	12.0	15.0	18.2	14.7	10.5
ニートとなる青少年の増加	191	13.0	9.8	20.0	11.0	9.3	14.6	15.2	14.7	10.5
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	181	12.3	7.8	11.3	10.7	11.4	14.6	13.6	14.7	5.3
高齢者や障害者の外出困難	156	10.6	3.9	13.0	7.2	8.0	11.2	12.5	18.2	10.5
青少年の非行	121	8.2	11.8	12.2	6.5	6.2	11.6	6.8	8.8	10.5
障害者に対する理解不足	114	7.8	9.8	9.6	7.9	5.9	9.4	7.6	7.6	5.3
地域活動をする場所の不足	111	7.6	5.9	7.0	4.5	8.0	9.0	11.4	4.7	10.5
認知症者に対する理解の不足	107	7.3	2.0	6.1	5.5	6.5	9.0	8.7	10.6	0.0
障害者の高齢化・重度化	90	6.1	2.0	6.1	3.8	2.8	5.6	9.5	12.9	10.5
不登校、ひきこもりの増加	89	6.1	9.8	7.8	4.5	6.5	7.7	7.2	1.8	5.3
発達障害児・者への支援の不足	86	5.9	2.0	7.8	5.8	7.1	8.6	4.5	2.4	0.0
住宅の建て替えの増加	84	5.7	15.7	8.7	4.8	4.9	3.4	6.1	5.9	10.5
障害者の就労支援の不足	73	5.0	2.0	7.0	4.8	4.6	7.3	5.3	2.4	0.0
その他	80	5.5	2.0	6.1	8.9	4.0	6.4	4.2	4.1	0.0
無回答	84	5.7	5.9	7.0	3.1	4.9	4.3	6.8	9.4	21.1

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域における問題や課題(問 19×F12)

- 市ケ尾連合自治会、上谷本連合町内会では「近隣の人とのつきあいの希薄化」、奈良町、奈良北団地連合自治会では「バスの便の減少」、中里北部連合町内会、谷本連合自治会、すすき野連合自治会では「高齢化による介護問題の深刻化」、それ以外の地域では「電車内の混雑」が最も多く、また青葉台連合自治会では「電車内の混雑」と「高齢化による介護問題の深刻化」が同率である。
- 上谷本連合町内会で「ニートとなる青少年の増加」、すすき野連合自治会で「高齢者や障害者の外出困難」、市ケ尾連合自治会で「子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足」が他の地域に比べて数値が高いほか、青葉台連合自治会で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、中里北部連合町内会で「子どもの減少による地域活力の低下」、市ケ尾連合自治会で「段差解消などバリアフリーの不足」がやや高くなっている。

図 居住地域別 地域における問題や課題（注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している）

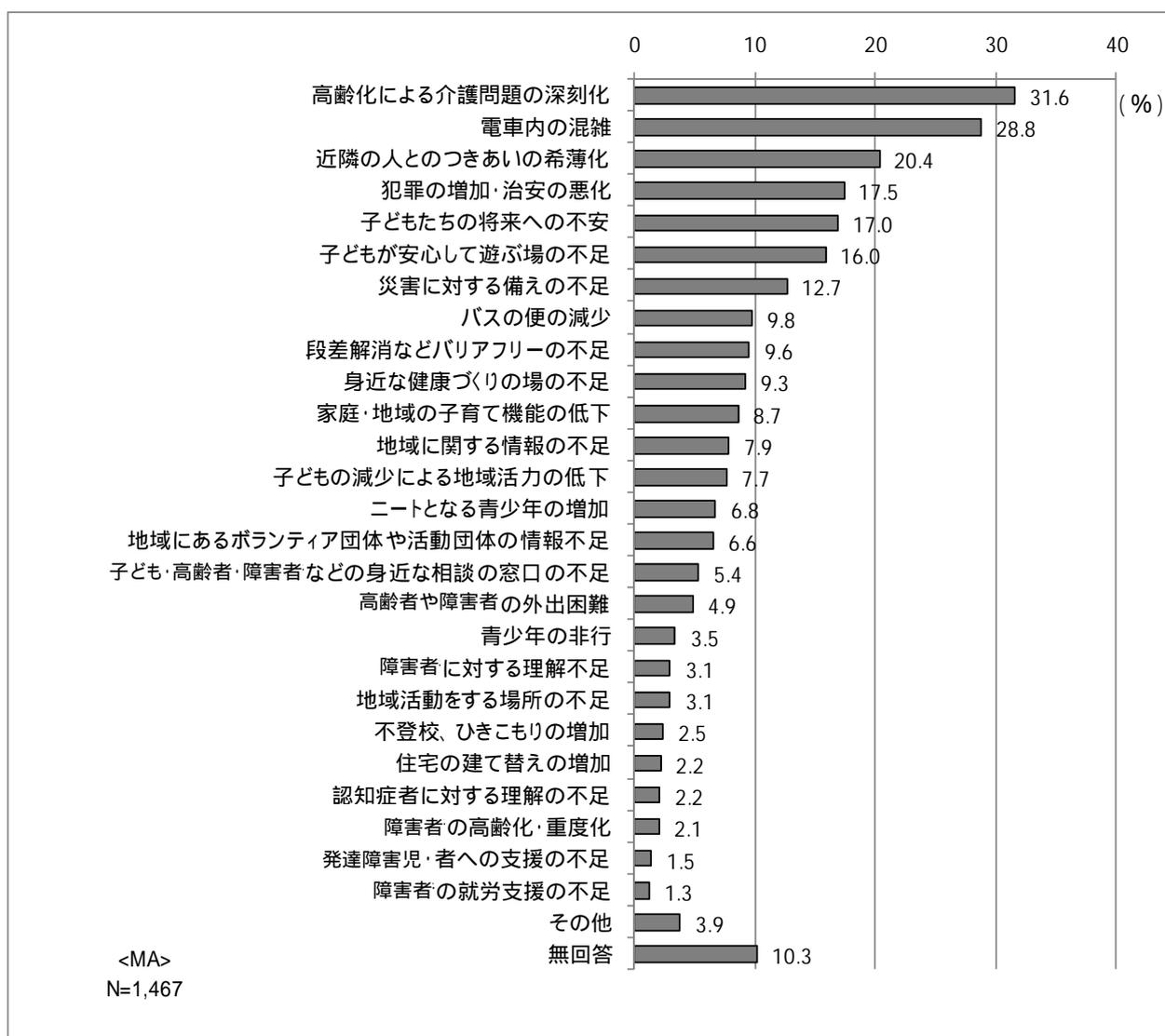
	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ケ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答
全体	1,467 -	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
電車内の混雑	640 43.6	42.1	45.6	33.7	41.5	40.0	43.7	39.5	36.0	52.5	46.7	41.9	58.9	33.3
高齢化による介護問題の深刻化	599 40.8	31.6	50.0	45.8	33.8	41.7	39.3	39.5	33.6	43.6	35.5	55.8	52.1	36.7
近隣の人とのつきあいの希薄化	536 36.5	30.3	33.8	47.0	44.6	40.8	34.1	28.9	36.0	35.1	37.9	40.7	39.7	36.7
子どもが安心して遊ぶ場の不足	379 25.8	18.4	16.2	30.1	23.1	30.8	22.2	34.7	17.6	29.7	26.2	20.9	23.3	26.7
子どもたちの将来への不安	329 22.4	19.7	19.1	28.9	18.5	24.2	21.5	24.7	20.8	22.3	23.8	22.1	16.4	23.3
犯罪の増加・治安の悪化	322 21.9	7.9	23.5	22.9	27.7	25.0	30.4	24.2	22.4	22.8	18.2	14.0	21.9	16.7
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	302 20.6	15.8	17.6	16.9	20.0	24.2	22.2	17.9	20.8	23.8	18.7	23.3	26.0	16.7
段差解消などバリアフリーの不足	293 20.0	17.1	22.1	28.9	20.0	25.0	14.8	22.1	17.6	22.3	15.0	22.1	19.2	13.3
災害に対する備えの不足	281 19.2	10.5	16.2	14.5	20.0	23.3	18.5	21.1	20.8	21.8	17.8	20.9	19.2	13.3
身近な健康づくりの場の不足	249 17.0	10.5	23.5	20.5	15.4	8.3	15.6	19.5	21.6	21.3	13.1	12.8	19.2	23.3
バスの便の減少	235 16.0	17.1	19.1	24.1	10.8	16.7	19.3	9.5	38.4	9.4	16.8	8.1	8.2	6.7
家庭・地域の子育て機能の低下	230 15.7	15.8	14.7	18.1	18.5	20.0	14.8	14.2	11.2	17.3	14.0	17.4	15.1	16.7
地域に関する情報の不足	225 15.3	7.9	22.1	18.1	15.4	15.8	19.3	16.3	16.0	15.8	12.6	11.6	13.7	13.3
子どもの減少による地域活力の低下	215 14.7	14.5	23.5	14.5	13.8	15.8	11.9	13.2	14.4	14.9	12.1	22.1	15.1	10.0
ニートとなる青少年の増加	191 13.0	11.8	11.8	15.7	23.1	15.0	14.1	14.2	10.4	14.4	9.3	9.3	11.0	13.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	181 12.3	11.8	13.2	25.3	9.2	11.7	10.4	10.0	10.4	11.9	11.2	15.1	13.7	16.7
高齢者や障害者の外出困難	156 10.6	15.8	7.4	12.0	10.8	10.8	9.6	8.9	9.6	9.9	7.5	19.8	13.7	13.3
青少年の非行	121 8.2	2.6	10.3	14.5	7.7	9.2	7.4	11.6	10.4	6.4	6.1	7.0	4.1	13.3
障害者に対する理解不足	114 7.8	5.3	8.8	13.3	7.7	9.2	11.1	7.4	4.8	6.9	6.1	10.5	4.1	10.0
地域活動をする場所の不足	111 7.6	9.2	8.8	7.2	6.2	5.8	8.9	7.4	5.6	7.9	8.4	8.1	8.2	3.3
認知症者に対する理解の不足	107 7.3	1.3	8.8	10.8	6.2	5.8	7.4	6.3	6.4	8.9	5.6	10.5	12.3	6.7
障害者の高齢化・重度化	90 6.1	2.6	7.4	6.0	10.8	6.7	6.7	8.9	3.2	5.9	4.7	8.1	2.7	6.7
不登校、ひきこもりの増加	89 6.1	5.3	11.8	10.8	9.2	1.7	6.7	4.2	5.6	5.4	5.6	9.3	1.4	13.3
発達障害児・者への支援の不足	86 5.9	2.6	4.4	7.2	7.7	6.7	11.9	5.3	4.0	6.9	4.7	4.7	1.4	6.7
住宅の建て替えの増加	84 5.7	9.2	5.9	3.6	6.2	8.3	5.9	7.4	4.8	1.5	5.6	12.8	1.4	3.3
障害者の就労支援の不足	73 5.0	2.6	7.4	6.0	3.1	6.7	6.7	3.7	2.4	5.4	3.7	8.1	4.1	10.0
その他	80 5.5	7.9	2.9	3.6	1.5	7.5	3.7	5.3	13.6	3.0	5.6	7.0	4.1	0.0
無回答	84 5.7	2.6	7.4	4.8	4.6	5.8	7.4	6.3	3.2	5.9	7.5	4.7	1.4	13.3

問 20 上記 1～27 の質問項目のうち、あなたにとって、特に重要度が高いとお考えの項目を 3 つまでお知らせください(3 つまで選択)

「高齢化による介護問題の深刻化」が最多、次いで「電車内の混雑」

- ・ 「高齢化による介護問題の深刻化」が 31.6% で最も多く、次に「電車内の混雑」が 28.8% である。次いで「近隣の人とのつきあいの希薄化」(20.4%)、「犯罪の増加・治安の悪化」(17.5%)、「子どもたちの将来への不安」(17.0%)、「子どもが安心して遊ぶ場の不足」(16.0%) と、前問で上位に挙がっている項目が続く。

図 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目(3 つまで選択)



年齢別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目(問 20×F1)

- ・ 前項と同様、10代から40代までの世代では「電車内の混雑」、50代を超えると「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、世代間で回答が分かれた。
- ・ また、10代で「バスの便の減少」、30代で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、40代で子どもたちの将来への不安」、70代以上では「高齢者や障害者の外出困難」が、それぞれ他の世代より高い数値となっている。

図 年齢別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目

	全体		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
高齢化による介護問題の深刻化	464	31.6	11.8	20.9	14.8	25.3	39.9	47.0	51.8	21.1
電車内の混雑	423	28.8	45.1	48.7	35.1	36.1	26.2	17.0	8.2	26.3
近隣の人とのつきあいの希薄化	299	20.4	25.5	16.5	18.9	20.4	18.5	20.5	25.9	26.3
犯罪の増加・治安の悪化	256	17.5	15.7	14.8	17.9	21.0	19.7	14.4	13.5	21.1
子どもたちの将来への不安	249	17.0	17.6	15.7	23.7	27.5	14.6	8.0	4.7	5.3
子どもが安心して遊ぶ場の不足	234	16.0	21.6	19.1	29.6	21.0	7.3	5.3	8.2	10.5
災害に対する備えの不足	187	12.7	9.8	9.6	10.7	13.3	15.0	11.7	17.6	5.3
バスの便の減少	144	9.8	19.6	14.8	8.9	9.0	9.4	9.5	7.1	15.8
段差解消などバリアフリーの不足	141	9.6	5.9	5.2	11.0	9.0	11.6	9.8	10.0	5.3
身近な健康づくりの場の不足	136	9.3	5.9	8.7	6.5	6.8	10.7	12.9	12.9	5.3
家庭・地域の子育て機能の低下	127	8.7	13.7	12.2	14.1	11.7	6.4	3.0	1.8	5.3
地域に関する情報の不足	116	7.9	5.9	12.2	6.9	5.2	8.6	11.4	4.7	21.1
子どもの減少による地域活力の低下	113	7.7	7.8	5.2	9.3	7.1	7.3	9.1	6.5	5.3
ニートとなる青少年の増加	100	6.8	15.7	13.0	4.5	4.6	9.4	7.2	4.1	5.3
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	97	6.6	3.9	7.0	3.1	3.7	9.9	12.5	5.9	0.0
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	79	5.4	2.0	1.7	5.8	6.5	4.3	7.2	5.3	0.0
高齢者や障害者の外出困難	72	4.9	2.0	4.3	3.1	3.4	3.4	5.3	13.5	5.3
青少年の非行	51	3.5	7.8	2.6	4.1	2.5	5.6	2.7	1.8	5.3
障害者に対する理解不足	45	3.1	5.9	4.3	2.1	2.5	3.0	3.8	3.5	0.0
地域活動をする場所の不足	45	3.1	2.0	3.5	1.7	2.2	4.3	5.3	1.2	10.5
不登校、ひきこもりの増加	36	2.5	9.8	2.6	1.0	2.5	6.0	0.8	0.6	0.0
住宅の建て替えの増加	33	2.2	3.9	1.7	2.1	3.4	1.3	1.5	2.4	5.3
認知症者に対する理解の不足	32	2.2	0.0	2.6	1.0	2.5	3.0	3.4	1.2	0.0
障害者の高齢化・重度化	31	2.1	2.0	0.0	1.0	0.0	0.9	4.5	7.6	0.0
発達障害児・者への支援の不足	22	1.5	0.0	1.7	3.1	1.5	1.7	0.8	0.0	0.0
障害者の就労支援の不足	19	1.3	0.0	1.7	1.7	1.9	1.3	1.1	0.0	0.0
その他	57	3.9	0.0	5.2	6.9	2.5	5.6	2.3	2.4	0.0
無回答	151	10.3	7.8	4.3	8.2	8.0	8.2	14.0	18.2	26.3

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

同居している子ども別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目(問 20×F10)

- 子どもが小学生までの場合「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、子どもが中学生の場合は「子どもたちの将来への不安」、子どもが高校生の場合は「電車内の混雑」、子どもが専門学校生、大学生の場合とこれらにあてはまる家族がない場合「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多く、子どもの状況で重要課題への認識が大きく異なっている。
- また、子どもが乳幼児の場合「家庭・地域の子育て機能の低下」、専門学校生、大学生の場合「ニートとなる青少年の増加」が、それぞれ他より高い数値となっている。

図 同居している子ども別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目

	全体	乳幼児・未就学児	小学生	中学生	高校生	専門学校生	大学生	家族記にないはまる	無回答
全体	1,467	-	185	217	160	107	131	833	39
高齢化による介護問題の深刻化	464	31.6	10.3	15.2	21.9	24.3	31.3	40.2	35.9
電車内の混雑	423	28.8	28.1	26.7	30.0	36.4	29.0	28.7	20.5
近隣の人とのつきあいの希薄化	299	20.4	21.1	18.4	17.5	17.8	19.1	21.7	20.5
犯罪の増加・治安の悪化	256	17.5	18.4	20.3	17.5	25.2	23.7	16.2	10.3
子どもたちの将来への不安	249	17.0	35.7	34.1	36.3	33.6	17.6	7.4	23.1
子どもが安心して遊ぶ場の不足	234	16.0	40.0	35.5	20.0	14.0	9.9	8.9	12.8
災害に対する備えの不足	187	12.7	11.9	13.4	16.3	12.1	19.8	12.0	10.3
バスの便の減少	144	9.8	10.3	9.7	10.6	13.1	10.7	10.0	2.6
段差解消などバリアフリーの不足	141	9.6	9.2	5.5	7.5	5.6	7.6	10.9	5.1
身近な健康づくりの場の不足	136	9.3	6.5	8.8	8.1	6.5	11.5	10.3	7.7
家庭・地域の子育て機能の低下	127	8.7	17.8	12.9	10.6	8.4	8.4	5.9	5.1
地域に関する情報の不足	116	7.9	5.4	4.6	3.1	6.5	6.9	9.6	5.1
子どもの減少による地域活力の低下	113	7.7	8.6	12.0	8.8	12.1	5.3	7.4	10.3
ニートとなる青少年の増加	100	6.8	3.2	2.8	6.9	5.6	15.3	7.4	7.7
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	97	6.6	1.6	3.2	3.8	4.7	5.3	8.9	2.6
高齢者や障害者の外出困難	79	5.4	7.6	3.7	6.3	6.5	6.1	4.7	5.1
高齢者や障がい者の外出困難	72	4.9	1.1	1.8	1.3	2.8	4.6	6.8	2.6
青少年の非行	51	3.5	4.3	3.7	3.1	4.7	4.6	3.1	2.6
障害者に対する理解不足	45	3.1	0.5	2.3	3.1	0.9	3.1	3.8	0.0
地域活動をする場所の不足	45	3.1	0.5	2.3	2.5	2.8	3.8	3.2	7.7
不登校、ひきこもりの増加	36	2.5	1.6	1.8	3.1	4.7	3.8	1.9	5.1
住宅の建て替えの増加	33	2.2	2.2	1.4	1.3	2.8	3.1	2.4	2.6
認知症者に対する理解の不足	32	2.2	0.5	0.0	1.3	0.0	3.8	3.0	0.0
障害者の高齢化・重度化	31	2.1	1.6	0.5	0.6	0.0	0.0	3.1	2.6
発達障害児・者への支援の不足	22	1.5	2.7	4.1	1.3	2.8	0.0	0.8	0.0
障害者の就労支援の不足	19	1.3	1.6	3.2	1.9	0.9	0.8	1.0	2.6
その他	57	3.9	9.2	1.4	2.5	3.7	3.8	3.2	0.0
無回答	151	10.3	4.3	10.1	11.3	5.6	6.1	11.9	17.9

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目(問 20×F12)

- ・ 奈良町、奈良北団地連合自治会で「バス便の減少」、荏田、荏田西、新荏田連合自治会と美しが丘連合自治会で「電車内の混雑」、それ以外の地域では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっている。
- ・ また、市ヶ尾連合自治会で「近隣の人とのつきあいの希薄化」の数値が他に比べて高く、すすき野連合自治会では「子どもの減少による地域活力の低下」がやや高くなっている。

図 居住地域別 地域における問題や課題の中で重要度が高い項目

	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答	
全体	1,467	-	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
高齢化による介護問題の深刻化	464	31.6	28.9	33.8	41.0	32.3	30.8	28.9	32.1	24.0	35.1	27.1	43.0	31.5	26.7
電車内の混雑	423	28.8	27.6	25.0	19.3	27.7	25.8	28.1	28.4	22.4	33.2	33.2	22.1	47.9	26.7
近隣の人とのつきあいの希薄化	299	20.4	14.5	19.1	30.1	15.4	20.8	17.0	17.9	24.0	18.3	24.3	22.1	20.5	16.7
犯罪の増加・治安の悪化	256	17.5	9.2	20.6	16.9	18.5	23.3	25.2	18.4	16.8	16.8	14.0	10.5	19.2	13.3
子どもたちの将来への不安	249	17.0	17.1	14.7	25.3	13.8	14.2	14.1	14.2	16.0	16.3	22.4	18.6	13.7	20.0
子どもが安心して遊ぶ場の不足	234	16.0	17.1	8.8	15.7	15.4	20.8	16.3	21.1	8.8	16.8	16.8	11.6	16.4	6.7
災害に対する備えの不足	187	12.7	3.9	11.8	6.0	12.3	18.3	11.9	12.1	16.8	14.4	11.7	14.0	16.4	10.0
バスの便の減少	144	9.8	14.5	14.7	12.0	10.8	10.0	8.9	3.2	27.2	6.4	11.7	3.5	0.0	3.3
段差解消などバリアフリーの不足	141	9.6	10.5	10.3	12.0	7.7	11.7	8.9	9.5	8.8	10.9	7.0	12.8	8.2	6.7
身近な健康づくりの場の不足	136	9.3	7.9	10.3	8.4	9.2	5.8	11.1	11.1	8.8	10.9	7.9	7.0	12.3	6.7
家庭・地域の子育て機能の低下	127	8.7	10.5	8.8	9.6	7.7	10.8	5.2	9.5	4.0	12.4	9.3	5.8	6.8	6.7
地域に関する情報の不足	116	7.9	7.9	10.3	9.6	9.2	10.8	11.9	6.3	9.6	3.5	7.5	7.0	6.8	6.7
子どもの減少による地域活力の低下	113	7.7	6.6	10.3	3.6	6.2	6.7	8.1	6.8	9.6	8.4	6.1	16.3	5.5	6.7
ニートとなる青少年の増加	100	6.8	7.9	4.4	6.0	13.8	9.2	8.9	7.4	7.2	5.0	4.2	3.5	8.2	10.0
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	97	6.6	9.2	1.5	4.8	10.8	6.7	8.9	5.8	5.6	5.9	7.5	4.7	9.6	3.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	79	5.4	3.9	10.3	10.8	1.5	5.0	5.2	3.2	4.0	5.0	4.7	8.1	6.8	10.0
高齢者や障害者の外出困難	72	4.9	7.9	1.5	3.6	7.7	2.5	4.4	5.3	4.0	4.0	3.7	11.6	8.2	3.3
青少年の非行	51	3.5	1.3	7.4	3.6	4.6	3.3	5.9	4.7	4.8	2.5	2.3	0.0	1.4	3.3
障害者に対する理解不足	45	3.1	2.6	2.9	2.4	4.6	4.2	3.0	4.7	1.6	1.5	3.7	3.5	2.7	0.0
地域活動をする場所の不足	45	3.1	3.9	4.4	2.4	0.0	0.8	3.0	3.7	2.4	2.5	3.7	3.5	5.5	6.7
不登校、ひきこもりの増加	36	2.5	3.9	5.9	2.4	4.6	2.5	3.0	0.5	2.4	1.5	2.3	2.3	1.4	6.7
住宅の建て替えの増加	33	2.2	3.9	1.5	2.4	3.1	2.5	3.7	3.7	1.6	1.0	2.3	1.2	0.0	0.0
認知症者に対する理解の不足	32	2.2	2.6	4.4	1.2	3.1	2.5	1.5	2.6	2.4	1.5	1.9	2.3	2.7	0.0
障害者の高齢化・重度化	31	2.1	2.6	2.9	2.4	6.2	1.7	0.7	1.6	2.4	2.5	1.4	2.3	1.4	3.3
発達障害児・者への支援の不足	22	1.5	1.3	0.0	1.2	1.5	1.7	4.4	0.5	0.0	2.5	1.4	1.2	1.4	0.0
障害者の就労支援の不足	19	1.3	1.3	1.5	0.0	0.0	4.2	2.2	0.5	0.0	1.5	0.9	2.3	1.4	0.0
その他	57	3.9	5.3	1.5	2.4	0.0	4.2	3.0	4.2	12.8	1.0	4.2	3.5	4.1	0.0
無回答	151	10.3	9.2	10.3	8.4	10.8	8.3	8.1	12.6	8.0	11.9	11.2	12.8	4.1	20.0

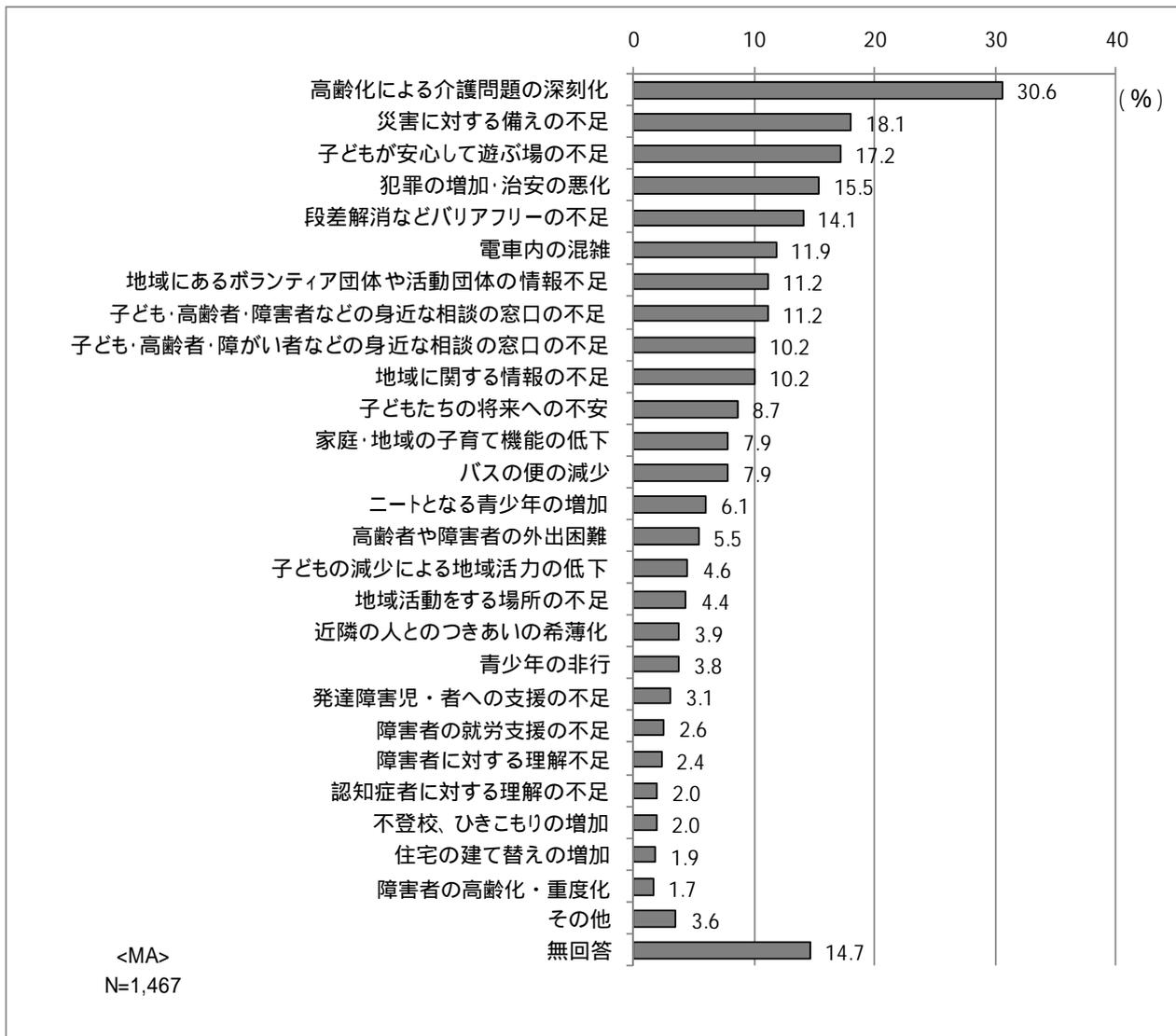
(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

問 21 上記 1～27 の質問項目のうち、特に区役所に対策をとってほしい項目を 3 つまでお知らせください(3 つまで選択)

「高齢化による介護問題の深刻化」が突出して多い

- ・ 「高齢化による介護問題の深刻化」が 30.6%で全体の 3 割が挙げており、突出して多くなっている。

図 地域における問題や課題の中で特に区役所に対策をとってほしい項目(3 つまで選択)



年齢別 地域における問題や課題の中で特に区役所に対策をとってほしい項目(問 21×F1)

- ・ 10代と30代で「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、20代で「電車内の混雑」、40代以上の世代では「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっている。

図 年齢別 特に区役所に対策をとってほしい項目

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1,467 -	51	115	291	324	233	264	170	19
高齢化による介護問題の深刻化	449 30.6	9.8	14.8	17.9	30.6	39.1	43.2	40.6	10.5
災害に対する備えの不足	266 18.1	15.7	15.7	17.2	23.1	20.6	14.0	17.1	5.3
子どもが安心して遊ぶ場の不足	253 17.2	25.5	18.3	26.8	23.5	12.4	6.4	8.8	21.1
犯罪の増加・治安の悪化	227 15.5	17.6	15.7	18.2	16.7	16.3	12.5	11.8	10.5
段差解消などバリアフリーの不足	207 14.1	11.8	7.0	16.5	13.3	17.6	12.9	15.9	0.0
電車内の混雑	175 11.9	19.6	35.7	16.5	13.0	8.6	2.3	3.5	10.5
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	165 11.2	9.8	11.3	6.2	9.9	12.4	16.7	12.4	15.8
身近な健康づくりの場の不足	165 11.2	2.0	11.3	6.9	11.1	12.0	16.7	11.2	21.1
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	149 10.2	2.0	7.8	6.5	12.0	12.0	13.6	9.4	5.3
地域に関する情報の不足	149 10.2	7.8	10.4	8.6	10.2	10.7	11.7	8.8	21.1
子どもたちの将来への不安	127 8.7	15.7	10.4	16.5	10.5	5.2	3.4	2.4	0.0
家庭・地域の子育て機能の低下	116 7.9	9.8	13.9	13.1	8.6	3.9	6.1	1.8	5.3
バスの便の減少	116 7.9	13.7	13.9	6.5	8.0	6.9	7.2	5.9	15.8
ニートとなる青少年の増加	89 6.1	5.9	10.4	5.8	3.7	6.4	6.8	5.9	10.5
高齢者や障害者の外出困難	80 5.5	3.9	6.1	3.8	4.3	4.7	6.8	10.0	0.0
子どもの減少による地域活力の低下	67 4.6	11.8	5.2	6.2	4.9	2.1	3.0	4.7	0.0
地域活動をする場所の不足	65 4.4	3.9	3.5	2.7	5.6	4.7	6.8	0.6	15.8
近隣の人とのつきあいの希薄化	57 3.9	7.8	3.5	5.8	4.3	2.1	3.4	1.8	5.3
青少年の非行	56 3.8	9.8	3.5	3.4	2.8	6.0	2.7	3.5	5.3
発達障害児・者への支援の不足	46 3.1	0.0	5.2	5.2	3.1	3.0	2.3	1.2	0.0
障害者の就労支援の不足	38 2.6	0.0	3.5	2.1	2.8	3.9	3.0	1.2	0.0
障害者に対する理解不足	35 2.4	5.9	1.7	2.1	2.2	4.7	1.1	1.8	0.0
認知症者に対する理解の不足	30 2.0	2.0	0.9	1.0	1.5	3.9	3.0	1.8	0.0
不登校、ひきこもりの増加	29 2.0	7.8	0.9	2.1	1.2	2.6	2.3	1.2	0.0
住宅の建て替えの増加	28 1.9	5.9	3.5	1.0	2.5	1.3	0.4	3.5	0.0
障害者の高齢化・重度化	25 1.7	3.9	0.9	0.3	0.3	0.9	3.0	5.9	0.0
その他	53 3.6	0.0	5.2	6.5	3.4	3.9	2.3	1.2	0.0
無回答	216 14.7	9.8	5.2	11.7	10.2	15.0	18.9	27.1	36.8

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

同居している子ども別 特に区役所に対策をとってほしい項目(問 21×F10)

- ・ 子どもが小学生までの場合「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、子どもが中学生以上の場合とこれらにあてはまる家族がいない場合「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっている。
- ・ また、子どもが乳幼児の場合「子どもたちの将来への不安」が他に比べて高い数値となっている。

図 同居している子ども別 特に区役所に対策をとってほしい項目

	全体	乳幼児・未就学児	小学生	中学生	高校生	専門学校生 大学生	上記にあてはまる	無回答
全体	1,467 -	185	217	160	107	131	833	39
高齢化による介護問題の深刻化	449 30.6	15.1	24.4	27.5	28.0	27.5	36.7	25.6
災害に対する備えの不足	266 18.1	16.8	20.7	23.1	21.5	23.7	17.0	12.8
子どもが安心して遊ぶ場の不足	253 17.2	36.2	30.9	21.9	18.7	16.8	10.9	12.8
犯罪の増加・治安の悪化	227 15.5	18.9	17.5	13.1	19.6	14.5	15.0	5.1
段差解消などバリアフリーの不足	207 14.1	15.1	11.1	12.5	7.5	17.6	14.3	12.8
電車内の混雑	175 11.9	13.0	10.6	10.0	13.1	13.0	11.8	7.7
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	165 11.2	4.9	8.3	10.6	12.1	8.4	13.4	7.7
身近な健康づくりの場の不足	165 11.2	8.1	9.2	13.1	13.1	14.5	11.8	10.3
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	149 10.2	9.2	8.8	11.9	11.2	13.0	9.1	15.4
地域に関する情報の不足	149 10.2	8.1	10.6	6.9	9.3	9.9	10.4	15.4
子どもたちの将来への不安	127 8.7	18.9	16.6	14.4	10.3	6.9	5.2	5.1
家庭・地域の子育て機能の低下	116 7.9	15.1	9.7	10.6	2.8	5.3	7.1	5.1
バスの便の減少	116 7.9	7.6	8.3	11.9	10.3	8.4	7.3	7.7
二ートとなる青少年の増加	89 6.1	3.8	3.2	3.8	6.5	8.4	7.0	7.7
高齢者や障害者の外出困難	80 5.5	3.2	2.8	3.1	4.7	7.6	6.4	5.1
子どもの減少による地域活力の低下	67 4.6	5.9	6.9	5.6	6.5	3.1	4.2	5.1
地域活動をする場所の不足	65 4.4	2.7	5.1	3.8	3.7	4.6	4.6	5.1
近隣の人とのつきあいの希薄化	57 3.9	4.9	5.1	5.0	3.7	3.1	3.5	2.6
青少年の非行	56 3.8	4.9	3.2	2.5	3.7	5.3	4.0	0.0
発達障害児・者への支援の不足	46 3.1	4.9	5.5	4.4	6.5	3.1	2.3	0.0
障害者の就労支援の不足	38 2.6	1.6	3.7	3.1	2.8	3.8	2.4	2.6
障害者に対する理解不足	35 2.4	1.6	1.8	2.5	0.0	3.1	2.9	0.0
認知症者に対する理解の不足	30 2.0	1.1	1.4	1.9	0.0	3.8	2.3	2.6
不登校、ひきこもりの増加	29 2.0	2.2	1.8	1.3	2.8	2.3	1.8	5.1
住宅の建て替えの増加	28 1.9	2.2	0.9	1.3	1.9	2.3	2.0	0.0
障害者の高齢化・重度化	25 1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	2.5	2.6
その他	53 3.6	7.6	2.3	2.5	4.7	3.8	3.0	0.0
無回答	216 14.7	7.0	12.0	12.5	11.2	10.7	16.9	30.8

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 地域における問題や課題の中で特に区役所に対策をとってほしい項目(問21×F12)

- ・ いずれの地域も「高齢化による介護問題の深刻化」が最も多くなっていることに変わりはない。
- ・ ただし奈良町、奈良北団地連合自治会で「バスの減少」、美しが丘連合自治会では「電車内の混雑」が特に高い数値となっているほか、市ヶ尾連合自治会では「子どもたちの将来への不安」「子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足」の数値がやや高くなっている。

図 居住地域別 特に区役所に対策をとってほしい項目

	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ヶ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	新在田、在田西、在田連合自治会	すすぎ野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答	
全体	1,467	-	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
高齢化による介護問題の深刻化	449	30.6	21.1	36.8	36.1	32.3	31.7	31.9	28.9	28.0	30.2	27.1	43.0	31.5	23.3
災害に対する備えの不足	266	18.1	6.6	14.7	12.0	20.0	23.3	17.0	20.0	22.4	16.3	21.5	18.6	17.8	10.0
子どもが安心して遊ぶ場の不足	253	17.2	13.2	13.2	20.5	21.5	18.3	17.8	22.1	8.8	21.8	16.8	12.8	15.1	6.7
犯罪の増加・治安の悪化	227	15.5	10.5	17.6	10.8	21.5	17.5	23.0	17.9	16.8	15.3	12.1	5.8	17.8	6.7
段差解消などバリアフリーの不足	207	14.1	15.8	14.7	15.7	10.8	13.3	12.6	17.4	15.2	14.9	13.1	12.8	13.7	3.3
電車内の混雑	175	11.9	11.8	13.2	3.6	4.6	10.8	11.9	13.2	13.6	15.3	9.3	8.1	24.7	13.3
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	165	11.2	14.5	10.3	8.4	13.8	11.7	12.6	9.5	10.4	10.4	9.8	12.8	19.2	6.7
身近な健康づくりの場の不足	165	11.2	7.9	13.2	10.8	6.2	5.0	13.3	13.2	12.8	9.9	12.6	12.8	13.7	13.3
子ども・高齢者・障がい者などの身近な相談の窓口の不足	149	10.2	9.2	7.4	19.3	7.7	9.2	9.6	8.4	10.4	8.4	14.0	7.0	6.8	16.7
地域に関する情報の不足	149	10.2	5.3	14.7	9.6	7.7	15.0	11.1	8.9	8.0	7.4	11.2	12.8	9.6	16.7
子どもたちの将来への不安	127	8.7	7.9	8.8	18.1	6.2	6.7	10.4	8.4	8.0	9.9	8.4	4.7	5.5	6.7
家庭・地域の子育て機能の低下	116	7.9	7.9	10.3	3.6	10.8	10.8	5.9	6.3	6.4	11.4	8.9	2.3	8.2	6.7
バスの便の減少	116	7.9	11.8	10.3	9.6	7.7	7.5	8.9	3.2	20.8	4.0	9.8	2.3	0.0	10.0
ニートとなる青少年の増加	89	6.1	7.9	7.4	3.6	12.3	5.0	5.9	5.8	4.8	7.4	4.7	4.7	8.2	3.3
高齢者や障害者の外出困難	80	5.5	11.8	2.9	3.6	6.2	4.2	6.7	3.7	3.2	5.0	4.2	12.8	6.8	6.7
子どもの減少による地域活力の低下	67	4.6	5.3	2.9	3.6	4.6	5.0	5.2	4.2	2.4	6.9	5.1	4.7	2.7	0.0
地域活動をする場所の不足	65	4.4	5.3	4.4	4.8	0.0	2.5	3.7	4.2	3.2	4.0	6.5	5.8	8.2	3.3
近隣の人とのつきあいの希薄化	57	3.9	3.9	1.5	4.8	4.6	3.3	3.7	3.7	1.6	4.0	5.1	5.8	4.1	3.3
青少年の非行	56	3.8	2.6	8.8	2.4	1.5	5.0	5.2	3.2	6.4	1.5	3.7	2.3	6.8	0.0
発達障害児・者への支援の不足	46	3.1	1.3	4.4	2.4	3.1	5.0	4.4	3.2	2.4	3.5	2.8	2.3	2.7	0.0
障害者の就労支援の不足	38	2.6	1.3	1.5	2.4	0.0	6.7	3.7	0.5	2.4	3.0	3.3	1.2	2.7	3.3
障害者に対する理解不足	35	2.4	2.6	4.4	1.2	1.5	1.7	3.7	4.2	3.2	0.0	2.3	3.5	1.4	0.0
認知症者に対する理解の不足	30	2.0	1.3	1.5	1.2	4.6	1.7	2.2	2.1	1.6	0.5	1.9	3.5	5.5	3.3
不登校、ひきこもりの増加	29	2.0	2.6	1.5	0.0	3.1	2.5	2.2	1.1	2.4	1.0	2.3	2.3	1.4	10.0
住宅の建て替えの増加	28	1.9	3.9	2.9	0.0	0.0	0.8	2.2	3.7	1.6	1.5	0.5	7.0	0.0	0.0
障害者の高齢化・重度化	25	1.7	2.6	1.5	4.8	3.1	1.7	0.7	2.1	1.6	1.0	0.5	3.5	0.0	3.3
その他	53	3.6	5.3	2.9	3.6	1.5	4.2	2.2	2.6	9.6	2.0	4.7	3.5	1.4	0.0
無回答	216	14.7	18.4	14.7	13.3	16.9	12.5	11.1	14.7	12.0	17.3	14.5	17.4	9.6	30.0

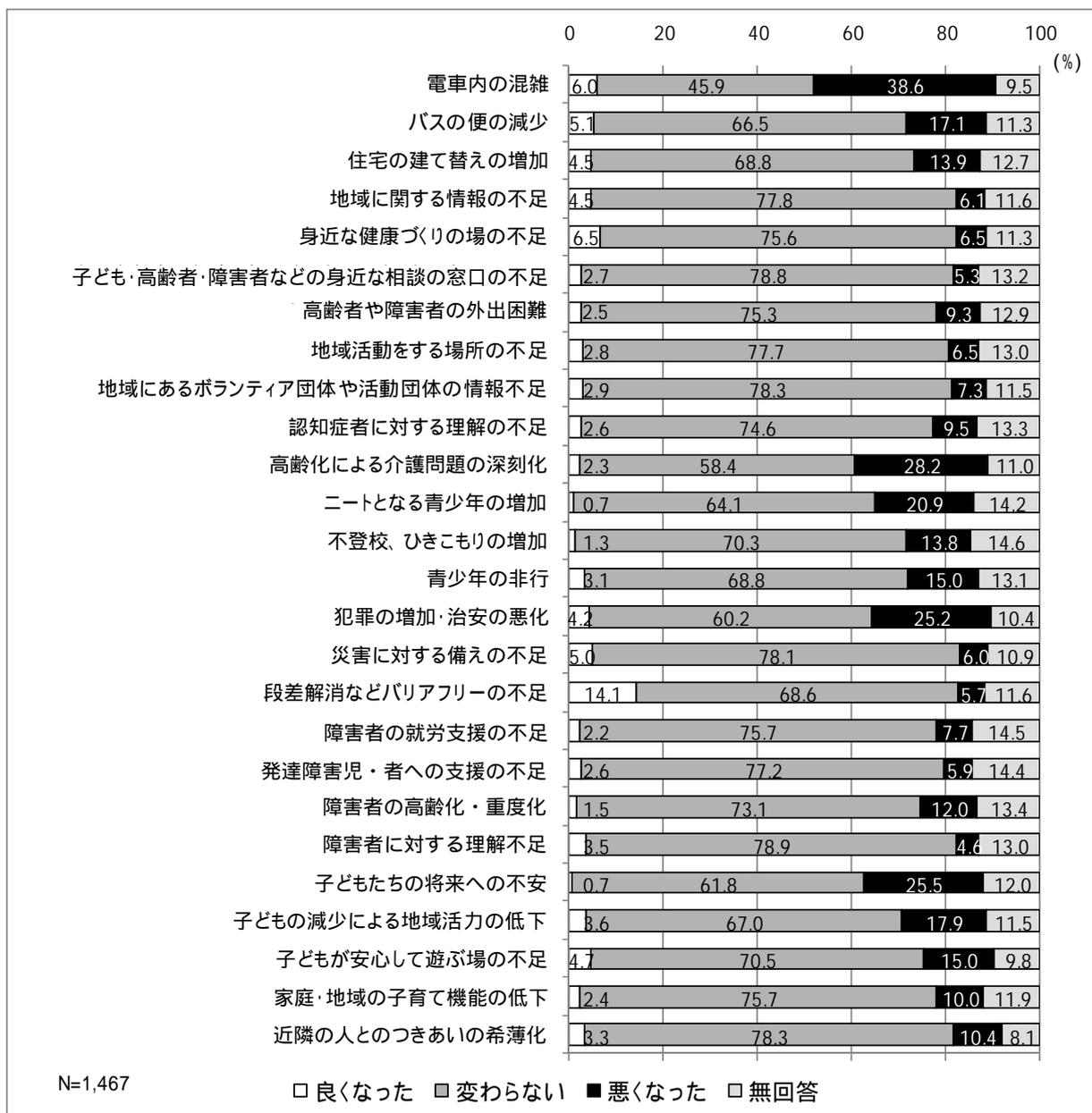
(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

問 22 あなたの住んでいる地域で、以下の課題はここ1～2年の間にどのように変化しましたか

好転した課題は「段差解消などバリアフリーの不足」、悪化したのは「電車内の混雑」

- ・ いずれの項目も「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 「良くなった」の割合が最も高いのは「段差解消などバリアフリーの不足」の14.1%で、「良くなった」が1割を超えているのはこの項目のみである。
- ・ 「悪くなった」の項目が最も高いのは「電車内の混雑」の38.6%で、4割近くに達している。次いで「高齢化による介護問題の深刻化」(28.2%)、「子どもたちの将来への不安」(25.5%)、「犯罪の増加・治安の悪化」(25.2%)、「ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)となる青少年の増加」(20.9%)と続いており、これらは「悪くなった」が2割を超えている。

図 地域における課題の変化



年齢別・居住地域別 地域における課題の変化(問 22×F1, F10)

1 近隣の人とのつきあいの希薄化

<年齢別>

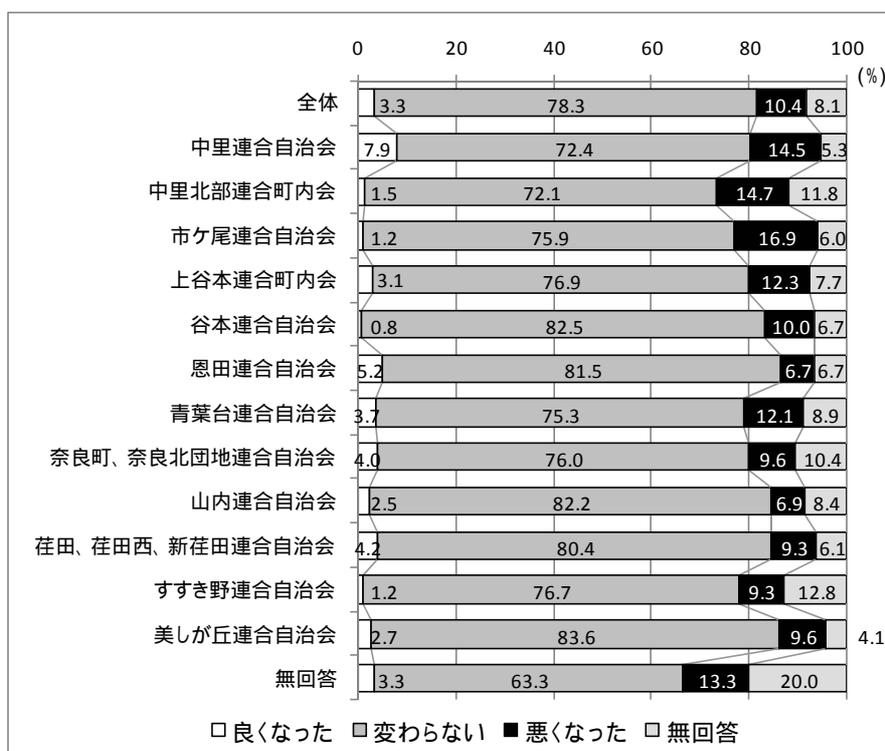
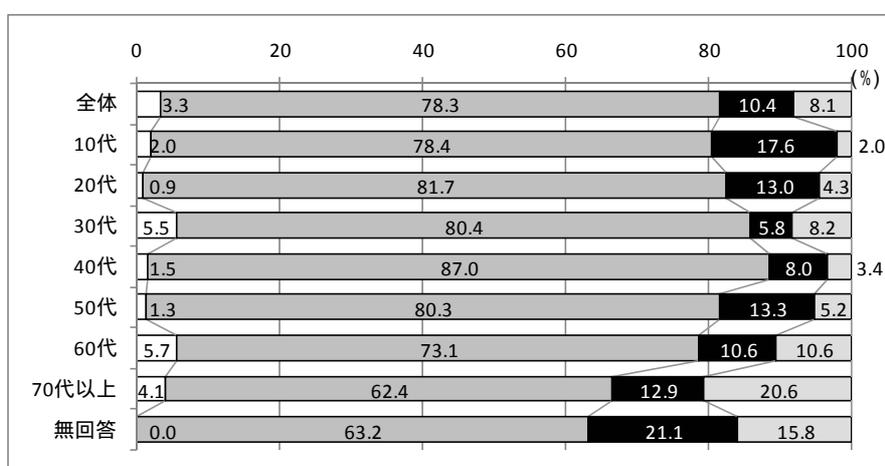
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、20代、30代では8割を超える。
- ・ 「悪くなった」の数値が最も高いのは10代である。

<居住地域別>

- ・ いずれの地域も「変わらない」が最も多くなっている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

1 近隣の人とのつきあいの希薄化



2 家庭・地域の子育て機能の低下

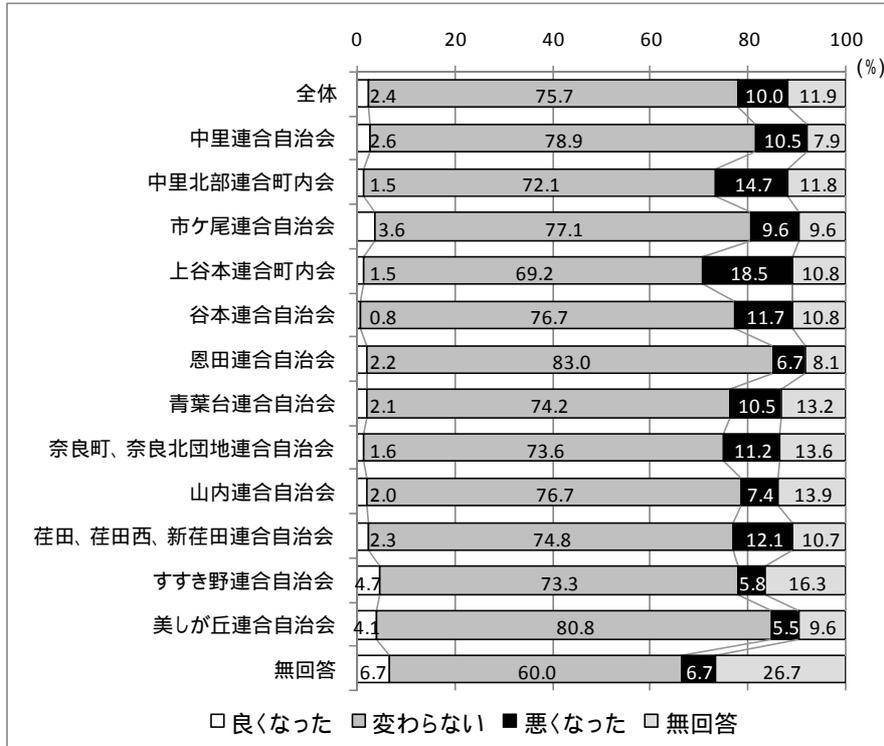
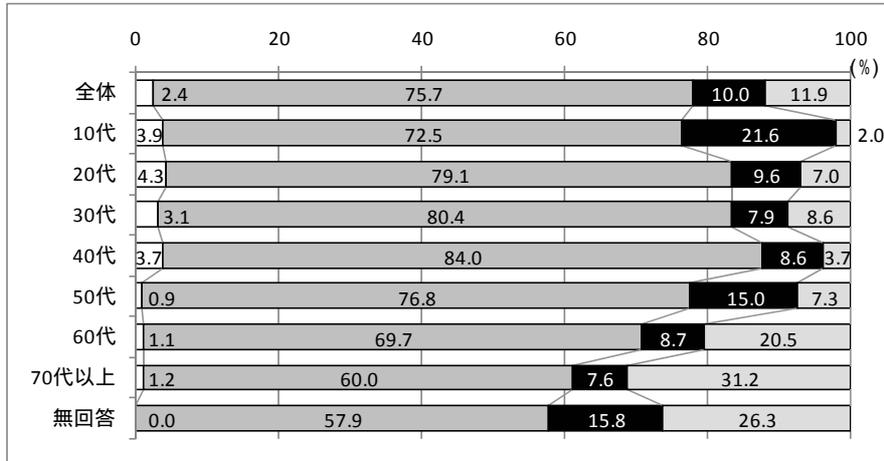
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、30代、40代で8割を超える。
- ・ 10代で「悪くなった」の数値が他世代より高くなっている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、恩田連合自治会、美しが丘連合自治会で8割を超える。
- ・ 上谷本連合町内会では「悪くなった」の数値が他に比べてやや高い。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
2 家庭・地域の子育て機能の低下



3 子どもが安心して遊ぶ場の不足

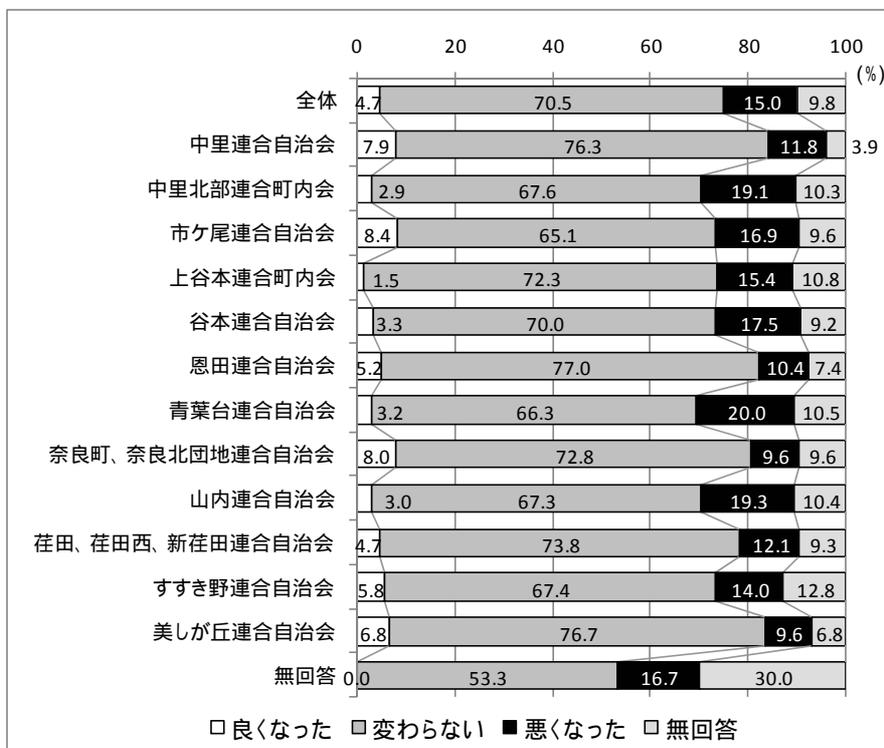
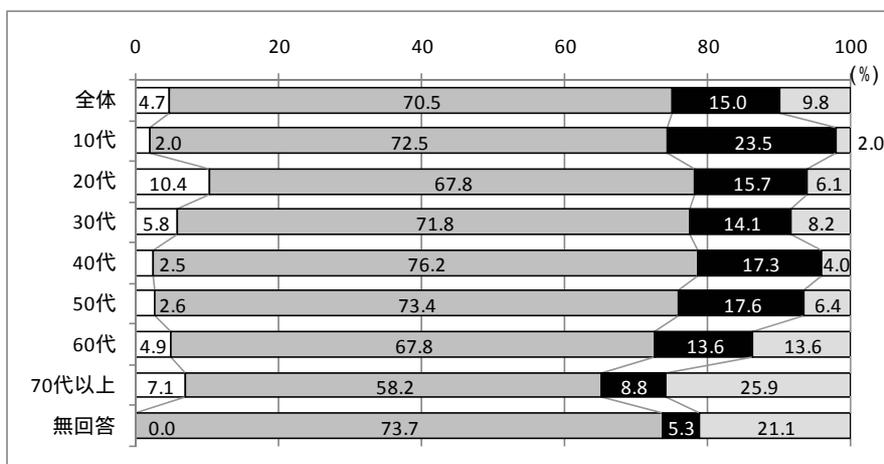
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 10代で「悪くなった」の数値が他世代に比べてやや高い。一方「良くなった」が1割を超えているのは20代のみである。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 青葉台連合自治会のみ「悪くなった」が2割に達している。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
3 子どもが安心して遊ぶ場の不足



4 子どもの減少による地域活力の低下

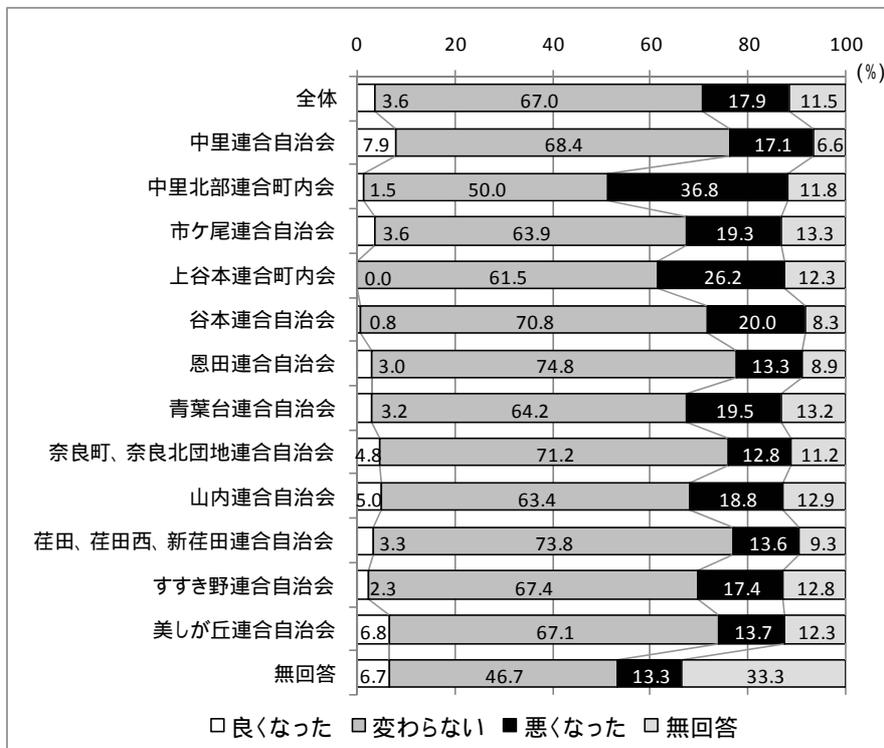
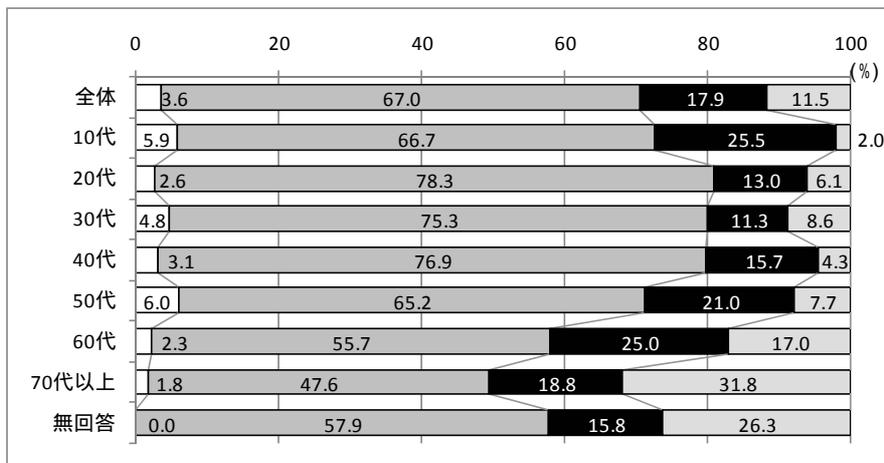
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・ 10代で「悪くなった」が他よりわずかに高い。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多いが、中里北部連合町内会では数値が低く、代わりに「悪くなった」の数値が特に高くなっている。上谷本連合町内会でも「悪くなった」がやや高く、「良くなった」の数値は0となっている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
4 子どもの減少による地域活力の低下



5 子どもたちの将来への不安

<年齢別>

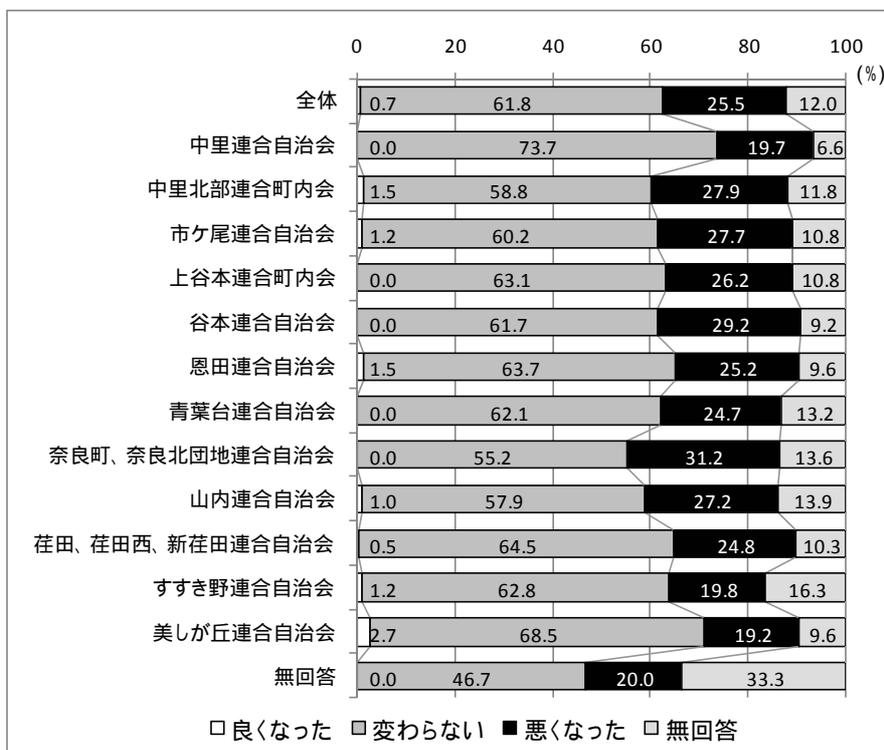
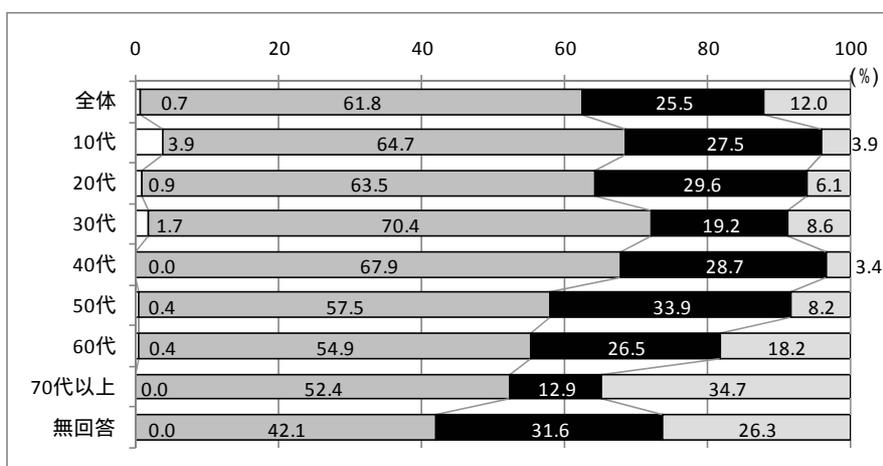
- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。また、「良くなった」の数値がすべての世代で低くなっている。
- ・ 50代で「悪くなった」の数値が他世代に比べて高くなっている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。また、「良くなった」の数値がすべての地域で低くなっている。
- ・ 中里連合自治会で「変わらない」の数値がやや高いが、特に顕著な地域差はみられない。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

5 子どもたちの将来への不安



6 障害者に対する理解不足

<年齢別>

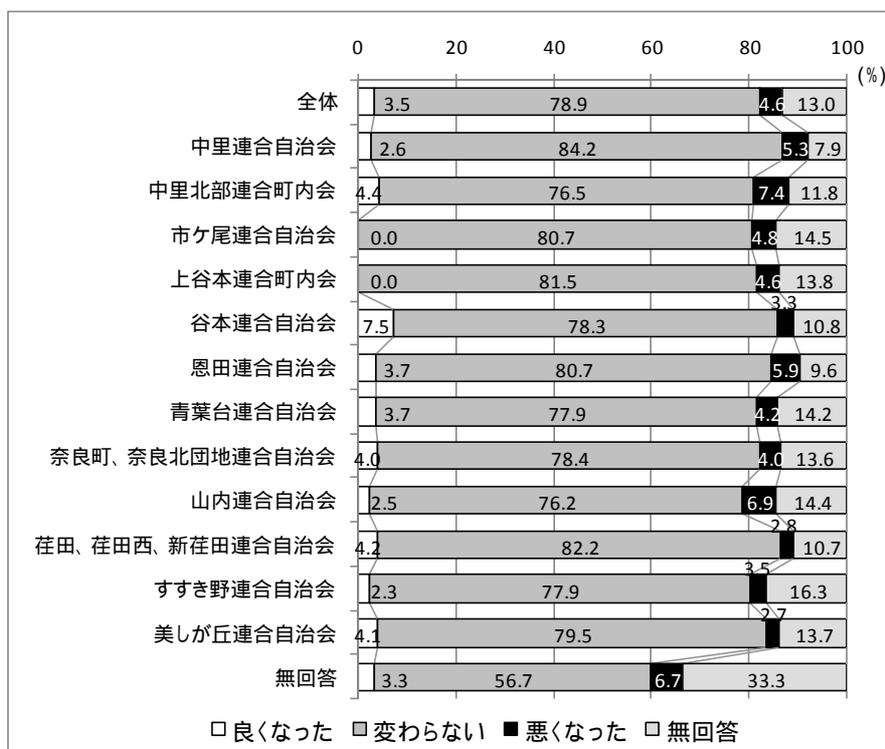
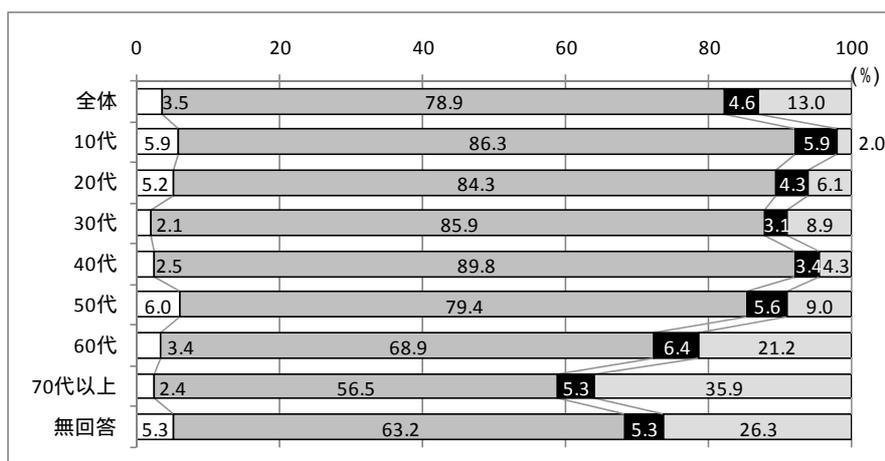
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代から40代までは8割を超える。

<居住地域別>

- ・ いずれの地域も「変わらない」が最も多く8割前後を占めている。
- ・ なお、市ヶ尾連合自治会、上谷本連合町内会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

6 障害者に対する理解不足



7 障害者の高齢化・重度化

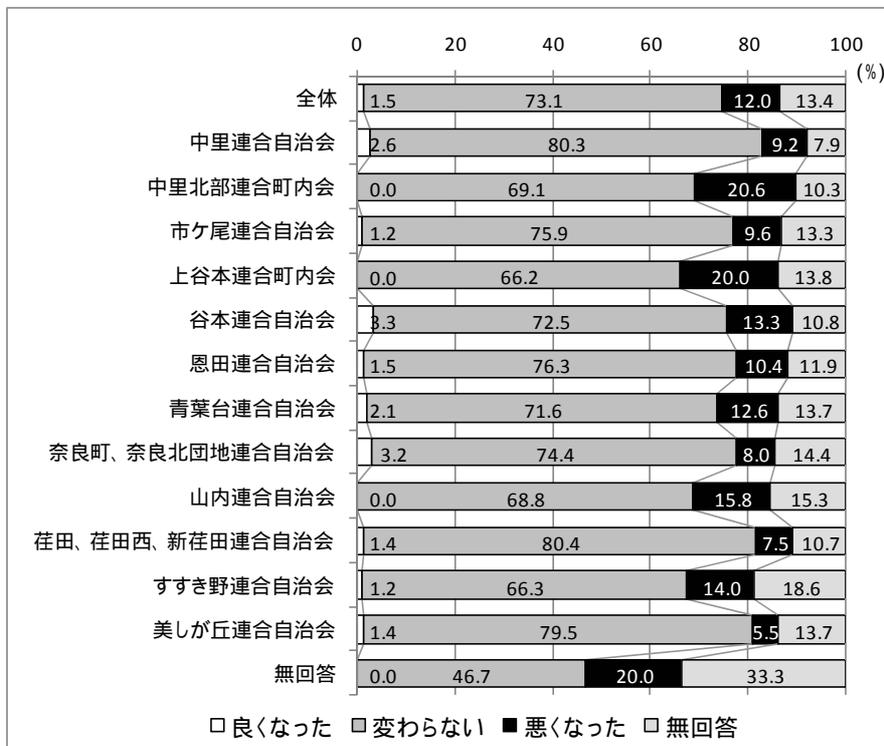
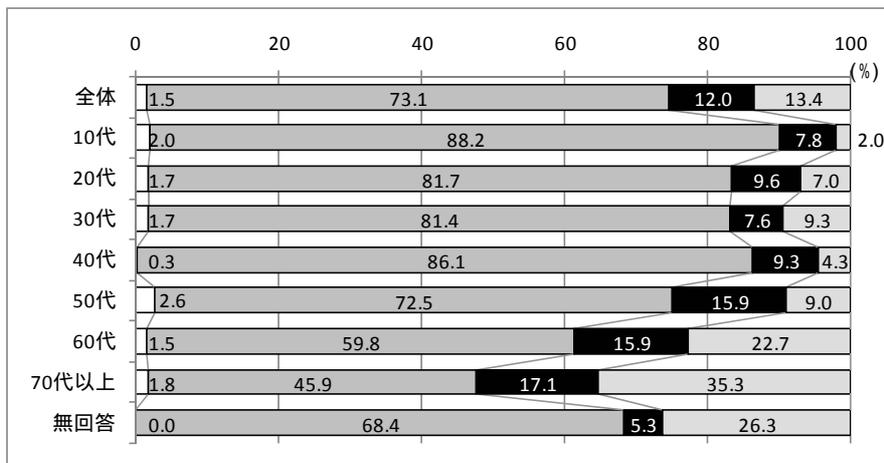
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代から40代までは8割を超える。「良くなった」はどの世代でも低い数値である。
- ・ また、年齢が上がるほど「悪くなった」の数値が高くなっている。

<居住地域別>

- ・ いずれの地域も「変わらない」が最も多く、「良くなった」は非常に低くなっている。
- ・ 中里北部連合町内会では「悪くなった」の数値が他に比べてやや高い。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
7 障害者の高齢化・重度化



8 発達障害児・者への支援の不足

<年齢別>

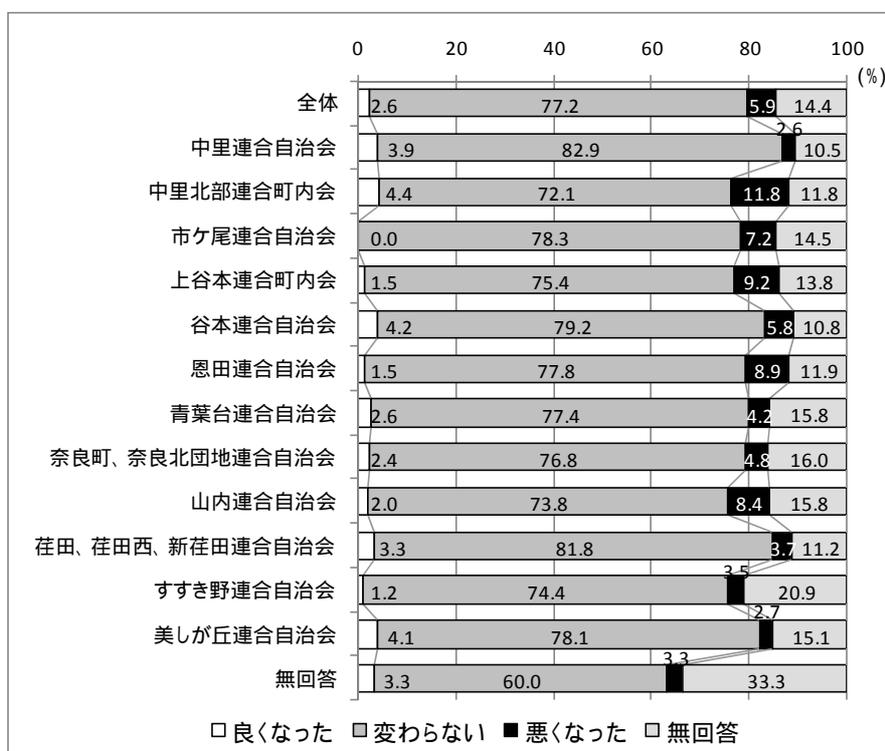
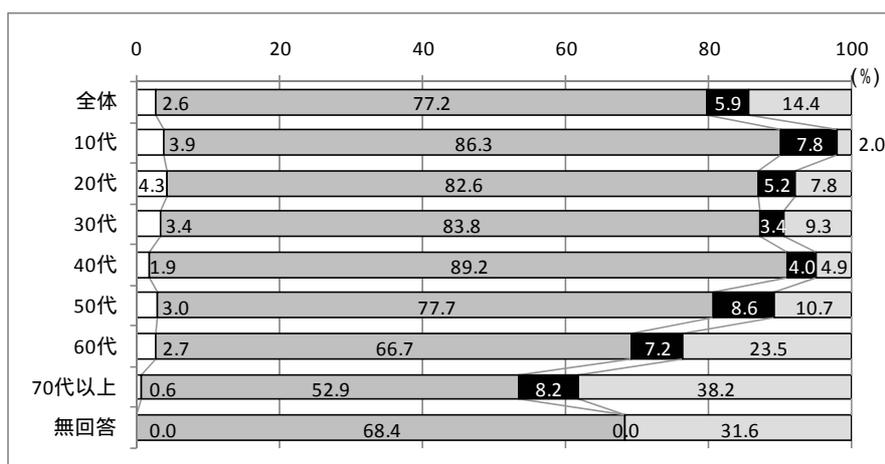
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代から40代では8割を超える。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、8割前後である。
- ・ 市が尾連合自治会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

8 発達障害児・者への支援の不足



9 障害者の就労支援の不足

<年齢別>

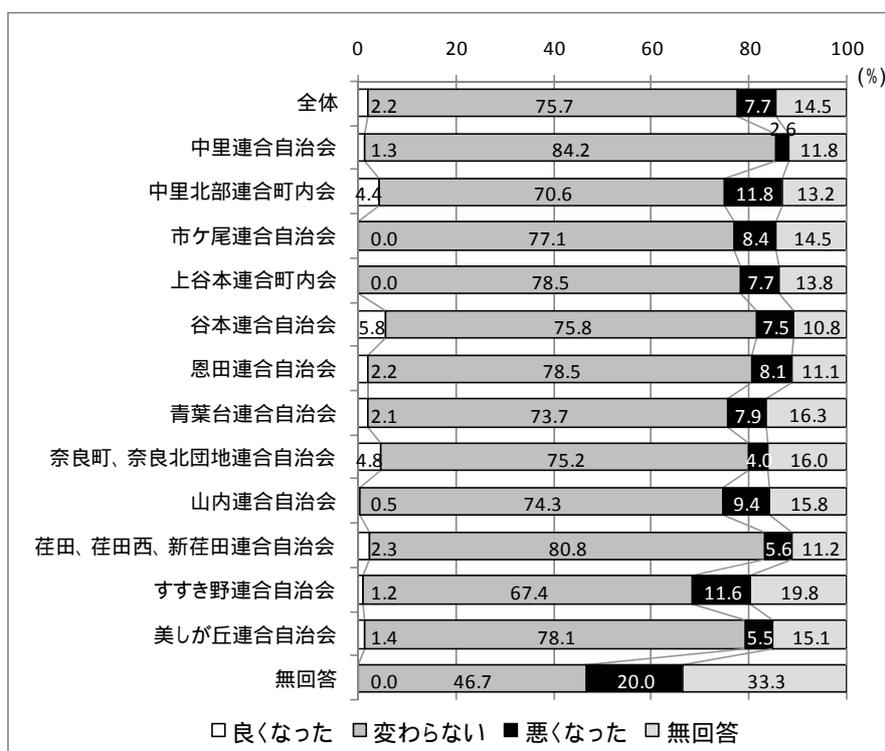
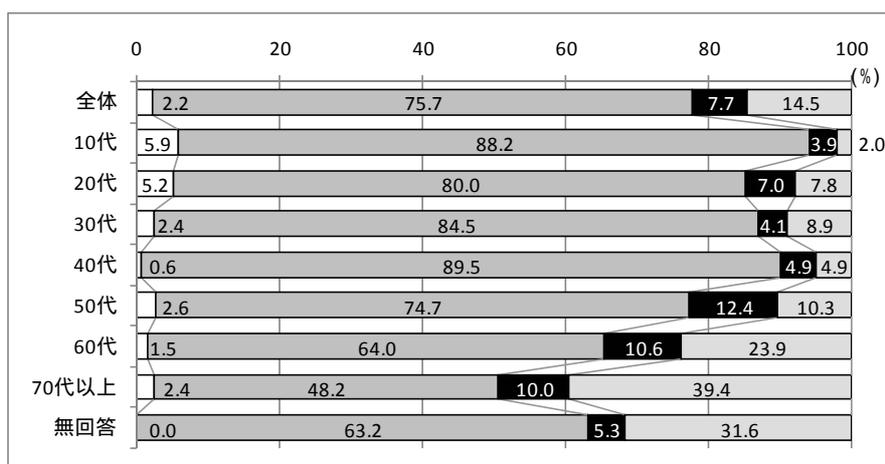
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代、40代では9割近い。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、8割前後である。
- ・ 市が尾連合自治会、上谷本連合町内会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

9 障害者の就労支援の不足



10 段差解消などバリアフリーの不足

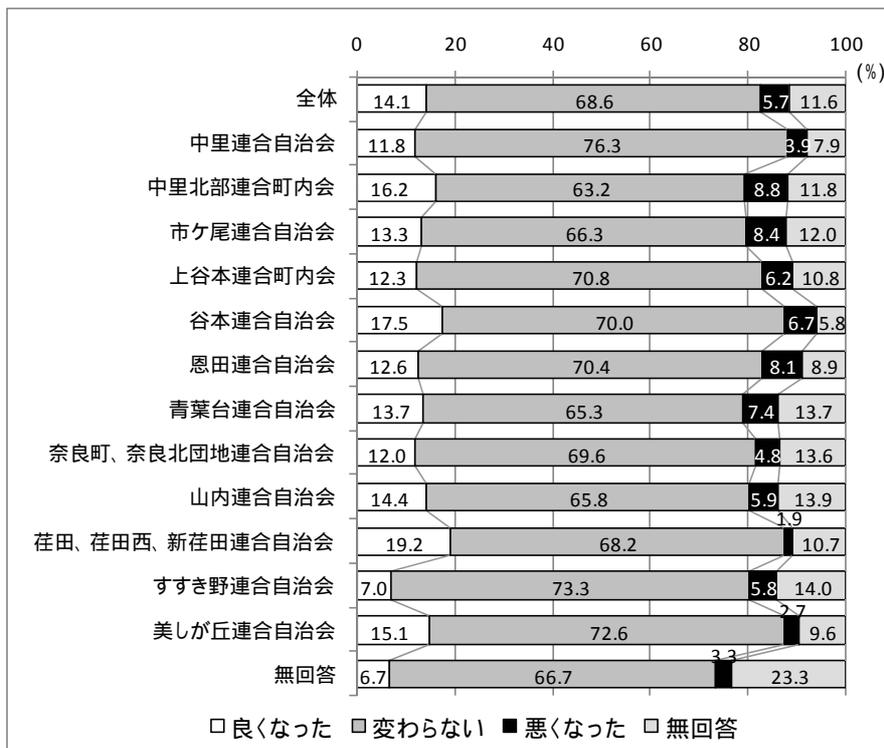
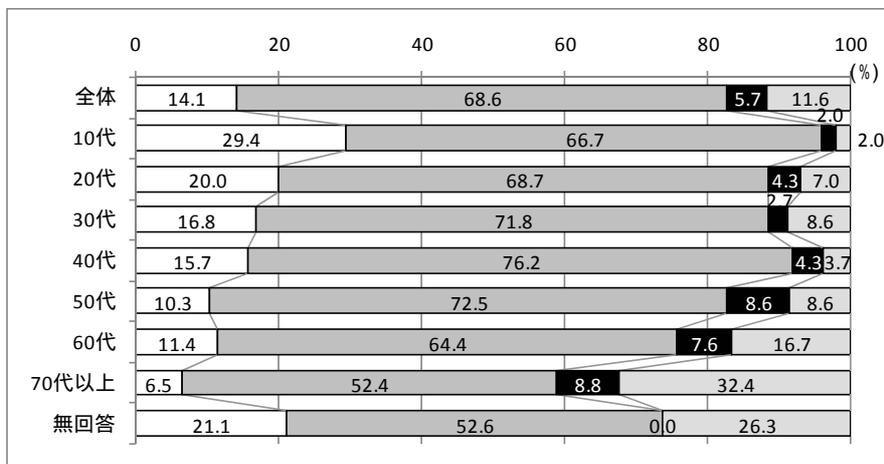
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 10代で「良くなった」の数値が他世代に比べ突出して高くなっているなど、若年層ほど評価が高い。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 「良くなった」の数値が1割に達していないのはすすき野連合自治会のみである。最も評価が高いのは荏田、荏田西、新荏田連合自治会である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
10 段差解消などバリアフリーの不足



11 災害に対する備えの不足

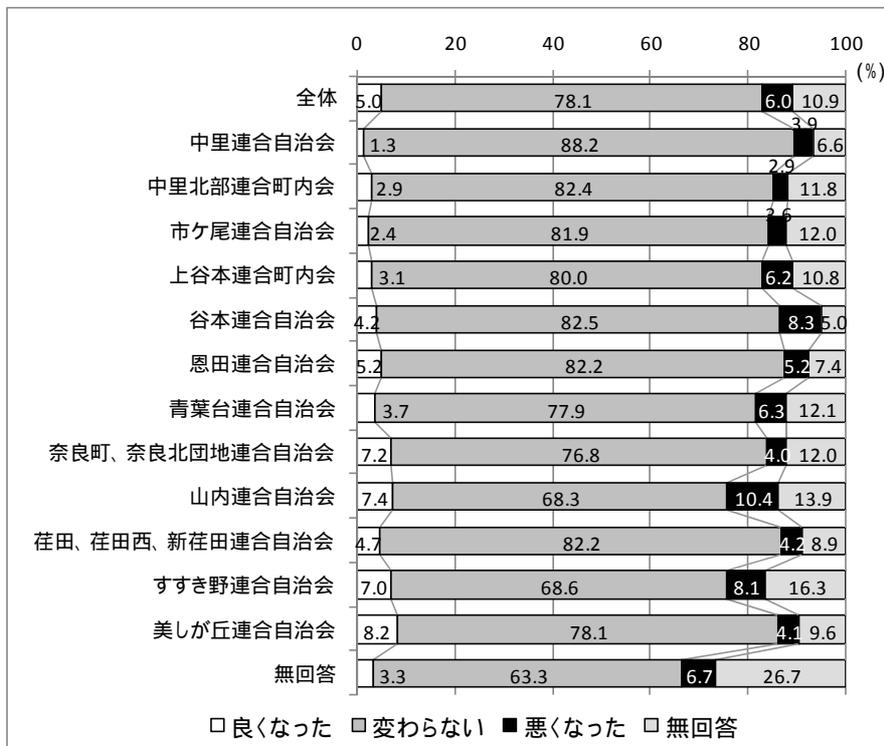
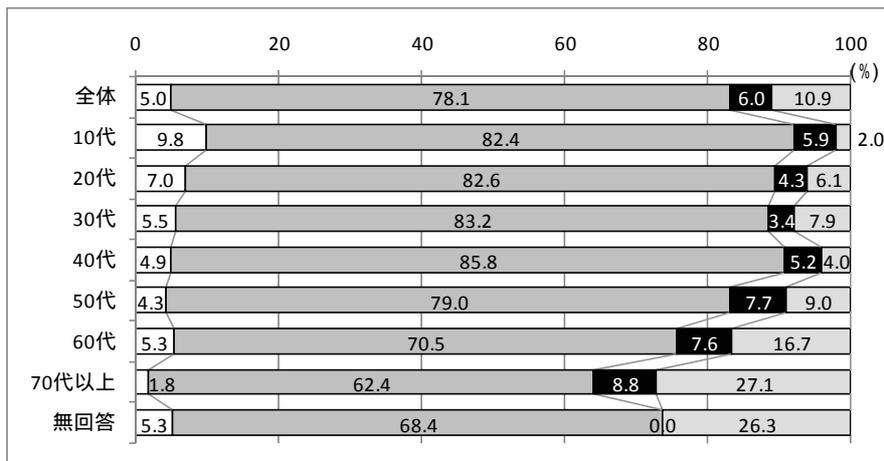
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代から40代では8割を超える。
- ・ 高齢者層に比べて若年層の方が「良くなった」とする傾向がやや強い。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が7割前後～8割台を占め最も多い。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
11 災害に対する備えの不足



12 犯罪の増加・治安の悪化

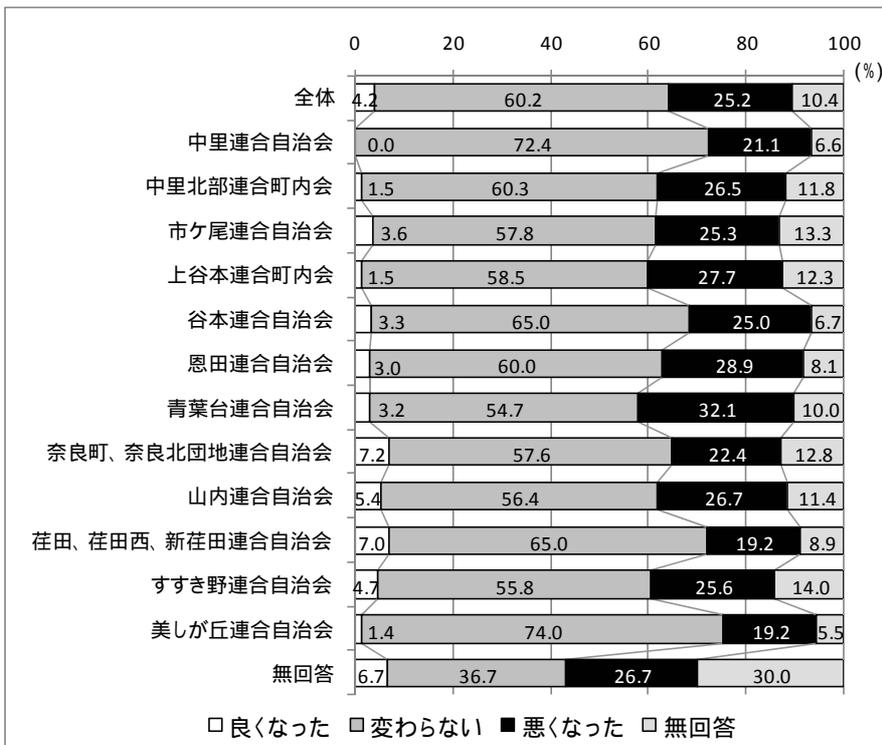
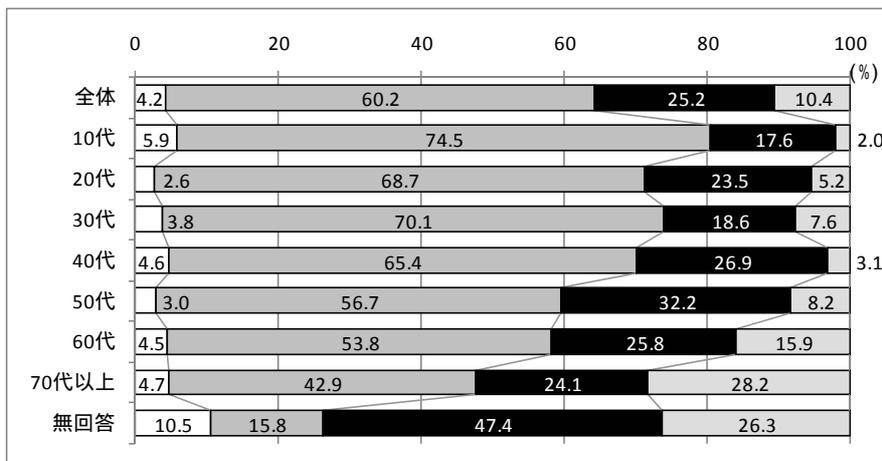
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代で最も数値が高い。
- ・ 50代では「悪くなった」が全体の3分の1近くに達している。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・ 青葉台連合自治会で「悪くなった」が全体の3分の1近くに達している。中里連合自治会、美しが丘連合自治会では「変わらない」の数値が高い一方「良くなった」の数値が低くなっている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
12 犯罪の増加・治安の悪化



13 青少年の非行

<年齢別>

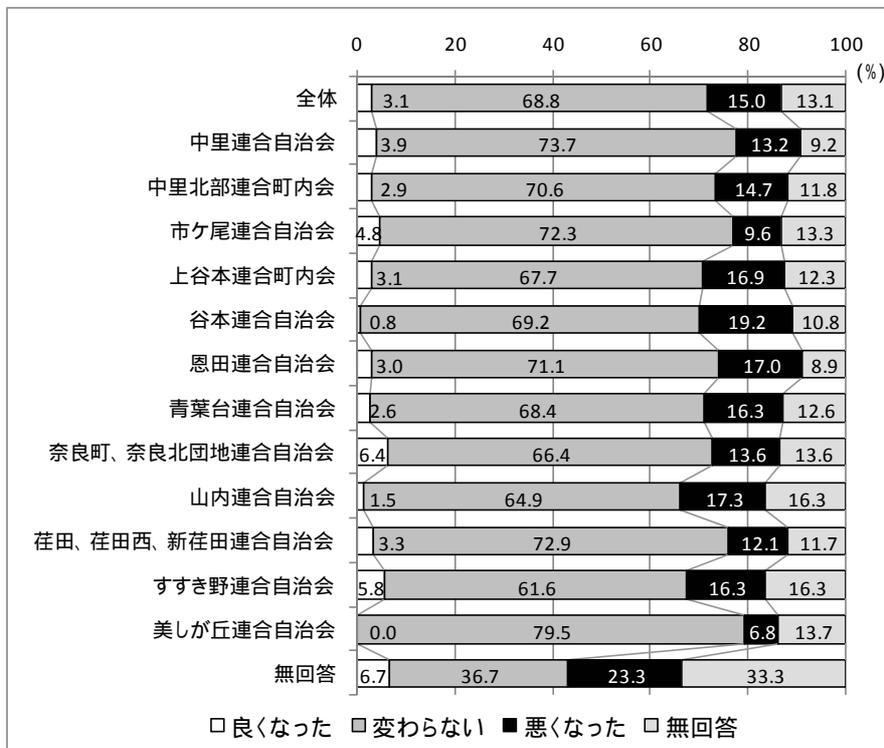
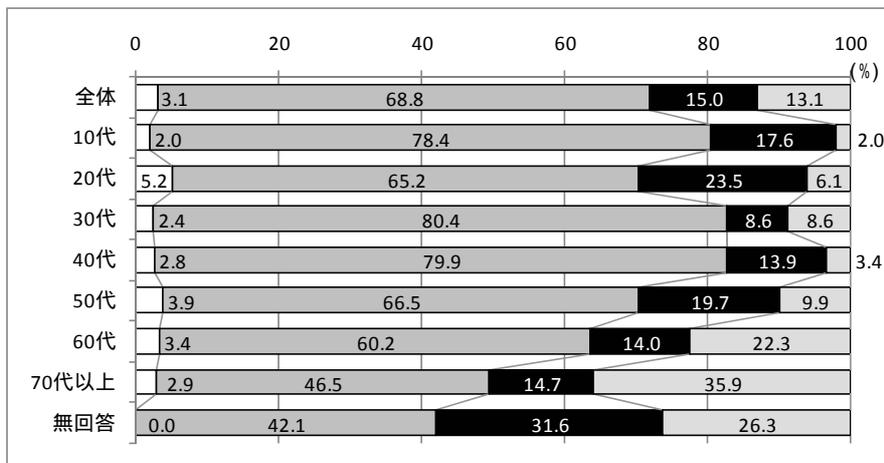
- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 20代では「悪くなった」の数値が他世代に比べてやや高い。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・ 美しが丘連合自治会では「変わらない」の数値が高く、「良くなった」「悪くなった」共に数値が低くなっている

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

13 青少年の非行



14 不登校、ひきこもりの増加

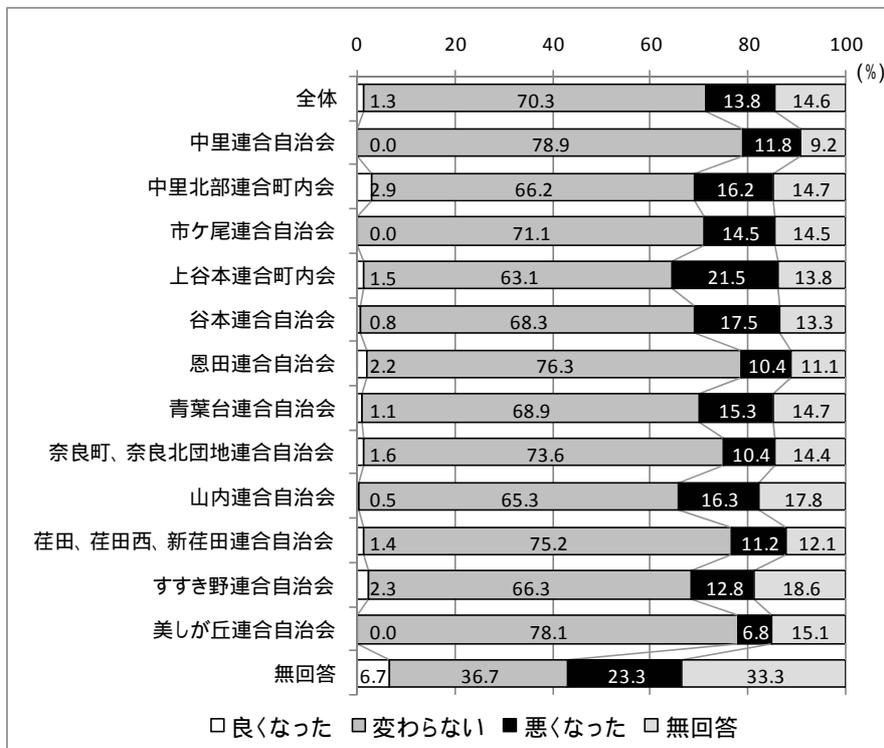
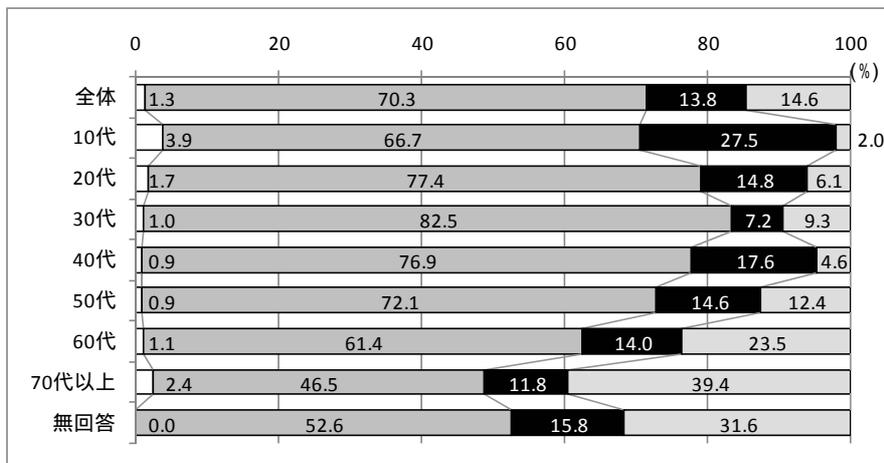
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、「良くなった」の数値が低い。
- ・ 特に10代で「悪くなった」の数値が他世代に比べて高くなっている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、「良くなった」の数値が非常に低い。
- ・ 中里連合自治会、美しが丘連合自治会では「変わらない」の数値が高い一方で「良くなった」は0になっている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
14 不登校、ひきこもりの増加



15 ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)となる青少年の増加

<年齢別>

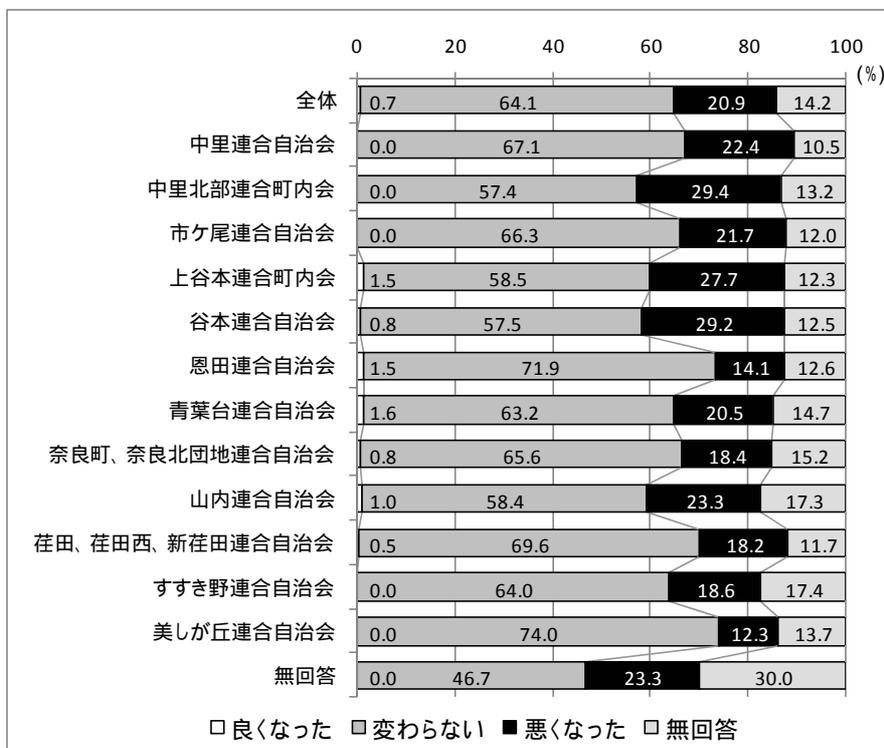
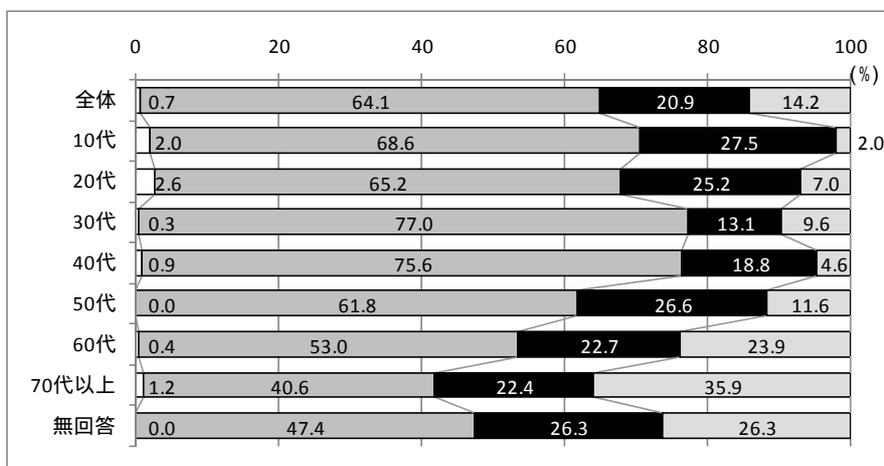
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、「良くなった」の数値は非常に低い。
- ・ 「悪くなった」が最も高いのは10代で、50代では「良くなった」の数値が0である。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、「良くなった」の数値は非常に低い。中里・中里北部・市ヶ尾・すすき野・美しが丘の5連合自治会では「良くなった」が0となっている。
- ・ 中里北部連合町内会、谷本連合自治会で「悪くなった」の数値がやや高い。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

15 ニート(就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者)となる青少年の増加



16 高齢化による介護問題の深刻化

<年齢別>

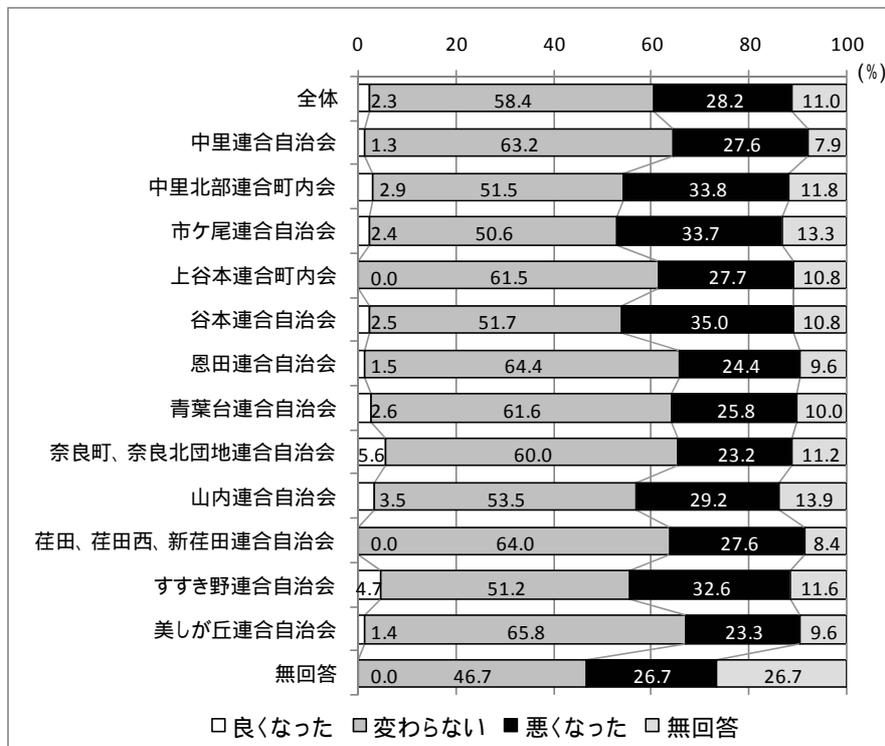
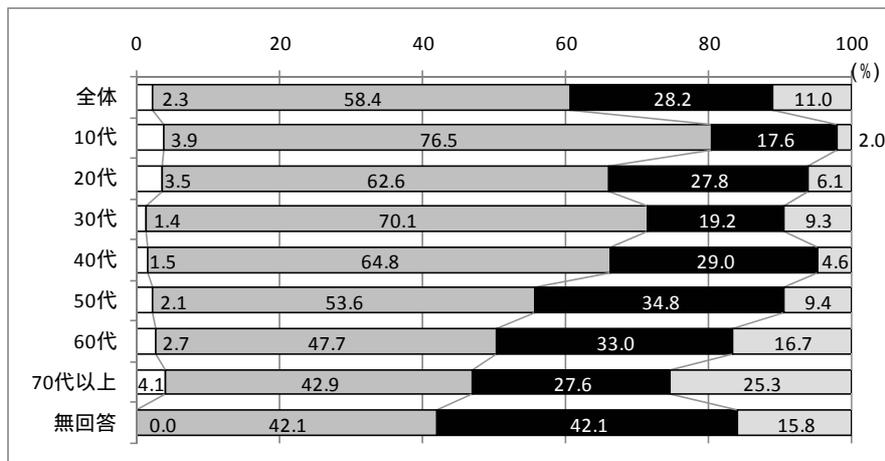
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代を中心に若年層で数値が高くなっている。
- ・ 10代では「悪くなった」の数値が低い。一方50代、60代では「悪くなった」が全体の3割程度となっている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が5～6割前後、次いで「悪くなった」が3割前後となっている。上谷本連合町内会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

16 高齢化による介護問題の深刻化



17 認知症者に対する理解の不足

<年齢別>

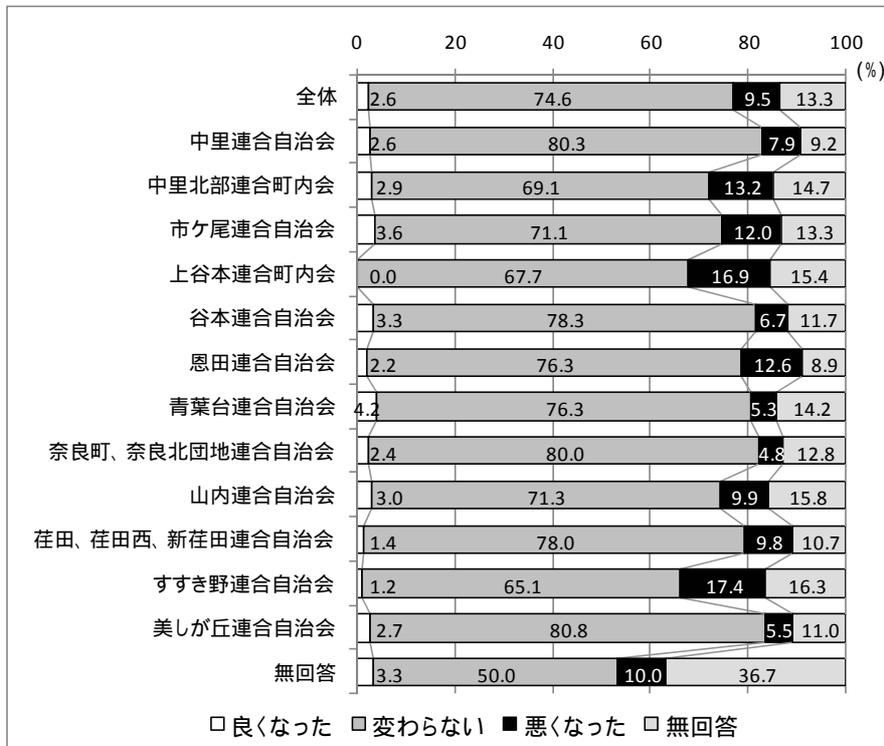
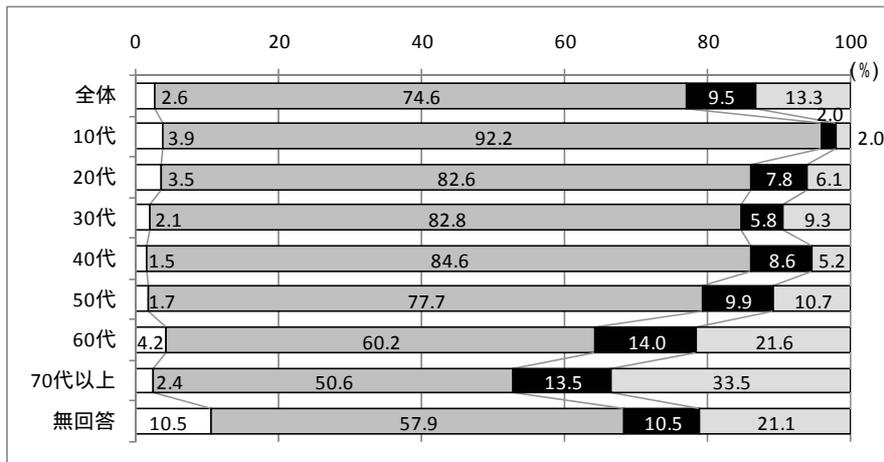
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、特に10代では9割を超える。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ すずき野連合自治会では「悪くなった」が僅かに高く、上谷本連合町内会では「良くなった」の数値が0となっている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

17 認知症者に対する理解の不足



18 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足

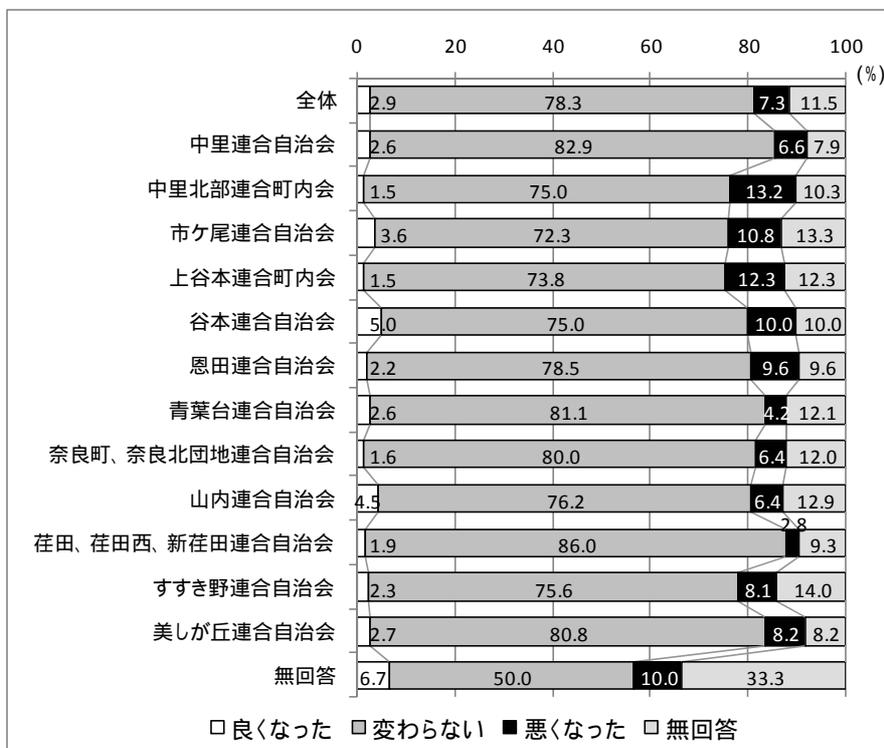
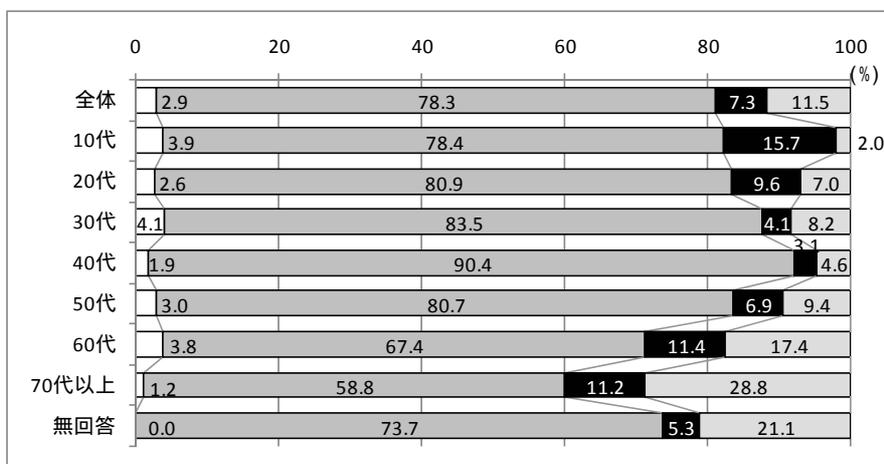
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっており、40代では9割を超える。
- ・ 10代で「悪くなった」の数値が他世代に比べてやや高い。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 荇田、荇田西、新荇田連合自治会で「変わらない」の数値が高く、「悪くなった」が僅かに低くなっているが、さほど顕著な地域差は見られない。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
18 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足



19 地域活動をする場所の不足

<年齢別>

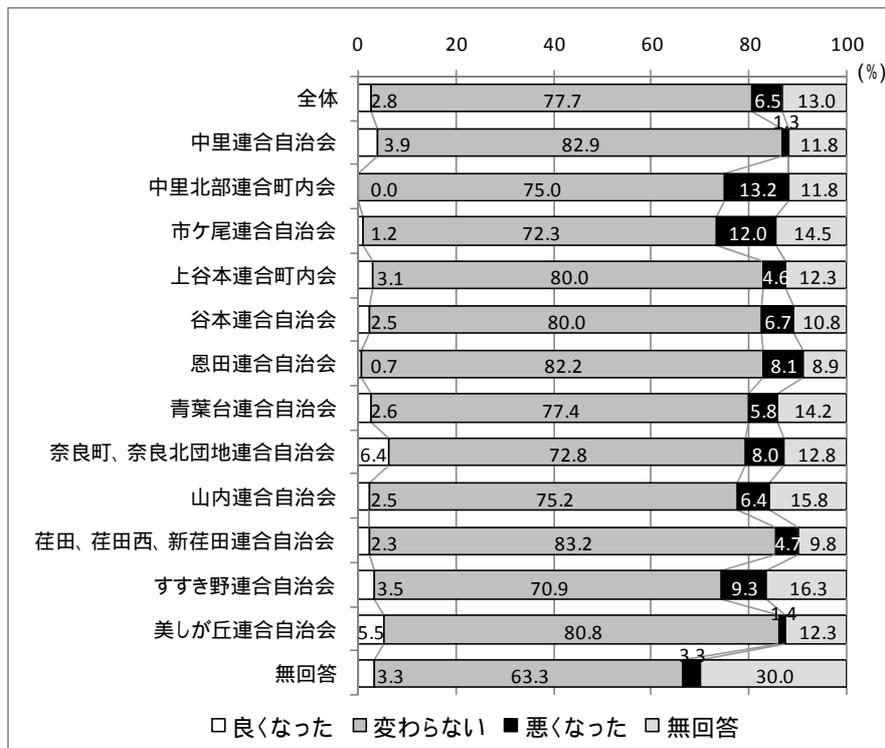
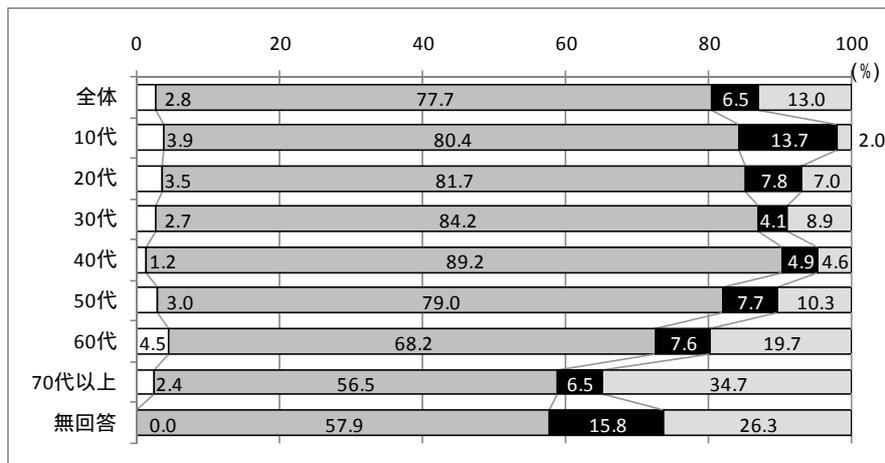
- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっており、10代から40代では8割を超える。
- ・ 「悪くなった」の数値が最も高いのは10代である。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっており、7～8割台を占める。
- ・ 中里連合自治会、中里北部連合町内会では「悪くなった」の数値が1割を超えている。また中里北部連合町内会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

19 地域活動をする場所の不足



20 高齢者や障害者の外出困難

<年齢別>

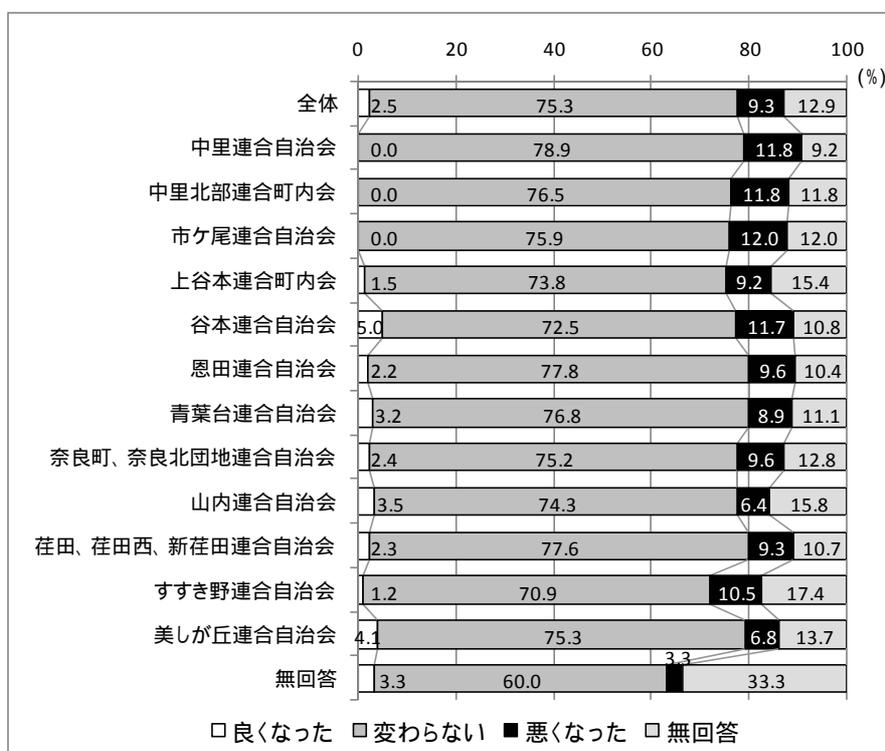
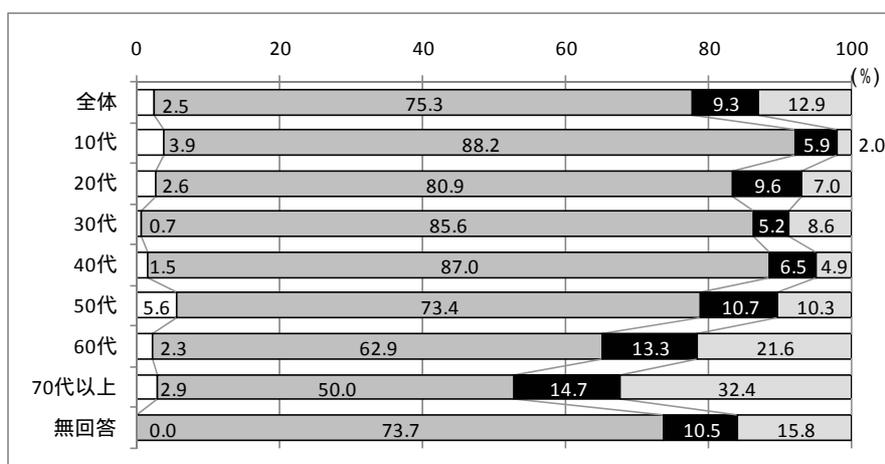
- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、10代から40代では8割を超える。
- ・ 年齢が高いほど「悪くなった」の数値が高い傾向にある。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が7割台、「悪くなった」が1割前後で、顕著な地域差は認められない。
- なお、中里連合自治会、中里北部連合町内会、市ヶ尾連合自治会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

20 高齢者や障害者の外出困難



21 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足

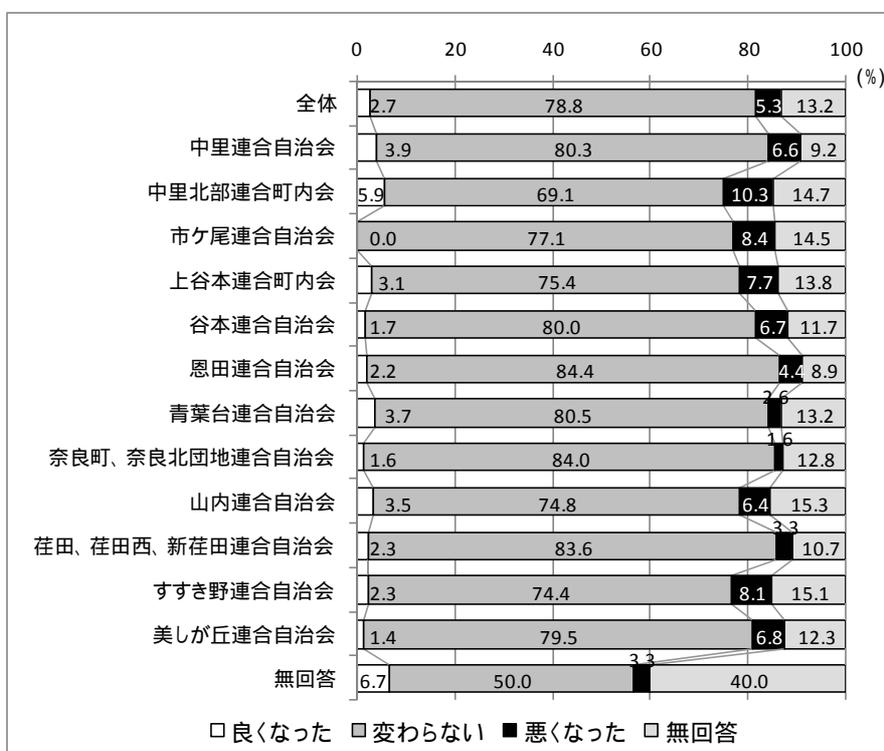
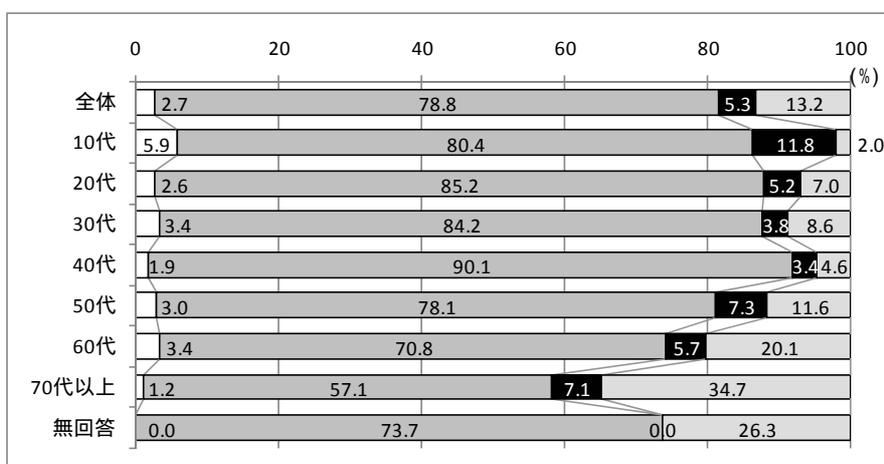
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、40代で9割を超える。
- ・ 10代のみ「悪くなった」が1割を超えている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、7割前後から8割台を占める。
- ・ 大きな地域差は見られないが、中里北部連合町内会のみ「悪くなった」が1割を超えている。また、市ヶ尾連合自治会では「良くなった」の数値が0である。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
21 子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足



22 身近な健康づくりの場の不足

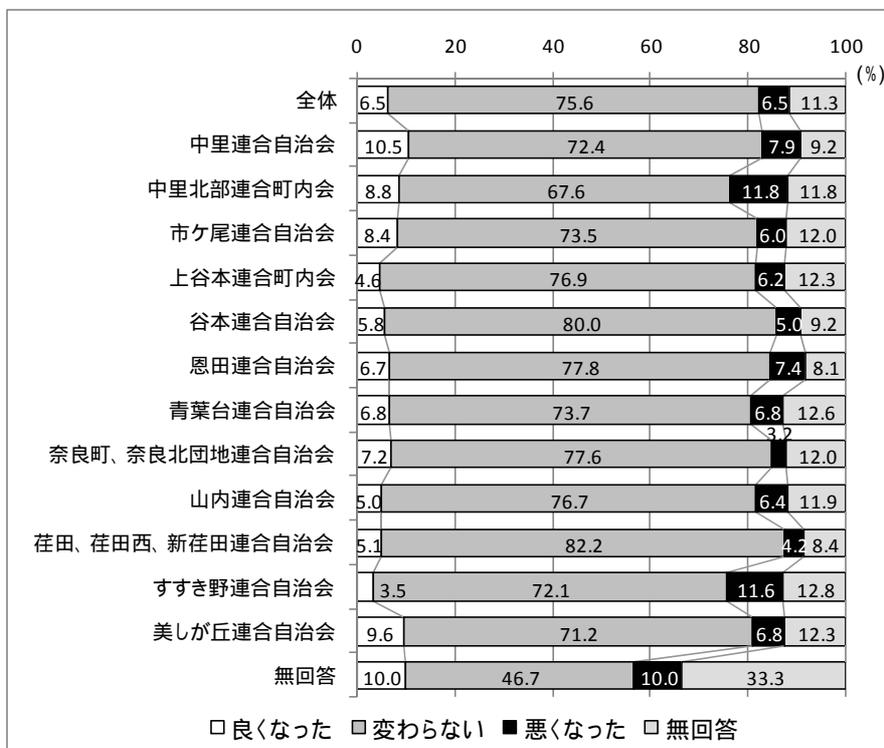
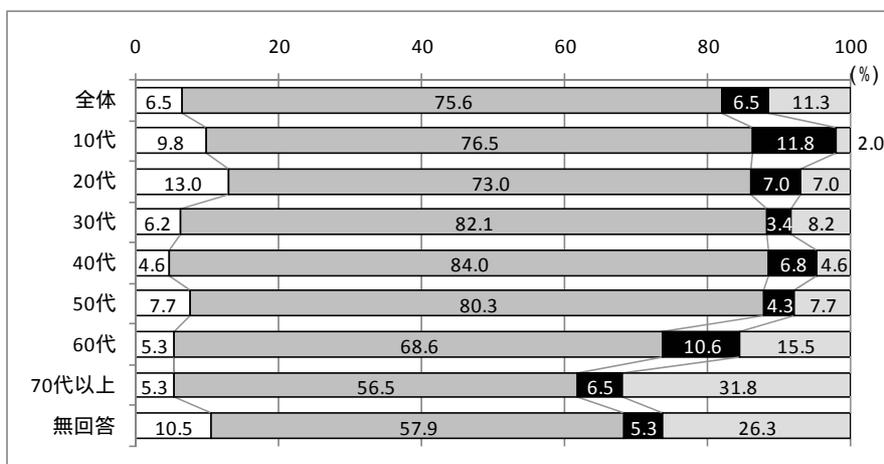
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、30代から50代の世代で8割を超える。
- ・ 10代と60代で「悪くなった」が、20代で「良くなった」が1割を超えている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、7割前後から8割台を占める。
- ・ 大きな地域差は見られないが、中里北部連合町内会、すすき野連合自治会で「悪くなった」が1割を超えている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
22 身近な健康づくりの場の不足



23 地域に関する情報の不足

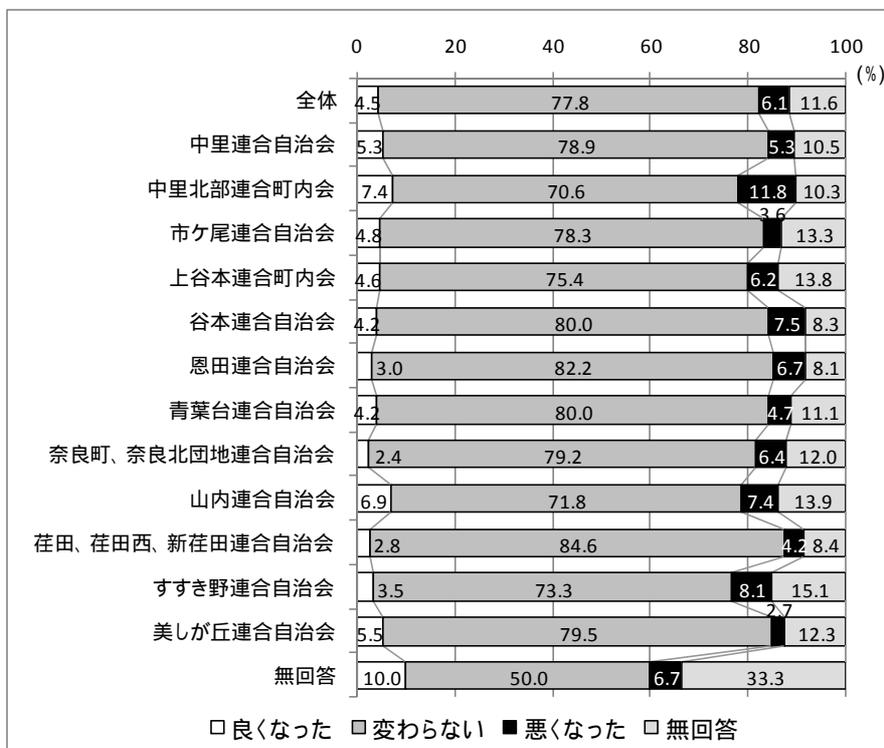
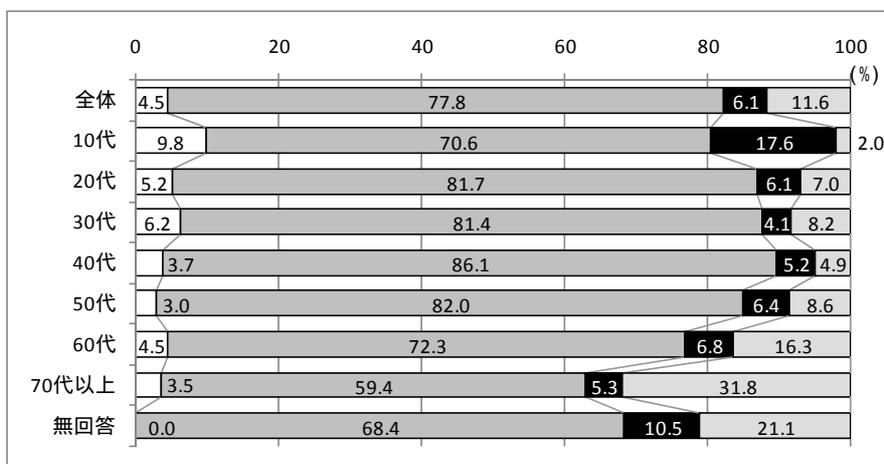
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、30代から50代の世代で8割を超える。
- ・ 10代では「良くなった」の数値も僅かに高いものの、「悪くなった」の数値は他世代に比べて特に高くなっている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多く、7～8割台を占める。
- ・ 中里北部連合町内会で「悪くなった」が1割を超えている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
23 地域に関する情報の不足



24 住宅の建て替えの増加

<年齢別>

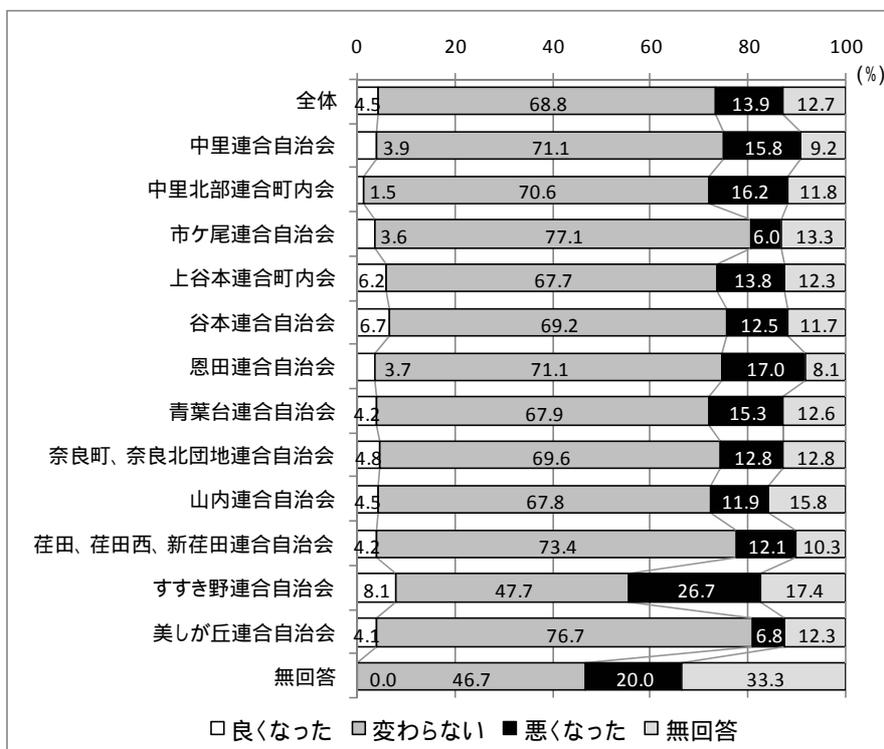
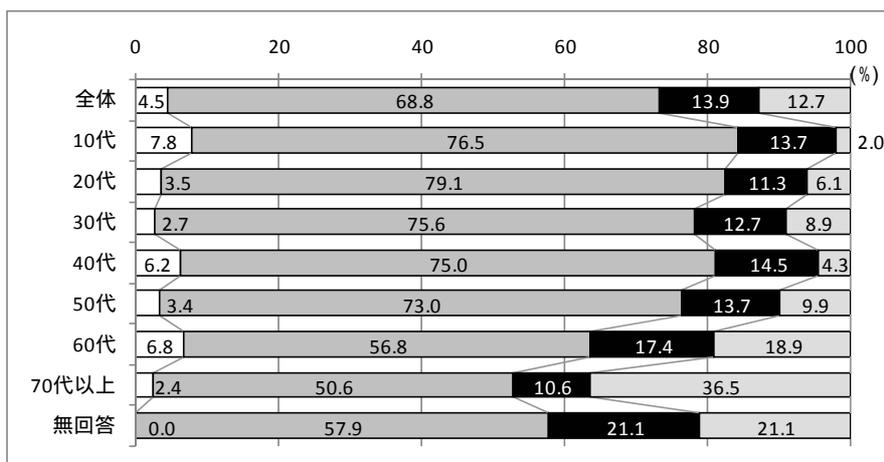
- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・ すずき野連合町内会では「悪くなった」が4分の1強を占め、他地域に比べて突出して高い。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

24 住宅の建て替えの増加



25 バスの便の減少

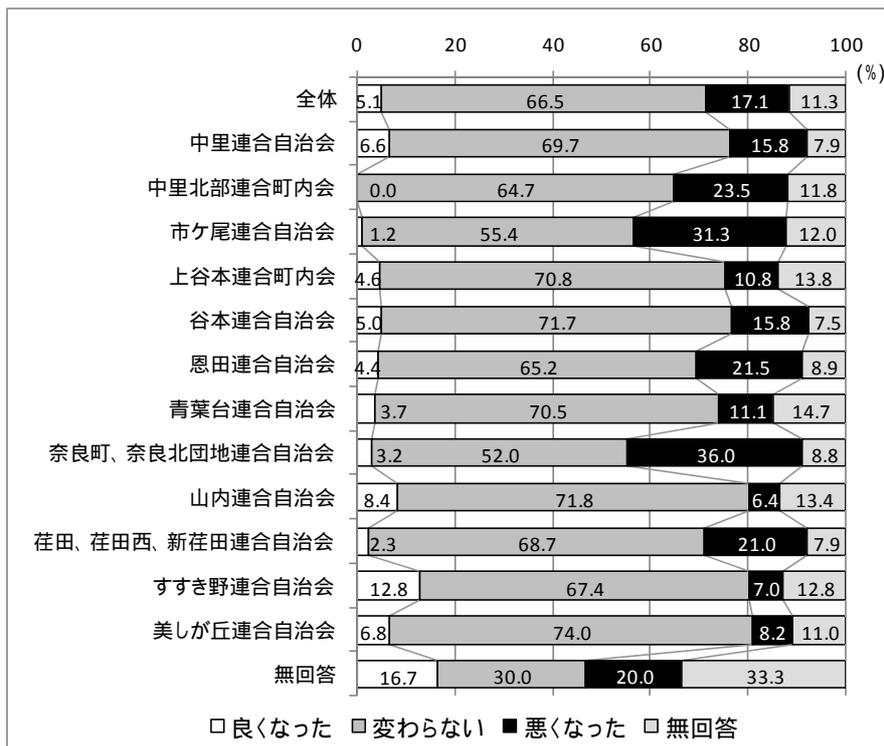
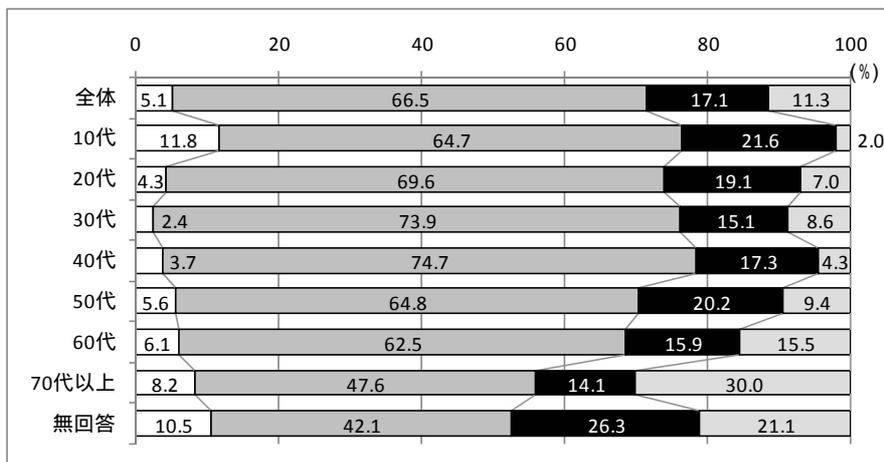
<年齢別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多くなっている。
- ・ 10代では「良くなった」が1割を超える一方で「悪くなった」も2割を超える。50代でも「悪くなった」が2割超である。

<居住地域別>

- ・ いずれも「変わらない」が最も多い。
- ・ 奈良町、奈良北団地連合自治会では「悪くなった」が全体の3分の1以上を占めているほか、市ヶ尾連合自治会でも「悪くなった」が3割を超えている。また、中里北部連合町内会では「良くなった」の数値が0である。
- ・ すずき野連合町内会では「良くなった」の数値が他に比べて僅かに高く、1割を超えている。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化
25 バスの便の減少



26 電車内の混雑

<年齢別>

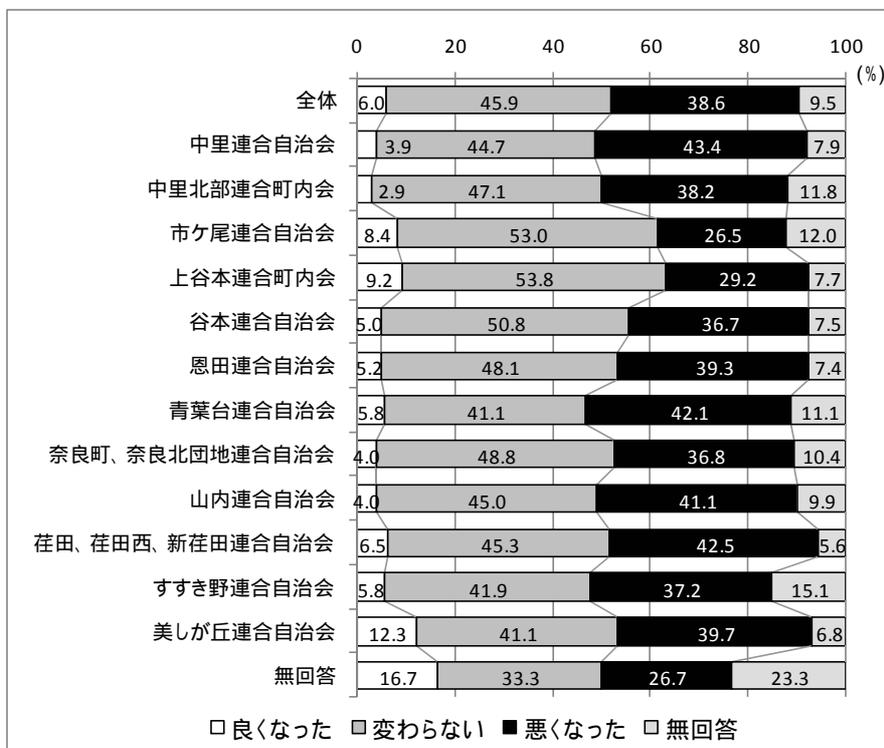
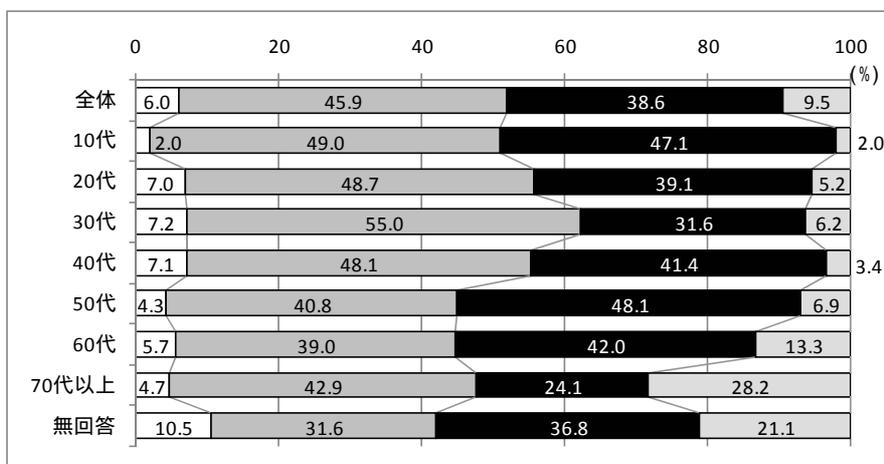
- ・ 50代、60代では「悪くなった」、それ以外の世代では「変わらない」が最も多く、年齢層で回答が分かれた。

<居住地域別>

- ・ 青葉台連合自治会のみ「悪くなった」が「変わらない」を僅かながら上回っている。
- ・ それ以外の地域では「変わらない」が最も多くなっているが、中里連合自治会、美しが丘連合自治会では「変わらない」と「悪くなった」が拮抗している。

図 年齢別・居住地域別 地域における課題の変化

26 電車内の混雑



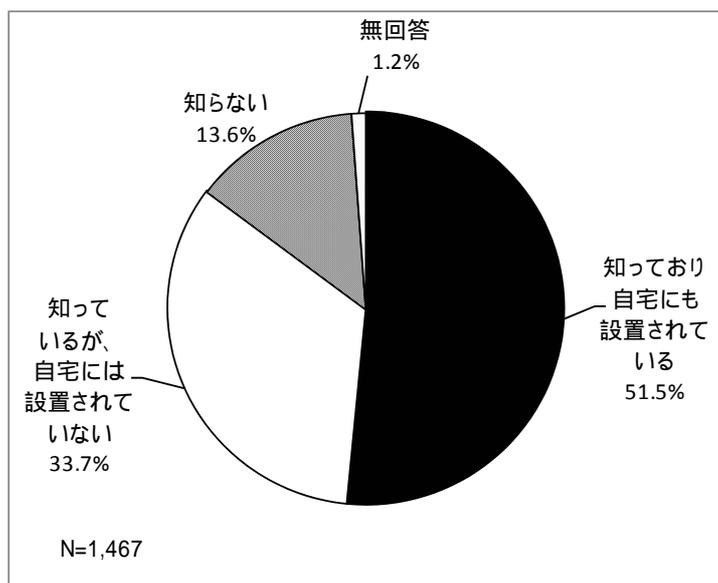
7. 危機管理について

問23 一戸建ての住宅や小規模アパートでも住宅用火災警報器の設置が義務付けられたことを知っていますか

「知っており、自宅にも設置されている」が過半数を占め、認知度は高い

- 「知っており、自宅にも設置されている」が51.5%で最も多く、過半数を占める。「知っているが、自宅には設置されていない」は33.7%、「知らない」は13.6%で、認知度は高い。

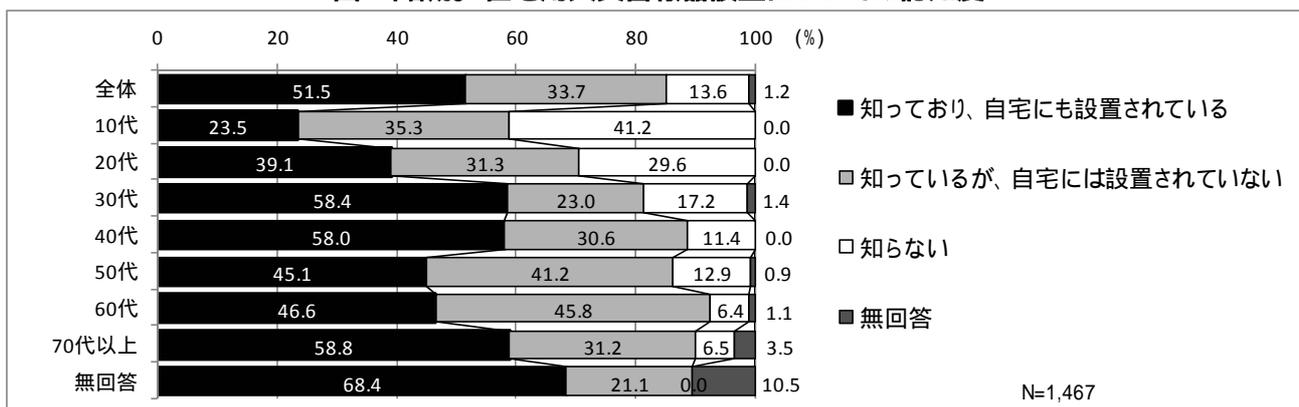
図 住宅用火災警報器設置についての認知度



年齢別 住宅用火災警報器設置についての認知度(問23×F1)

- 10代のみ「知らない」が最も多く、認知度が低い。それ以外では「知っており、自宅にも設置されている」が最も多くなっている。
- 70代以上で「知っており、自宅にも設置されている」「知っているが、自宅には設置されていない」を合わせて9割を超えるなど、高齢者で認知度が高い。

図 年齢別 住宅用火災警報器設置についての認知度



問 23 - 1 住宅用火災警報器をあなたの住宅のどの場所に設置されていますか(はいくつでも)

9 割が「台所」、6 割弱が「寝室」を挙げている

- ・ 「知っており、住宅にも設置されている」と回答した人に設置場所を尋ねると、最も多いのは「台所」の 90.9%で、9 割の人が選択している。次いで「寝室」が 58.6%である。以下「廊下」「その他」(共に 18.0%)、「階段」(14.6%)の順である。
- ・ 「その他」のうち、最も多かったのは「リビング」の 58 件で、次いで「すべての部屋」が 29 件となっている。

図 住宅用火災警報器の設置場所(はいくつでも)

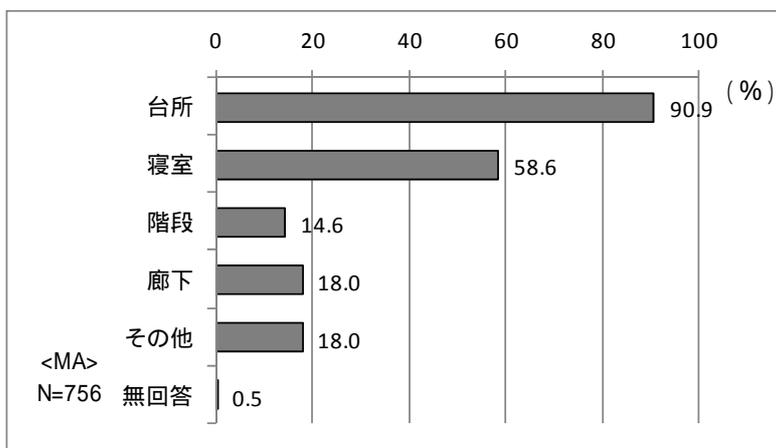


図 「その他」の内容

意見内容	件数
リビング	58
すべての部屋	29
クローゼット(押入れ、収納)	9
子ども部屋	8
洗面所(脱衣所)	7
浴室	4
和室	4
玄関、玄関ホール	2
階段下	1
食堂	1
ロフト	1
総数	124

問 23 - 2 あなたのお住まいで、住宅用火災警報器などが設置されていないのはなぜですか
(はいくつでも)

設置されていない理由としては「今後、住宅用火災警報器が安く販売されると思うから」、
「今後、機能の良い住宅用火災警報器が販売されると思うから」がほぼ並ぶ

- ・ 「知っているが、住宅には設置されていない」と回答した人に設置されていない理由を尋ねると、「今後、住宅用火災警報器が安く販売されると思うから」が最も多く 36.2%、次に「今後、機能の良い住宅用火災警報器が販売されると思うから」が 32.4%でほぼ並んでいる。
- ・ 「その他」のうち、最も多かったのは「賃貸物件だから(大家さんがつけるから)」の 40 件、次いで「期限までまだ余裕があるから」の 12 件となっている。

図 住宅用火災警報器などが設置されていない理由(はいくつでも)

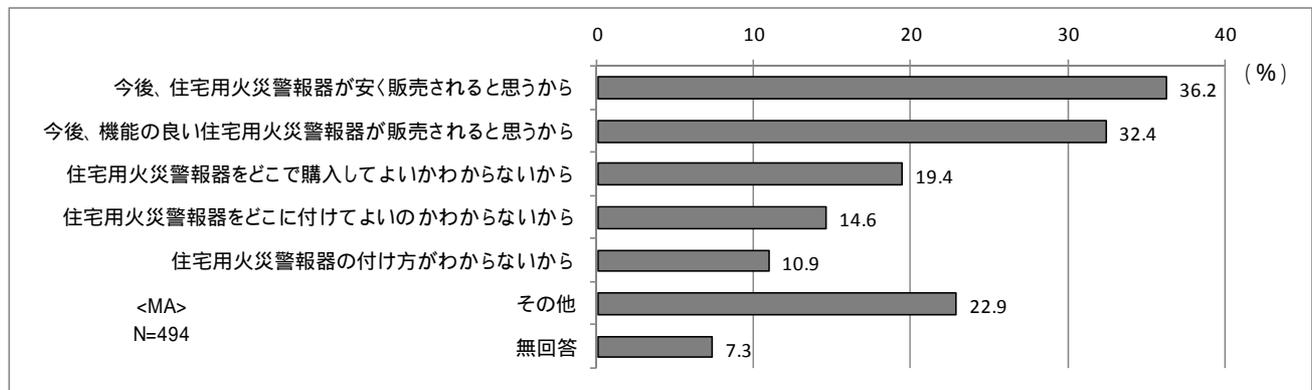


図 「その他」の内容

意見内容	件数
賃貸物件だから(大家さんがつけるから)	40
期限までまだ余裕があるから	12
金銭的な理由	8
購入(申込)済みだが未設置	8
近々設置する	6
引っ越し・建て替えの予定があるから	6
いずれは設置したい	3
必要性を感じない	3
忙しくて時間がない	2
自治体からの支援を待っている	2
団地なので自治会が決める	2
忘れていた	2
検討中	1
購入する機会がない	1
時期尚早	1
性能に疑問があるから	1
つけてくれるものだと思っていた	1
特に意識していない	1
総数	100

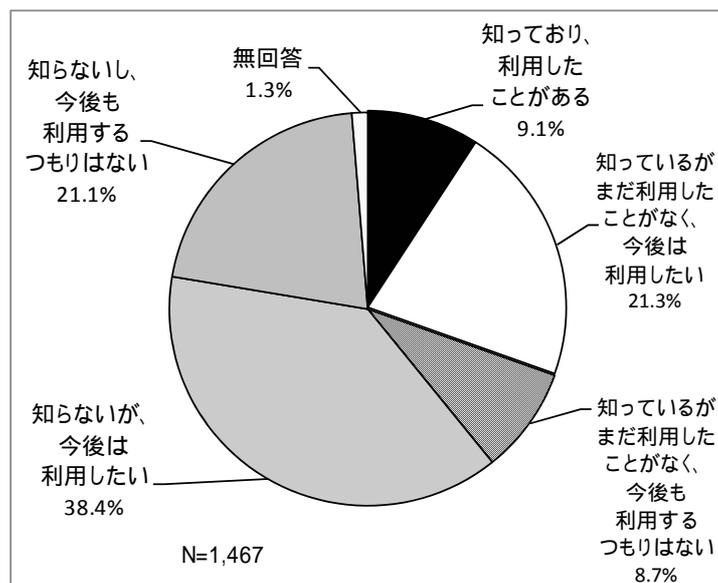
8. 区政・行政サービスについて

問 24 区内の2か所の郵便局（青葉台、横浜奈良郵便局）で行っている証明発行窓口サービスを知っていますか

認知度は4割弱でさほど高くないが、今後の利用意向は高い

- ・ 「知らないが、今後は利用したい」が38.4%で最も多く、全体の3分の1強となっている。次いで「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」(21.3%)、「知らないし、今後も利用するつもりはない」(21.1%)が2割強でほぼ並ぶ。
- ・ なお「知っており、利用したことがある」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない」を合わせると39.1%で、認知度は4割弱である。
- ・ また「知っており、利用したことがある」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」「知らないが、今後は利用したい」を合わせると68.8%と7割近くに達し、利用意向は高いといえる。

図 郵便局(青葉台、横浜奈良郵便局)で行っている証明発行窓口サービスの認知度



年齢別 郵便局(青葉台、横浜奈良郵便局)で行っている証明発行窓口サービスの認知度(問 24×F1)

- 10代で「知らないし、今後も利用するつもりはない」、20代から60代で「知らないが、今後は利用したい」、70代以上で「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」が最も多くなっている。
- 「知っており、利用したことがある」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」を合わせると、年齢層が高いほど認知度が高くなっている。
- また「知っており、利用したことがある」「知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい」「知らないが、今後は利用したい」を合わせると、20代、30代で7割を超える高い利用意向となっている。

図 年齢別 郵便局(青葉台、横浜奈良郵便局)で行っている証明発行窓口サービスの認知度

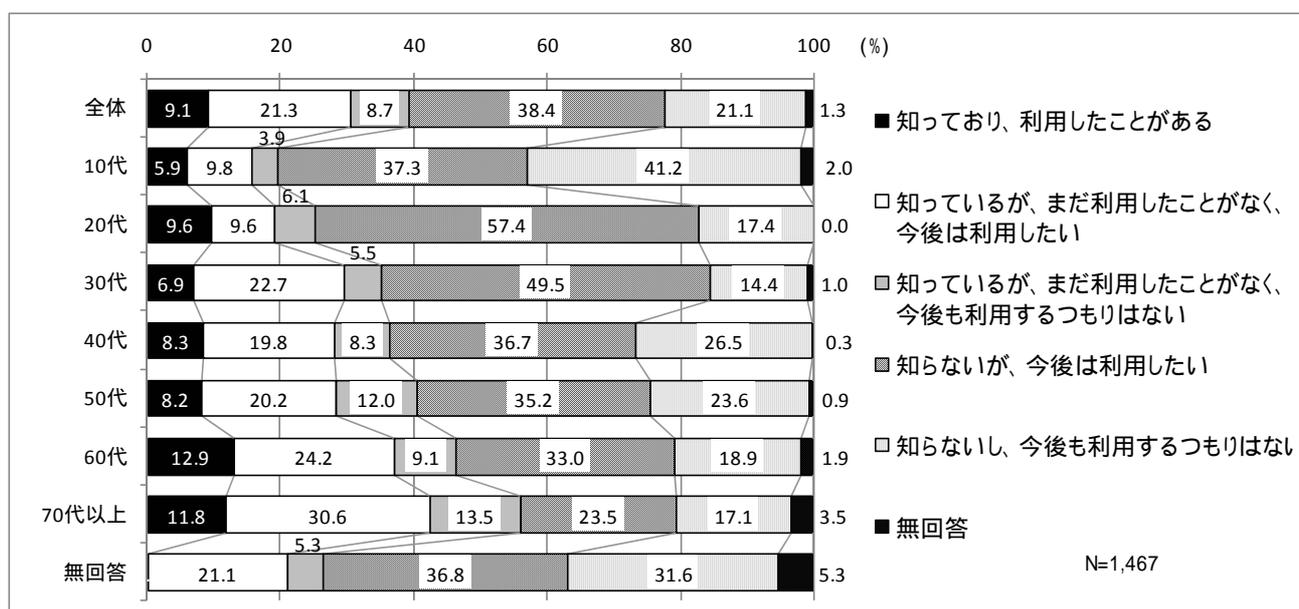
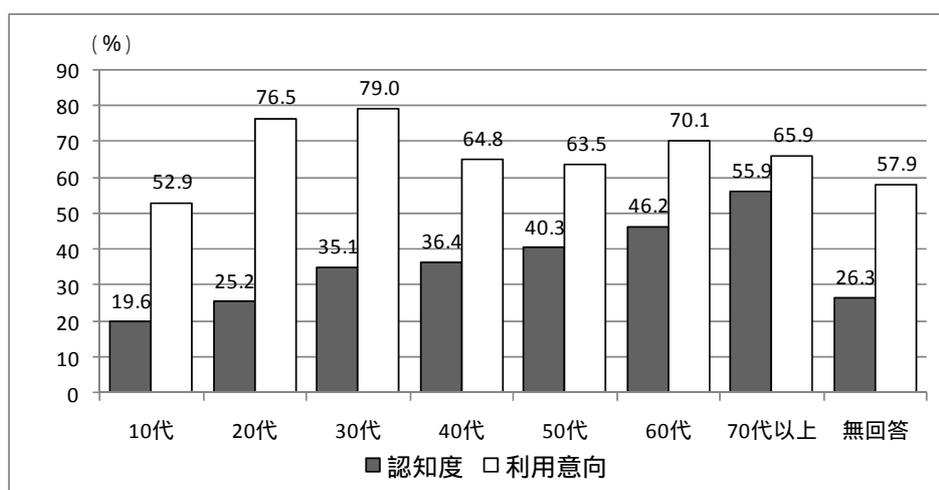


図 年齢別 郵便局(青葉台、横浜奈良郵便局)で行っている証明発行窓口サービスの認知度と利用意向

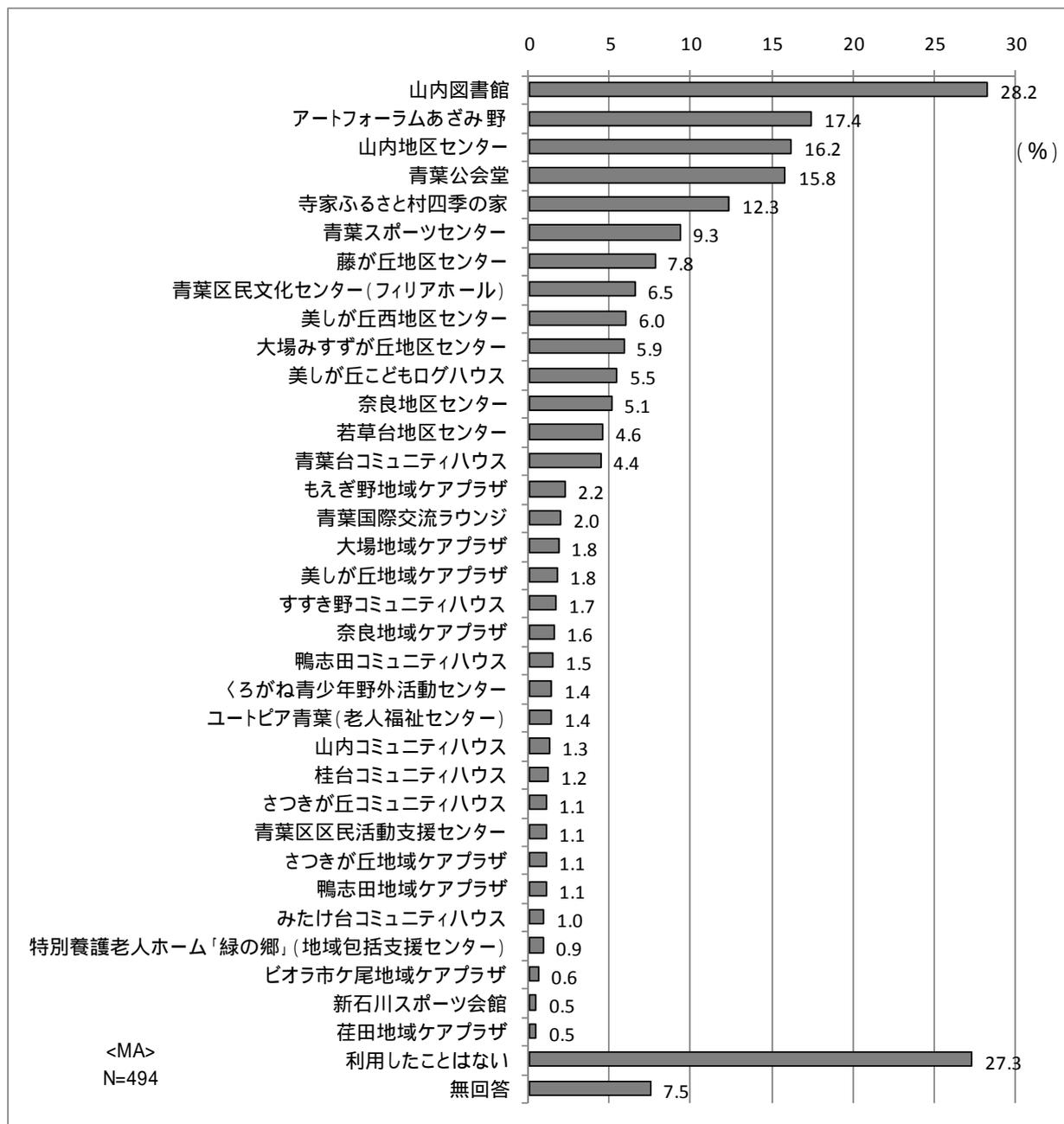


問 25 あなたは、この1年の間に、どの施設を利用したことがありますか(はいくつでも)

「山内図書館」の利用率が飛びぬけて多い

- ・ 「山内図書館」が 28.2%と3割近くの人が挙げており、飛びぬけて多い。次に「アートフォーラムあざみ野」が 17.4%である。以下「山内地区センター」(16.2%)、「青葉公会堂」(15.8%)、「寺家ふるさと村四季の家」(12.3%)と続き、ここまでは1割以上の人が挙げている。一方「利用したことはない」は 27.3%となっている。

図 施設の利用度(はいくつでも)



年齢別 施設の利用率(問 25×F1)

- ・ 20代、50代、60代で「利用したことはない」、それ以外の世代では「山内図書館」が最も多くなっている。
- ・ また、10代で「大場みすずが丘地区センター」、30代で「美しが丘子どもログハウス」が、他の世代に比べて高い数値となっている。

図 年齢別 施設の利用率

	全体		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	1,467	-	51	115	291	324	233	264	170	19
山内図書館	414	28.2	31.4	27.8	33.3	34.6	24.5	22.3	24.1	0.0
アートフォーラムあざみ野	255	17.4	5.9	7.0	21.0	23.5	13.7	19.7	12.4	10.5
山内地区センター	237	16.2	15.7	7.8	18.9	16.0	11.2	18.9	21.8	0.0
青葉公会堂	232	15.8	17.6	7.8	13.1	19.4	13.7	17.4	20.6	0.0
寺家ふるさと村四季の家	181	12.3	3.9	3.5	12.7	9.6	14.2	19.3	13.5	0.0
青葉スポーツセンター	137	9.3	11.8	4.3	13.7	12.0	8.6	6.8	4.7	5.3
藤が丘地区センター	114	7.8	5.9	4.3	7.9	6.2	4.7	11.0	13.5	0.0
青葉区民文化センター(フィリアホール)	96	6.5	2.0	0.0	3.4	6.5	5.2	10.6	14.1	0.0
美しが丘西地区センター	88	6.0	9.8	4.3	6.5	5.9	3.4	6.8	8.2	0.0
大場みすずが丘地区センター	86	5.9	19.6	4.3	5.5	5.9	1.7	8.3	5.9	0.0
美しが丘子どもログハウス	80	5.5	0.0	0.9	15.1	9.0	0.4	1.5	0.6	0.0
奈良地区センター	75	5.1	9.8	3.5	4.5	7.1	5.6	5.7	1.2	0.0
若草台地区センター	67	4.6	7.8	2.6	3.8	5.6	2.6	5.7	5.9	0.0
青葉台コミュニティハウス	65	4.4	7.8	2.6	3.8	5.6	3.4	4.9	4.7	0.0
もえぎ野地域ケアプラザ	33	2.2	0.0	0.9	2.4	2.5	0.9	4.2	2.4	0.0
青葉国際交流ラウンジ	29	2.0	0.0	1.7	0.7	2.2	1.7	3.4	2.9	0.0
大場地域ケアプラザ	27	1.8	3.9	1.7	1.4	0.9	0.9	1.9	5.3	0.0
美しが丘地域ケアプラザ	26	1.8	0.0	0.9	2.4	1.2	0.4	2.7	3.5	0.0
すすき野コミュニティハウス	25	1.7	0.0	0.9	0.3	1.5	0.9	2.7	5.3	0.0
奈良地域ケアプラザ	23	1.6	0.0	0.9	1.4	1.5	0.9	3.0	1.8	0.0
鶴志田コミュニティハウス	22	1.5	0.0	0.0	1.4	0.6	1.3	3.0	2.9	0.0
くろがね青少年野外活動センター	21	1.4	0.0	0.0	2.4	2.8	0.9	0.4	1.2	0.0
ユートピア青葉(老人福祉センター)	21	1.4	0.0	0.0	0.7	0.0	0.4	3.8	4.7	0.0
山内コミュニティハウス	19	1.3	0.0	0.0	1.7	1.9	0.4	1.9	1.2	0.0
桂台コミュニティハウス	18	1.2	0.0	0.9	1.7	1.9	0.9	1.5	0.0	0.0
さつきが丘コミュニティハウス	16	1.1	0.0	0.0	1.4	1.2	0.4	1.1	2.4	0.0
青葉区区民活動支援センター	16	1.1	0.0	0.0	1.7	0.3	1.3	1.5	1.8	0.0
さつきが丘地域ケアプラザ	16	1.1	0.0	0.0	2.1	0.3	0.9	1.5	1.8	0.0
鶴志田地域ケアプラザ	16	1.1	0.0	0.0	1.4	1.2	0.9	1.5	1.2	0.0
みたけ台コミュニティハウス	14	1.0	2.0	0.9	1.0	1.2	0.9	0.8	0.6	0.0
特別養護老人ホーム「緑の郷」(地域包括支援センター)	13	0.9	0.0	0.0	0.3	0.0	0.9	2.3	2.4	0.0
ピオラ市ケ尾地域ケアプラザ	9	0.6	0.0	0.9	0.7	0.0	0.4	1.5	0.6	0.0
新石川スポーツ会館	7	0.5	2.0	0.0	0.7	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0
荏田地域ケアプラザ	7	0.5	0.0	0.0	0.7	0.3	0.4	0.8	0.6	0.0
利用したことはない	400	27.3	19.6	38.3	26.5	22.5	35.6	27.3	23.5	5.3
無回答	110	7.5	5.9	12.2	3.4	6.8	6.0	6.8	8.2	78.9

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

居住地域別 施設の利用率(問 25×F12)

- 中里連合自治会で「大場みすずが丘地区センター」「山内図書館」が同率、中里北部連合町内会で「寺家ふるさと村四季の家」、奈良町、奈良北団地連合自治会で「奈良地区センター」、山内連合自治会、荏田、荏田西、新荏田連合自治会、美しが丘連合自治会では「山内図書館」、すすき野連合自治会で「美しが丘西地区センター」が最も多く、それ以外の地域では「利用したことはない」が最も多い。
- また、各連合自治会でそれぞれ特徴的な数値を示しているのは以下のとおりである。
「山内地区センター」(中里・山内・荏田、荏田西、新荏田・美しが丘)「藤が丘地区センター」(上谷本及び谷本)「若草台地区センター」(中里北部及び恩田)「すすき野コミュニティハウス」(すすき野)「鴨志田コミュニティハウス」「鴨志田地域ケアプラザ」(中里北部)「みたけ台コミュニティハウス」「もえぎ野地域ケアプラザ」(上谷本)「青葉台コミュニティハウス」(青葉台)「青葉公会堂」(中里及び市ケ尾)「青葉スポーツセンター」(市ケ尾)「美しが丘こどもログハウス」(美しが丘)「奈良地域ケアプラザ」(奈良町、奈良北団地)「大場地域ケアプラザ」「アートフォーラムあざみ野」(中里)

図 居住地域別 施設の利用率

	全体	中里連合自治会	中里北部連合町内会	市ケ尾連合自治会	上谷本連合町内会	谷本連合自治会	恩田連合自治会	青葉台連合自治会	奈良町、奈良北団地連合自治会	山内連合自治会	荏田、荏田西、新荏田連合自治会	すすき野連合自治会	美しが丘連合自治会	無回答
全体	1,467	76	68	83	65	120	135	190	125	202	214	86	73	30
山内図書館	414 28.2	42.1	16.2	24.1	20.0	16.7	15.6	13.2	10.4	41.6	47.2	33.7	49.3	30.0
アートフォーラムあざみ野	255 17.4	26.3	4.4	16.9	13.8	15.8	10.4	11.1	9.6	25.2	25.2	22.1	21.9	10.0
山内地区センター	237 16.2	34.2	1.5	16.9	7.7	9.2	5.2	6.3	5.6	28.7	25.7	20.9	27.4	10.0
青葉公会堂	232 15.8	34.2	17.6	27.7	20.0	15.8	19.3	12.6	13.6	14.4	9.8	14.0	11.0	6.7
寺家ふるさと村四季の家	181 12.3	18.4	32.4	13.3	12.3	11.7	11.1	14.7	13.6	10.4	5.6	10.5	9.6	10.0
青葉スポーツセンター	137 9.3	17.1	8.8	21.7	13.8	12.5	10.4	7.4	6.4	3.5	8.4	8.1	6.8	10.0
藤が丘地区センター	114 7.8	3.9	10.3	8.4	27.7	31.7	0.7	8.9	3.2	2.5	2.8	2.3	1.4	16.7
青葉区民文化センター(フィリアホール)	96 6.5	7.9	5.9	3.6	4.6	5.8	5.9	12.1	7.2	3.0	5.6	8.1	9.6	3.3
美しが丘西地区センター	88 6.0	6.6	0.0	1.2	0.0	1.7	1.5	0.5	0.8	13.9	1.9	43.0	8.2	3.3
大場みすずが丘地区センター	86 5.9	42.1	1.5	8.4	6.2	0.8	1.5	1.1	0.8	5.0	8.4	7.0	1.4	3.3
美しが丘こどもログハウス	80 5.5	3.9	2.9	2.4	3.1	2.5	1.5	1.1	1.6	10.9	7.0	11.6	20.5	0.0
奈良地区センター	75 5.1	1.3	1.5	0.0	0.0	2.5	11.1	1.6	40.0	0.5	0.0	1.2	0.0	0.0
若草台地区センター	67 4.6	2.6	14.7	1.2	4.6	2.5	14.1	9.5	7.2	0.5	0.0	0.0	1.4	0.0
青葉台コミュニティハウス	65 4.4	1.3	8.8	0.0	3.1	3.3	5.9	18.4	2.4	1.0	0.9	0.0	1.4	3.3
もえぎ野地域ケアプラザ	33 2.2	1.3	2.9	0.0	10.8	9.2	0.0	3.7	2.4	0.0	0.5	1.2	0.0	0.0
青葉国際交流ラウンジ	29 2.0	2.6	1.5	3.6	1.5	1.7	3.7	3.2	0.8	1.0	0.9	2.3	1.4	3.3
大場地域ケアプラザ	27 1.8	10.5	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	5.4	0.9	3.5	1.4	0.0
美しが丘地域ケアプラザ	26 1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.9	4.7	9.6	0.0
すすき野コミュニティハウス	25 1.7	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	25.6	0.0	0.0
奈良地域ケアプラザ	23 1.6	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	1.5	1.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
鴨志田コミュニティハウス	22 1.5	0.0	20.6	0.0	3.1	0.8	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるがね青少年野外活動センター	21 1.4	5.3	2.9	2.4	0.0	1.7	0.7	3.7	0.0	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0
ユートピア青葉(老人福祉センター)	21 1.4	1.3	1.5	1.2	4.6	2.5	0.0	2.6	1.6	0.0	0.9	3.5	0.0	0.0
山内コミュニティハウス	19 1.3	0.0	0.0	1.2	1.5	0.8	0.0	0.5	0.0	3.0	2.3	1.2	4.1	0.0
桂台コミュニティハウス	18 1.2	0.0	2.9	0.0	0.0	0.8	6.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
さつきが丘コミュニティハウス	16 1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
青葉区民区民活動支援センター	16 1.1	1.3	0.0	1.2	1.5	0.0	3.0	1.1	0.8	0.0	0.9	2.3	1.4	3.3
さつきが丘地域ケアプラザ	16 1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鴨志田地域ケアプラザ	16 1.1	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.7	3.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
みたけ台コミュニティハウス	14 1.0	1.3	1.5	1.2	10.8	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム「緑の郷」(地域包括支援センター)	13 0.9	1.3	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	9.3	1.4	0.0
ピオラ市ケ尾地域ケアプラザ	9 0.6	0.0	0.0	3.6	1.5	0.8	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.2	1.4	0.0
新石川スポーツ会館	7 0.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.4	1.2	1.4	0.0
荏田地域ケアプラザ	7 0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	1.2	0.0	0.0
利用したことはない	400 27.3	18.4	29.4	32.5	36.9	35.8	37.0	33.2	32.0	19.8	22.4	16.3	19.2	10.0
無回答	110 7.5	2.6	5.9	2.4	4.6	4.2	11.9	8.9	7.2	6.4	8.4	7.0	12.3	20.0

(注：便宜上、表側と表頭を入れ替えて表示している)

問 26 青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などありましたら自由にご記入ください

「行政」「環境」「道路・交通」「福祉」「教育・文化」「地域社会」「防犯・防災」「医療」の順に意見が多かった

- ・ 青葉区政についての意見として、345 件の記述があり、計 562 件の意見が挙げられた。
- ・ 意見が多かったのは、分野ごとに「行政」144 件、「環境」104 件、「道路・交通」95 件、「福祉」80 件、「教育・文化」72 件、「地域社会」34 件、「防犯・防災」24 件、「医療」9 件の順である。
- ・ 各分野の中で項目をまとめてみると、最も多かったのは「子育て支援・少子化対策」についての 43 件である。以下、目立ったものとしては「図書館・文化施設」(36 件)、「ごみ・資源化」(34 件)、「住環境」「道路」(共に 28 件)、「公共交通」(27 件)などとなっている。

図 意見・要望・提案(自由記述)の分類別件数

大分類	中分類	計	大分類	中分類	計
行政		144	福祉		80
	広報・広聴	27		子育て支援・少子化対策	43
	公共施設	22		高齢者支援	27
	行政サービス	20		障害児・者支援	9
	税金・税の有効利用	18		難病支援	1
	区政一般・青葉区の将来像	14		教育・文化	72
	職員の資質	14		図書館・文化施設	36
	行政改革	10		教育	23
	アンケート	8		スポーツ	10
	イベントの開催	6		文化活動	3
	学校予定地の利用	3		地域社会	34
広域連携	2	地域コミュニティ	10		
環境		104	地域商業振興	10	
	ごみ・資源化	34	雇用創出	9	
	住環境	28	ボランティア	4	
	自然環境	16	地域活性化	1	
	公園	12	防犯・防災	24	
	路上禁煙・喫煙環境	11	防犯	21	
ペット問題	3	防災	3		
道路・交通		95	医療	9	
	道路	28	健康診断・予防接種	6	
	公共交通	27	病院	2	
	混雑・渋滞	17	保健所	1	
	交通マナー	11	計	562	
	駐車場・駐輪場	9			
	バリアフリー	3			

自由記述内容一覧

行政について

広報・広聴

区からの広報、自治会の回覧板などは回数・分量ともにもっと減らして、本当に重要なものがわかるようにしていただきたい。読まない方が多い。
青葉区長の名前を知りません。様々な形で区行政のPRが必要と考えます。
広報誌をもっと見やすくしてほしい。
区の情報は足りていないように思う。
情報量不足！
区民への情報開示を増やしてほしい。広報は読みません。
区政の取組についてのPRが足りないように思います。そのため、公的にどのようなサービスを受けられるのか知らないままで生活していることが多いかもしれません。
青葉区民情報は、町内会回覧よりも新聞折り込みの方が気が付きやすく、読むことになる。
市の広報は県の広報のような形式に掲載してほしい。
区内の駅で広報活動をするので、より区民に行政の意向を発信できるのではないだろうか。
通勤で電車で毎日乗るので、東急のフリーペーパーのような沿線・青葉区の情報などを気軽に見られるものがあると嬉しいです（電車内でも読みやすく、大きさがちょうど良いです）。
駅や電車内で区の案内を出してほしい（ディスプレイ表示などで）。
行政サービス、生活情報ともに、知られていなければ「なし」と同じ。使わなければ「役立たず」なのです。今回、いくつか知らないこともあり、残念です。回覧物も広報も見ているつもりですが、もっともっと区民への広報活動をお願いします。聞かないと教えてもらえない行政サービスはダメです。市民、区民のためになること、聞かなくても教えてください。
「郵便局で行っている証明発行窓口サービス」のこと、始めて知りました！今まであざみ野まで行っていたので、今後は是非利用したいです。
区でももっとPRしていただくと、利用者は増えるのでは？このようなサービスはとてありがたいです。
もう少し区からのお知らせが身近に感じられるようにしてほしい。
区民利用施設は知らないものが多かったです。今の生活に少し時間的余裕があるので、区の情報誌をもっとよく読んで有効に利用したいと思います。
間25（施設）の情報誌があれば良いと思う（年1回の発行でもよいのでは）。どこでどんな活動がされているのか知りたい。
区民利用施設が、それぞれどんなサービスをして、どんなことができるのかがわからないので、出かけづらい。
家にいるだけの高齢者、ニートの若者などなど、もっとそれぞれの方が楽しく参加できる催し、ボランティアなど知らせる方法があれば、みんなが参加しやすくなると思います。
仕事関係で転居して来た方への情報が少ない。
引っ越して来た人がもっと興味を持つように、情報を流してほしい。
市役所と区役所の違いや仕事内容など活動内容が不明なので、生活とどう関わっているのかがわからない。
日頃私たちが区政へ提案したいことがある場合には、すぐ提案できるような体制が必要です。そのためには、例えば提案用紙、封筒（宛先が記入してあるもの）などが区役所に置いてあればと思います。そしてその提案や要望がどうなったかという結果も、私たちに知らせてほしいものです。
開かれた青葉区として、住民の意見・要望を聞く場、方法を構築してください（今までの決まったツール（連合自治会、区民会議等）ではなく）。
この調査票が送られてこなかったら、おそらく青葉区政のことなど全く知らなかったと思います。実際、区役所などは必要な時にしか行かず、頻りにネットなどで検索しないのが現実である。回覧板で情報等を得ていますが、パソコンを扱えない人にはそれだけでは情報が少ないような感じに思えました。月1回の会報のようなものがあれば、区民の意識は違いただろうと思いました。他県の町では職員の方が車で巡回したり、いろいろしているのを学生時代に見かけましたが、青葉区では見かけません。
区内の情報は多種多様に存在するが、活用方法、手段へのアピールがないに等しい。ネットワーク時代、パソコンによる情報提供を増やしてほしいものです。
「パソコン横町」「あおばみん」を知らない人が多い点も問題です。活発に活動できる仕組みが必要です。
このアンケートを機に青葉区のWebサイトを拝見しました。まず自分の知らない施設の多さに驚くともに、利用方法がわかりにくい点、Webサイトの見づらさに驚かされました。
内容がばらばらと文字で並べられているだけで、整理されていません。一般に行政のWebサイトはわかりにくいものが多いですが、ちょっとひどいのではないのでしょうか？わかりやすくリニューアルされることを望みます。せっかくの施設がもったいないです。
HPをもっと面白くすべき。

公共施設

区役所、スポーツセンターの駐車場代は高く大変困ります。割引などをお考えください。
区役所の駐車場、駐輪場が少ない。
区役所駐車料金が高すぎる。

<p>スポーツセンターの駐車場が有料となったため、利用しづらくなった。利用料金があまりに高い。便利の悪い場所なのに、一般のコイン駐車場より高い気がする。区民のさまざまな活動を阻害することになる。ちなみに町内の総合体育館は1時間100円である。</p>
<p>地区センターや図書館の駐車場を充実してほしい。山内地区センターは最悪です。</p>
<p>地区センターの駐車場を増やしてほしい。</p>
<p>区役所の駐車場の有料化を、青葉スポーツセンターを利用する人は無料にしてほしい。各教室（ソフトボールやエアロビクス等）を受講した方や、ジムを利用する人の分のみ代表者またはコーチが駐車券を回収し、無料券をください。無料にしなければスポーツセンターを利用する人はいなくなるでしょう。</p>
<p>地区センターへ車で行きたくても駐車スペースが限られており、早く行かないと駐車できない。図書利用のため気軽に立ち寄りしたい。もっと駐車スペースが増えればもっと便利で良いと思います。山内図書館も同様です。</p>
<p>地区センターの数が少ないと思います。</p>
<p>区内でも古くからあるすすき野団地（地域）に、地区センターがないのはおかしい。</p>
<p>区役所への電話が非常につながりにくい。つながらないので、何とかしてほしい。</p>
<p>区役所のまわりには地区センター、コミュニティハウス、図書館がなく、電車、バスで行かなくてはならないので、少し不便で使用することがありません。</p>
<p>「アートフォーラムあざみ野」の利用方法や利用目的が、地区センターとどう違うかよくわからない。施設が立派すぎて敷居が高い。</p>
<p>住まいが区境にあり、生活のほとんどが都筑区内。行政サービス等はあざみ野駅などにもあり、区役所まで行かずにありがたいが、地区センターや図書館、スポーツセンターはもっと近くにあったら活用してみたい。</p>
<p>区民利用施設をもっと有効活用できるように、利用方法の告知や利用時間を30分単位とするなど柔軟に対応してほしい。</p>
<p>あざみ野、長津田の行政サービスセンターは、利用時間が多くなり、大変便利で助かっている。これからもこのような場所が増えることを期待している。</p>
<p>青葉台郵便局を前のように24時間営業に。</p>
<p>葬儀のできる区の施設の設置（新宿区の出張所はできる）</p>
<p>公園や地区センターなどの公共施設が多く設置されていくのは良いけれど、既存施設をもっと快適に利用できるように、今ある施設の質を上げてほしい。</p>
<p>少子高齢化は残念ながら続く。いまある公共施設（学校舎）について柔軟な活用が求められる。みんなが支え合う地域作りには、法改正も視野にいった取り組みが必要。</p>
<p>住環境には満足しています。しかし、都筑区との区境なので、都筑区の施設を利用することが多いです。</p>
<p>早朝散歩をする人が増えているが、早朝使えるトイレが少ないので、公共施設を一部開放してほしいです（寺家ふるさと村四季の家など）。</p>
<p>公共施設内の飲食施設の値段は、民間施設より高い場合があります。もう少し利用しやすい値段設定を検討ください。</p>
<p>あかね台中の開放予定地はどうなっているのか？</p>
<p>市が尾にあった旧区役所の建物がなくなってから、ずいぶん経ちます。あそこにはボランティア団体などたくさんのグループがあり、お互いに良い作用をしていました。あの土地の持ち主の都合により建物が取り壊され、あの地区には建物が建てられないと聞いていましたが…。田奈のセンターは狭すぎますし、車も止められません。活動が消えたり、小さくなったグループもたくさんあり、残念です。私たちが活動の場を都筑区に移しました。何とかならないかといつも思っています。</p>

行政サービス

<p>行政サービスの利用時間が短くて利用できない。課税証明書を申請したいのに17:00で受付終了と言われて、仕事をキャンセルしなければならなかった。利用者に合わせた時間帯で行うべき。</p>
<p>窓口サービス等は夜間、または土日実施してほしい（土日は隔週でもかまわない）。もしくは外部の窓口を増やしてほしい。インターネットでの活用方法もあると思うが、手続きが複雑化しそう。簡単にわかりやすい方法でないと、活用しないと思う。</p>
<p>せめて土曜日午前中は役所を開けてほしい。</p>
<p>区役所を土日も開放してほしい。</p>
<p>窓口係の区分けが素人にはわかりにくい。案内人を置いて、その人に区分けをさせる。</p>
<p>内容の複雑なことを聞く場合、たらい回しにされることがある。</p>
<p>区役所での相談の際、課のたらい回しはやめてほしいです。時間、労力、共に苦痛です。「決まり」ばかりで、相談に乗ってくれる気持ちがない。高齢者や本当に困っている人は、役所に行きたくないという思いになる。</p>
<p>窓口に行っても時間がかかりすぎる（待ち時間は最低でも30分以上）。</p>
<p>住民票等を取るのに、なぜ印紙が必要なのか。</p>
<p>自立支援医療制度の申込が、区役所まで行かないとできない。不親切すぎる！病人なのであまり動けないのだから、近くの行政センターで対応できるように改善してほしい。</p>
<p>今後、高齢になった時点でのサービス、行政のあり方など、都内に比べると数段劣っていると危惧している。また、確定申告時の対応の悪さなど、一考してもらいたい。</p>

税金滞納者に延滞金含めて請求するのは構わないが、通知もなく、一方的に支払えというのは納得できない。ハガキ通知とかではなく、直に連絡できる体制をとったらどうか？他の地域ではそうやっているはず。
市と区の役割分担がわからない。要望を出す先がわからないので、結局、何も言わずに済ましてしまう。
証明発行窓口サービスを拡大してほしい（拠点だけでなく、取扱い時間の延長、土日の即時発行も可としてほしい）。
青葉区民全員（40歳以上）に年1回がんの無料検診を実施。 青葉台郵便局を前のように24時間営業に。
「郵便局で行っている証明発行窓口サービス」のこと、始めて知りました！今まであざみ野まで行っていたので、今後は是非利用したいです。 区でももっとPRしていただくと、利用者は増えるのでは？このようなサービスはととてもありがたいです。
郵便局で住民票が取れることは始めて知ったが、そもそも青葉台にサービスセンターがないことがおかしい。
長津田駅行政サービスコーナー等で可能だった図書の返却ができなくなり、不便になりました。返却ボックスの再開を希望します。
期日前投票ができる会場を増やしていただきたい。 より一層の地域・住民サービスの充実を願うばかりです。よろしく願いいたします。
粗大ごみの電話がかかりにくい。 パスポートを近場で申請できるようにしてほしいです。

税金・税の有効利用

地方税が高すぎる。 経費削減（人件費等）に一層努力すべき。
税金や医療費が高い。 市民税、県民税、所得税、社会保険料（特に国民健康保険）が重たい。現役時代より個人負担が多いのは、違和感あり。
住民税が高い。 住民税がどのようなものに使われているのか明確にしてほしい。内訳が知りたいです。
住民税はみなとみらいばかりに使われ、払うのがバカバカしい。都民になった方がよっぽどまし。青葉区など不要。
青葉区は住みやすい街だと思いますが、税金、水道料金など川崎に比べるととても高いです。 また、事情により失業保険で生活せざる得なかった時、川崎市は市民税全額免除という制度があり困った人に優しいのに、青葉区（横浜市）は1円たりとも免除がなく、借金してまで市民税を払わせるのはあり得ない！税金が高い割に困った時のメリットがないのはナンセンス！もっと税金の使い道を考えるべき！高い税金を毎年納入している市民のことをきちんと考えて、情報収集すること！役所仕事と批判されないように！
税金高すぎ！青葉区での不祥事もいろいろあるようなので、税金の無駄づかいをなくし、青葉区のためになるように使っていただきたい。
固定資産税や住民税がやたら高いのに、徴収した税金が本当に青葉区民のために使われているのか、甚だ疑問だ。MM21等臨海部の開発に充当している気がしてならないよう。
固定資産税が高すぎる。調整区域なのにどうしてか。 税金を大事に使ってください。 住民の税金をもっと大事に使え。
税金は納税者が納得できる説明をしてもらいたい。 一部の公務員の方のせいで、頑張っている公務員が悪の代名詞になることがないよう、税金の使い方に気を付けてほしい。
市政レベルの話だが、余計なことに金を使わず、税を下げるべき。 身の丈の財政で行政を行ってほしい。市民税などの地方税が高すぎる。できるだけ何もしないでほしい。
一部のモンスター住民のヒステリックな訴えで税金を使う、ということがありました。一体、税金をどのように使っているのでしょうか？言ったが勝ち？と思ってしまうような出来事でした。納得も、区政に対する信用もできません。 道路、公園の整備・管理は必要以上に行き届いているが、そのための税金比率はかなり大きいと思う。年間でも固定費として予算計上されているのであれば、財政の健全化のために福祉等にお金を回してほしい。地方債とかを発行しようと考えているのであれば、節約してやめてほしい。

区政一般・青葉区の将来像

安心して生活できる区政をお願いします。 横浜市は臨海地区に予算をかけている気がする。青葉区にかけているは少ないのではと思う。住んでみたいとのイメージは高いのだから、もう少し予算をもらい文化的な街にしたら良いと思う。人口30万の中では長寿なので、住みやすさを売りにするのはどうか。 住みやすい町と思います。

区政は私たちの日常生活で最も身近なところにあるものです。区政に携わる方々は、区政のプロフェッショナルです。今回のこの調査の質問項目を見ますと、だいたいのところは区の方で把握しているように見受けられます。したがって、区の人口構成比率に応じる形で企画を推進していただければと思います。
今の政策は知りませんが、人に優しい町を作ってください。
私たちの世代は自分の頑張りで何とか生きてこれる時代でしたが、今日、自分の力ではどうにもできない世の中になっています。これからの若い人たちが心身共に希望に燃えて人生を歩いていけるように、雇用問題、子育て問題等々区政の門戸を広げて、声なき声に耳を傾けていただけますよう、お願い申し上げます。
自然を取り入れた青葉区全体のまちづくりが、うまくできていない。ゆとりがない。たまプラーザを中心に開発されている。他の沿線にあまり力を入れていないようだ。
よりよいまちづくりをこれからも頑張ってください！青葉区の良さを、外へ出てみて初めて実感したことがあります。青葉区に住めることを、今でも誇りに思っています。
歴史の浅い街なので文化がないのは仕方がないとしても、区政としてポリシーを持って、何かしら長期、短期的計画を立て、5年後、10年後、20年後、目先の華やかさに惑わされることなく、街づくり、区政をしっかりとやってほしい。青葉区は人だけでなく、自然もあり、ペットもいるのです。それぞれが共存できる街にしてください。
医療、教育が整えられれば、魅力が増し、人も増える。区内に活力が生まれると思います。これを第一、第二の優先順位で区政を進めてください。期待しています。
とても生活しやすい地域なので気に入っています。
今後も便利さと豊かな自然を残しつつ発展させていっていただきたいと思います。
高齢者、子どもにとって住みやすい町づくりに向かって取り組んでいただきたい。
高齢社会、低労働力社会を見越して、具体的な将来像を描き、市政を進めてほしい。現状維持では先行きが不安。後退することも、縮小することも惜しまないでほしい。
緑の多い、安全な、そして老後が安心して暮らせる区になることを願っております。

職員の資質

飼い犬の鑑札についてに電話で問い合わせをしたところ、対応してくれた方が「お宅だけではなく、百何頭も処理をしている」等々…。大変不愉快な思いを致しました。いままで区役所での手続き等は丁寧な対応をしてくださる方ばかりでしたので、なおさら驚きました。
以前、駐輪場に自転車を預けた時、勘違いで未納があったらしいのですが、チェーンで止めておく等の警告もなく、通算8日になったからということで駐輪場から撤去され、問い合わせたところ駐輪場に呼び出され、説明するとのことで男性3名に取り囲まれ、こちらの違反を言い渡されました。引き取る気がある物をこんな風にするとうるさかみが増えると言うと、「リサイクルするのでご心配なく」と言われました。職員教育はどうなっているのだろう。民間企業ではありえない！と呆れました。これだから公務員は…、と言われてもしまうのでしょうか。住民サービスの前に、職員教育をきちんとしてください。
区役所窓口（戸籍や保健→母子手帳や子ども手当の係）の職員の業務的な笑顔のない対応に悲しくなります。また、保健の方は私たちが来ても見て見ぬふりをするのは止めてください。面倒くさいという気持ちがみえみえです。
行政サービスのスタッフの質が悪い。大声で人の個人情報話すので、とても不愉快だ。改善を求めむ！
行政の態度は悪い！ <ul style="list-style-type: none"> ・窓口に行っても時間がかかりすぎる（待ち時間は最低でも30分以上）。 ・窓口の奥の人が遊んでいるように見える。 ・住民を住民とっていない。時間がきたらすぐに窓口を閉めてしまい対応が悪い。 ・公務員は甘い汁を吸いすぎだ。 ・清掃局員の態度が悪すぎる。
区役所の職員は、もっと街を足で歩き現状を見るべきではないだろうか。例えば、荏田西一～五丁目の道路は歩道が狭い。しかもそこは学校通学路である。歩道は1～1.5mもなく電柱が立っており、実際に1mもない状態。 苦情・問題があっても、上司・区長には伝わっていないと思われる。また、区長は問題から逃げずに堂々と出てきて、善処されるよう願います。どうか住民との対話を。市民に向かって、市民とともに歩み、良き行政をよろしく願います。
地区センターの受付の方はほとんどがいい方ですが、一部利用者に対する態度が厳しすぎる方もいます。「係の人が慣れていないから、利用者にもっと〇〇してほしい」ということがありましたが、一応時給を税金から受け取って働いている方々なら、プロ意識を持ってください。少なくとも「係が慣れていないから」利用者にもっと注意して〇〇するというセリフはおかしいと思います。利用者も使わせてもらっているという気持ちをもって接しているのですから、道具などのこと、使い方、もっと研究してほしいです。
区役所の窓口業務の対応について、一部の方だとは思いますが、ちょっと嫌な思いをしたことがありました。
とにかく青葉区役所の窓口対応は悪すぎる。他の区を見習うべきです。

青葉区役所に問い合わせをしたときに、とても感じの悪い担当の方（男性）がいました。別の日に電話をしたときは、感じの良い女性の方がでましたが、困ったことがあって電話をしているので、もう少し対応をきちんとしてほしいです。
一点だけ良くなったのは、青葉区役所の窓口対応は親切で良くなりました。
区役所の方はどの方も優しく、丁寧に対応してくださいます。ここに引っ越してよかったなあと感じています。
以前に比べ、職員の対応が早くなったように思う。明るくなったようにも思う。さらにいい町にしていってください。
区政全般を支障なくやっていると役所側は思っているが、住民にとっては、役人仕事で冷たいと感じる。区役所窓口の対応はまあまあだろうが、役人がもう一息前向きに動かれる気概をもってほしい。民間企業に勤めていたらどうするかと考え、行動してもらいたい。

行政改革

職員の手当について、民間ではないような手当が付いているって本当ですか？
人員削減などの合理化。
経費削減（人件費等）に一層努力すべき。
横浜市へ要望していただきたいのですが、〇〇委員、〇〇員等、これ以上新しく作らず、今ある〇〇委員、〇〇員で新しい取り組みをしていただきたいです。多すぎると思います。連携も複雑になってきている気がします。税金もかかるので、スリムにシンプルをお願いします。
区長を区民が選べないのは指定都市の欠陥である。東京都特別区のように、区は市と同等の権限を持たせるべきだ。
30万人近い行政区で、市の役人がトップでいることはおかしいのでは。秋田市も同じ人数ですが、ちゃんと選挙をしますよ。
行政は何もできないようですから、横浜市から分離してください。
行政における理念と情報をもとに、住民が選択、検討できる政策、具体的案件および期間を提示し、責任と自信を持って推進してもらいたい。
年々福祉関係の予算・サービスがカットされている。行政職員は裏金作りに一生懸命だ！県や市では財政が厳しいと言っている。すごく矛盾を感じる。自分達（職員）の衿を正せ。県、市の職員は市民の公僕であることを忘れずに。
区政が機能しているかを聞きたい。何かをしているイメージがない（他区と比べて）。家があるから住んでいるが、そうでなければ住みたくない。
所得格差をなるべく軽減して、市民のための地域活動の透明化をもとに、開かれた相互理解での対話と実行の試行。

アンケート

アンケートの量が多すぎる。
今回のアンケートで、何を調査、改善しようとしているのかが見えてきません。総花的な感じがします。もっと絞り込んだ仮説立てが必要だと感じました。
このような意識調査は大賛成。ぜひ行政に活かしてください。
今はPCがある時代なので、このようなアンケートもそちらで行う方が、資源の無駄を省けると思います。HPでアンケートに答えてもらえる方を募るというのはだめですか？
アンケートの集計結果を公表してほしい。
このアンケートの集計結果は公表してください。
今回のような調査をもっと増やして、より区役所と住民や企業、学校など、区内の人々とのコミュニケーションが強化されると良いと思います。
問22に関し、全てについて知っているわけではないので、「わからない」の項目もほしい。「わからない」が多いということは、行政の伝え方が足りないということにはならないか？

イベントの開催

土日に子どもたちを遊ばせる場所が少ない。
子どもたちが外で遊ばなくなった。
イベント等を増やしてほしい。
青葉区の施設行事にもっと参加したい。
独身女性に対する支援（婚活と言われるような）。区主催の低価格なお見合いパーティなどの実施。
地域によるイベント、祭りができたら面白いかなと思います（東京の一部の地域の阿波踊り、よさこいソーランなどの祭り、川崎の仮装ハロウィンなど参加型のイベント）。
青葉区には大学、高校、中学校など多くあるので、学生、生徒が居場所を感じられるイベントがあれば。
昔の話ですが、現在東急が建っている場所にはサービスセンターがあり、夏になると盆踊りのお祭りが開催されており、近隣住民が毎年楽しみにしていた行事でした。駅から近いこともあり、学区を越えて住民が楽しめた催しであり、住民が一体になれていた気がします。今は各地区で小規模な催し物ばかりで、いろいろな年代の人が交わるような催しが無くなった気がします。

今回のアンケートで、青葉区について知らないことが多くあると実感しました。子どもを持っていない人や、10代、20代の子どもでもなく、子育て中でもない、かと言って年齢的に高くない人にとって、区政と距離を感じてしまいます。若い人がもっと区政に興味を持てるようなイベントを企画してみてもどうでしょうか？まず、区長さんのお顔も実際に拝見していないので、青葉区民の意識が持ちにくいと思います。定期的に各駅を回り、区長さん自らと、例えば握手などができる、何かを配る、お話をしてくださるなどの交流を増やすことによって、少しは親しみが持てるのではと思います。また、青葉区民割引や優待券などを配ってもらえたら、区民でいて良かったと思うでしょう。花火大会やお祭りなどの年間行事も、もっとたくさんあったらとも感じます。横浜市のランチミーティングのような、直接区政についてやさしく説明してもらえるイベントを習慣的に行うなどしたら、ぜひ参加したいです。参加特典ありにしたら、なおいいと思います。

学校予定地の利用

奈良の中学予定地だったところがいつの間にか一戸建てエリアになり工事中だが、とても残念だ。中学校ができないとしても、大切な施設を残す方向で、地元の人達のために有効に使ってほしかった。高額な市県民税を支払っているのに報われない気がした。土地に隙間さえあれば高齢者施設がどんどん建てられていく。子どもたちが出て行った後は、高齢者の住宅と高齢者のみの地域になると思うと魅力がない。少子化が進むとともに、青葉区民の志向として私立学校に通わせる傾向があるので、公立学校用地として確保されているものを民間に売却するのではなく、不足している図書館、スポーツ施設に転用して、生活ニーズにこたえてほしい。荏田北の学校予定地は更地のままだと砂ぼこりがすごいので、早く利用してほしい。スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどの商業施設だと嬉しいのですが。

広域連携

川崎市宮前区と隣接する所では、北部市場、菅生緑地などの騒音や環境問題に関して川崎市側に申し入れをしなければならず、対応がスムーズとは言えないことがほとんどです。区の垣根を越えた住民サービスのあり方を考えていただければ幸いです。東京都や川崎市に隣接している地区なので、近隣の区、自治会での合同での防犯対策、地域活動（イベントなど）を区としても働きかけ、自治体も動きやすい対応を願いたい。特に整備事業ではかなりの格差があるので、合同とすること。防犯も一体となれば、格差なく犯罪（空き巣など）を低減できるのではないかと思います。これは青葉区ならではのものとと思いますが、どうか合同での行動などの会議、企画を試行し、自治体側の負担がどうなるか試行してみてください。

道路・交通について

公共交通

バス路線。桜台上付近にバス停を。
改めて考えると、「区」もいろいろ努力されて私達の生活を支えてくださっているのだと思いました。私の住む奈良町は、青葉台など田園都市線に出るよりも、小田急線に出るほうが便利です。そのせいか区役所やその他地区センターなどの施設に行くのが不便です。バス便を増やしていただきたい。平日の通勤時間帯はまだよいのですが、私達が生活していく上で、休日の夜も平日の昼間もバスを使いたいです。行き先に駐車場がない場合は必ずバスです。また、年をとって自動車を運転しなくなったときにも暮らしていける場所でなくてはならないと思います。採算が合わないなら高齢者からも料金を取るべき。支払う人が少なく、高齢者バスばかりだとバス会社が気の毒です。バス停すべてに屋根とベンチを設置してほしい。青葉台駅終電までバスを運行してほしい（土日の終バスが早すぎる）。8年前に引っ越してきた当時は、思いがけないバス便の充実が気付き、大変ありがたく利用させていただいて、毎日がとても楽しかった。ところがこの8年間で「奈良北団地←→十日市場」「奈良北団地←→市ヶ尾」のバス便が減り、小田急線の駅に出る貴重なバス便「長津田←→柿生」「こどもの国←→町田」が廃止され、私の住む地域はすっかり陸の孤島ようになってしまった。確かに乗客が少ないことは認めるが、回覧板等を見ると廃止反対運動が起こったほど困る人たちが多くいたことも事実である。おかげで免許も持たず、自転車にも乗れない「バス命」だった私の生活は、大変つまらなく、味気ないものとなった。この際、この地域に住むことはもう諦めて、バス便のとても発達している緑区に引っ越ししようかと考えている。ラッシュ時の田園都市線の混雑はどうにかならないかものと思う。こどもの国を小田急線につなげてほしい。端末公共交通機関としてのバスは、重要な役割を担っていますので、バス会社との連携を深める（発言力を強める）ことが必要です。例えば、社会情勢から早朝の電車利用（混雑緩和）促進、会社の深夜残業廃止、早朝会議・就業へのシフト等により、バスの始発早朝化は必要です。青葉台は遅れていますので、対応が必要です。

<p>最寄り駅までのバス路線がなく、雨の日など子ども連れで出かけるのが大変です。長津田行きのバス路線を検討してください。</p> <p>長津田駅前再開発工事で道が狭く、運転手、歩行者ともに危険を感じます。</p>
<p>バスの乗り降りが不便なので、段差のないバスがほしい。</p> <p>東急バスで夜11時20分くらいから深夜料金を取るのをおかしい。深夜料金をとるのは24時以降にしてほしい。</p>
<p>歩行者が歩きやすい歩道の整備。住まいの近くの歩道は、中途半端な工事で止まっています。</p> <p>あざみ野駅まで歩くが大変で、大きなバスが1時間にほぼ1本。自由が丘のように台所廃油で動くマイクロバスがあるといいと思いますが、難しいですか？</p> <p>あざみ野駅からのバス便を増やしていただければと思います（大場町）。</p>
<p>あかね台→青葉台駅（とにかくバスの便を増やしてほしい）</p> <p>青葉台駅近くの駐輪場が少ないので増やしてほしい</p> <p>青葉台駅に送迎のための駐車場所がほしい</p> <p>隣接する緑区と意見交換して交通機関を充実してほしい</p>
<p>バス便が少なく不便を感じている。</p> <p>青葉台駅～奈良町（東急バス）</p> <p>十日市場～奈良町（横浜市営バス）</p> <p>本数が少なく困っている。</p>
<p>早朝と深夜のバスが少ない。駅でバスを待つのに20分近くかかるのは、どうかと思う。バスの本数を増やしてほしいです。</p>
<p>とても住みづらい。家が増え、人口が増えているのにバスは少なく、電車も超満員。近くに高校（元石川高校）があるため、ただでさえ本数が少ないバスにすし詰め。バスに乗れないこともしばしば。車内でも携帯の使用や大騒ぎで、他の乗客は本当に迷惑している。幼稚園バスではあるまいし、教育の質の低さがうかがえる。交通網の改善（バス混雑混和、バスルートの細分化、バスの増発、電車の混雑緩和）と、治安の悪さの解消を希望する。</p>
<p>奈良地区から小田急沿線または青葉台方面に出るバスが大変不便です。今はまだ車の運転ができますが、何とか最寄り駅までの直通バスを運転させてほしいと思います。</p> <p>公共交通の充実、特に市営バス運行の拡大。</p>
<p>バス便がかなり少なく、不便を感じます。廃止になったバスもあるので、せめてこどもの国線の本数を増やすか、延ばしてほしいです。</p>
<p>唯一の交通手段である（バス除く）こどもの国線の本数が少なすぎる。終電、始発も他の電車より早かったり、遅かったりし、今後通勤する際に不便すぎる（バスも不便なので意味がない）。駅へ行くのに横断歩道がなく、道路を横切らなければならない。いつか車にはねられるんじゃないかと不安。</p> <p>上記の点が改善されないと区外に引っ越ししかなくなる（特に電車の不便さは仕事に影響がでる）。</p>
<p>こどもの国線は、他の線に比べ、あまりにも不便すぎます。朝は始発が遅く、夜は非常に早い。特に夜は土日の終電が早過ぎて、学生時代から友人にも笑いのネタにされています。ここの地域の人で、こどもの国線を不便に思わない人はいないと思います。タクシーを利用せざるを得ないことが、早い時間からあることは、とても悲惨です。</p>
<p>こどもの国の駅の有人化…改札トラブル等への対応など</p> <p>こどもの国駅のトイレ設置…衛生管理込で！</p> <p>こどもの国線の踏切の廃止</p>
<p>すみよし台に住んでいるが、電車、バスの便が良くない。住宅街を走るコミュニティバスが必要だと思う。銀行も郵便局もない。</p>
<p>市が尾には区役所、警察署などがあるのに、田園都市線の急行が止まらないのが以前から不思議でした。どうして止まらないのでしょうか？急行が止まれば、仕事の合間にサッと行けるようになりとても便利になると思います。</p>
<p>住宅の増加に対し、公共交通機関、特に東急電鉄の対応が大変遅れていると思います。電車の遅れはほぼ毎日、常態化しています。青葉区のみへの対応は無理と思いますが、オフィス施設の充実など、企業の都内一極化を改善すべきで、長期的対応が必要と考えます。田園都市線における人身事故が増加しているのでは？</p> <p>田園都市線の混雑を何とかしてほしい。</p> <p>田園都市線の深夜工事が多すぎるので、何とかしてほしい。</p>
<p>電車の遅延が多く、通学に不便です。これから大学に行くのに学費が大変かかるので、もっと援助してほしいです。</p>
<p>グリーンラインに、朝女性専用車両を作ってほしい。グリーンライン、ブルーラインともに本数を増やしてほしい（JR横浜線も）。</p>
<p>交通の便の良さは最高の地域だと思います。</p>

道路

<p>駅へ行くのに横断歩道がなく、道路を横切らなければならない。いつか車にはねられるんじゃないかと不安。</p> <p>歩行者が歩きやすい歩道の整備。住まいの近くの歩道は、中途半端な工事で止まっています。</p> <p>歩道の幅が狭いので改善してほしい。また、交通量の多い学校周辺などは信号機の設置、横断歩道の設置を要望します。</p>

車がよく通るところに歩道を造ってほしいです。鉄のセブンイレブン前に歩道がないことをご存知ですか？鉄周辺は子どもがどんどん増えていますが、安心してベビーカーで歩けやしません。ベビーカーを見てスピードを上げる人もいます。
長津田駅前再開工事で道が狭く、運転手、歩行者ともに危険を感じます。
長津田駅北口から徒歩15～20分のあかね台までの道路が車幅いっぱい、歩行者用道路が必要だと思います。電信柱もあり運転する側からも危険を感じますので、道を広く作っていただきたい。
子どもを安心して育てられるよう、地域の安全、学校の安全を徹底してほしいと思います。具体的には、通学路の安全確保→路上駐車が多い、信号のない横断歩道の危険性（山内小学校区）など。
路上駐車が多い。取締を強化してほしい。
信号機が少ない（特に青葉台1丁目と桜台生協の階段の所に押しボタンの信号をつけてほしい）。スピードを出す人が多い。
鶴蒔橋手前のファミリーマート前に信号があると、子どもたちも安心して渡れます。また、ファミリーマート前の両側の駐停車に困っています。
関東近県から引越してきたが、歩道の整備が悪く歩きにくいと感じる。タイルの活用など、歩きやすい歩道を造ってほしい（場所：藤が丘）。
青葉～羽田間の直進道路を早く作ってほしい。
青葉台駅前～団地の上まで直進の屋外エスカレータを設置してほしい（港区神谷町駅裏にはある）。
電線の地中化を計画的に進めてほしい（区の問題ではないかもしれない）。
都市計画道路の早期着工、幹線道路の確保（川崎清水台交差点～美しが丘3丁目街路の早期開通）。
青葉台の駅前交差点はとても危ないので、信号の右折矢印を付けてほしい。
美しが丘西2丁目の野球グラウンド近くの十字路口に“とまれ”のサインを書いてほしい。すでに車同士や原付バイクの事故があった。
人と車と自転車の道路の区別。歩道が狭いので、後ろから自転車が来ると危ない時がある。昔と違って、自転車に乗っている人が、チリン、チリンと音を出さない人が多い。
お年寄りも多くなってきたので、歩道での自転車との接触事故が多く見られる。自転車専用道路をつくるなど、対策してほしい。
違法駐輪はしっかり取り締まるのに、店舗が公道に看板や商品を並べて歩道を占領し、歩行を妨害しているのを取り締まらないのは、どう考えても納得がいけない。実際に街を歩いてみて、しかるべき処置をすべきと思う。
歩道の整備。非常に歩きにくい（市が尾駅周辺）。
市ヶ尾町川間橋付近、危険です。歩道の確保、または信号を作ってほしい。他にも右にあった歩道が急に左に移っていたりする場所がある。歩道の確保をして、子どもにも安心して歩かせられる町にしてほしい。通学路で危険なところがないかも確認してほしい。
市が尾駅より徒歩で大場町に向かう場合、246号線にかかる歩道橋を渡り、地藏堂下信号から上市ヶ尾信号までの歩道は、幅が非常に狭くなったり、危険な段差があったりと危険な箇所が非常に多い。この道路を計画・施工した方達の思考は、一体どこにあったのか、何を考えてこのような歩道になったのかと、30年間腹立たしい思いを禁じ得ない。現状をぜひ一度歩いてみてください。かつて骨折した後、しばらくは上り下りの無意味な勾配に納得できぬ思いが募るのみでした。危険を承知の上、平らな車道を歩かざるを得ません。外灯もほとんどなく急勾配で上り下りするこの歩道を歩く度に、知性のかけらも感じる事ができない、この道路政策の劣悪さに嫌気がさします。
右折専用の矢印が出る信号が少ない。そこそこ交通量のある道路であれば、付けるべきだと思う。
住民道路かわからないが、時間指定の一方通行が裏道等にある。これは住民の訴えで決まるのでしょうか？不便ではない。また、一番区民をバカにしているのは、その場で注意するのではなく、こそこそ隠れて警察が取り締まりをしていること！危険ということで規制するならば、もっと注意を促せることをしてほしい。区政がしっかりしなければ、区民がバカにされていることになる（負担が多くなる）。
車道は3回も舗装補修しているのに、歩道は危険。
道路をさらに開通して行政、消防、病院、駅、主要幹線道路などへのアクセスがよりよくなってほしいです。
駅周辺の道路整備！
道路が舗装工事をしていないので荒れ果てて、子どもやお年寄りが転びやすく、ケガをしている。なんとかしてほしい。
道路と歩道の整備を早期に進めてほしい。

混雑・渋滞

田園都市線の混雑の緩和。
年々、田園都市線内の混雑がひどくなっており、混雑が緩和されることを区政にはお願いしたいと思います。また、年々人身事故も増加しているので、その対策もしっかりしてもらいたいと思います。
田園都市線の混雑を何とかしてほしい。
宮前区側に大型のマンションが次々とできたことで交通量が増えて、道路も電車も混雑がひどくなっています。
朝晩の電車のラッシュが本当に辛いです。
この10年で出勤時の電車の混雑は悪化しており、都心に向かう新しい方法を考えていただきたい。
電車の混雑の緩和をお願いしたい。

田園都市線付近の人口が増加し、電車や車、バスの混雑が不安である。
区の公務員から出勤時間をずらしてほしい。ラッシュ時のピークをさけるべきである。
電車通勤のため、混雑緩和策を東急電鉄と検討していただきたいです。
ラッシュ時の田園都市線の混雑はどうにかならないかものと思う。こどもの国を小田急線につなげてほしい。
人口増加と交通状況が比例していないので、少しでも緩和してほしい（電車、バスの混雑）。
駅周辺の路上駐車を厳しく取り締まるべき。正直邪魔です！
通勤・通学のため、毎日あざみ野駅へ車で送迎していますが、朝はラッシュです。駐輪場が小さ過ぎることが原因の1つだと思う。また、坂が多いため徒歩15分以内でもバスを頼りたくなりますが、近い割にバス代が高いので、皆さん車で送っているようです。近隣バスのようなものができれば、朝の渋滞も減るのではと思います。
路線バスで最寄り駅まで通勤に利用しているが、送迎の自家用車による渋滞のため、電車が思うものに乗れず、腹立たしく感じる人が多い。特に雨天時はバスの到着も10分以上ずれることがある。バス会社の努力のみではなく、行政側からの働きかけも必要かもしれない。
青葉台駅周辺の道路渋滞→片側一車線+違法駐車
交通網の改善（バス混雑緩和、バスルートの細分化、バスの増発、電車の混雑緩和）と、治安の悪さの解消を希望する。
勤労者にとっては住みづらい区になっている。朝夕の通勤混雑をなんとか緩和してほしい。
道路渋滞の解消

交通マナー

あざみ野駅から嶮山へ上がる道の自動車の路上駐車がなくなるよう努めてほしいです。危なくて仕方がない。ほとんど両側に止められているし、バスも往来するので本当に危険！
路上駐車が多い。取締を強化してほしい。
スピードを出す人が多い。
駅周辺の路上駐車を厳しく取り締まるべき。正直邪魔です！
路上駐車の取り締まりを強化するよう、公安委員会に働きかけてほしい。
歩道の車で歩行者が見づらい。
市道の駐車禁止の促進、歩行喫煙禁止を厳しく。
たまプラーザ駅前商店街の道路の制限速度が40kmになっていて、信号のない横断歩道を歩いていると、車にひかれそうになる人をよく見かけます。また、渡っている時に邪魔と言わんばかりにクラクションを鳴らす車も多く、「商店街なのに」と思うことがよくあります。制限速度を低くするか、商店街らしく安心して歩けるようにしてほしいです。運転手のマナーが悪いと思いますが、何か手だてはないのでしょうか。子どもたちも多いので、いつか子どもや老人がひかれるのではないかと、ヒヤヒヤしています。
駐輪設備の配置の工夫、不法駐輪の徹底取り締まり。料金を払って駐輪する正直者が馬鹿を見る設備の配置に疑問。一考を要す。
主婦の車の運転が危険である。何とかならないものか。
駐車禁止を厳しく！
自転車の歩道走行が危険である。特に自宅近くの「桜通り」は、歩道が狭く、路面がデコボコなので危ない。携帯電話をかけながら夜間に無灯火で走っている自転車は絶対に取り締まってほしい。自動車の違法駐車のように、厳しい行政指導と罰則をお願いします。

駐車場・駐輪場

父母が小学校に行きやすいように、駐輪場・駐車場を多くしてほしい。
自動二輪車用駐輪場を設置してほしい。
丘の上にあるマンションに駐車し（10分ほど）、戻ってみると駐禁が切られてありました。その区間は駐禁の場所ではないけど、交差点の場所にあたり、マンションのタイルに乗り上げていても違法になるらしいのですが、交通量の少ない広い場所です。このようなしゃくし定規の取り締まりをしていたら、住みにくい世の中です。1kmも下の駐車場に停めて、丘の上のマンションに戻り、10分ほどの用をしろと言うのでしょうか。それなら簡易の駐車場を至るところに作るべきです。
青葉台駅前の駐車場を増やす対策は打ち出せないのでしょうか？道が広くない上に停車車両などがあり、混雑の原因になっていると思う。
青葉台駅近くの駐輪場が少ないので増やしてほしい
青葉台駅に送迎のための駐車場所がほしい
市が尾駅を大型駐車場付きの駅ビルにしてほしい。
坂が多く、高齢者を連れたる外出には車は欠かせないが、駐車料金がかかる。短時間の路上駐車スペースがほしいです。
駅前の駐輪スペースを増やしてほしい。
駅周辺の自転車やバイクの置き場が少なく、違法駐輪が目立つ。違法駐輪の取り締まりもさることながら、民間企業と協力するなりして、置き場の確保をお願いしたい。

バリアフリー

長津田駅に早急にエレベーターまたはエスカレーターを取り付けてほしい。交通機関に頼らず、区政でお願いしたいです。腰痛のため荷物を持つための階段の上り下りに困っています。
青葉台駅前～団地の上まで直通の屋外エスカレータを設置してほしい（港区神谷町駅裏にはある）。

市が尾駅をバリアフリーかエレベーターを付けてほしい（西友側の駅外から改札まで）。

環境について

ごみ・資源化

ごみ収集回数の増加の検討をお願いします。
ごみ収集の生ごみについて、夏も2回となったが、臭いがすごいのでせめて3回にしてほしい。
「燃やすごみ」の収集日が週2日なのがとても困っています。昨年までは7、8月は週3日だったのに、今年からはその制度もなくなり、とても不便です。生ごみを暑い時期に3～4日も家に置いておくことがどんなに不快か、行政側は何もわかっていない。住民の立場で考えていないと思います。ごみの収集日を減らしたことで、行政側は得すること（人件費等）があるのですが、私達の実情をわかっていない。
アンケートの中に「ごみのリサイクル」などの項目があったが、そんなことより日々の暮らしを向上するためにも、ごみ収集・回収状況のほうに目を向けるべきです。
ごみは減量化のために生ごみは週2回なのかもしれませんが、高齢者、乳児がいる家庭はオムツだけでもすごい量です。よく考えてください。
ごみの収集はいつもキッチンとされていて感謝しています。生ごみについて、夏場（7月～9月）は週3回にしてほしい。
ごみ収集係員は、とても良くやってくまっています。しかし、生ごみ収集は今年の夏から2回だけになるそうですが、せめて6月～9月は3回に！それから車がたくさん通過する幹線道路は、朝一番に収集してください。たまプラーザへ向かう幹線道路は、ごみが風に飛ばされて車道に散乱しているのをよく見かけます。
夏場のごみ収集が3回から2回に減ってしまった。元に戻してほしい。
夏場のごみ回収は今まで通り3回/週としてほしい。
ごみの削減、リサイクルにとっても力を入れていて、すばらしいと思います。しかし、やはり夏場は生ごみの収集が週2回なのは困ります。オムツの量も多く、今後心配です。夏場は週3回にならないでしょうか？
生ごみの回収を週3回にしてほしい（通年）。
生ごみ回収の回数を増やしてほしい。
リサイクルの問題ですが、家電製品の買い替えの時、近ごろは持ち帰ってもらえないので不便になりました。改めて来てもらうと高値ですし、もう少し工夫がほしいと思います。
また、生ごみですが、季節を問わず週3回お願いしたいと思います。
また、衣類ですが、そのまま利用できないが、再生すれば利用できるのではと思う場合は、ごみとして出してよいのかはっきりしません。もう一度繊維を再生するという作業はなしですか？教えてください（広報等で）。
可燃ごみの木曜日回収の再開
ごみ収集日を増やしていただくことを希望（以前のように、夏冬問わず週3回に）。
・ごみ収集時間は午前を希望。午後になってもまだ収集されていない様子をよく見かけるので。衛生的、環境的に改善を希望。
ごみの収集を夜間または早朝に行ってほしい。カラス対策のネットの片付けや収集場所の清掃を当番制で行っているが、平日は勤務を休まねばならない。出勤前に片付けができれば会社を休まなくてすむので、是非考えてほしい。カラス対策にもなると思うし、地域的美観を損なわずにすむ。自治体によっては夜間収集を行っているところもあるようだ。また、せめて収集が午前中の早い時間に終わっていただけるよう希望します。ごみ収集が週2日のままとするのは、かえってありがたい。
プラごみの回数を増やしてほしいです。
カラスのごみ荒らし対策をしてほしい。
カラスが生ごみを荒らす→ネットではなく、棚の利用（つつじが丘で利用している）
駅近くのごみ出しについて、ネットではなく、猫やカラスに荒らされないようなきちんとした物を使用し、ルールを厳守して商店街をキレイにしてほしい。
ごみ捨て場へのゲージの設置…カラス対策など
ごみ出しの方法（カラス対策）。
ごみ収集日の朝のごみの散乱がひどくなったと思います（あざみ野駅周辺）。カラス対策に網など使用したらいかがでしょうか。
先日、秋田県の大曲に行ってきました。気が付いたことはごみが散乱していないことです。それは町内各所にごみBOXがあって、出すときは名前を書いて出すらしいです。町内で掃除をしており、いつもきれいです（カラスもいない）。それに比べ、新石川の街並みは美しく整備されているのに、残念ながら歩道にはいつもごみが散乱している。カラスが何羽も待機している。ごみBOXを設置してほしい。
ごみ置き場に備えているボックス型ふた付ネットを抽選にせず、配布してほしい。
ごみ捨てのマナーが悪いので、一日も早く個別収集にしてほしい。
テレビも市の粗大ごみで集めることはできないでしょうか。
粗大ごみの収集を行政が無料で行ってほしい。これが山、川、海への不法投棄をなくすことになると思います。リサイクルセンターなどを作り、売れる物は売る。
ごみの不法投棄場所を特定し、見回りをしてほしい。川等に粗大ごみを投げ込む人がいる。
主要道路沿いのごみ収集および集積場の整理、取り締まり。街路の美化は、住民への注意だけでは解決しない。

青葉区では収集が行き届いているが、アパートなどで引っ越し等がある場合、ルールを守らない人が多い。区への転入の場合は区役所のみならず、管理者からの説明が必要だと思います。

河川のごみ拾い、雑草の伐採、不法投棄等の問題あり。

意味のないごみの分別は止めてほしい。東京都や川崎市と同等にしてほしい。

住宅の照明が白熱灯から蛍光灯、LEDへ切り替えられています。蛍光灯、LEDのごみ処理は白熱灯と違ってそれなりの対応が必要となります。区、県の対策はどのようなものでしょうか。

役所で行っているのかわからないが、朝、ごみ拾いをしてくださっている方がいて、とても気持ち良く、素敵な街だなと思います。

住環境

以前は建坪率が40～60でした。住宅地はゆったりした街並みでした。今は持ち主が土地を売却すると、1軒の土地に2軒建ちます。ミニ住宅、高層マンションの法的規制はできるのでしょうか？

相続の関係で土地の切り売りが多くなり、一戸の面積が小さくなっている。住み良さ、また防犯の点からいっても、ある程度の専有面積は必要。無秩序な開発をさせない独自の条例制定を！

相続の関係で土地の切り売りが多くなり、一戸の面積が小さくなっている。住み良さ、また防犯の点からいっても、ある程度の専有面積は必要。無秩序な開発をさせない独自の条例制定を！

草木も植えられない新築を許可しない。

6階建て以上の住宅やビルはあまり建ててほしくない。風通しが悪くなり、温暖化を助長する。

古いところでも家賃が高く、家を購入したくても手がでない。若い人が住めなくなると、高齢者ばかりになってしまいます。

今住んでいる地域はとても気に入っており、できることなら住み続けたいが、地価の高騰により住み続けられるか不安。

とても住みやすく、子育てもしやすく、ずっと住み続けたいのだが、「あざみ野」「たまプラーザ」近くの土地が高く、今後は住み続けられないのではと不安です。

関西から引っ越して約10年になりますが、とても住みやすいと思っています。一人暮らし向けの物件は少なく、やや高い気がします。

ピアノを弾くのに近所の迷惑を考えず夜遅くまで弾く人がいる。マンションの近くを歩いていてピアノの音が聞こえることもある。防音装置を付けるようご指導願います。

冷暖房を強にしたまま車を運転しているが、自分の車が古い装置を使い騒音を出していることを全く感じていない人が多い。

民間の廃品回収車は、スピーカーの音量が大きく、ゆっくりと住宅地を通ります。冬になれば灯油の販売車も通ります。いずれも音のレベル規制が必要です。

住宅街にも関わらず、早朝、トラックの音がうるさい。上空も同じで生活時間外に飛ぶ飛行機の音がうるさい。

街が便利になるのは良いことだが、反面、渋滞や主要道路への不法駐車、騒音（特に夜中の暴走族）など、暮らしにくさも増加している点への対策を考慮願いたい。

夜中にバイクの大きな音が聞こえて迷惑です。なくしてほしい。

バイクの騒音→十日市場方面からよく暴走してくるが、どこが対処してくれるのか？

バイク等の音を取り締まってほしい。

暴走族の騒音。

オートバイの騒音を徹底的に取り締めてほしい。

米軍の飛行機騒音について、飛行時間の見直しなど、住民の負担を軽減するための活動をお願いします。

今後も静かな住環境を守ってください。

住宅地に隣接する植木（特に松の木）の手入れがないため（市の所有物）、伸び放題。松葉が散乱し、樋等が詰まってしまう。土木事務所の方に依頼してもなかなか手だてをしていただけないので困っています。一度見に来て、今後の方針等を伺いたいと存じます（梅が丘8のカーブ地点）。

蜂の巣が多くなったように思う。対策費の補助を増やしてください。

緑が多く、きれいな街並みが多い。地域の交流が少ないのが少し寂しい気もします。友人も多くいるのであまり気にしなかったのですが、年とともにいざという時に近所の方の助けが必要になるかもしれない。考え方を少し変えなくてはならないように思う近ごろです。

街路樹の植え替え、根本の路盤の整備。

不法看板の規制徹底

大きな看板で色のどぎついものが目立ち、街を汚くしている。制限してほしい。また、歩道と車道の間に旗がたくさんあるが、なかには「交通安全」というものもあるが、見通しが悪くなり危険である。

携帯電話のアンテナ設置による電波障害が気になります。最近、主人は原因不明の耳鳴りがするようになりました。近くにあるアンテナからの影響が原因かわかりませんが、人体に悪影響を及ぼす可能性があるのならば、地域ごとに調査して報告してもらいたいと思っています。

電線の地下埋設。

昨年、庭に週1回位の頻度でかなりの量の糞をされ、しばらく様子を見ていたが、どうもアライグマのようでした。役所にも電話で相談しましたが、転勤してきたばかりということで頼りにならず、市のほうにも自治会から聞いてもらいました。決定的対策はなく、非衛生的でカラスが糞を散らしたり、はえがたかったりと、頭を悩ませました。有刺鉄線を張りめぐらしたものの効果はなく、ご近所で果物の栽培をしているため、そこに夜中に来ることが判明しました。糞の量、鉄線の上を平気で歩き回ることからも、ハクビシンではなくアライグマではないかと役所からも言われました。今年はまだ現れていませんが不安です。有効的な対策をお願いします。

青葉区は比較的治安が良く、建物、道路、公園、施設などの整備も整っているのありがたいと思います。

自然環境

緑がどんどん少なくなりました。緑を残す運動、街路樹を残す運動、開拓地（新しく開発する場所には）には必ず植樹をとの規制があれば、青葉区に相応しい地になるのではと思います。緑税があってもいいのではと思います（一軒当たり1,000円とか）。

都市化は東京の中心がやればよく、青葉区は緑のにおいがする心地よいところを大切にすべき。

周辺の人が減ってきているのに、新しく建物を造るのはどうかと思う。緑地が全くなってきているのは寂しい限りです。

緑地がどんどん減ってきてるので、なるべく残してほしいと思います。

恵まれた自然環境を保全するため、本来行政に行ってもらいたい管理を民間が行っているところがあります。官民が一体となり共同管理する仕組み作りを検討ください。

河川のごみ拾い、雑草の伐採、不法投棄等の問題あり。

田園都市線沿線は計画的に開発され、とても住みやすい地域だと思っております。しかし、最近では人口が増え、通勤ラッシュや、住宅が増えることによって緑が減るというマイナス面が多くなっているようです。このまま無秩序に開発を進めることは止めてほしいと思います。せっかく自然の残る青葉区。それが破壊されることのないよう、竹やぶや里山など保護することはできないのでしょうか。区や市が買い上げるということは財政上無理でしょうが、保護・管理するボランティアを募ったり、土地の所有者に税の優遇措置をとる、といったことはできないのでしょうか。

緑が減り、散歩がゆったりできる所が少ない。里山を生かしてほしい。

環状4号線のたちばな台に街路樹を整備していただきたい。

街路樹をさらにいっぱい植えてください。

街路樹の植え替え、根本の路盤の整備。

街路樹の剪定とその時期について、夏の貴重な日影をなくす街路樹の剪定は、費用の面からも必要なし。電線にひっかかるようであればその部分だけ剪定すれば十分。もし他に剪定しなければならない理由があるのなら、夏直前の剪定は止めるべき。

鶴見川のサイクリングコースの両側等に花を植えてほしい。そうすれば不法投棄などなくなると思います。花の植え替えなどは各町の老人会などに頼めばやってくれると思います。それくらいなら私も参加して、花の管理をしたいと思っています。

奈良川の浄化…せっかくカワセミやカモ、小魚がいるので！

電力、通信線等、電柱依存の減退…地下埋設の促進

すみよし台1-1付近の奈良川改修は長期間にわたり放置されているが、早く完成させるべき。使わないうちに劣化するのではないか。

恩田駅付近の奈良川親水施設は、管理が不十分で利用できない。整備した以上、メンテナンスをきちんと行ってほしい。

鶴見川沿いの整備。せっかくの川をもっと身近なものにするために、散歩道、雑草対策、植樹等諸整備を進めてほしい（少しずつ、計画的に）。

私が住んでいる近くに黒須田川があり、現在遊歩道を造るための工事をしています。そのために、毎年楽しみにしていた梅を切り倒しました。満開になるととてもきれいで、近所のママとそれを見て盛り上がっていました。ショックと言うより憤りを感じます。あんな遊歩道なんていないから、車がよく通るところに歩道を造るとかしてほしいです。通らないところを自然を壊してまで整備する前に、考えてください。これこそ税金の無駄です。

公園

子どもができて公園へよく行くようになったが、いつも人の集まらない公園は、砂場は落ち葉に埋もれ、草はおおい茂り、石はゴロゴロ転がっていて危ない。砂場のネットは人がいないときは開け放たれているところも多く、本当にきれいなのかどうか不安。トイレトレーニング中はトイレのある公園を探すのが大変。鉄棒の下にはブランコの下に敷くようなマットを敷いてほしい。

公園等の整備状況（遊具など）が地域によって差があるので平等にしてほしい。

都筑区と比べて緑地公園が少ないのでは？

毎日犬の散歩をしています。リードを外してボール遊び等をしたいのですが、政令で放してはいけないということです。最近の犬は皆よく教育されていて、昔みたいに人を噛んだり、狂犬病の注射をしていない犬はないと思います。例えば、アメリカみたいに、夜間は公園で放してもいいようにできないものでしょうか？学校用地や遊水池等はカギをかけて少年野球しかできないようにしている所があります。同じ納税者として納得がいきません。ドッグランがありますが我が家からは遠すぎます。場所だけを指定して、自己管理、自己責任ということにはできないものですか？確かに青葉区はきれいな街ですが、緑が好くなって、犬の散歩には不便な所です。
民間で施行した区画整理地区に居住しています。横浜市は公園、街路樹等を設置指定したにも関わらず、その後の管理がずさんです。街路樹の下枝を切り落とさないため、傘が接触したり、人間同士がすれ違えません。ツツジなども雑草を除いて高さを揃えないため、雑草に浸食されて花も年々咲かなくなった（特にあざみ野南1丁目と2丁目境の幹線道路）。区内にある横浜公園と比べても格段の差があります！
トイレのない公園が多く、不便です。
恩田駅付近の奈良川親水施設は、管理が不十分で利用できない。整備した以上、メンテナンスをきちんと行ってほしい。
公園、緑道等も多く、良い住環境だと思うが、メンテナンス（雑草、樹木）を十分に行ってほしい。せっかく作っても荒れ放題になる可能性あり。
公園の整備に力を入れてほしい。以前、大場町に住んでいたことがあります。この地域は小学校の子どもたちが花壇を作り、花を植え、きれいにしてくれていましたので、散歩に行った時はとても和みました。いま住んでいる近くのしらとり台、つつじが丘、さつきが丘の公園の汚さに驚きました。犬の散歩にも入りたくないですし、子どもを遊ばせる気にもなれない公園があります。落ち葉やごみの整備はともかく、花を植えるなど、住民が和める公園にしてほしいです。
公園が人工的である。もっと自然に。
子どもたちが遊ぶ公園などで毛虫が出ていますが、どちらに駆除の依頼をすればいいのでしょうか？桜並木はきれいですが、毛虫を子どもには近づけさせたくありません。よろしく願いいたします。
すすき野公園下のサイクリング道路際の桜の苗木に、貝殻虫がたくさんついているので、殺虫剤を早めにまいて下さい。

路上禁煙・喫煙環境

住宅街で歩きタバコをして、道端にポイ捨てる人がいるのでなくしてほしい。
路上喫煙を禁止してほしい。
青葉区は緑が多く、自然も豊かで幸せに暮らせます。ただ、楽しいはずの公園や、きれいな道路で、歩きタバコやポイ捨ては大変迷惑です。青葉区もハワイと同じように、自宅以外は禁煙にしてほしいです。スーパー等の入口に灰皿が置いてあると、煙を吸わないと中に入れず、喫煙をする方は他の人の迷惑などは考えていないと思います。
歩きタバコをする人が多く、危ないし、不快。規制してほしい。
歩きタバコをする人を減らすための駅などへの喫煙スペース設置
飲食店での禁煙をすすめているために、店の外での喫煙者が増えている。店内では2～3時間の我慢だが、住民は店の営業中はほぼ全ての時間です。
ほたる族が増え、そのおかげで窓が開けられない。
商店街の裏道では、歩きタバコの人がいっぱいいる。どうかしてください。
健康管理や生活環境重視の観点から、飲食店の分煙化あるいは禁煙化にいち早く取り組んでほしいと思います。青葉区は長寿の区であることを誇りとし、禁煙化をどこの区よりも早く行うことは、意味のあることだと思います。
市道の駐車禁止の促進、歩行喫煙禁止を厳しく。
青葉区全面禁煙を熱望します（路上喫煙者取締）。
公園等公共施設での喫煙禁止の周知徹底を指導していただきたい。強く要望したい。
喫煙できる場所を増やしてほしい。

ペット問題

鶴見川沿いはとても良い散歩道で、毎日大勢の人が歩いたり、走ったり、サイクリングを楽しんでいます。でも、道の整備がいまいちです。両側の草木が茂っていたり、道幅が極端に狭くなっていたり、犬の散歩で糞の始末を飼い主がしていないため、道の隅に糞があり悪臭のする箇所もあります。気持ちよく歩けるように、青葉区内だけでも早急に対応していただくと嬉しいです。
狂犬病予防接種の区役所での実施日を、もう1日増やしてほしい。平日であれば助かります。
こんなにペットが増えているのに、ペットに対しての対策が何もとられていないため、あちこちでトラブルが発生していることを、区政はどのように考え、取り組んでいるのでしょうか？

教育・文化について

図書館・文化施設

図書館のように本を借りられる施設がほしい。
図書館を増やしてほしい。
図書館が少ない（区内に1館とは。せめて1駅に1館あってほしい）。
図書館の充実（世田谷区並みに）。
図書館の数をもっと増やせないか。青葉区役所周辺に一つくらいほしい。

青葉区にも大きな図書館があれば良いと思います。
図書館の充実・増設
まともな図書館がない町。情けない。
大型図書館が区内に一箇所しかなく、蔵書も少なく、古く、勉強スペースも狭い。ぜひ改善していただきたい。オンライン端末や電子書籍ipadの導入も検討していただきたい。
図書館や学校の施設の有効活用に取り組んでほしいです。生まれ育った千葉に比べ、特に図書館があまりよくないように感じられます。図書館は子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々が利用する施設です。浦安市は特にすばらしく徹底されていますので、ぜひ参考にしていただき、そのような町づくりを目指してほしいです。
図書館の新設。
新しい図書館がほしい。
同じ横浜市でも図書館や公共施設が西区の方と比べて、少なすぎると思う。特に地区センターの図書は内容が少なく、古い。人口の数に差があると思うが、文化面の充実をしてほしい。
図書館が全然無く、子どもが絵本を読む機会が減った。
公民館などで、低料金で子どもたちができる習い事を増やしてほしい。
こどもの国近辺からは、図書館が少し遠くて利用しにくい。地区センターなどの書籍コーナーの本の数を増やしてくれるといい。
区内大学の図書館開放等の情報がほしい。
たまプラーザに図書館を作ってください。
たまプラーザ駅のすぐ近くで、図書を借りることができるようにしていただければ嬉しいです。あざみ野に山内図書館と美しが丘西地区センターがありますが、いずれもたまプラーザ駅からは距離があります。たまプラーザ駅で返却ができるのはありがたいのですが、借りることもできたほうが利用者が増えると思います。たまプラーザ周辺は人口がとても増えて、駅の利用者も多いので、絶対にたまプラーザ駅に区の施設は必要だと感じます。
図書館を青葉台、藤が丘地区に。
図書館の新着図書は予約が多く、なかなか読むことができない。また、書架の本は古い本ばかりで、中央図書館のように館内用の新刊本を山内図書館にも置いてほしい。
本の数が少ないように思います。
図書館がひどい（蔵書数等）
図書館の本が少ない。規模の大きな中央図書館を建設してほしい（青葉区の住民は本好き、勉強好きな人が多いと思うので）。
スポーツする広い場所が少ない。学校予定地を利用している団体など、使用できなくなる場合があり、スポーツに励む青少年などの育成の援助を考えてほしい。
地区センターは平日夜遅くまで利用でき、土日も開いていて、とても便利です。地区センターで図書館の本の受け取りができることを知らない人が多いので、もっとアナウンスすればいいのと思います。
雨の日に子どもが遊べる施設があると便利です。
図書館が利用できる時間をもっと増やしてほしい。学校帰りに行きたいと思っても、すでに図書館が閉まっていて利用できない。
図書館の開館時間が延長されたことにより平日の利用となり、大変ありがたい。住民の目線の向上に、今後も取り組んでほしい。
買い物はほとんど町田市である。自宅の周辺で用が済むように環境を整えてほしい。特に図書館がなくて困る。町田市中央図書館の貸出ができるようにしてもらいたい。
長津田駅行政サービスコーナー等で可能だった図書の返却ができなくなり、不便になりました。返却ボックスの再開を希望します。
山内図書館の駐車場の少なさを何とかしてほしい。
文化施設を充実させてほしい（図書館、映画館）。
文化、スポーツ面を充実してほしい。具体的には図書館（蔵書）の充実、コミュニティセンター、スポーツ施設（テニスコートなど）。スポーツ施設は箱物を増やすのではなく、小・中・高・大学などと協力して、地域全体で利用できるようにする。
大きな図書館が少なすぎます。自習できるスペースを増やしてください。
オーケストラが演奏できるような大きなコンサートホールがないです。
施設利用料が高い。特にフィリアホール。もう少し低額に！文化活動をしたくてもできないことあり。
文化的施設が意外に少ないと思います。美術展や音楽会を楽しむためには、いまだに都内に足を運ばなくてはなりません。
地域サークルの活動場所が非常に少ないと思います。吹奏楽のサークルなので、それなりの広さが必要なのですが、適当な場所がありません。
アートフォーラムあざみ野は大変立派ですが、いつもガラガラで職員の数のほうが多いように思います。もっと利用できる工夫が必要ではないでしょうか。

教育

青葉区に住んでいて一番がっかりしたことは、公立学校の学力の低さです。
小中学校の義務教育の内容をしっかりとしてほしい。

<p>公立学校のレベルが低く、中学校は私立へという状況が強くなっている。小中一貫教育をはじめるといニュースを聞いたが、その後の成果についてどうなっているのか不明。経済的に私立へ行けない人も多いため、公立校の教育をしっかり行ってほしい。横浜は人気の地域だが、東京都区に比べると税金、医療費等で優れておらず、住みやすいとは言えない。</p>
<p>教育について、子どもの将来を考えてほしい。青葉区は教育水準は比較的高い地域ですが、これは親の負担がかなりあると思います。学力テストで平均点が高いのは、学校というより塾に行っている子が多いからです。上の子は中学に行っていますが、塾代が高いです。子ども手当が必要ないという家庭もあるようですが、ごく一般家庭では助かります。ただいつまで出るかが不安です。</p>
<p>公立の小中学校はもっとしっかり指導していただければ、皆、私立に行かないのでは…？学力の遅れに不安を感じます。小中学校の学区を取り払って、質の良い公立に行けたらと思う。入学前に学校の様子をもっとよく知りたい。入学しても親の参加型の活動が多いと、母親の仕事に支障をきたす。はまっ子も遊ぶだけでなく、学習も運動もしてほしい。民間の学童は高いので、学校でもう少し見てほしい。</p>
<p>すすき野中学区です。上2人は私立中学を受験しました。なぜなら中学の教育内容に魅力がなく、部活動も充実していないからです。しかし、青葉区内でもあざみ野中や青葉台中などは、わざわざ受験させなくても、安心して通学させたい中学です。この地域では、「すすき野中はさびれている」というイメージがあります。中学で教育内容に格差が出ないよう、行政のほうでも努力していただきたいと思っています。</p>
<p>青葉区に越して10年が過ぎました。以前は少し高級なステキな街というイメージでしたが、子育て、介護を経験していくなか、全くといってならない！の感を強くしています。地元の中学へは不信感が強く、教育に関しては小学校のみお世話になり、高校は東京の私立へ進みました。中学は受験をし国立へ行かせました。これは市教育委員会からいらした校長先生が、「学校にきちんとした対応を望むなら公立では無理！私立に行ってください！」とアドバイスをしてくださったからです。介護についても10年間関わりましたが、施設はどんどんできるものの、その質の悪さには驚き！ただ増やせばよいというものではありません。</p>
<p>あかね台には新しく中学ができますが、住民が是非に！と要望していた10年前には絶対にいらない、作らない！と断言して聞きもしてくれず、子どもが少なくなったいま何故？と、遅すぎる対応にうんざりです。とにかく全体にレベルが下がっています。</p>
<p>公立高校は荒れている気がする。</p>
<p>不良が多くなってきた。そこは厳しくするべき。</p>
<p>教育から徹底してやり直さないと、日本（青葉区も）はつぶれてしまう。50年かかるかもしれないが、一歩ずつ努力してほしい。</p>
<p>学校のPTAを通じて、子どもたちへの一般常識教育をしてほしい。</p>
<p>小学校～大学まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路を横に並んで歩く ・人の家の植木を折る ・塀や他家の玄関に落書きをする ・傘で友人を殴る ・高校生がスクーターに乗り、火がついたままのタバコを投げ捨てる
<p>学生が多い地域なので、大学連携事業の一環として、マナー教育、質向上を求めます。バス停でのマナー、公共施設でのマナー、地域住民として生涯学習などよりも、そこを教育してほしい。</p>
<p>とても住みづらい。家が増え、人口が増えているのにバスは少なく、電車で超満員。近くに高校（元石川高校）があるため、ただでさえ本数が少ないバスにすし詰め。バスに乗れないこともしばしば。車内でも携帯の使用や大騒ぎで、他の乗客は本当に迷惑している。幼稚園バスではあるまいし、教育の質の低さがうかがえる。</p>
<p>慶應大の誘致を成功させていただきたい。何故なら、土地資産価値の下落を確実に防いでくれるから。</p>
<p>慶應大学附属校の建設延期が決まったのですから、契約を破棄して違約金をもらい、公立学校（6年制）を建ててください。</p>
<p>小学校建設については、現在野球グラウンドとなっている美しが丘西に、2～3年後には小学校が建てられる予定ですが、なぜ、この少子化に莫大なお金を使って建てなければならないのか？子どもたちの通学が遠くて大変ならば送迎バスを出すなどして、グラウンドを今まで通り野球場にして、時には子どもたちの遊び場として開放し、きちんとした管理のもとで子どもたち、親子の遊び場にしてほしい。管理のことで費用がかかったとしても、学校建設費よりは安いものだと思う。目先のことよりも長い目で見てほしい。</p>
<p>以前、仏向町で知能テストを受けたことがあるが、古いタイプのテストで、あの程度のテストで子どもを評価されるのはどうかと思いました。発達障害児など増加傾向にあるので、普通学級内でのサポート体制や、学年を下げての就学など、川崎市にくらべてもかなり柔軟性に欠けると感じました。これは市の問題なのかもしれませんが、区から市へ進言していただくと助かります。</p>
<p>中学校も給食にしてください。</p>
<p>公立学校のトイレを早く洋式にしていきたいです。</p>
<p>小・中学校各教室へのエアコンの設備</p>

区内の小学校において学級崩壊や先生の不登校により、授業が成り立たないという現状をよく目にします。モンスターペアレントの増加というマスコミの報道の影響もあってか、教師が聞く耳を持たなくなり、自分のやり方を押し進めるあまり、子どもたちに下痢やチック症状などの身体症状まで出ています。かわいそうなのは子どもたちです。学校と家庭とが協力し合えば、子どもたちにつけは回らなくて済むはずで、主義主張を繰り返しても解決しません。教師の研修の機会を増やすなど、意識改革に努め、我流ではなく、より良い教育の機会を子どもたちが受けられるよう対策をお願いいたします。モンスターペアレントばかりではありません。必ず協力できるはずで、お願いいたします。

成人教育（大学生など）を支援してほしい。

これから大学に行くのに学費が大変かかるので、もっと援助してほしいです。

スポーツ

文化、スポーツ面を充実してほしい。具体的には図書館（蔵書）の充実、コミュニティセンター、スポーツ施設（テニスコートなど）。スポーツ施設は箱物を増やすのではなく、小・中・高・大学などと協力して、地域全体で利用できるようにする。

野球ができるグラウンドがもっとあれば良いと思います。

スポーツする広い場所が少ない。学校予定地を利用している団体など、使用できなくなる場合があり、スポーツに励む青少年などの育成の援助を考えてほしい。

ボランティアでラグビースクールのコーチ（中学生対象）をしているが、企業のグラウンドもマンションになってしまい練習する場所がなくなってしまった。学校のグラウンドを開放してほしい。また、開放してもらった場合でも、サッカー、野球のみという条件の学校も多く、スポーツによって差別するのはおかしいと思う。青葉スポーツ広場もサッカーしか利用できず不満です。サッカーもラグビーも同じスポーツです！

スポーツをする場が少なく、かつ料金が安い。

公共のスポーツジムが多くできてくれたらうれしい。

青葉スポーツセンターを利用してみたいと前から思っていますが、料金や時間や予約方法など詳しくわかりません。インターネットで調べようにも、調べたいことがピンポイントで出ないので、今に至ります。スポーツセンターの利用方法だけの書面でも、役所に置いてあれば取りにいくのですが。

青葉スポーツセンターの近くにプールを作してほしいです。高齢になってきますと激しい運動は無理ですが、水中ですと全員運動が十分にできると思います。ぜひお願いします。

区営プールの運営やジョギングコース、サイクリングコースの充実をお願いします。

先日、群馬県甘楽郡甘楽町の町営宿泊施設「甘楽ふるさと館」を利用してきましたが、この「ふるさと館」の周辺は、町の総合グラウンドとなっており素晴らしい環境でした。それに比べて30万区民の青葉区は高速道路下のサッカー場（市営）や青葉スポーツ広場しかないのが現状です。「こどもの国」もグラウンドがありながら一般には開放されていないです。青葉区を中心に位置する谷本川周辺に早急に緑地公園と総合グラウンドを作ることにより、区政運営方針にある「豊かな緑と、快適な暮らしが息づく街」としての都市「丘の横浜・青葉区」ができあがるのではないのでしょうか。

文化活動

青葉公会堂でもっとたくさんの芸術活動（映画、音楽会、演劇等）を開催してほしいです。高齢になりますと夜の外出が面倒になり、近くで見物できたら幸いです。また、近所の友達とコミュニケーションができると思います。立派な公会堂があるのですから。

生涯学習講座の開設

ボランティア活動の情報開示（NPO法人などの情報開示を求めたい）

青葉区在住の文化人の方々の講演会を定期的に関わっていただきたいです。いろいろなジャンルの方がいらっしやると思いますので、生活、生きがい、趣味など、難しいテーマではなく、日常的なことなど楽しいお話しが聞きたいです（テレビや本などと違った部分が聞きたいです）。

福祉について

子育て支援・少子化対策

子どもの遊んでいる様子を見ていない。これから先が心配です。

子育てをする上で、母親同士、子ども同士、相談し合える場所が少なすぎる。

0～3歳までの小さな子どもたちが、毎日（平日）触れ合える場所を増やしてほしい。

最近子どもたちが安心して遊べる場所がほとんどないように思えます。死角のない公園など、整備していただけたらうれしいです。

子どもが多い地域の割には子育てがしづらい。子どもを遊ばせる場所、アートフォーラムあざみ野、新石川のNPO施設など、お金を取るのはいかかなものかと思う。他の区や川崎では無料です。青葉スポーツセンターのリトミックも10回で7,000円と割高。もう少し安くしてくれてもいいと思う。青葉区は何でも高い！

子どもの一時期預かりも、美しが丘保育園に預けようと思ったが、2月に登録してなければ1年預けられない仕組みになっている。そんな制度で本当に切羽詰まった母親を救うことはできるのか？もっと子どもを預けやすくしてほしい。どうしようなく辛い時もあります。

土日に子どもたちを遊ばせる場所が少ない。

子どもたちが外で遊ばなくなった。

子どもの遊び場、一時的に預かってもらう場所の不足。

<p>子どもの遊び場が少ない。子どもの話によると、地区センターでは無料で卓球などできるらしいが、息子が友達に聞かなければ知らないままだった。もっとわかりやすく情報を公開してほしい。せつかくの設備を知らないままでは、子どもたちがかわいそうだ。</p>
<p>雨天時の土日など、子どもが遊べる場所が少ないので、増やしてほしい。 児童館が少なすぎる。</p>
<p>図書館が全然無く、子どもが絵本を読む機会が減った。 公民館などで、低料金で子どもたちができる習い事を増やしてほしい。</p>
<p>子どもたちが安全・安心して住める環境を維持願います。</p>
<p>子どもを安心して育てられるよう、地域の安全、学校の安全を徹底してほしいと思います。具体的には、通学路の安全確保→路上駐車が多い、信号のない横断歩道の危険性（山内小学校区）など。 子どもが安全に遊べる公園を造ってほしい。</p>
<p>妊娠期間中の経済的支援を希望します。 保育園や幼稚園の増設。特に駅周辺など、便が良いところを希望します。</p>
<p>待機児童の解消をしてほしいです。現在、育児休暇中ですが、保育園に入れないと会社に戻ることができません。私の住んでいる近辺は認可園はもちろん無認可園も少ないです。保育園がそれなりにある青葉台などに行くには、朝非常に混雑している田園都市線に乗らなければなりません。小さい子どもを連れて、あの電車には乗車したくありません。</p>
<p>保育園を増やしてほしい。 保育所を増やしてほしい。女性の就業支援に力を入れてほしい。</p>
<p>駅近くの保育園が少ない。また、学童も少なく、都内に比べると費用も高い。少子化と言われるが、この地域は子どもが多いので、子育て施設を充実してほしい。</p>
<p>今年結婚したのですが、保育園不足や待機児童が多いとよく聞きます。仕事を持っており、夫婦共働きです。もし子どもができて臨月まで働くつもりですし、出産したら0歳保育に入れたいと思っていますが、無認可の保育園は入園させたくありません。そのことを考えると安心して子どもを産めません。年齢的にも早く出産はしたいです。ちなみに仕事は介護福祉士をしておりますが、産休制度はありません。とにかく保育園を増やし、待機児童の減少を…。働く女性が安心して子どもを産める環境を…。お願いします。</p>
<p>奈良地区は、保育園の数が少ないし、また時間も非常に短い。都内まで遠距離通勤をしている人が多数いると思うが、時間が短く、フルタイムでは働けない人がほとんど。せめて公立の保育園では時間を延長してほしい！</p>
<p>都心へのアクセスもよく、緑が比較的多く、道も比較的整備されており、治安も良く、子どもを産むまでは大変住みやすい地域だと感じていました。しかし、子どもが産まれて認可保育園を探したが、どこも満員で、さらに体調を崩した時に一時保育に預けたかったが、すべて拒否されたときはとても住みにくい街だと思いました。また、仕事に復帰するのに苦労し、仕事を辞めようと考えたこともありました。</p>
<p>東京23区と比較して、同じ首都圏にいながら制度格差が大きい。例えば、少子化、子育て支援における保育園、学童保育は、その数や態勢で数段劣っている。</p>
<p>認可保育園はもう少し増やし、定員に余裕がある園はたいいてい駅から遠いので、送迎バス、送迎ステーションなどがあれば、待機児童も解消するのではないのでしょうか？（千葉あたりで実施している市があるはずです）。</p>
<p>小学校に入ると、働く両親を持つ子のケアができる場所が少なすぎます。学童も少なすぎる。保育園もそうですが、それより小学校の壁の方がはるかに大きく、小学校入学を機に仕事を辞めたり、セーブしたりする母親も多いです。</p>
<p>個人的な見解ではありますが、独身層というよりは、ファミリー層や子どものいない夫婦などが青葉区は多いように見受けられます。子どもを育てながら、または家庭を支えながらも女性がやりがいを持つ仕事に就いたり、地域活動ができるよう、商業施設の開発等ばかりに目を向けず、企業誘致等も考えていただけるようになると、雇用の促進にもつながり、良いのではないかと考えます。経済的なことを考え、女性が仕事に就くために都心まで通勤しなければならないのでは、保育施設等いくら開設しても間に合わないと思います。電車の混雑も減ることはないでしょう。企業誘致とワークシェアリングの促進をすることにより、子育て中の女性や家庭を支える女性に職業、活動の選択ができ、経済的、体力的、精神的余裕も生まれ、それが青葉区を選択する理由の一つになることも考えられるような目が来るのではないのでしょうか？</p>
<p>教育、福祉等への積極的な取り組みは素晴らしいと感じております。住環境も素晴らしいですが、今後は上記のような部分もご検討いただければ幸いです。 地域財源の確保により、より福祉等への投資も可能になることと思います。</p>
<p>子育て支援として、教育やスポーツ等の援助、講座等があると良いと思います。青葉区は区民の教育費で学力が上がっているように思うので、お金をかけてあげられない子どもも受けられる場（セミナー等）があるとうれしいです。</p>
<p>3年前まで世田谷区に住んでいましたが、子どもの医療費や児童館などが充実しており、横浜市に来てからは残念に思います。区役所や地区センターの1室をぜひ児童館にさせていただきたいです。美しが丘のログハウスもお昼過ぎには大きな子どもたちが来るので（もともと小中学生向けなのは知っていますが）、乳幼児向けのものも作ってほしいです。</p>

<p>国で子ども手当の支給がなされようとしています。中学・小学の子を持つわが家にとりまして、ありがたい限りです。現在は共働きですが、子どもが小さく働けないとき、主婦手当として月に1～2万でもいただけないものかと思いました。大変な子育ての中、自分の収入というものが無いというのは、張り合いに欠けました。2年間でも3年間でも、希望者のみ。</p>
<p>子どもを保育園に入れたくても入れない。保育園に通っている子どもがいる家庭は、“選ばれた家庭”のようにとっても誇らしげである。まるで保育園に通える家庭の子どもが偉いと言われる。確かに保育園の方が家庭に比べ躰が行き届いており、箸の持ち方や食事のマナーなどがきちんとしている。保育園の給食は手作りのものばかりで羨ましい。幼稚園が私立だけなので、子どもにお金がかかる。幼稚園入園前の子どもを預けるところがなく、とても困っている。</p>
<p>保育園を充実させてほしい。</p>
<p>保育所が少ない（横浜は待機児童の多さがNo.1と聞き、心配です）。</p>
<p>一番要望したいのは、保育園に入りやすくしてほしいことです。何とかしてください。お願いします。</p>
<p>現在夫婦共働きです。子どもを希望しています。しかし、保育園に空きがなく、入園は難しいと友人から聞きました。子どもを産んでも安心して仕事が続けられるよう、保育園の数、保育士さんの数や質を充実させてほしいです。</p>
<p>保育所を増やしてほしい。産休などランクがAの人以外も入れるような手段がほしい。</p>
<p>学校内にあるキッズを増やしてほしい。市ケ尾小学校にも設置してほしい。</p>
<p>待機児童の問題に真剣に取り組んでください。青葉区は横浜を代表するブランド地域です。青葉区に持ち家を持つということははやステータスであり、人々はある意味、そこを目指して来ます。それなりの収入が確保されている家庭は、実は共働きが多いことを知っておいてください。そこが東京都港区や世田谷区との違いです。保育施設をもっと充実させていただきたい！今後の青葉区の浮沈は、ここにかかっています。</p>
<p>現在夫婦2人暮らしですが、今後子どもがほしいと考えています。共働きのまま子育てしたいので、ぜひ青葉台に「病児保育室」と「保育園」を増やしてほしいです。今年あざみ野にできましたが、8時～17時では使えません。7時～18時にしてほしいです。</p>
<p>私の仕事は保育士です。保育をしている中で、青葉台のような教育熱心な家族が多い地域においては、「幼保一元化」を進めていくことが必要であると思います。共働きであるが子どもにしっかりした教育をと考える方が多いので、0～2歳までの保育園（保育）＋3～5歳（教育）を合併した「認定こども園」「幼保園」のような形を進めていただきたい。これからのことを青葉台がモデルとして！日本はその方向に進んでいます。</p>
<p>児童虐待防止に対しての啓蒙活動を増やしてほしい。子育て相談もネグレクト対策も含め、もっと活用できるような呼びかけをした方がいいと思う。</p>
<p>公立幼稚園の設置・補助金の増加</p>
<p>子ども手当の現金支給には反対！保育所等の施設増加や内容を充実するために費用を投入するべきではないでしょうか？</p>
<p>子どもの医療費の所得制限をなくしてほしい。</p>
<p>少子化に向けて、不妊で悩んでいる方達が大量です。治療費用も莫大にかかることから諦めてしまう方もたくさんいると聞いております。子ども手当をバラまくよりも、欲しくてもできない不妊の方達に支援をしていただきたいです。</p>
<p>未来の子どもが安心して暮らせるように、子どものために何か対策をしてください。</p>
<p>保育園が増えているが、果たして子どものためなのか？子どもが荒れてきているのは、共働きが増えて、親が子どもと関わる時間が少なくなっているからだと思う。</p>
<p>子どもの診療費を18歳まで無料としてほしい。</p>
<p>小さな子どもだけでなく、高校生世代の子どもにも手当やら、サポートがほしいです。</p>
<p>子どもたちの教育・スポーツ、遊び場等の確保と維持が大切になると思います。</p>

高齢者支援

<p>高齢者支援、子育て世代に対する支援を中心にすべき。</p>
<p>今後も高齢者が住みやすい街づくりを推進していただきたい。</p>
<p>高齢者や障害者、生活保護を受けている人達が住みやすい環境を作ってほしい。</p>
<p>高齢者の医療・介護、生きがいの問題が大切になると思います。</p>
<p>高齢者にやさしい町にしてほしい。</p>
<p>今後、高齢化が進んでいくと思われる。地域によって異なると思うので、細かい対応を検討し、区政に反省して行ってほしい。</p>
<p>高齢化→日本一になったのに、街中で老人をあまり見かけない（老人ホームが多すぎる）</p>
<p>特別養護老人ホームの増設・充実。あまりにも待機期間が長すぎる。</p>
<p>老人ホームの受け入れを多くしてほしい。</p>
<p>有料老人ホームは資金的に困難な入居者が多い。高齢者用賃貸住宅がもっと普及されると良い。</p>
<p>介護について10年間関わりましたが、施設はどんどんできるものの、その質の悪さには驚き！ただ増やせばよいというものではありません。</p>

<p>認知症の母を区内の老人ホームに入居させています。介護問題が深刻化する中、私自身一人っ子のため、なかなか相談できる人もなく、もっと気軽に相談でき、プロの方に話を聞いてもらえるような電話相談や窓口があればと思います。包括支援センターの方々もたくさんのお年寄りをかかえ、とても忙しそうに遠慮してしまいます。</p>
<p>高齢化が進み、介護の勉強をし資格を取りたいと思うのですが、受講料が高く、勉強したくてもなかなかできません。今、横浜市で半額まで（受講料の）援助があるそうですが、もっと地区センターや役所で気軽に受講できる方法があればと思います。</p>
<p>今後、ひとり暮らしが増えるなか、必要となる知識、法律、住宅等を親身になって教えてほしいし、支えていただきたく存じます。</p>
<p>私の住むすすき野団地も高齢者が多く、住人の半数近くが65歳以上と聞いております。経済的にも今後ますます厳しくなると思います。老人の生活に活力ある区政をお願いしたい。また、元気な老人が活躍できる、学べる、お世話（ボランティア）できる、そんな場を設けていただきたい。学校の生涯学習は高額で続かない。</p>
<p>高齢者が多くなっている地域で、交流できる場所を作ってほしい（すすき野団地など）。</p>
<p>駅近くの空いているテナントスペースをお年寄りや子ども向けのコミュニティの場にするのはいかがでしょうか？お年寄り向けのコミュニティセンターは駅から遠く、商店や病院からも離れたところにあるので不便です。</p>
<p>高齢者の体操教室が週1回だが、効果を期待するには週2回が必要なのではないかと。ウォーキングも体操も一人ではなかなか長続きしないので。</p>
<p>高齢者健康増進のために、青葉区ご当地オリジナル体操があるといいですね。</p>
<p>今後、高齢になった時点でのサービス、行政のあり方など、都内に比べると数段劣っていると危惧している。また、確定申告時の対応の悪さなど、一考してもらいたい。</p>
<p>何でもインターネットだ、パソコンだと当たり前のように言わないでほしい。乏しい年金でパソコンどころではない高齢者も多く、富裕層だけが幸福になる権利があるのはおかしい。</p>
<p>地域ケアプラザが高齢者が気軽に行ける場所がないのはなぜ？どこも不便。役所と一緒にところに支援センターがあれば便利なのに。夜遅くまで、土曜日の全日、役所が開いていれば、働いているシングル介護をしている者は相談に行ける。シングル介護の自殺が増加しないことを祈る。緩和ケアやホスピスもこの人口の多い区にない。不便。</p>
<p>介護の充実。</p>
<p>介護保険を利用するほどの障害はないが、事故で治療後に後遺症が残った。バスルームの掃除等のために有料のボランティアを利用したいが高額である。町田市では住民の利用は30分で300円である。利用しやすい仕組みにしてほしい。</p>
<p>老人の方の買い物困難に対する対策案を期待します。</p>
<p>後期高齢者医療費の低減を横浜市に働きかけてください（保険料が高すぎる）。健康な人には特に負担が大きすぎる。</p>
<p>住宅ローン返済が厳しい。低金利に変更したくても、老齢の低所得者は一般金融機関から相手にされない。アルバイトの収入が途絶えたら、生活は破綻する。自身の人生設計ミスとは思いますが、低金利融資に借り換えできる制度か、高齢者の住宅の確保ができれば。</p>
<p>団地の5階に住んでおり、親も高齢なのでエレベーターの設置をお願いしたいです。</p>

障害児・者支援

<p>高齢者や障害者、生活保護を受けている人達が住みやすい環境を作ってほしい。</p>
<p>近年、発達障害児・者が増えています。区政レベルで専門スタッフによる相談窓口を設置してほしい。市政レベルで発達障害者への支援態勢を！療育・就労などすべてを包括して対応できるような形で確立してほしい。</p>
<p>発達障害の子の将来がとにかく不安です。就学・就労等について、どのように情報を得るのが良いかわからないことも多いです。療育センターを利用しているのですが、未就学児を対象ということで、就学後に不安を感じています。</p>
<p>就学についても、支援級の教員の方の人数やボランティアの利用などできるのかなど、わからないことだらけです。発達障害への理解もなかなか得られにくい気がして不安です。</p>
<p>発達障害の子どもに対して、福祉保健センターの保健師さんはとても良く勉強されていると感じました。とても楽しいです。今後は、保育園や幼稚園や学校の先生方にも勉強してもらえる機会があればと思いました。</p>
<p>障害児の休日の活動の支援をしてほしい。長期の休みなど、受け入れてくれる施設があっても、送迎してくれる人がいないので困っている。</p>
<p>障害児の放課後余暇活動・お預かり制度の充実。</p>
<p>引きこもりの障害者の息子がいます。将来（親亡き後）が心配です。施設入所は対人恐怖症のためできません。</p>
<p>子どもの就学の関係で、先日某養護学校を見学してきました。経済的に経費が削減され苦しいという現場の人の話を伺いました。青葉区だけの問題ではないし、苦しい経済状況などもあると思いますが、民間では手が届きにくい弱者にこそ手を差し伸べられる行政を望みます。弱者が安心して暮らせる地域は、結局、みんなが安心して暮らせる地域なのではないでしょうか。</p>

障害者枠で雇用され働いていますが、最低賃金の引き上げ、精神障害への理解、地域で暮らしやすいような配慮をお願いしたいです。
活発な区民活動を期待しております。障害者への理解、いじめ、自殺のない、優しい町。そのためには様々な分野での講演会等を行い、区民の意識向上や交流をすることも大切だと思います。障害者、高齢者、子どもや弱者が安心して暮らせる町になると良いと思います。

難病支援

難病患者に対する支援は東京都並にできないか研究すべき。

医療について

健康診断・予防接種

気軽に利用できる無料の定期的健康診断の実施希望。

健康診断の実施

青葉区民全員（40歳以上）に年1回がんの無料検診を実施。

- ・子宮頸がんの予防ワクチンを無料接種にしてほしい。
- ・様々な検診を無料にしてほしい。

（川崎市は女性検診が無料と聞きました。同じ県内で隣の市なのにサービスに差がありすぎる。住民税が非常に高いのに、もっとバックがあってもいいのではないですか。環境的に青葉区はとても良いところですが、もっと手厚くしてほしい。他に良いところがみつからないので。ワクチン接種無料は非常に厳しいとはわかっていますが、青葉区がきっかけとなって神奈川県全域で無料になるようにしてほしいです）

横浜市で行っている婦人科検診について、情報を知りたいと思っています。以前住んでいた所には、役所からハガキが来ていましたが、青葉区では行っていないのでしょうか？広報を見ているのですが、よくわからないでいます。

予防接種や子どもの健診へ行くのに、受付を済ませてから接種・受診をしてもらうまでの待ち時間があまりに長く、役所に健診へ行くたびに子どもがぐずってしまい大変です。受付を済ませた人から随時受診していただけると大変楽になると思います。

病院

救急体制の整備…病院の受入体制の整備

良質の病院の招致…青葉区民の高齢化に対応して

夜間・休日等の受診が可能な病院をもっと増やしてほしいです。同時に診察項目を増やしていただきたいです。

保健所

各区にあった保健所が1箇所を集約されてしまった。新型インフルエンザ等の感染症や食中毒の対応など、300万以上の人口を抱える横浜市に1箇所しかないのは不安である。

地域社会について

地域コミュニティ

地域の住民を活性化するための努力、創意工夫が足りない。

自治会に対して期待感、メリットが感じられない。役員は肩書きでしかないように思う。やはり行政の頑張りもさることながら、その活動、そのための努力をする指導者育成が大切と思う。

自治会に対する自治体の考え方を聴きたい。自治会を通じた情報提供や自治会への依存（例えば街灯）などは、本来、自治体が直接住民サービスとしてやるべきものと思うが、如何？

自治会・町内会の加入について、役割が時代とともに変化していると思う。区政からも必要性をアピールし、一方、負担の軽減をすべきだと思う。その上で全員に加入してほしい。

横浜市へ要望していただきたいのですが、〇〇委員、〇〇員等、これ以上新しく作らず、今ある〇〇委員、〇〇員で新しい取り組みをしていただきたいです。多すぎると思います。連携も複雑になってきている気がします。税金もかかるので、スリムにシンプルをお願いします。

地域のため、社会のために何かしようと思っても、自治会、その他地域活動は地元出身の方々だけがやることのような風潮があって、25年暮らしている私でも入りづらいものがあります。子どもたちが小さい時はいいのですが、家族全員が成人してしまうと、なかなか情報が入ってこない。

住民レベルが高いので、地域の人々の力をもっと活用できればと思う。

活発な区民活動を期待しております。障害者への理解、いじめ、自殺のない、優しい町。そのためには様々な分野での講演会等を行い、区民の意識向上や交流をすることも大切だと思います。障害者、高齢者、子どもや弱者が安心して暮らせる町になると良いと思います。

地域における世代間の交流が、もっと盛んになると良いなと思います。近所の老人に子育ての相談ができたり、ちょっと子どもを預けられたり、その代わりにちょっとした生活介助でお手伝いしたり。ご老人も子どもと触れ合うことによって刺激され、若々しくなるのではないのでしょうか。子どもも年に数回しか会えない祖父母よりも身近に感じ、精神的にも安定すると思います。地域交流が盛んになると、防犯にもつながると思います。

青葉区内の学校に通ったことがなく、よく地域のことについて知らないのですが、日々近所付き合いが減っていることは感じます。

緑が多く、きれいな街並みが多い。地域の交流が少ないのが少し寂しい気もします。友人も多くいるのであまり気にしなかったのですが、年とともにいざという時に近所の方の助けが必要になるかもしれない。考え方を少し変えなくてはならないように思う近ごろです。

他の区に比べ、地域環境の向上に力を入れていない。地域的によそよそしい感じ。

地域商業振興

近所にスーパーなどの日用品や食料品を買い求める所がなく、駅まで出なければならないのが少し不便です。上麻生線沿いにもスーパーが1つできれば、車で遠くへ買い物に行く人も減るのではないかと思います。

夫婦とも高齢で歩行困難なので、あまり出歩くことはしていません。毎日の食事、掃除、洗濯等はいっぱいいっぱいです。買い物は宅配を利用しておりますが、ちょっとしたものは商店街まで行っています。町もだいたいお店が少なくなり困ることが多々あります。スーパーでもコンビニでもよいので、小売の店がもっとあるといいと思います。

地域振興。古くからの商店が店をたたむ姿は悲しい。それを改善する施策をぜひ！

あかね台、特に恩田駅前にはコンビニすらなく、日常の買い物が不便な地域だと思います（長津田前は構内にもスーパーがないので、平日に食料品の買い物ができないのが辛いです）。

買い物はほとんど町田市である。自宅の周辺で用が済むように環境を整えてほしい。

すすき野周辺には何もなし。ホームセンターがほしい。

すみよし台に住んでいるが、電車、バスの便が良くない。住宅街を走るコミュニティバスが必要だと思う。銀行も郵便局もない。

市が尾駅を大型駐車場付きの駅ビルにしてほしい。

センター北、南のようなショッピングモールが市が尾駅周辺にほしい。

ユニクロ店舗新設。

気軽に利用できる飲食店（お手頃価格の定食屋等）。

近隣に交番、郵便局、銀行がないので不便。

雇用創出

今後、定年退職した団塊の世代が、社会で活動できる場を提供してほしい。例えば、小学校の放課後に子どもを預かる施設の補助活動、不登校の子どもに勉強を教える活動、働いていた時の知識が生かせるボランティア活動等。

定年後の方の再就職支援、雇用創出。

70歳以上の人の働き場所（事務系）を確保してほしい。

区内に雇用の場を増やすよう、区にも一汗かいてほしい。そうすれば混雑する電車で長時間かけて都内まで通勤する必要がなくなる。それに帰宅時間が早くなれば家族団らんの時間もできるだろう。

個人的な見解ではありますが、独身層というよりは、ファミリー層や子どものいない夫婦などが青葉区は多いように見受けられます。子どもを育てながら、または家庭を支えながらも女性がやりがいを持つ仕事に就いたり、地域活動ができるよう、商業施設の開発等ばかりに目を向けず、企業誘致等も考えていただけると、雇用の促進にもつながり、良いのではないかと考えます。経済的なことを考え、女性が仕事に就くために都心まで通勤しなければならないのでは、保育施設等いくら開設しても間に合わないと思います。電車の混雑も減ることはないでしょう。企業誘致とワークシェアリングの促進をすることにより、子育て中の女性や家庭を支える女性に職業、活動の選択ができ、経済的、体力的、精神的余裕も生まれ、それが青葉区を選択する理由の一つになることも考えられるような日が来るのではないのでしょうか？

若年者ほかの地域雇用の促進

天下り制度を止めて、働けない若者にチャンスあげてほしい。

中高年向けの仕事の間を作してほしい。

私は留学生です。日本語が下手ですが、アルバイトがしたいです。しかし就職場所は少ないです。今、お金がなく大変です。

ボランティア

ボランティア活動の情報開示（NPO法人などの情報開示を求めたい）

主婦等の空き時間を利用できるボランティア、仕事等の場を作ってほしい（区民の活性化）。

ボランティア活動を増やしてほしいです。もしあるならば、探しやすいようにしてほしいです。

私は今は地域のために何もしていませんが、生活にゆとりがあり、若さもあります。何か貢献したいと思っていますが、機会がありません。何か簡単に参加、あるいは始めることができるシステムを展開していただければ、もっと貢献できると思います。

住宅の周囲は高齢者の世代が増えてきているように思います。時間にゆとりがある、同じ区内に住む若者の力をもっと有効活用すれば、良い社会になっていくのではないのでしょうか？

以前、新宿区の高齢者と区内の若者の地域参加について聞いたことがあります。新宿区が高齢者の手伝いをする中で、何か金銭的な見返りを若者に与えるというものでした。参考にいただければ幸いです。

地域活性化

若者にとって活力を得ることのできる環境を構築していただきたい。

防犯・防災について

防犯

街灯を明るいものに変える（現在は蛍光灯。円形状の明るいものに）。
街灯が暗い。ちっとも改善されない。もっと夜は明るく、街はきれいにしてほしい。
街灯を増やすなど、暗い道への対策。
治安の悪化→街灯の整備（青い光は効果があるのか？）
防犯面で、街灯を増やしてほしい。
田園都市線沿線道路の街灯を増やしてほしい。
見えにくい道路の鏡、街路灯の増設等、防犯に留意すること。
鶴見川沿いは犯罪が多発しているが、対策を講じてほしいです。
街灯が民間で設置しているものもありますが、照度が低いため、民間の設置を廃止し、行政が照度の高い街灯を設置することにより、犯罪防止を促進することを望みます。
自宅近辺に、横断歩道や街灯を必要とする場所があり、区役所にも警察にも伝えたが反応ゼロ。何年も改善されないまま（東急スクエア駐車場付近の街灯など）。
治安の悪さの解消を希望する。
近隣に交番がないので治安が心配（深夜に帰宅する際など）。
警察関連の強化（交番の増設、空き交番をなくす、パトロールの強化など）を行っていただけると安心です。
人口増加で地域巡回の警察が必要かと思われまます。防犯は大事な仕事です。未然に犯罪を防ぐ必要があると強く感じます。
パトロールをたくさんしてほしい。子どもを取り巻く環境を良くしてほしい。
警察によるパトロールを頻繁に行ってほしい（地域住民ボランティアパトロールが歩道に横一列で歩いているのはうんざりです）。
よく交番がパトロール中で誰もいないことが多い。最低1人は常駐してほしい。
青葉台に住んで20年近くなりますが、ここ数年で増えた駅周辺のホームレスの方達が気になります。冬などは東急スクエアの地下に集まっていて、きっと小さいお子さんのいる家庭は、少し心配かと思えます。
以前、友人が不良にからまれたことがありました。治安改善をお願いします。
駅で集まっている非行少年少女を取り締まってほしい。
街のスプレーによる落書きが拡大する前に消去してほしい。大学生のボランティアや地域住民との連携により対応してはどうか。
変質者が多いです。何とかしてほしいです。

防災

防災拠点の窓ガラスに飛散防止シートをつけてください。
駅から徒歩圏内に住んでおりますが、いわゆる地主さんの「切り売り地区」で、区画が整備されていないところに新旧住宅が密接しています。坂道を利用した家も多く、家事、災害時の被害はかなりのものと思われ、心配です。転居を考えております。
奈良・あかね台周辺は人口や商業施設が増えましたが、まず消防署が鴨志田・緑区長津田にしかありません。また、交番も鴨志田・緑区長津田・奈良町のみです。人口増加に対して、消防と交番の数が比例していないので、奈良・あかね台の間に建設してほしいです。

平成 22 年度 青葉区区民意識調査

【調査ご協力をお願い】

区民の皆様には、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
ます。

青葉区では、青葉区の生活について行動や意識をうかがい、今後の区政の参考とするために「青葉区区民意識調査」を実施しています。

この調査は、青葉区にお住まいの皆様の中から、16 歳以上の男女 3,000 人の方を無作為に抽出し、お願いしているものです。

調査票は無記名でご提出いただき、ご回答いただいた内容は統計的に処理されますので、皆様のご意見や個人情報などが直接外部に公表されることは絶対にありません。

また、いただいたご回答は本調査の目的以外には一切利用いたしません。

調査結果につきましては、今後、「青葉区ホームページ」や「広報よこはま青葉区版」で公表いたします。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 22 年 6 月

青葉区長 岡田 輝彦

<ご記入にあたって>

- ① 封筒のあて名のご本人様にご回答ください。ご本人様が回答できない場合は、恐れ入りますが、調査票を破棄してください。
- ② お答えは、各設問の中であてはまる回答（選択肢）の番号を○で囲んでください。
○の数は、（○は1つだけ）、（○はいくつでも）のように指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をお書きください。
別途指示がある設問については、その指示に従ってお答えください。
- ③ 質問によっては、ご回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きにご注意ください。
- ④ 鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。

※ ご記入いただきました調査票は、お名前やご住所を書かずに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼る必要はありません。）、**6月23日（水）まで**にご投函ください。

※ この調査に関するご質問などは、下記までお問合せください。

青葉区役所 区政推進課 企画調整係 電話: 045-978-2217

FAX: 045-978-2410

E-mail: ao-kikaku@city.yokohama.jp

青葉区の生活環境について

問 1 あなたは、青葉区のどのようなところに魅力を感じますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 1 街路樹や公園など、整備された緑に
囲まれている | 8 地域活動が盛んである |
| 2 田園風景や森林など、農地・自然環
境に恵まれている | 9 買い物に不自由しない |
| 3 歴史、文化的資源が豊富である | 10 都心に近く、通勤・通学などに便利
である |
| 4 整然とした良好なまちなみである | 11 公共交通機関が発達している |
| 5 病院、学校、道路などの生活基盤が
整っている | 12 福祉サービスが充実している |
| 6 教育の水準が高い | 13 その他
() |
| 7 文化の水準が高い | 14 特に魅力を感じない |

問 2 日々の生活の中で、不足もしくは不便と思うことは何ですか。 (○は3つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 公園 | 14 日用品の店（商店街） |
| 2 緑地（山林や農地など） | 15 就労場所 |
| 3 ごみのリサイクル・減量化 | 16 病院、診療所 |
| 4 道路（道幅、渋滞など） | 17 図書館 |
| 5 駅の駐輪場 | 18 スポーツ施設 |
| 6 駅の駐車場 | 19 地区センター、コミュニティハウス |
| 7 駅への送迎のための駐車場所 | 20 高齢者のための施設 |
| 8 交通手段（バス） | 21 障がい者のための施設 |
| 9 交通手段（電車） | 22 交番・警察 |
| 10 保育園・幼稚園 | 23 その他
() |
| 11 小学校・中学校 | 24 特にない |
| 12 子どもの遊び場や子育て支援のための施設 | |
| 13 ショッピングセンター・スーパー | |

問 3 あなたの身近な住環境について、心配なことはありますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 まちなみを乱す建物、広告物など | 11 自動車の騒音 |
| 2 建物の用途（店舗、倉庫、工場など）の混在 | 12 路上駐車 |
| 3 高層建築物（日照や眺めなど） | 13 自転車の違法駐輪 |
| 4 敷地の細分化 | 14 自動車の不法投棄 |
| 5 敷地の造成にともなう緑地の減少 | 15 その他ごみの不法投棄 |
| 6 地震 | 16 犯罪、治安 |
| 7 火災 | 17 その他
() |
| 8 河川・水路のはん濫（風水害） | 18 特に心配なことはない |
| 9 河川の汚れや臭い | |
| 10 建築工事の騒音 | |

健康・子育てについて

問4 子育て中の家庭を支援するためには、どのようなことを充実する必要があると考えますか。
(○は1つだけ)

1 親子で遊べる、学べる場所	6 乳幼児の一時預かり場所
2 子育ての相談ができる場所	7 手当などの経済的支援
3 子育て情報の収集ができる場所	8 その他
4 保育園	()
5 幼稚園	9 特に必要な支援はない

問5 あなたは、健康づくりのために取り組んでいることはありますか。
(○はいくつでも) ※印の項目は20歳以上の方のみお答えください。

1 バランスの良い食事	8 ※禁煙
2 健康診断の定期的な受診	9 ※禁酒
3 体重や血圧の日常的なチェック	10 ※過度な飲酒を控えている(日本酒1合、 ビール大瓶1本程度)
4 十分な休養や睡眠の確保	11 何もしていない
5 健康に関する情報の積極的な収集	12 その他
6 ジョギング、ウォーキングなどの適 度な運動	()
7 スポーツジムの利用	

問6 あなたはたばこを吸いますか? (○は1つだけ) ※20歳以上の方のみお答えください。

1. 吸う ---> (問6-1へ)	2. 吸わない --> (問6-2へ)
-------------------------	------------------------

↓

問6で「1 吸う」とお答えの方に)

問6-1 あなたは禁煙に取り組んだことはありますか。(○は1つだけ)

1 禁煙したことはない
2 禁煙したことがあるが現在吸っている
3 現在吸っているが、いつかやめようと思っている

↓

(問6で「2 吸わない」とお答えの方に)

問6-2 あなたがたばこを吸わない理由は何ですか。(○は1つだけ)

1 もともと吸う習慣がないから
2 吸っていたが禁煙したから

問7 飲食店では禁煙席・喫煙席のどちらを選択しますか? (○は1つだけ)

1 必ず禁煙席を利用する	4 必ず喫煙席を利用する
2 空いていれば、禁煙席を利用する	5 空いていれば、喫煙席を利用する
3 特に気にしない	6 その他
	()

問11 あなたは、現在、電子メールのやりとりやホームページの閲覧などインターネット（携帯電話・PHSによるEメールやホームページ閲覧を含む）を利用していますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 利用している ---→(問11-1へ) | 2 利用していない --→(問11-2へ) |
|-----------------------|-----------------------|

問11で「1 利用している」とお答えの方に)

問11-1 あなたは、インターネットをどこで利用し、どのような機器を使用していますか。また、インターネットを利用する目的は何ですか。

【利用場所】(○はいくつでも)

- | | |
|---------|----------------|
| 1 自宅 | 3 上記以外の外出先・移動中 |
| 2 職場・学校 | 4 その他 () |

【利用機器】(○はいくつでも)

- | | | |
|--------|------------|-----------|
| 1 パソコン | 2 携帯電話・PHS | 3 その他 () |
|--------|------------|-----------|

【利用サービス】(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1 電子メール | 5 チャットや掲示板 |
| 2 ホームページの閲覧 | 6 ホームページ・ブログ等を通じての情報発信 |
| 3 ソフトのダウンロード | 7 その他 () |
| 4 ネットショッピング | |

(問11で「2 利用していない」とお答えの方に)

問11-2 インターネットを利用していない理由は何ですか。

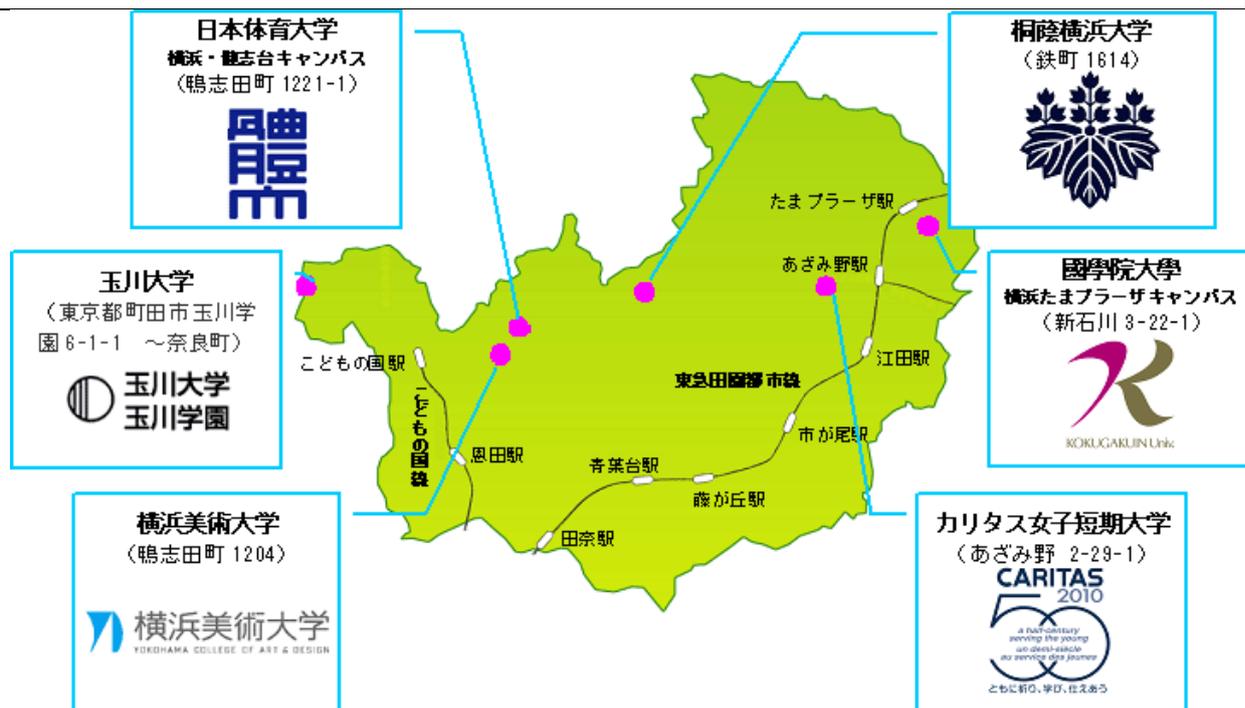
(○は2つまで)

- | |
|----------------------------|
| 1 インターネットを利用できる情報機器を持っていない |
| 2 インターネットにかかる料金が低い |
| 3 インターネットを利用するための手続き・作業が面倒 |
| 4 操作方法などが難しい |
| 5 インターネットを利用する必要性を感じない |
| 6 その他 () |

大学連携事業について

問 12 青葉区では、平成 22 年 1 月に、区内にキャンパスを有する 6 つの大学*と連携・協力に関する協定を締結し、大学と地域とのつながりを深め、双方の発展に結びつくような連携や取組を進めています。あなたは大学に対して、どのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

- 1 区民向けの生涯学習講座の開講（受講したい分野：)
- 2 健康づくり教室や環境体験学習など、区民参加型イベントの開催（具体的に：)
- 3 図書館の区民向け開放
- 4 図書館以外の施設の開放・貸出（具体的に：)
- 5 学生による地域ボランティア活動
- 6 災害時の避難場所としての施設開放
- 7 地域や商店会と連携したまちおこし等の共同研究・参画
- 8 地域の小学校・中学校・高校の授業や部活動への協力
- 9 その他 ()
- 10 特になし



*区内 6 大学 (50 音順) (学部・学科)

カリタス女子短期大学 (言語文化学科)

国学院大学 (文学部、法学部、経済学部、神道文化学部、人間開発学部)

玉川大学 (文学部、農学部、工学部、経営学部、教育学部、芸術学部、リベラルアーツ学科)

桐蔭横浜大学 (法学部、医用工学部、工学部、スポーツ健康政策学部)

日本体育大学 (体育学部)

横浜美術大学 (造形美術学部)

買い物について

問 13 普段の日用品・食料品の買い物や、たまに行く洋服・家庭電化製品などの買い物先は、主にどちらですか。また、その頻度や、出かける際の主な交通手段は何ですか。

(○は1つだけ)

13-1 買い物をする所

	区内の百貨店・大型店	近隣の商店街	コンビニエンスストア	ネットショッピング・宅配	長津田・センター北・センター南などの緑区、都筑区内	その他の横浜市内	町田、相模大野、新百合ヶ丘などの小田急線沿線	南町田、宮前平、溝の口、二子玉川など田園都市線沿線	の東京都内	渋谷、青山、銀座、新宿など	その他
記載例 ----->	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(ア) 日用品・食料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

13-2 買い物をする頻度

	ほぼ毎日	週に2、3日	月に2、3回	月に1回	年に数回	その他
(ア) 日用品・食料品の買い物	1	2	3	4	5	6
(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物	1	2	3	4	5	6

13-3 主な交通手段

	徒歩	自転車	バイク	バス	自家用車	電車	その他
(ア) 日用品・食料品の買い物	1	2	3	4	5	6	7
(イ) 洋服・家電など(ア)以外の買い物	1	2	3	4	5	6	7

地域活動・地域社会について

問14 今お住まいの地域（青葉区内）で、この1～2年の間に、次にあげるような地域の活動に参加したことはありますか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 自治会・町内会活動 | 11 音楽・絵画、学習会などの文化生涯学習サークル活動 |
| 2 まつりや盆踊り・運動会などのレクリエーション | 12 共同購入・生協活動などの消費者活動 |
| 3 道路や公園・マンションの庭などの清掃活動 | 13 子育てサークル活動 |
| 4 こども会の活動 | 14 PTA活動 |
| 5 婦人会の活動 | 15 古着回収やフリーマーケットなどのリサイクル活動 |
| 6 老人クラブの活動 | 16 近隣の人たちとのスポーツ活動などの交流 |
| 7 福祉・保健に関する活動 | 17 その他() |
| 8 自然環境や公園・河川の保全に関する活動 | 18 興味がなく、特に何もしていない |
| 9 まちづくりに関する活動 | 19 興味はあるが、特に何もしていない |
| 10 地域の防災や防犯に関する活動 | (問14-1へ) |

(問14で「19 興味はあるが、特に何もしていない」とお答えの方に)

問14-1 特に何もしていない理由は何ですか。 (○は2つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 仕事などが忙しく参加する暇がない | 4 住んでいる地域以外で活動をしている |
| 2 参加の仕方がわからない | 5 きっかけ・呼びかけがない |
| 3 近所と関わりを持つことが煩わしい | 6 その他() |

問15 あなたは、お住まいの地域の自治会・町内会へ加入していますか。 (○は1つだけ)

- | | | |
|----------|------------------------|---------|
| 1 加入している | 2 加入していない(問15-1へ) ---- | 3 わからない |
|----------|------------------------|---------|

(問15で「2. 加入していない」とお答えの方に)

問15-1 自治会・町内会へ加入していない理由は何ですか。 (○は2つまで)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 加入することの利益を感じない | 4 加入を勧誘されなかった |
| 2 いろいろな役をやらされそう | 5 加入の仕方がわからない |
| 3 近所づきあいが煩わしい | 6 その他() |

問16 あなたは、自治会・町内会の加入について、どう思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 住民全員が加入すべき | 4 任意なのだから加入してもしなくてもよい |
| 2 できるかぎり住民全員が加入すべき | 5 わからない |
| 3 自治会や町内会の役割を理解した上で、各自の判断に委ねるべき | |

問17 あなたは、普段、近所づきあいをどの程度していますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 家族のように親しくつきあっている | 4 あいさつをする程度 |
| 2 家に行き来したり、親しく話をする | 5 顔は知っているが、ほとんどつきあがない |
| 3 とくどき話をする程度 | 6 顔も知らない |

問18 「青葉かがやく生き生きプラン ～第2期青葉区地域福祉保健計画～」*について知っていますか。

(○は1つまで)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 内容も理解している | 3 聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 2 だいたいの内容は知っている | 4 聞いたこともないし、内容も知らない |

*お互いの顔が見え、支え合える、安心して暮らせるまちを作るために、区民と事業者、行政などみんなで取り組む計画として作ったのが「青葉区地域福祉保健計画」です。第2期計画「青葉かがやく生き生きプラン」が4月からスタートし、様々な地域の課題の解決に向けて動いています。

URL : <http://www.city.yokohama.jp/me/aoba/keikaku/>

問19 あなたの住んでいる地域には、現在、どんな課題や問題があると感じますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1 近隣の人とのつきあいの希薄化 | 15 ニート（就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者）となる青少年の増加 |
| 2 家庭・地域の子育て機能の低下 | 16 高齢化による介護問題の深刻化 |
| 3 子どもが安心して遊ぶ場の不足 | 17 認知症者に対する理解の不足 |
| 4 子どもの減少による地域活力の低下 | 18 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足 |
| 5 子どもたちの将来への不安（進学、就職、友だちづきあい、結婚など） | 19 地域活動をする場所の不足 |
| 6 障がい者に対する理解不足 | 20 高齢者や障がい者の外出困難 |
| 7 障がい者の高齢化・重度化 | 21 子ども・高齢者・障がい者などの身近な相談の窓口の不足 |
| 8 発達障がい児・者への支援の不足 | 22 身近な健康づくりの場の不足 |
| 9 障がい者の就労支援の不足 | 23 地域に関する情報の不足 |
| 10 段差解消などバリアフリーの不足 | 24 住宅の建て替えの増加 |
| 11 災害に対する備えの不足 | 25 バスの便の減少 |
| 12 犯罪の増加・治安の悪化 | 26 電車内の混雑 |
| 13 青少年の非行 | 27 その他 |
| 14 不登校、ひきこもりの増加 | () |

問20 上記1～27の質問項目のうち、あなたにとって、特に重要度が高いとお考えの項目を3つまでお知らせください。

(1～27の番号から3つを選んで記入)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

問21 上記1～27の質問項目のうち、特に区役所に対策をとってほしい項目を3つまでお知らせください。

(1～27の番号から3つを選んで記入)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------

問 22 あなたの住んでいる地域で、以下の課題はここ1～2年の間にどのように変化したと思いますか。
 (○は各項目に1つまで)

	良くなった	変わらない	悪くなった
記載例 ----->	①	2	3
1 近隣の人とのつきあいの希薄化	1	2	3
2 家庭・地域の子育て機能の低下	1	2	3
3 子どもが安心して遊ぶ場の不足	1	2	3
4 子どもの減少による地域活力の低下	1	2	3
5 子どもたちの将来への不安（進学、就職、友だちづきあい、結婚など）	1	2	3
6 障がい者に対する理解不足	1	2	3
7 障がい者の高齢化・重度化	1	2	3
8 発達障がい児・者への支援の不足	1	2	3
9 障がい者の就労支援の不足	1	2	3
10 段差解消などバリアフリーの不足	1	2	3
11 災害に対する備えの不足	1	2	3
12 犯罪の増加・治安の悪化	1	2	3
13 青少年の非行	1	2	3
14 不登校、ひきこもりの増加	1	2	3
15 ニート（就労・就学しておらず、なおかつ働く意思も、学ぶ意思も持たない若者）となる青少年の増加	1	2	3
16 高齢化による介護問題の深刻化	1	2	3
17 認知症者に対する理解の不足	1	2	3
18 地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	1	2	3
19 地域活動をする場所の不足	1	2	3
20 高齢者や障がい者の外出困難	1	2	3
21 子ども・高齢者・障がい者などの身近な相談の窓口の不足	1	2	3
22 身近な健康づくりの場の不足	1	2	3
23 地域に関する情報の不足	1	2	3
24 住宅の建て替えの増加	1	2	3
25 バスの便の減少	1	2	3
26 電車内の混雑	1	2	3

危機管理について

問 23 一戸建ての住宅や小規模アパートでも住宅用火災警報器の設置が義務付けられた*ことを知っていますか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|----------------------------------|--------|
| 1 知っており、自宅にも設置されている (問 23-1 へ) | 3 知らない |
| 2 知っているが、自宅には設置されていない (問 23-2 へ) | |

*新築住宅は平成 18 年 (2006 年) 6 月 1 日から、既存住宅は平成 23 年 (2011 年) 6 月 1 日になるまでに、住宅用火災警報器を設置することが、横浜市火災予防条例で義務付けられました。

*設置が義務化された場所は、台所、寝室、避難する階段です。

(問 23 で「1 知っており、住宅にも設置されている」とお答えの方に)

問 23-1 住宅用火災警報器をあなたの住宅のどの場所に設置されていますか。

(〇はいくつでも)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 台所 | 3 階段 | 5 その他 |
| 2 寝室 | 4 廊下 | () |

(問 23 で「2 知っているが、住宅には設置されていない」とお答えの方に)

問 23-2 あなたのお住まいで、住宅用火災警報器などが設置されていないのはなぜですか。

(〇はいくつでも)

- | |
|-------------------------------|
| 1 住宅用火災警報器の付け方がわからないから |
| 2 住宅用火災警報器をどこに付けてよいのかわからないから |
| 3 住宅用火災警報器をどこで購入してよいかわからないから |
| 4 今後、機能の良い住宅用火災警報器が販売されると思うから |
| 5 今後、住宅用火災警報器が安く販売されると思うから |
| 6 その他 () |

区政・行政サービスについて

問 24 区内の 2 か所の郵便局 (青葉台、横浜奈良郵便局) で行っている証明発行窓口サービス*を知っていますか。 (〇は1つだけ)

- | |
|------------------------------------|
| 1 知っており、利用したことがある |
| 2 知っているが、まだ利用したことがなく、今後は利用したい |
| 3 知っているが、まだ利用したことがなく、今後も利用するつもりはない |
| 4 知らないが、今後は利用したい |
| 5 知らないし、今後も利用するつもりはない |

*青葉区では、平成 20 年 (2008 年) 1 月から、区内の 2 か所の郵便局 (青葉台、横浜奈良郵便局) で、住民票の写しなどの証明発行窓口サービスをモデル事業として実施しています。

問25 あなたは、この1年の間に、どの施設を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

1 山内地区センター	19 青葉区区民活動支援センター
2 藤が丘地区センター	20 青葉区民文化センター (フィリアホール)
3 若草台地区センター	21 くろがね青少年野外活動センター
4 美しが丘西地区センター	22 美しが丘こどもログハウス
5 奈良地区センター	23 山内図書館
6 大場みすずが丘地区センター	24 ユートピア青葉 (老人福祉センター)
7 鴨志田コミュニティハウス	25 荏田地域ケアプラザ
8 さつきが丘コミュニティハウス	26 もえぎ野地域ケアプラザ
9 山内コミュニティハウス	27 奈良地域ケアプラザ
10 桂台コミュニティハウス	28 さつきが丘地域ケアプラザ
11 すずき野コミュニティハウス	29 美しが丘地域ケアプラザ
12 みたけ台コミュニティハウス	30 大場地域ケアプラザ
13 青葉台コミュニティハウス	31 鴨志田地域ケアプラザ
14 青葉公会堂	32 ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ
15 青葉スポーツセンター	33 特別養護老人ホーム「緑の郷」 (地域包括支援センター)
16 新石川スポーツ会館	34 アートフォーラムあざみ野
17 寺家ふるさと村四季の家	35 利用したことはない
18 青葉国際交流ラウンジ	

問26 青葉区政について、具体的なご意見、ご要望、ご提案などありましたら自由にご記入ください。

あなた自身について

F 1 あなたの年齢をお答えください。 (○は1つだけ)

1 16～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳	13 75歳以上
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳	
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳	
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70～74歳	

F 2 あなたの性別をお答えください。 (○は1つだけ)

1 男性	2 女性
------	------

F 3 あなたは、青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）に、どのくらいの期間お住まいになっていますか。 (○は1つだけ)

1 1年未満	6 20年以上～30年未満
2 1年以上～5年未満	7 30年以上～40年未満
3 5年以上～10年未満	8 40年以上～50年未満
4 10年以上～15年未満	9 50年以上
5 15年以上～20年未満	10 わからない

F 4 あなたが青葉区（平成5年以前は緑区北部支所管内）に来られる前にお住まいになっていたところはどちらですか。 (○は1つだけ)

1 生まれてからずっと青葉区	5 町田市
2 青葉区以外の横浜市	6 東京23区
3 川崎市	7 その他（
4 横浜市、川崎市以外の神奈川県内	）

→ (F 4で「2」～「7」(「1」以外)とお答えの方に)

F 4-1 あなたが青葉区へ転入してきたもっとも大きな理由は何ですか。 (○は1つだけ)

1 家を購入したため	7 両親と同居するため
2 青葉区内に転勤になったため	8 子どもと同居するため
3 青葉区内への転勤ではないが、 転勤に伴って	9 青葉区に魅力を感じたため
4 就職のため	(魅力を感じた点：
5 進学のため	
6 子どもの通学のため	10 その他
)

F 5 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 持家（一戸建て） | 4 借家（共同住宅、社宅、公務員住宅、寮） |
| 2 持家（共同住宅） | 5 その他（ ） |
| 3 借家（一戸建て） | |

F 6 あなたの職業はどれにあたりますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 自営業・自由業 | 6 学生 |
| 2 自営業の家族従業者 | 7 家事専業（主夫・主婦） |
| 3 正社員、正職員 | 8 無職 |
| 4 契約社員、派遣社員、嘱託職員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト、パート | （ ） |

F 7 あなたの家族形態はどれにあたりますか。同居をしている方を対象としてお答えください。 (○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 親と子と孫（3世代） |
| 2 夫婦だけ | 5 その他 |
| 3 親と子（2世代） | （ ） |

F 8 あなたにお子様はいますか。いる場合、お子様は次のどの段階にあたりますか。別居しているお子様も含め全員について、それぞれお答えください。 (○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 小学校入学前 | 7 学校教育終了—未婚—同居 |
| 2 小学校在学中 | 8 学校教育終了—未婚—別居 |
| 3 中学校在学中 | 9 学校教育終了—既婚—同居 |
| 4 高校在学中 | 10 学校教育終了—既婚—別居 |
| 5 各種学校、専修・専門学校在学中 | 11 その他（具体的に ） |
| 6 短大・大学・大学院在学中 | 12 子どもはいない |

F9 あなたのご家庭は共働きですか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

F 10 現在同居しているご家族で、あなた自身を除き、下記にあてはまる方はいますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------|------------------|
| 1 乳幼児・未就学児 | 4 高校生 |
| 2 小学生 | 5 専門学校生、大学生 |
| 3 中学生 | 6 上記にあてはまる家族はいない |

(F10で「1」または「2」とお答えの方に)

F 10-1 あなたの家庭で日中子どもの世話をする方はいますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------|-----|
| 1 いる | いない |
|------|-----|

F11 あなた本人も含めて区内に 65 歳以上のご家族はいますか。

(○は1つだけ)

1 同居している

2 別居だが区内にいる

3 いない

F12 あなたの住んでいる町はどこですか (選択肢は五十音順)。

(○は1つだけ)

【あ】

1 青葉台一丁目～二丁目

7 美しが丘四丁目～五丁目

13 荏田北一丁目～三丁目

2 あかね台一丁目～二丁目

8 美しが丘西一丁目～二丁目

14 荏田西一丁目～五丁目

3 あざみ野一丁目～四丁目

9 美しが丘西三丁目

15 榎が丘

4 あざみ野南一丁目～四丁目

10 梅が丘

16 大場町

5 市ケ尾町

11 荏子田一丁目～三丁目

17 恩田町

6 美しが丘一丁目～三丁目

12 荏田町

【か】

18 柿の木台

20 上谷本町

22 鉄町

19 桂台一丁目～二丁目

21 鴨志田町

23 黒須田

【さ】

24 桜台

27 下谷本町

30 すすき野一丁目～三丁目

25 さつきが丘

28 しらとり台

31 すみよし台

26 寺家町

29 新石川一丁目～四丁目

【た】

32 たちばな台一丁目～二丁目

34 千草台

33 田奈町

35 つつじが丘

【な】

36 奈良町

37 奈良一丁目～五丁目

38 成合町

【は】

39 藤が丘一丁目～二丁目

【ま】

40 松風台

43 緑山

46 もみの木台

41 みすすが丘

44 もえぎ野

42 みたけ台

45 元石川町

【わ】

47 若草台

お疲れ様でした。質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、6月23日(水)までにご投函ください。



平成 22 年度 青葉区区民意識調査 調査結果 報告書

発行日 平成 22 年 9 月

発 行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係
〒225-0024 横浜市青葉区市ヶ尾町 31 番地 4

TEL 0 4 5 (9 7 8) 2 2 1 7

FAX 0 4 5 (9 7 8) 2 4 1 0